



AVN-ZX03i

メモリーナビゲーション内蔵 SD/DVD/Bluetooth/Wi-Fi/
地上デジタルTV 9型WVGA AVシステム

AVN-Z03i / AVN-Z03iW

メモリーナビゲーション内蔵 SD/DVD/Bluetooth/Wi-Fi/
地上デジタルTV 7型WVGA AVシステム



かんたん 使いこなしガイド

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、本書をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なときに

すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

必ずご覧ください

かんたん使いこなしガイド
(本書)



スマートフォンアプリでも
取扱説明書をご覧いただけます。



どこでもサポート (スマートフォンアプリ)

操作を簡単にする「コマンド送信」など
便利な機能を使用することができます。

<アプリの詳細について>

スマートフォンで2次元バーコードを読み取る、
または下記URLを入力してご利用いただけます。



- パソコンから確認する場合:

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html>

- スマートフォンから確認する場合:

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html>

<アプリのダウンロード方法について>

次のサイトからアプリをダウンロードしてください。



“どこサポ”
で
検索



※ 通信料はおお客様のご負担になります。

※ 対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページ

「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご覧ください。

本書の見方

お客さまや他の人々の安全や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを次のように表記します。

- 警告** …人が死亡または重傷を負う可能性がある内容
- 注意** …人が傷害を負う可能性がある内容
- 重要** …機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたい内容

操作に関係する情報を次のように表記します。

チェック

準備や条件など、操作する前に知っておいていただきたいこと

ワンポイント

機能の仕様やアドバイスなど、知っておいていただきたいこと

■ 次の手順でも操作できます

他の操作手順がある場合は、スイッチを並べて表記します。

(例)  →  → … → 

各スイッチの操作を次のように表記します。



音量設定 …タッチスイッチ (画面に表示されるスイッチ)

ナビ …タブスイッチ (画面に表示されるスイッチ)

現在地 …パネルスイッチ (パネルに配置されたスイッチ)

本書の見方はコチラ

◆製品に添付されている各種説明書は必ずお読みください。指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。

◆取扱説明書で使用している画面と実際の画面はデータの作成時期・種類等によって異なることがあります。

◆仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

登録の方法

「My Page」には、次の方法でご登録いただけます。ご登録いただいたお客様の情報は「My Page」で確認・変更することができます。

ECLIPSE ホームページから

「お客様サポート」から「My Page」にアクセスしてください。

URLを入力する

<https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/Index.do>

を入力してアクセスしてください。

重要

当社は、お客様個人に関する情報の重要性を認識し、厳重な管理を行っております。

「My Page」にご登録いただくと



ご利用製品に関連する製品・サービス・サポートの情報をお知らせいたします。



ご登録いただいたお客様限定のキャンペーンにご応募いただけます。



アンケート(不定期に実施)にお答えいただいたお客様には、プレゼントを差し上げます。

登録の方法はコチラ

My Pageにご登録をお願いします

「My Page」は、ECLIPSE製品をご購入いただいたお客様に、各種情報を提供するWEBサービスです。



INDEX

おすすめ機能を紹介

ナビゲーションを活用して ドライブへ行こう！	2
アプリCarafLを活用して ドライブへ行こう！	6
ナビゲーションを活用して ドライブを楽しもう！	8

基本操作・設定を紹介

まず、はじめに	10
カンタン初期設定	12
画面を操作する	14

総目次	18
-----	----

必ずお読みください

安全上のご注意	24
---------	----

索引	378
----	-----

共通の操作	28
-------	----



ナビゲーション	52
---------	----



オーディオ	126
-------	-----



Bluetooth®	214
------------	-----



DS	250
----	-----



その他の便利機能	256
----------	-----



困ったときは	314
--------	-----



ご参考に	338
------	-----



ナビゲーションを活用して ドライブへ行こう!

自宅の登録 ▶ P.95

自宅を登録すると、自宅へ帰るルートがカンタンに設定できます。



ドライブへ出発!

目的地を探す ▶ P.62

目的地をいろいろな方法で探します。

デモ走行 ▶ P.71

出発前にルート案内を見ることができます。

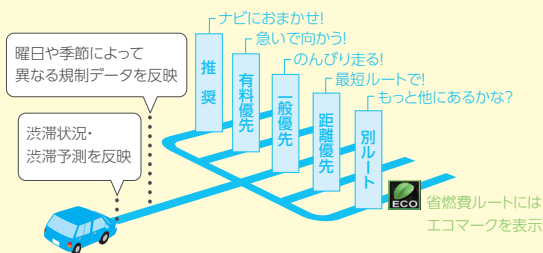
ルートを確認して選ぶ ▶ P.74

目的地までのルートは5つの探索条件から選ぶことができます。



5ルート探索 ▶ P.74

ECOルート探索 ▶ P.304



目的地を追加する ▶ P.76

ドライブの途中でも目的地を追加することができます。

あそこにも寄っていかない?

地図の表示方法を変える ▶ P.53

地図の縮尺や向きなどをお好みで変更することができます。



目的地案内の表示方法を変える ▶ P.91

ルート案内中に表示される案内表示画面をお好みで変更することができます。



地図表示・案内表示は変更できる?

提携駐車場を探す ▶ P.70

デパートなどの施設と提携している駐車場を探します。

沢山買い物をするし、提携駐車場に停めよう!

目的地を消去する ▶ P.80

目的地を並べ替える ▶ P.78


状況にあわせて、目的地を消去したり、行き先の順番を変更することができます。

今日は時間がないから、〇〇へ行くのはやめようか...

施設アイコンを表示する ▶ P.60

コンビニなどの施設アイコンを表示することができます。

コンビニマーク



周辺施設を探す ▶ P.69

コンビニなどの周辺施設を今いる場所から近い順に表示します。

距離順	種類順
ファミマート御苑大通り店	12
ファミマートヒグス新宿2丁目店	69
セブンイレブン5丁目店	81
セブンイレブン新宿3丁目店	92
セブンイレブン2丁目店	125

この周辺には何がある?

次もまた来よう!

また行きたい場所を登録する ▶ P.96


また行きたい場所をメモリ地点に登録すると地図上にマークを表示させたり、カンタンに目的地を設定することができます。

さて、帰ろうか!

自宅に帰る ▶ P.69

自宅へ帰るルートを手タッチで設定できます。

自宅




混んできたな...道を変えたいな

渋滞情報を確認する ▶ P.113

VICS交通情報を表示することができます。

渋滞情報	VICSマーク
渋滞	渋滞マーク
混雑	混雑マーク
順調	順調マーク



インターチェンジ指定 ▶ P.75

乗降するインターチェンジを変更することができます。

高速も混んでいるな、1つ手前のICで降りよう

ルートを再探索する ▶ P.82

一度設定したルート条件を変更することができます。

早く帰りたし、高速道路で帰るルートに変更しよう

履歴を消す ▶ P.58

ドライブの履歴を削除することができます。

いない履歴は消しておこう

ルート案内をやめる ▶ P.93

ルート案内を中止することができます。

画面を消す ▶ P.33

画面を表示する必要がないとき、画面を消すことができます。

この辺りはよく知っている道だからルート案内はいらないな

アプリCarafLを活用して ドライブへ行こう!

様々な情報を
音声でお伝えしながら
ドライブのお供をします。

キャラクターとの対話で、行きたい場所の検索やナビへの目的地設定ができます。
他にもキャラクターとのちょっとしたおしゃべりや、コスチュームの収集など盛りだくさんで楽しめるアプリケーションです。
詳細はP.257をご覧ください。



おでかけスポット提案

目的地を設定してしばらく走行すると、目的地付近のおすすめ情報を案内します。



目的地付近のオススメ情報を紹介します。
目的地から1kmに神戸ポートタワーがあります。
神戸を代表するデートスポット……



そこ行きたい!

コスチュームチェンジ

様々なコスチュームに変更できます。
愛着度レベルが上がるとゲットできる「愛着ワクワクコスチューム」や県境をまたいだときにゲットできる「ご当地コスチューム」、季節限定でゲットできる「季節限定コスチューム」があります。



あ!
服が変わった!

ようこそ
兵庫県へ



MySPOTに
登録しておいた
ポートアイランドを
ナビに転送しよう

今日の
神戸の天気は?

目的地転送

ナビゲーションと連携させると、目的地をナビゲーションに転送することができます。

天気予報

場所と日にちを指定すると、天気を教えてくれます。

神戸周辺の天気は
晴れです



カーナビゲーションに
目的地を転送しました

この先、〇〇〇パーキングエリアがあります。
XXXがプロデュースしました
XXXがおすすめです……

おいそう!
食べたいわ

よし!〇〇〇
パーキングエリアへ
行こう

SAPA提案

目的地を設定して高速道路走行中に次のサービスエリア・パーキングエリアが10km以内になると、おすすめ情報を案内します。



ナビゲーションを活用して ドライブを楽しもう!

通信機能を使う

Wi-Fi ▶ P.262

Wi-Fiの通信機能を使って、スマートフォンアプリの利用や、地図データを更新することができます。

スマートフォン連携 ▶ P.256

便利で楽しいサービスを提供する専用アプリケーションです。

MirrorLink™ ▶ P.258

スマートフォンのアプリをナビで操作することができます。



クルマでDS* ▶ P.250

ナビとニンテンドーDSをワイヤレスで接続。楽しいゲームがお子様との長時間ドライブをもっと楽しくします。

ハンズフリー ▶ P.223

Bluetoothの無線通信を使って電話の操作ができます。

*別売のDSソフトが必要です。(AVN-ZX03iは同梱)

音楽を聞く

- ラジオ ▶ P.130
- Bluetooth Audio ▶ P.246
- AUX※2 ▶ P.202
- CD ▶ P.132
- SD REC※1 (録音) ▶ P.152
- iPod※3 ※4 ▶ P.194
- MP3/WMA/AAC ▶ P.132
- SD※1 ▶ P.152
- USB※3 ▶ P.147

自宅で編集したデータも再生できます



映像を見る

- TV ▶ P.176
- VTR※2 ▶ P.200
- iPod video ※2 ※3 ※4 ▶ P.194
- DVD VIDEO ▶ P.132
- DVD VR ▶ P.132
- USB※3 ▶ P.147
- SD※1 ▶ P.152

自宅で編集したデータも再生できます



※1 別売のSDメモリーカードが必要です。(AVN-ZX03iは同梱)
 ※2 別売の「拡張配線コード」が必要です。
 ※3 別売の「USB接続コード」が必要です。(AVN-ZX03iは同梱)
 ※4 別売の「iPod接続コード」が必要です。

安心・安全・快適機能を使う



バック駐車は苦手…

バックアイカメラ* ▶ P.277

確認がしにくい後方の映像を映すことができます。



フロントアイカメラ* ▶ P.281

見通しの悪い交差点などで死角の映像を表示することができます。



ITSスポットサービス(DSRC)* ▶ P.292

ITSスポット対応DSRCユニットを接続すると、ITSスポット安全運転支援などのサービスを受けることができます。



*別売品です。

まず、はじめに

■電源を入れる



エンジンスイッチをACC
またはONにする

エンジンスイッチをOFF
(LOCK) にすると、本機
の電源が切れます。



◆ オープニング画面

プログラム読み込み画面⇒オープニ
ング画面の順に表示されます。
プログラム読み込み画面表示中は、本
機を操作しないでください。



初めて本機を起動した
ときは、カンタン初期設
定画面(→P.12)が表示
されます。

前回、最後に表示していた
画面が表示されます。

■AVN-ZX03i / AVN-Z03i






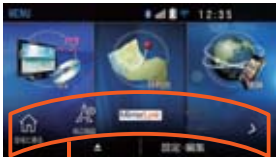


■AVN-Z03iW



- 本書では、一部を除き別売の機器が接続されている画面で説明しています。
- ナビ画面は、一部を除き2Dノースアップ表示の画面で説明しています。
- パネルスイッチは、AVN-ZX03i/Z03iで説明しています。

■ パネルスイッチの操作と表示される各操作画面の紹介

- ・短押し：軽く1回押す。
- ・長押し：“ピー”と音がするまで押す。

番号	スイッチ	機能
①		<ul style="list-style-type: none"> ・短押し：TV・ラジオの放送局、曲、DVDのチャプターを切り替え ・長押し：曲や映像を早送り/早戻し
②		<ul style="list-style-type: none"> ・短押し：選択中のオーディオ操作画面を表示 ・長押し：オーディオOFF
③	  <p>カスタムバー よく使う機能を登録することで簡単に機能呼び出すことができます。(→P.36)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短押し：MENU画面を表示 ・ AV …オーディオソースを選ぶ (→P.126) ・ 目的地 …目的地を検索 (→P.62) ・ 情報 …ハンズフリーやエコ機能などを使う* ・ 設定・編集 …各機能の設定を変更* ・ ▲ …メディアを入れる/取り出す (→P.28) ディスプレイの角度を調整 (→P.30) <p>※詳細は各機能の操作ページをご覧ください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・長押し：画質調整画面を表示 (1秒以上押す) (→P.33)
④		<ul style="list-style-type: none"> ・短押し：現在地の画面を表示 ・長押し：フロントアイカメラ (別売) の映像を表示
⑤		短押し：オーディオやハンズフリーの音量を調整

カンタン初期設定

Step 1 開始画面



- 1 **カンタン初期設定を開始する** にタッチ。

ワンポイント

- **次回起動時に設定する** にタッチすると設定を終了しますが、次回起動時に再度設定画面が表示されます。
- **設定しない** にタッチすると、次回起動時に「カンタン初期設定画面」が表示されません。各機能の設定画面で個別に設定してください。
 - ・ 自宅の登録 (→P.95)
 - ・ 案内音量の設定 (→P.32)
 - ・ 車両情報の設定 (→P.118)
 - ・ 燃費の設定 (→P.304)

Step 2 自宅の登録



現在地周辺から登録する

- 1 **現在地周辺から登録** にタッチ。

- 2 **セット** にタッチ。



- 3 **次へ>** にタッチ。

住所から登録する

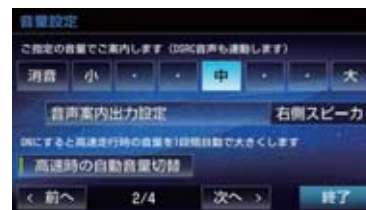
- 1 **住所から登録** にタッチ。

- 2 画面にしたがって住所を入力する。(→P.63)

- 3 **セット** にタッチ。

- 4 **次へ>** にタッチ。

Step 3 案内音量の設定



- 1 案内音量にタッチ。

- 2 **次へ>** にタッチ。

ワンポイント

- **音声案内出力設定** にタッチすると、音声案内が聞こえるスピーカを設定できます。(→P.32)
- **高速時の自動音量切替** にタッチすると、車速が約 80km/h 以上になった場合、設定した音量が自動で 1 段階上がります。車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に戻ります。(→P.32)

Step 4 車両情報の設定



- 1 車のナンバープレートの分類番号、車両寸法を設定する。
- 2 **次へ>** にタッチ。

📌 ワンポイント

- 車両情報は、料金の計算や提携駐車場を検索するときの基準のために設定します。

Step 5 エコ設定



- 1 **一般道燃費** にタッチ。
- 2 **<** または **>** にタッチして、燃費を入力する。
 - 入力できる燃費設定は、0.1km/L ~ 99.9km/L です。
- 3 **高速道燃費** にタッチ。
- 4 **<** または **>** にタッチして、燃費を入力する。
 - 入力できる燃費設定は、0.1km/L ~ 99.9km/L です。

📌 ワンポイント

- 燃費を設定すると、燃料消費量が少ないルートに 🟢 が表示されます。(→P.304)

完了



- 1 **完了** にタッチ。
- 2 **はい** にタッチ。



画面を操作する

タッチパネルの操作について

⚠ 重要

- 画面保護のため、指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端の硬いものや、とがったもので操作しないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面に保護フィルム等を貼り付けしないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

操作条件について

走行中は安全上の配慮から操作できない機能があります。

安全な場所に停車してから操作を行ってください。

- 操作できないスイッチは色が変わり、選択することができません。

📌 ワンポイント

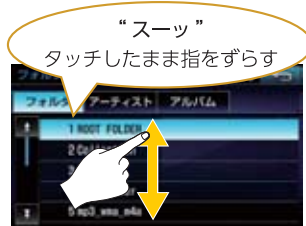
- タッチスイッチは反応するまでタッチしてください。反応がないときは、一度画面から手を離して再度タッチしてください。
- 地図画面のスライド・フリック操作のする / しないを設定できます。「ナビ詳細設定を変更する」(→P.118)
- 走行中はスライド・フリック・ドラッグ操作ができません。

タッチ操作



- 「○○○」にタッチ」と記載されている手順はタッチ操作で操作してください。
- 地図画面でタッチ操作すると、タッチした場所が画面の中心となるように地図が動きます。

スライド操作



画面にタッチしたまま指をずらすと、指の動きにあわせて、画面が動きます。

- 次の操作ができます。
 - ・ 地図画面を動かす
 - ・ リスト表示画面を動かす

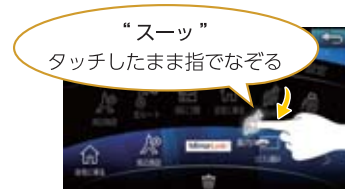
フリック操作



画面にタッチし指を軽くはじくように払うと、払った方向に画面が動きます。

- 次の操作ができます。
 - ・ 地図画面を動かす
 - ・ リスト表示画面を動かす
 - ・ チャンネルの切り替え* (地デジ)
 - ・ チャプターの切り替え* (DVD)
 - ・ ファイルの切り替え* (iPod Video/USB Video/SD Video)
- ※全画面で表示しているときのみ操作できます。

ドラッグ操作

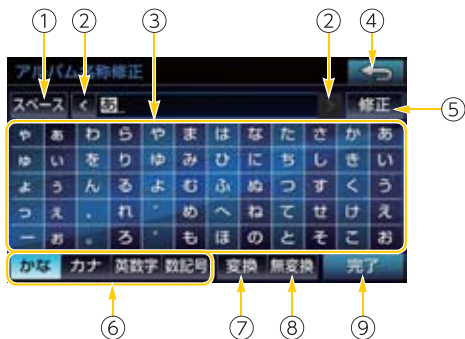


画面にタッチしたままなぞると、指の動きにあわせて、スイッチが動きます。

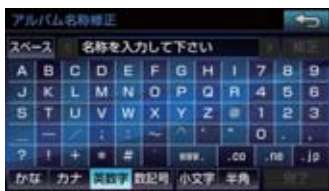
- 次の操作ができます。
 - ・ MENU 画面 (カスタムバーの設定)

文字を入力する

■かな・漢字入力時



■アルファベット・数字入力時



10 11

■数字・記号入力時



12

📌 ワンポイント

- 50音入力での目的地検索する場合は、ひらがなのみ入力できます。

番号	スイッチ	機能
①	スペース	カーソル位置に空白を入力
②	<、>	<ul style="list-style-type: none"> ● カーソル位置を移動 ● 漢字に変換する場合、変換する文字の範囲を変更
③	文字入力スイッチ	文字を入力
④	↶	文字入力を中断し、入力画面を終了
⑤	修正	一文字ずつ消去
⑥	かな	入力モードを「ひらがな」に切り替え
	カナ	入力モードを「カタカナ」に切り替え
	英数字	入力モードを「アルファベット」「数字」に切り替え
	数記号	入力モードを「数字」「記号」に切り替え
⑦	変換	かな入力時、漢字などに変換
⑧	無変換	かな入力時、ひらがなのまま確定
⑨	完了	入力を完了
⑩	大文字 / 小文字	大文字と小文字を切り替え
⑪	全角 / 半角	全角と半角を切り替え
⑫	ページ切り替えスイッチ	ページを切り替え

リスト画面を切り替える



番号	機能
①	・ あ行 ~ わ行 のいずれかにタッチすると、行を切り替え ・ 続けてタッチすると、「あ→い→う」とリストを移動
②	1 ページずつリストを移動
③	リストに表示されている名称の文字数が多い場合、 表示範囲を切り替え

タブを切り替える



番号	機能
①	設定・編集画面などタブが表示されている場合、 タブを表示したまま画面を切り替え
②	表示されていないタブに切り替え

MEMO

INDEX.....	1
ナビゲーションを活用して ドライブへ行こう！.....	2
アプリCarafLを活用して ドライブへ行こう！.....	6
ナビゲーションを活用して ドライブを楽しもう.....	8
まず、はじめに.....	10
カンタン初期設定.....	12
画面を操作する.....	14
タッチパネルの操作 について.....	14
文字を入力する.....	15
リスト画面を切り替える.....	16
タブを切り替える.....	16
安全上のご注意.....	24

共通の操作 P.28

1 メディアを入れる/ 取り出す.....	28
SDメモリーカード、 ディスクを入れる/ 取り出す.....	28
2 ディスプレイの設定を 変更する.....	30
ディスプレイの角度を 調整する.....	30
LED照明を設定する.....	31
3 音量を設定する.....	32
スイッチの操作音を 設定する.....	32
音声案内の音量を設定する.....	32
4 画面の表示を設定する.....	33
画面を消す.....	33
画質を設定する.....	33
ライト点灯時の画面を 設定する.....	34
画質を補正する (VividView).....	35
画面の色味を補正する (直射日光補正機能).....	35
画面のテーマカラーを 設定する.....	35
カスタムバーを設定する.....	36
マルチウィンドウ画面を 表示する.....	38
マルチウィンドウを 設定する.....	39
画面モードを設定する.....	40

映像画面に時刻を表示する.... 41
 オープニング画面を
 設定する..... 41

5 セキュリティ (ESN) を 設定する.....	43
ESNについて.....	43
ESNの設定～ロック解除 の流れについて.....	44
ESNを設定する.....	45
ロックを解除する.....	46
ESNの設定を解除する.....	48
ESNの設定を変更する.....	48
6 設定を初期化する.....	49
共通設定を初期化する.....	49
個人情報初期化する.....	50

ナビゲーション P.52

1 地図の見方と操作.....	52
ナビをお使いになる前に.....	52
現在地を表示する.....	52
地図画面の見方.....	53
地図を動かす.....	54
地図の縮尺を切り替える.....	55
地図の向きを切り替える.....	56
市街図を表示する.....	56
走行履歴を表示する.....	57
走行履歴の表示を解除する.....	58
3D表示の設定をする.....	58
施設マークを表示する.....	60
2 目的地を探す.....	62
50音で探す.....	62
住所で探す.....	63
履歴で探す.....	64
電話番号で探す.....	64
メモリ地点から探す.....	66
施設/ジャンルで探す.....	66
最後に表示していた 地図を呼び出す.....	67
マップコードで探す.....	67
追加データから探す.....	68
周辺の施設を探す.....	69
自宅に戻る.....	69
提携駐車場を探す.....	70
3 目的地を決めてルートを 探索する.....	71
目的地を設定して 案内を始める.....	71
ルート探索について.....	72

全ルート画面について.....	72	メモリ地点を登録する.....	96	VICS 音声案内を設定する.....	117
ルートを確認して選ぶ.....	74	メモリ地点を修正する.....	97	8 お好みの設定に変更する.....	118
ルート情報 (案内道路情報) の表示.....	74	メモリ地点を消す.....	100	ナビ詳細設定を変更する.....	118
インターチェンジを 指定する.....	75	迂回メモリ地点について.....	102		
目的地を追加する.....	76	迂回メモリ地点を 登録する.....	102		
目的地を並べ替える.....	78	迂回メモリ地点を 修正する.....	103		
到着までの所要時間/ 残距離表示を切り替える.....	79	迂回メモリ地点を消す.....	104		
目的地を消す.....	80	地点の移行について.....	104		
全ルートを再表示する.....	81	パスワードを設定する.....	105		
今の案内ルートから 変えたいとき.....	81	地点をSDメモリーカード に移す.....	106		
ルートを再探索する.....	82	SDメモリーカードに 保存した地点を本機に 移す.....	107		
4 ルート案内について.....	84	6 目的地履歴を消す.....	109		
案内画面について.....	84	目的地履歴を消す.....	109		
案内画面の見方.....	86	7 渋滞情報 (VICS機能).....	110		
ハイウェイモード画面 の見方.....	88	VICSについて.....	110		
レーンリスト図案内 について.....	90	緊急情報について.....	110		
高速分岐案内.....	90	統計データについて.....	110		
案内図を切り替える.....	91	VICS情報の提供内容 について.....	111		
拡大図を解除する.....	91	文字情報 (レベル1) を表示する.....	111		
細街路の表示について.....	92	簡易図形情報 (レベル2) を表示する.....	112		
フェリー航路の案内.....	92	地図情報 (レベル3) を表示する.....	113		
音声案内.....	92	地図情報 (レベル3) について.....	114		
案内を中止する・再開する.....	93	受信する放送局を 変更する.....	115		
案内ルート上にある 周辺施設を探す.....	94				
5 地点を登録する.....	95				
メモリ地点について.....	95				
自宅を登録する.....	95				

1 基本操作 126

オーディオ操作画面を 表示する	126
オーディオをOFFにする.....	126
オーディオソースを選ぶ.....	126
音量を調整する	127
カバーアートを設定する.....	128

2 ラジオ 129

ラジオアンテナを上げる／ 下げる	129
ラジオを聞く	130
交通情報放送を聞く	131

3 ディスク 132

ディスクについて.....	132
CDを聞く.....	133
MP3/WMA/AACを聞く	134
DVD-VIDEOを見る.....	136
DVD-VRを見る.....	138
DVD初期設定を変更する... ..	141
言語コード一覧	146

4 USB メモリ 147

USBメモリについて	147
USBメモリを接続する／ 取りはずす	147
音楽を聞く	148
映像を見る	150

5 SDメモリーカード 152

SDメモリーカード について	152
-------------------------	-----

SDメモリーカードへの 録音について.....	153
データベースについて	154
SDメモリーカードの 容量を確認する.....	155
SDメモリーカードへ 録音する.....	156
録音をやめる.....	157
SDメモリーカードを聞く (SD REC)	158
SDメモリーカードを聞く (SD)	160
映像を見る.....	162
タイトル情報を個別に 取得する.....	163
タイトル情報を再取得 する	164
アルバム情報を編集する	166
アルバムを削除する	169
トラック (曲) を削除する.....	170
マイベストについて	170
マイベストを作成する.....	171
マイベストを編集する	172

6 テレビ 176

テレビについて	176
緊急警報放送 (EWS) を受信した場合は	176
miniB-CASカードを 差し込む／取り出す	176
居住地域／ホーム プリセットを登録する	178
miniB-CASカードの 動作確認をする.....	180
テレビを見る.....	181
番組を選ぶ.....	182

データ放送を見る	184
設定を変更する	186
画面表示／音声を 切り替える	188
初期設定を変更する	189
放送局から受信した メールを見る	193

7 iPod 194

iPodについて	194
iPodを接続する／ 取りはずす	195
音楽を聞く	196
映像を見る.....	198
iPodビデオの音声入力 方法を変更する	199

8 外部入力 (VTR) 200

外部入力 (VTR) について	200
映像を見る.....	200
VTR機器の音声入力方法 を変更する	201

9 外部入力 (AUX) 202

外部入力 (AUX) について	202
音楽を聞く	202

10 音質を調整する 203

イコライザを設定する (EQ).....	203
SFC (音場) を設定する.....	205
音量バランスを調整する.....	206
HARMONIZER (ハーモナイザー) を 設定する	208
E-VOLUTIONを設定する.....	208

LOUDNESS (ラウドネス) を設定する	209
サブウーファを設定する.....	210
バーチャルシアターを 設定する	212

Bluetooth® P.214

1 Bluetooth®機能	214
Bluetooth®機能について...	214
登録～接続の流れについて	214
Bluetooth®機器を登録する	215
自動接続に設定する	216
手動接続に設定する	216
自動で接続する	216
再接続について	217
接続するBluetooth®機器を変更する	217
登録したBluetooth®機器の情報を確認・変更する	218
Bluetooth®設定を確認・変更する	220
Bluetooth®の接続を切る	221
登録したBluetooth®機器を削除する	221
表示されるアイコンについて	222
2 ハンズフリー	223
ハンズフリーについて	223
ハンズフリーの設定を変更する	224
手動で接続する	224
電話をかける	225
電話を切る	229
電話を受ける	229
着信中画面を操作する	230

通話中画面を操作する	231
割込通話を操作する	232
音量の設定をする	233
電話帳データについて	233
携帯電話の電話帳データを転送する	234
電話帳のデータを入力する	236
電話帳のデータを修正する	238
電話帳のデータを削除する	239
電話帳/履歴データの転送方法を設定する	240
ワンタッチダイヤルを登録する	240
ワンタッチダイヤルを削除する	242
履歴を削除する	243
ハンズフリー画面の設定を変更する	244
車を手放す場合	245
3 Bluetooth® Audio	246
Bluetooth® Audioについて	246
手動で接続する	246
音楽を聞く	248

DS P.250

1 DSモード	250
DSモードについて	250
DSを登録する	251
DSを接続する	252
DSで目的地を設定する	253
DSとの通信を切る	253
DSの登録を削除する	254

その他の便利機能  P.256

1 スマートフォン連携	256
スマートフォン連携 について	256
アプリの音量を設定する	256
接続中のアプリを表示 する (Wi-Fi接続)	257
アプリを表示する (MirrorLink™)	258
スマートフォン連携 について	259
Bluetooth®接続)	259
手動で接続する (Bluetooth®接続)	260
スマートフォン連携を 利用する (Bluetooth®接続)	261
NaviConアプリを 起動する	261
2 Wi-Fi連携	262
Wi-Fi連携について	262
表示されるアイコン について	262
Wi-Fiを接続する/切る	263
Wi-Fi接続するネット ワークを選択する.....	263
Wi-Fiネットワークを 追加する	264
Wi-Fiネットワークの 情報を表示する	264
簡単設定からWi-Fi 接続する	265

Wi-Fiの詳細設定を 変更する	266
施設情報をナビに 追加する	267
追加した施設情報を 削除する	268
自車位置マークを ダウンロードする	269
3 オンデマンドVICS	270
オンデマンドVICS について	270
オンデマンドVICSの ユーザー登録をする	271
通信接続の設定をする	272
オンデマンドVICS情報の 取得設定を変更する	274
オンデマンドVICS情報を 手動で取得する	276
4 安心・安全・快適機能	277
バックアイカメラ	277
フロントアイカメラ	281
ETC	284
ステアリングスイッチ	288
ITSスポットサービス (DSRC)	292
ビーコン	296
リモコン	298
5 エコ機能	301
エコ機能について	301
燃費を計算する	301
履歴とグラフを表示する	302
履歴を編集する	303
燃費を設定する	304
エコ運転評価を表示する	305

6 メンテナンス情報を 登録する	306
メンテナンス機能 について	306
メンテナンス項目を 設定する	306
メンテナンス時期を 更新する	307
メンテナンス設定を 消去する	308
販売店を設定する	309
販売店を修正・消去する	310
7 システムチェックをする	311
システムチェックをする	311
8 地図データの情報を 確認する	313
地図用SDのコードを 確認する	313
地図データの情報を 表示する	313

困ったときは  P.314

1 自車位置がずれたときは	314
精度と誤差	314
自車位置を補正する	318
2 こんなメッセージが 表示されたときは	319
共通の操作	319
ナビ関係	319
オーディオ	322
Bluetooth®	326
その他の便利機能	327
3 Q&A	330
共通の操作	330
ナビの操作	331
オーディオの操作	334
DSの操作	337

1 使用できるメディア・データについて	338
メディア・データの仕様についての注意.....	338
再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧.....	338
SDメモリーカード.....	339
オープニング画像用データ.....	340
ディスク.....	340
USBメモリ.....	344
再生できる圧縮ファイルの仕様について.....	345
iPod.....	348
Bluetooth®機器.....	349
Wi-Fi通信.....	349
2 知っておいていただきたいこと	350
道路管理者等からのお知らせとお願い.....	350
取り扱い上のご注意について.....	351
メディアの取り扱いについて.....	353
お手入れについて.....	355
本機を再起動する.....	355
本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を確認する.....	356

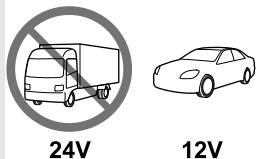
ソフトウェアをバージョンアップする.....	356
バージョンアップした場合は.....	359
バッテリーの交換について.....	359
3 地図について	360
地図データについて.....	360
地図データベースについて.....	360
市街図収録都市リスト.....	361
オンデマンドVICISのご利用について.....	363
4 VICIS情報有料放送サービス契約約款	366
5 Gracenote®メディアデータベースについて	367
Gracenote®メディアデータベースのご利用について.....	367
6 Wi-Fi連携サービスの利用規約について	368
7 商標・著作権	369
8 用語説明	370
9 お問い合わせ先について	373
本機のお問い合わせ先について.....	373
miniB-CASカードの問い合わせ先について.....	374
VICIS・ITSスポットの問い合わせ先について.....	375
10 仕様	376

11 索引	378
五十音順.....	378
アルファベット.....	380
数字.....	381

警告

本機はDC12V⊖アース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。
火災の原因となります。

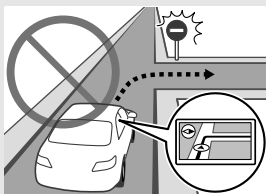


24V

12V

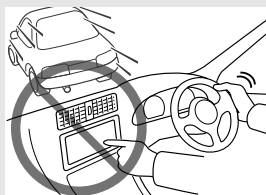
実際の交通規則に従って走行してください

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する可能性があり、交通事故の原因となります。



運転者は走行中に操作をしないでください

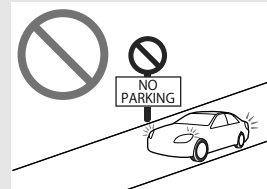
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。
交通事故の原因となります。



警告

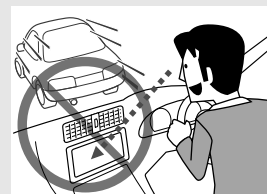
本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。

交通事故の原因となります。
禁止された場所に駐・停車することは法律で禁止されています。



運転者は走行中に画面を注視しないでください

前方不注意となり事故の原因となります。
運転者が走行中に画面を注視することは法律で禁止されています。



運転者は走行中にテレビやビデオを見ないでください

前方不注意となり事故の原因となります。
テレビやビデオは安全のため、走行中は表示されません。
テレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させて、サイドブレーキをかけてください。



警告

- 運転者は走行中に携帯電話（スマートフォン）や外部入力機器を操作しないでください

交通事故の原因となります。

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。



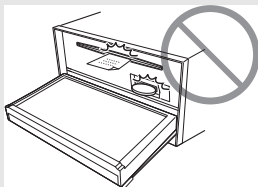
- 運転中は、安全運転の妨げにならない音量に設定してください

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



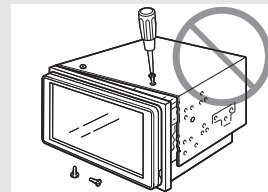
- ディスクやSDメモリーカードの差し込み口に異物を入れないでください

火災や感電の原因となります。

**警告**

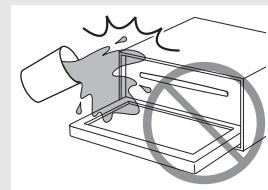
- 本機を分解したり、改造しないでください

事故、火災、感電の原因となります。



- 機器内部に水や異物を入れないでください

発煙、発火、感電の原因となります。

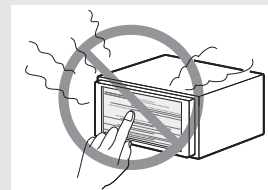


- 故障や異常の状態のまま使用しないでください

次のような異常が発生した場合、ただちに使用を中止し、販売店に相談してください。

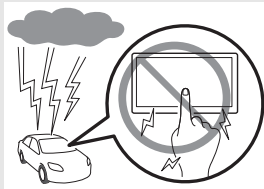
- ・ 音が出ない
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする
- ・ 音声が割れる、ゆがむ

事故、火災、感電の原因となります。

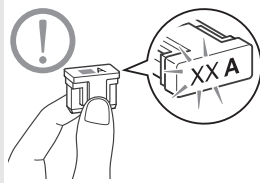


警告

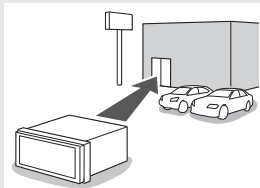
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください
落雷により感電の危険性があります。



- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



- 取り付け場所を変更するとき
は、安全のためお求めの販売店へ依頼してください
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。誤った取り扱いをすると、火災や故障の原因となります。



警告

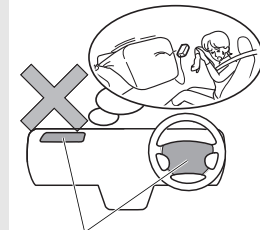
- 接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。

SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

SRSエアバッグ展開場所については、車の説明書をご覧ください。

- ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で固定してください。

運転に支障をきたし、交通事故の原因となります。



SRSエアバッグ展開部



接続コード

⚠ 注意

- 1 **本機に強い衝撃を与えないでください**
故障の原因となります。
- 1 **ディスク差し込み口に手や指を入れないでください**
けがの原因となることがあります。
- 1 **ディスプレイの角度調整時や収納時に、手や指を挟まないようにご注意ください**
けがの原因となることがあります。
- 1 **ディスプレイ収納時に指などを差し込まないように注意してください**
けがをしたり、故障の原因となります。
- 1 **ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください**
そのまま放置しておくと、故障の原因となります。
- 1 **ディスプレイを手で閉じないでください**
ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- 1 **ディスプレイを開けたときに、ディスプレイの上にコップや缶などの物を置かないでください**
ディスプレイが損傷するおそれがあります。

⚠ 注意

- 1 **メディアを出し入れするとき以外はディスプレイを閉じてください**
熱やホコリにより、故障の原因となることがあります。
- 1 **本機の放熱部に手を触れないでください**
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 1 **エンジンをかけた状態でご使用ください**
バッテリー上がりの原因となります。
- 1 **本機を車載用以外で使用しないでください**
感電やけがの原因となることがあります。
- 1 **電源ON時は、音量に注意してください**
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 1 **極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります**
とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 1 **携帯電話やiPodなどの外部機器や、メディアを車内に放置しないでください**
直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形、変色したり、故障するおそれがあります。

⚠ 重要

- 1 ディスプレイを開けるときは、本機がシフトレバーに当たらないように、切り替えてから操作してください。
- 1 ディスプレイ角度を調整するときは、シフト操作の妨げにならない位置に設定してください。
- 1 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- 1 接続コードや外部入力機器に手や足などを手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
接続コードや外部入力機器の破損につながるおそれがあります。

SDメモリーカード、ディスクを入れる／取り出す

⚠ 注意

- 1 ディスク、またはSDメモリーカードの差し込み途中に、**CLOSE** に触れないようご注意ください。ディスプレイが閉じ、手や指を挟むおそれがあります。
- 1 本機からディスク、またはSDメモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。ディスクに傷がつき、音とびしたり、SDメモリーカードを破損するおそれがあります。

⚠ 重要

- 1 ディスクまたはSDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機およびディスク、SDメモリーカードに傷がつくおそれがあります。
- 1 地図用SD差し込み口に同梱の地図用SD以外のSDメモリーカードを挿入しないでください。
- 1 地図用SDのフォーマット（初期化）は行わないでください。地図データが消失します。

SDメモリーカードを入れる

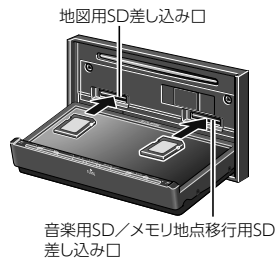
1 **-MENU-** を押す。

2 **▲** にタッチ。

3 **▲地図SD**、または **▲AV SD** にタッチ。



4 SDメモリーカードを“カチッ”と音がするまで差し込む。



- 1 **▲**マークを奥にして、差し込んでください。
- 1 音楽用SDをロック状態のまま差し込むと、録音ができなくなります。

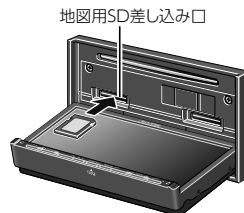
5 **CLOSE** にタッチ。

n 初回起動時の場合

初めて本機を起動したときは、メッセージが表示されます。次の手順で地図用SDを入れてください。

1 **▲ V** を押す。

2 地図用SDを“カチッ”と音がするまで差し込む。



- 1 **▲**マークを奥にして、差し込んでください。

📌 ワンポイント

- 1 地図用SDを差し込むと、ソフトウェア更新画面が表示されます。ソフトウェア更新中（約7分間）はエンジンスイッチをOFFにしないでください。
- 1 地図用SDを取り出した状態で、車のバッテリーとの接続が断たれたあとに、本機を起動した場合も、同様の手順で地図用SDを入れてください。

SDメモリーカードを取り出す

1 **-MENU-** を押す。

2 **▲** にタッチ。

3 **▲地図SD**、または **▲AV SD** にタッチ。



4 SDメモリーカードを軽く押して取り出す。

5 **CLOSE** にタッチ。

ディスクを入れる

1 **-MENU-** を押す。

2 **▲** にタッチ。

3 **▲DISC** にタッチ。



4 ラベル面を上にし、ディスクを差し込む。



- 1 ディスク差し込み後、自動でディスプレイが閉じて、ディスクが再生されます。
- 1 miniB-CASカード未挿入時は自動でディスプレイが閉じません。

ディスクを取り出す

1 **-MENU-** を押す。

2 **▲** にタッチ。

3 **▲DISC** にタッチ。



1 自動でディスクが押し出されます。

1 **▲DISC** にタッチしてもディスクが出てこない場合は、**▲V** を“ピッ”と音がするまで押し続けてください。

4 ディスクを取り出し、**CLOSE** にタッチ。



2. ディスプレイの設定を変更する

ディスプレイの角度を調整する

1 **-MENU-** を押す。

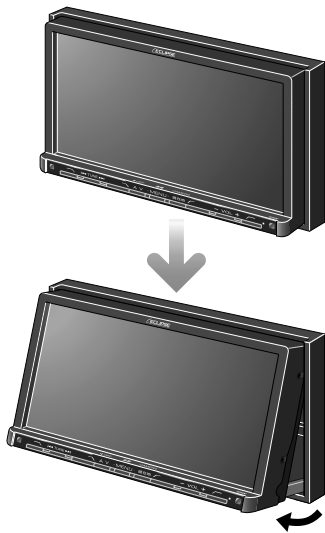
2 **▲** にタッチ。

3 **TILT▼**、または **TILT▲** にタッチ。

1段階（5°）ずつ傾く（最大6段階）



1段階（5°）ずつ戻る（最大6段階）



ワンポイント

1 ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACC、またはONにすると、調整したディスプレイの角度に戻ります。

LED照明を設定する

パネルスイッチのLED照明を変更できます。

🏠 チェック

1 本機能は、AVN-ZX03iのみ対応しています。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **共通設定** にタッチ。
- 4 **LEDスイッチ照明設定** にタッチ。
- 5 お好みの色にタッチ。



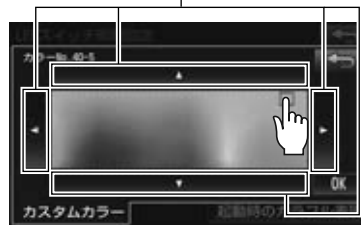
◆ LEDスイッチ照明設定画面

- 1 **カラフル** : 複数の色に変化
- 1 **カスタムカラー** : お好みの色に設定 (→P.31)

カスタムカラーを設定する

- 1 LEDスイッチ照明設定画面 (→P.31) で **カスタムカラー** にタッチ。
- 2 お好みの色味にタッチし、**OK** にタッチ。

タッチした位置を調整



起動時のLED照明を設定する

エンジンスイッチをACC、またはONにしてから起動するまでの間、パネルスイッチの照明をカラフルに変更できます。

- 1 LEDスイッチ照明設定画面 (→P.31) で **起動時のカラフル表現** にタッチ。



動作時に点灯

- 1 タッチするごとにON/OFFが切り替わりません。



3. 音量を設定する

スイッチの操作音を設定する

パネルスイッチやタッチスイッチの操作音を設定できます。

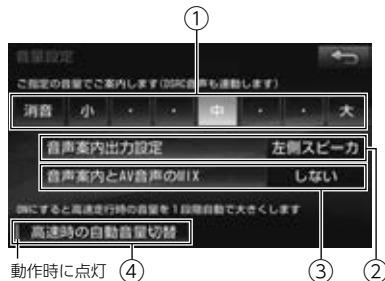
- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **共通設定** にタッチ。
- 4 **BEEP音通知** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



音声案内の音量を設定する

ナビの音声案内の音量を設定できます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **音量設定** にタッチ。
- 4 各項目を設定する。



1 次の項目を設定できます。

番号	項目	機能
①	音量	ナビの音声案内の音量を調整
②	音声案内出力設定*	音声案内が聞こえるスピーカ(右側/左側)を選択
③	音声案内とAV音声のMIX*	音声案内時のオーディオの出力を設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ する : 音声案内時も同時に出力 ・ しない : 音声案内時は消音
④	高速時の自動音量切替	車速が約80km/h以上になった場合、設定した音量が自動で1段階上がるように設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ タッチするごとにON/OFFを切り替え ・ 車速が約70km/h以下になると、もとの音量に戻る

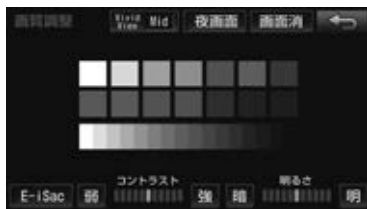
* スマートフォン連携 (→P.256) のアプリ音声案内にも設定した音量が反映されます。

4.画面の表示を設定する

画面を消す

1 **-MENU-** を"ピッ"と音がするまで押す。

2 **画面消** にタッチ。



1 **現在地**、**AV**、**-MENU-** を押すと、画面を再表示します。

画質を設定する

1 **-MENU-** を"ピッ"と音がするまで押す。

2 各項目を設定する。



◆ 映像画面時

- 1 次の項目を設定できます。
- 色合い (映像画面時のみ)
 - 色の濃さ (映像画面時のみ)
 - コントラスト
 - 明るさ

📌 ワンポイント

- 1 昼画・夜画に分けて調整できます。



4.画面の表示を設定する

ライト点灯時の画面を設定する

ライトの点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉が切り替わります。

車によりライトの点灯・消灯に合わせて切り替わらない場合があります。その場合は、手動で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えてください。

1 ライト消灯時…〈昼画表示〉

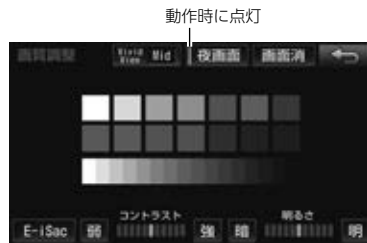


1 ライト点灯時…〈夜画表示〉



1 **-MENU-** を"ピッ"と音がするまで押す。

2 **夜画面**、または **昼画面** にタッチ。



1 ライトの点灯・消灯により、スイッチが **昼画面**・**夜画面** に変わります。

1 タッチするごとに、夜画表示と昼画表示が切り替わります。

画質を補正する (VividView)

映像を「くっきり・はっきり・あざやか」に補正します。

1 **-MENU-** を"ピッ"と音がするまで押す。

2 **VividView** にタッチ。



1 タッチするごとに、次の順に補正レベルが切り替わります。

Mid → Hi → Off → Low

画面の色味を補正する (直射日光補正機能)

直射日光の反射により、画面が見づらくなることがあります。照度センサーが光を検知して色味を自動で補正することで、画面が見やすくなります。



1 **-MENU-** を"ピッ"と音がするまで押す。

2 **E-iSac** にタッチ。



動作時に点灯

1 タッチするごとにON/OFFが切り替わります。

画面のテーマカラーを設定する

MENU画面のデザインを変更できます。



1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **共通設定** にタッチ。

4 **テーマカラー切替** にタッチし、**クール1**、**クール2**、**シンプル1**、**シンプル2** を選んでタッチ。



4.画面の表示を設定する

カスタムバーを設定する

お好みの機能をMENU画面のカスタムバーに7つまで登録できます。よく使う機能を登録すると便利です。



カスタムバー

カスタム機能を登録する

1 **-MENU-** を押す。

2 **>** にタッチ。



3 **カスタム登録** にタッチ。



4 **OK** にタッチ。

1 **今後表示しない** : 次からメッセージを表示しない

5 登録したい機能にタッチ。

ジャンルを切り替え



6 選択したスイッチをカスタムバーエリアまでドラッグし、指を離す。



カスタムバーエリア

1 次の項目をカスタムバーに登録できます。

ジャンル	項目	ページ
ナビ	周辺施設	60
	全ルート	72
	地図&エコ情報	305
	自宅に帰る	69
	案内中止/案内再開 ^{※1}	93
	目的地消去	80

※1 ルート案内中のみ表示されます。

ジャンル	項目	ページ	
AV	TV	181	
	AM	130	
	FM	130	
	Bluetooth Audio	248	
	DS	250	
	DISC		133
			134
			136
			138
	SD		160
			162
	SD-REC	158	
	USB		148
			150
	iPod※2		196
		198	
AUX/VTR		200	
		202	
交通情報	131		
AV OFF	126		

ジャンル	項目	ページ
情報	MirrorLink™	258
	電話	225
	エコ	301
	VICS	111
	ETC※3	284
	フロントカメラ※4	281
設定	音設定	203
	ナビ音量設定	32
	画面消し	33

※2 iPodを接続した場合のみ表示されます。

※3 別売のETC車載器接続時のみ表示されます。

※4 別売のフロントアイカメラ接続時のみ表示されます。

ワンポイント

- 登録したスイッチは、カスタムバー内の他のエリアに移動できます。すでに登録されているスイッチの位置に移動すると、上書きされます。

カスタム機能の登録を解除する

- MENU-** を押す。
- カスタム登録** にタッチ。
- 解除したいスイッチをゴミ箱エリアへドラッグし、指を離す。



ゴミ箱エリア



4. 画面の表示を設定する

マルチウィンドウ画面を表示する

オーディオ操作画面で **マルチW** にタッチすると、ナビ画面とオーディオ操作画面を同時に表示できます。

次のオーディオソースでマルチウィンドウを表示できます。

- ・ テレビ (→P.181)
- ・ DVD (→P.136、138)
- ・ USBビデオ (→P.150)
- ・ SDビデオ (→P.162)
- ・ iPodビデオ (→P.198)
- ・ VTR (→P.200)

🏠 チェック

- 1 ナビ画面を操作すると、マルチウィンドウ画面が解除されますが、**現在地** を押すと、マルチウィンドウ画面に戻ります。

- 1 各オーディオ操作画面で、**マルチW** にタッチ。



◆マルチウィンドウ画面 (AV+ナビ)

- 1 「マルチウィンドウを設定する」(→P.39) で設定した画面が表示されます。

全画面に切り替える

- 1 映像にタッチ。



- 1 **映像解除** : ナビ画面を全画面で表示

画面の比率を切り替える

マルチウィンドウ画面の比率を、30：70、または50：50に切り替えることができます。

- 1 **<** にタッチ。



- 1 **>** :元の比率の画面に戻る

マルチウィンドウを設定する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **共通設定** にタッチ。
- 4 **マルチウィンドウ設定** にタッチし、**ナビ+AV**、**AV+ナビ**、**PinP**を選んでタッチ。



- 1 次の画面に設定できます。

スイッチ	表示
ナビ+AV	
AV+ナビ	
PinP	



画面モードを設定する

次のオーディオソースで画面モードを切り替えることができます。

- ・ テレビ (→P.181)
- ・ DVD (→P.136、138)
- ・ USBビデオ (→P.150)
- ・ SDビデオ (→P.162)
- ・ iPodビデオ (→P.198)
- ・ VTR (→P.200)
- ・ MirrorLink™ (ミラーリンク) (→P.258)

1 各オーディオ操作画面で **Wide** にタッチ。

2 **Normal**、**Wide1**、**Wide2** を選んでタッチ。



- 1 よこ4 : たて3の割合の画面 (普通のテレビ画面の大きさ) を次のモードに切り替えることができます。
 - ・ **Normal** (標準画モード): 両端を黒く表示
 - ・ **Wide1** (ワイド1画モード) : 左右方向へ均等に拡大して表示
 - ・ **Wide2** (ワイド2画モード) : 上下左右に均等に拡大して表示
- 1 テレビの場合、次のモードに切り替えることができます。
 - ・ **Normal** (標準画モード): 両端を黒く表示
 - ・ **Wide** (ワイドモード) : 左右方向へ均等に拡大して表示
- 1 MirrorLink™の場合、次のモードに切り替えることができます。
 - ・ **Normal** (標準画モード) : 入力映像を表示領域サイズに拡大 (縮小) して表示
 - ・ **Wide** (ワイドモード) : 上下左右へ均等に拡大 (縮小) して表示

映像画面に時刻を表示する



- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **AV**、**AV詳細設定** の順にタッチ。
- 4 **映像画面の時刻表示** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



オープニング画面を設定する

オープニング画面の画像を切り替えることができます。またSDメモリーカードに保存した画像データをオープニング画面として表示することもできます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **画像設定**、**オープニング画像変更** の順にタッチ。
- 4 **1**、**2**、**3**、**カスタム** を選んでタッチ。



- 1 **カスタム** : お好みの画像に変更 (→P.42)



4.画面の表示を設定する

お好みの画像データに変更する

重要

画像データの書き込み中は、本機の操作および車のエンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。データが破損する恐れがあります。

チェック

- 1 使用できる画像データについては「**オープニング画像用データ**」(→P.340)をご覧ください。
- 1 使用できるSDメモリーカードについては「**SDメモリーカード**」(→P.339)をご覧ください。
- 1 画像データ以外のデータがSDメモリーカードに入っていると、画像データを読み込めない場合があります。
- 1 SDメモリーカードに音楽を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。「**録音をやめる**」(→P.157)

- 1 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む。



- 2 **MENU** を押す。

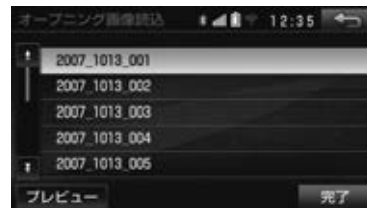
- 3 **設定・編集** にタッチ。

- 4 **画像設定**、**オープニング画像変更**の順にタッチ。

- 5 **カスタムの変更** にタッチ。



- 6 設定したい画像にタッチし、**プレビュー** にタッチ。



- 7 **完了** にタッチ。



- 1 設定したオープニング画面が表示されます。
- 1 **←**、**→** : データを切り替え

5. セキュリティ (ESN) を設定する

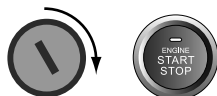
ESNについて

ESN (ECLIPSE Security Network)は、バッテリーターミナルをはずしてもう一度接続した場合に、本機をロックする (操作できなくする) セキュリティ機能です。

n 起動時認証の設定

エンジンスイッチをOFF(LOCK)にするたびに本機をロックします。

車を預ける場合や他人に個人情報を見られたくない場合にご利用になると便利です。



エンジンスイッチ
ACC、またはON



起動時認証を表示

n インジケータの設定

エンジンスイッチをOFF(LOCK)にすると、セキュリティインジケータを点滅させ、盗難発生を抑制します。



エンジンスイッチ
OFF (LOCK)



セキュリティ
インジケータ

チェック

- ESNの設定やロックの解除には、4桁の暗証番号の入力が必要です。登録した暗証番号を忘れないよう、メモなどに控えておくことをおすすめします。



ESNの設定～ロック解除の流れについて

暗証番号の設定 (→P.45)

暗証番号を入力してロックを解除 (→P.46)

4桁の暗証番号入力を5回失敗

携帯電話でロックを解除 (→P.46)

メールで解除キーを取得



解除キーを
入力してロックを解除

解除キーの
入力を5回失敗
(→P.47)

携帯電話で解除キーを
取得できない場合、
HELP を長押し (→P.47)

下記の画面が表示され、操作できなくなります。お客様相談窓口までご連絡ください。

認証に失敗しました
本機を操作することができません
解除方法については取扱説明書をご覧ください

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

通話料 0120-022210
無料 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前9:30～午後5:30 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)

ESNを設定する

チェック

- ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ロックがかかります。バッテリーの交換などを行う際は、事前に ESN の設定を解除してください。
- ESN の設定は、4桁の暗証番号が必要です。

- MENU-** を押す。
- 設定・編集** にタッチ。
- 共通設定** にタッチ。
- ESN設定** にタッチ。
- セキュリティ設定** にタッチ。



- 暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。



- もう一度、手順6で入力した暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。



- はい** にタッチ。

- ESNが作動します。

- インジケータ** にタッチし、**ON**、または **OFF** にタッチ。



- 起動時認証** にタッチし、**ON**、または **OFF** にタッチ。



ロックを解除する

- 1 **OK** にタッチ。

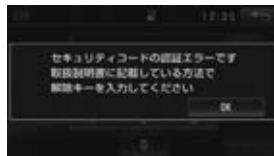


- 2 暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。



ワンポイント

- 1 暗証番号の入力を5回失敗すると、次の画面が表示されます。その場合は、「**ロックの解除に5回連続で失敗した場合**」(→P.46)をご覧ください。



ロックの解除に5回連続で失敗した場合

ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。

解除キーは携帯電話からE-iSERVにメールを送ると取得できます。

チェック

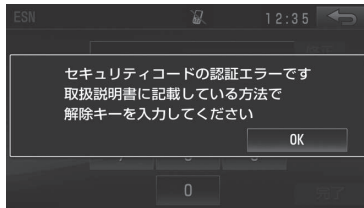
- 1 本機能はNTT docomo、au、SoftBankの3キャリアに対応しています。(一部の携帯電話やドメインには対応していません。) 対応機種の詳細は、ECLIPSE ホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「FAQ」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご覧ください。
- 1 携帯電話以外 (パソコンなど) から送信されたメールや、ファイルが添付されているメール (デコメールやHTMLメールなど) には対応していません。
- 1 携帯電話がE-iSERV (esn_admin@eismail.ten.fujitsu.com) からのメールを受信できるよう設定しておいてください。

1 携帯電話で、2次元バーコードを読み取り、メーラーを立ち上げる。

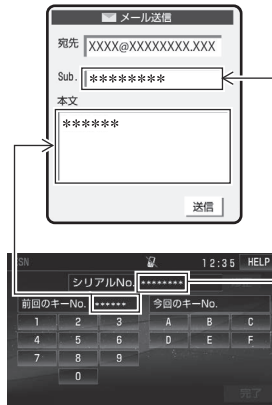
● 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開していません。製品に同梱されている「取扱説明書」の47ページを参照してください。

● 携帯電話にメール作成画面が表示されます。

2 **OK** にタッチ。



3 メールタイトルにシリアルNo. (8桁)、本文に前回のキー No. (6桁) を入力する。

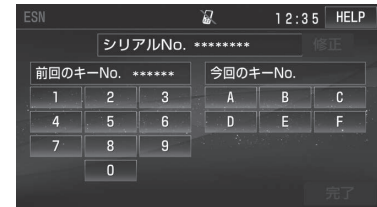


- シリアルNo.や前回のキー No.以外の文字を入力すると、エラーメールが返信されます。
- 解除キーが取得できない場合、**HELP** を長押しします。
【認証に失敗したとき】(→P.47)

4 メールを送信する。

- 今回のキー No.が記載されたメールが、E-iSERVより返信されます。

5 今回のキー No.を入力し、**完了** にタッチ。



■ 認証に失敗したとき

"認証に失敗しました 本機を操作することができません 解除方法については取扱説明書をご覧ください"のメッセージが表示され、操作できなくなります。

この場合、お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口 (通話料無料 0120-022210) までご連絡ください。

📌 ワンポイント

- メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。
- E-iSERVのメンテナンス等サービスに関する情報は、ホームページをご覧ください。
<http://www.e-iserv.jp/top/index.html>
- ESNでは、解除コード取得の際、お客様から送られたメールや個人情報は厳重に管理していますが、警察からの捜査協力依頼があった場合は、個人情報を提供することがあります。

ESNの設定を解除する

チェック

ESNを解除した場合、起動時認証も解除されます。起動時認証のみを解除したい場合は、「ESNの設定を変更する」(→P.48)をご覧ください。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **共通設定** にタッチ。
- 4 **ESN設定** にタッチ。
- 5 **セキュリティ解除** にタッチ。



- 6 暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。



- 7 **はい** にタッチ。

ESNの設定を変更する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **共通設定** にタッチ。
- 4 **ESN設定** にタッチ。
- 5 インジケータ、起動時認証の **ON**、または **OFF** の設定を変更する。



6. 設定を初期化する

共通設定を初期化する

次の項目を初期化します。

- ・ BEEP音通知 (→P.32)
- ・ テーマカラー切替 (→P.35)
- ・ LEDスイッチ照明設定 (→P.31)
- ・ マルチウィンドウ設定 (→P.39)
- ・ ラジオアンテナ (→P.129)

チェック

- 1 初期化された内容は元に戻すことができません。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **共通設定** にタッチ。

4 **初期状態** にタッチ。



5 **はい** にタッチ。



6. 設定を初期化する

個人情報

次の項目を初期化します。

項目	初期化される内容
メンテナンス	・ 各種項目・自動通知設定 ・ 販売店の設定
メモリ地点	・ 登録したメモリ地点 ・ 登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶された地点
走行履歴	保存した走行履歴
カンタン初期設定	カンタン初期設定開始画面の再表示設定
メニュー画面	カスタムバーの設定
ルート学習	ルート学習の設定
周辺施設表示	設定したジャンル
一時停止案内	一時停止案内の設定
学校存在案内	学校存在案内の設定
ナビ補正	現在地修正
車両情報	設定した車両情報
オーディオソース	選択したオーディオソース
カバーアート	設定したカバーアート表示の切り替え

項目	初期化される内容
フリックによるオーディオ操作	・ 映像全画面でのフリック操作 ・ 説明メッセージの再表示設定
地上デジタルTV放送	・ プリセットスイッチに記憶したチャンネル ・ 地域の設定
Bluetooth Audio	Bluetooth Audioの設定情報
DS	DSソフトの情報
ハンズフリー	・ 登録した電話帳データ ・ 発信履歴および着信履歴 ・ 登録した携帯電話の情報 ・ ロックNo.の設定 ・ ハンズフリー関連の設定、編集項目
Wi-Fi	Wi-Fiの設定
オープニング画面	オープニング画面の設定
VICS割込設定	走行履歴情報アップロードの設定
オンデマンドVICS	オンデマンドVICS設定

項目	初期化される内容
エコナビ情報機能	・ 燃費設定 ・ 燃費履歴 ・ 計測期間 ・ エコ運転評価履歴 ・ 走行距離 ・ エコドライブインフォメーションの設定
ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ設定

🔍 チェック

- ℹ 初期化された内容は元に戻すことができません。
- ℹ 初期化中は、オーディオの音声が停止します。
- ℹ Bluetooth 機能を使用している場合、Bluetooth接続を解除します。

1 **-MENU-** を押す。

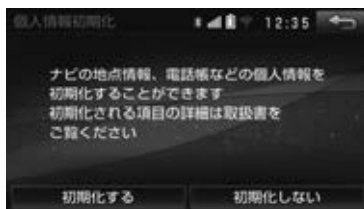
2 **設定・編集** にタッチ。

3 **共通設定** にタッチ。

4 **個人情報初期化** にタッチ。



5 **初期化する** にタッチ。



6 **はい** にタッチ。



ナビをお使いになる前に

- 1 地図データベースに情報が無い場合、各種表示や各種検索、ルート案内などができません。
- 1 探索されるルートは目的地周辺までの参考です。必ずしも最短のルートや渋滞していないルートではありません。
- 1 一度探索されたルートと別のルートを再探索できますが、周囲の状況によって、再探索されなかったり同じルートが探索されることがあります。
- 1 各種表示やルート案内などは、実際と異なったり、周囲の状況によって表示や案内がされない場合があります。
- 1 所要時間は、VICS情報や渋滞統計データを考慮した時刻ではありません。設定した平均車速から計算しているため、走行条件などにより多少の誤差が生じる場合があります。
- 1 各種拡大図案内や音声案内などは、周囲の状況により案内されなかったり異なる場合があります。また、案内のタイミングがずれるなど誤った案内が行われることがあります。

現在地を表示する

1

現在地 を押す。

現在地付近の地名



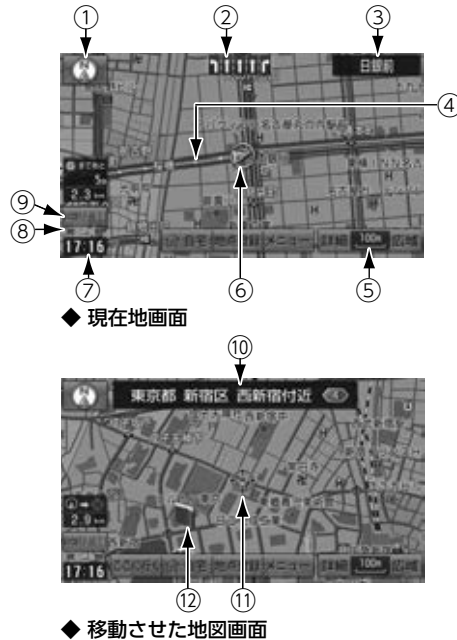
- 1 現在地画面で、もう一度 **現在地** を押すと、現在地付近の地名が表示されます。
- 1 現在地が道路上の場合、路線名・路線番号が表示される場合があります。(25m~200mスケール図の場合)

ワンポイント

- 1 取り付け後やバッテリーを交換したあとは、実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されていることがありますが、しばらく走行すると自動で修正されます。数分間走行しても自動で修正されないときは、安全な場所に停車して、現在地の修正を行ってください。(→P.318)

地図画面の見方

地図表示には現在地画面と移動させた地図画面があります。





番号	表示	内容
①	方位マーク	<ul style="list-style-type: none"> 地図に方角を表示 地図の向きを切り替え (→P.56)
②	交差点の車線	交差点の車線を表示

番号	表示	内容
③	名称	状況により次の名称を表示 <ul style="list-style-type: none"> 交差点 走行している道路、または路線番号 高速道路走行時：サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ・ジャンクションの方面
④	走行履歴	過去に走行した道路上に点を表示 <ul style="list-style-type: none"> 走行履歴は非表示にできません。(→P.58)
⑤	スケール	地図の縮尺を表示
⑥	自車位置マーク	現在位置と車が向いている方向を表示
⑦	時計	現在の時刻を表示 <ul style="list-style-type: none"> 時計を表示する／しないを切り替えることができます。(→P.118)
⑧	GPS マーク	GPS衛星から発信される位置情報の受信状態や測位状態を次のように色分けして表示 <ul style="list-style-type: none"> 青色：良好（緯度・経度・高度の3次元測位） 黄色：不良（緯度・経度の2次元測位） 赤色：受信不可（測位不可）
⑨	VICSタイムスタンプ	VICS情報が提供された時刻を表示 <ul style="list-style-type: none"> VICS情報の表示については、「地図情報（レベル3）について」(→P.114)をご覧ください。
⑩	カーソル位置地名	カーソル位置の地名を約6秒間表示
⑪	カーソルマーク	検索した地図や移動させた地図の中心を表示 <ul style="list-style-type: none"> 地図に直接タッチすることで地図を動かせます。
⑫	立体ランドマーク	施設を立体的なマークで表示



1. 地図の見方と操作

ワンポイント

- 一方通行マークの表示を【する】に設定 (→ P.118) している場合、50mスケール以下の地図で一方通行を  で表示します。
- 市街図を表示している場合、 は常時表示されます。
- 地図上に表示される道路の色や施設マークについては、巻末の「[VICS マーク一覧]」、「施設表示の凡例」をご覧ください。


地図を動かす



現在地からの直線距離を表示

- 地図にタッチすると、タッチした地点が地図の中心となるように動きます。
- 地図スライド操作を【しない】に設定 (→ P.118) し、パーキングブレーキをかけている場合、タッチし続けると連続して地図が動きます。
- 地図の移動後、カーソル位置の地名が約6秒間、画面に表示されます。地名表示の設定は変更できます。(→P.118)
- カーソル位置が道路上にある場合、路線名・路線番号が表示される場合があります。(50m～200mスケール図の場合)

ワンポイント

- 地図を動かした状態で走行しても、地図は現在地に戻りません。 を押してください。
- 地図を移動させた場合は、地図向きの切り替え (→P.56) ができないことがあります。

フリック操作で動かす

1 地図上にタッチし、フリック。

- 指を払った方向に地図が移動します。
- 地図が移動する量は、払う速度により変化し、自動で動きが止まります。
- 地図が移動しているときに画面にタッチして止めることもできます。

ワンポイント

- 地図スライド操作を【する】に設定 (→ P.118) している場合、フリック操作で地図を動かすことができます。
- 走行中や地図を3D表示しているときは、フリック操作で地図を動かすことができません。

地図の縮尺を切り替える

地図を次の範囲で切り替えることができます。

縮尺	スケール表示
1/2500	25m
1/5000	50m
1/1万	100m
1/2万	200m
1/4万	400m
1/8万	800m
1/16万	1.6k
1/32万	3k
1/64万	7k
1/128万	13k
1/256万	26k
1/512万	50k
1/1024万	100k
1/2048万	200k

- 1 **広域**、または **詳細** にタッチ。



- 1 タッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。また、停車中にパーキングブレーキをかけている場合、約1秒以上タッチし続けると、連続で切り替わります。
- 1 停車中にパーキングブレーキをかけている場合、**広域**、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。



スケールバー

縮尺切り替えメッセージの表示

縮尺を切り替えたときに、メッセージが表示されることがあります。

縮尺切り替えメッセージ



地図の向きを切り替える

次の向きで地図を表示できます。

1 ノースアップ表示

地図の向き：北を上にして固定
自車位置マークの位置：画面中央



1 ヘディングアップ表示

地図の向き：進行方向が上になるように回転
自車位置マークの位置：画面中央より下



チェック

1 3D表示 (→P.58) にしている場合や、地図を移動 (→P.54) させている場合は、地図向きを切り替えることはできません。

1 (または) にタッチ。



市街図を表示する

市街図が収録されている地域では25mスケール図と50mスケール図の市街図表示に切り替えることができます。



市街図に切り替える

1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図** にタッチ。



市街図の縮尺を切り替える

- 1 **広域**、または **詳細** にタッチ。



ワンポイント

- | 市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動で解除されます。
- | 走行中、市街図で地図の移動はできません。
- | 収録されている市街図については「市街図収録都市リスト」(→P.361)をご覧ください。

市街図を解除する

- 1 50mスケールの市街図を表示させているときに、**広域** にタッチ。



走行履歴を表示する

走行した道路の履歴を点で表示できます。



走行履歴をオレンジ色の点線で表示

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **表示変更** にタッチ。



- 4 走行履歴の **表示** にタッチ。



ワンポイント

- | 25m~50kmスケール図の地図に約1000kmまでの走行履歴を表示できます。保存できる距離を超えて走行した場合は、古い履歴から削除されます。

走行履歴の表示を解除する

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **表示変更** にタッチ。
- 4 走行履歴の **解除** にタッチ。



5 **はい** にタッチ。

- 1 **はい** : 保存している走行履歴を消去して、表示も解除
- 1 **いいえ** : 保存している走行履歴はそのまま保存し、表示のみ解除

3D表示の設定をする

ヘッドアップ表示 (→P.56) の地図が立体的に表示されます。

3D表示に切り替える

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **表示変更** にタッチ。
- 4 **地図表示** にタッチ。



5 **3D** にタッチ。



ワンポイント

1 3D表示にした場合の角度を調整できます。
(→P.118)

2D表示に戻す

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。



4 **地図表示** にタッチ。



5 **2D** にタッチ。



施設マークを表示する

📍、または📍マークから半径約10km以内にあるお好みの施設マーク（コンビニやガソリンスタンドなど）を最大200件表示できます。



◆施設表示

🏠 チェック

- Wi-Fiを使って施設情報を本機に追加できます。追加方法については「施設情報をナビに追加する」(→P.267)をご覧ください。

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。



4 **周辺施設** にタッチ。



5 表示させる施設にタッチし、**表示** にタッチ。



- 表示したい施設が他にある場合は、**その他施設を表示** にタッチすると施設のリストが表示されるので、表示したい施設にタッチします。
- 最大7つまで選択できます。
- もう一度施設にタッチすると、選んだ施設マークが解除されます。
- **解除** : 施設マークを地図から消す

施設の情報を見る

1 施設マークにタッチ。

- 1 同じ建物に複数の施設がある場合、施設マークにタッチするごとに、施設名称が切り替わります。

2 **情報** にタッチ。



- 1 Wi-Fi経由で追加した施設（→P.267）の場合、**詳細情報を見る** にタッチすると施設の詳細情報を確認できます。



2. 目的地を探す

50音で探す

施設名称や地名から、地図を呼び出せます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **50音** にタッチ。
- 4 施設名称や地名を入力して、**検索** にタッチ。

- 1 **入力切替** にタッチすると、携帯電話やスマートフォンと同じ方法で入力できます。



もう一度タッチすると、50音入力画面へ切り替わる



- 5 施設名称または地名にタッチ。



- 1 同一名称の施設が複数ある場合は、**エリアで絞る** (→P.62)、または**ジャンルで絞る** (→P.63) にタッチすることで、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- 1 チェーン店など同じ名称の施設が複数ある場合は、施設名称の右側に検索された件数が表示されます。施設名称にタッチすると、まとめて表示されたリストを見ることができます。
- 1 地図が表示されてからの操作は、「**目的地を設定して案内を始める**」(→P.71) をご覧ください。

エリアで絞る

住所を指定して、施設名称または地名を絞り込みます。

- 1 **エリアで絞る** にタッチ。
- 2 都道府県、市区町村の順にタッチ。



- 1 **現在地周辺** : 現在地の周辺で探す

- 3 絞り込まれたリストから、表示させる施設名称または地名にタッチ。

ジャンルで絞る

施設のジャンルを指定して、施設を絞り込みます。

- 1 **ジャンルで絞る** にタッチ。
- 2 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。



ワンポイント

- 1 **ジャンルで絞る** で施設を絞り込んだ後、**エリアで絞る** でさらに絞り込むことができます。

住所で探す

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **住所** にタッチ。
- 4 住所を選択。
(都道府県→市区町村→詳細な住所→丁目(字)の順)



- 1 詳細な住所がわからない場合は、**〇〇主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

- 5 番地を入力して、**検索** にタッチ。

1文字ずつ修正



- 1 入力した番地に、該当する住所がない場合は、その丁目(字)の広域図を表示します。
- 1 **周辺住所** にタッチすると、番地リストから詳細住所を選択できます。



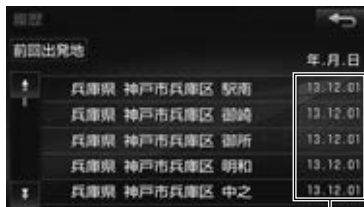
- 1 リストの一番上の住所を右の地図画面上にカーソルで表示します。リストを切り替えると、地図画面のカーソル位置も移動します。
- 1 地図が表示されてからの操作は、「**目的地を設定して案内を始める**」(→P.71)をご覧ください。

2.目的地を探す

履歴で探す

過去に目的地設定した履歴（100件）から地図を呼び出せます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **目的地履歴** にタッチ。
- 4 履歴にタッチ。



前回目的地に設定した日付

- 1 **前回出発地**：前回の出発地点の地図を表示
- 1 地図が表示されてからの操作は、「目的地を設定して案内を始める」(→P.71)をご覧ください。

ワンポイント

- 1 自宅は、目的地履歴に記憶されません。
- 1 目的地履歴は削除できます。削除方法については「目的地履歴を消す」(→P.109)をご覧ください。

電話番号で探す

電話番号を入力すると、周辺の地図またはその局番を使用している地域の地図を呼び出せます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **電話番号** にタッチ。

- 4 市外局番から電話番号を入力して、**検索** にタッチ。



- 1 **住所一覧** : 市内局番までを入力して地図を呼び出した場合に住所を絞りこむ



- 1 住所一覧で地名を選択すると **○○主要部** が表示されたリストが表示されることがあります。タッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

- 1 **住所一覧** から番地を入力して検索できない場合は **周辺住所** が表示されて、詳細な住所を検索できます。

- 1 同じ電話番号で複数の地点がある場合は施設名称にタッチ。



- 1 地図データに収録された「個人宅」の電話番号を入力した場合は名字を入力します。



- 1 地図が表示されてからの操作は、「**目的地を設定して案内を始める**」(→P.71) をご覧ください。

ワンポイント

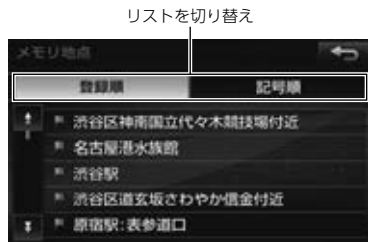
- 1 同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
- 1 一般情報誌などに記載されているデパートの美術館・アミューズメントパーク・ホールなどの電話番号は、実際の場所と問い合わせ先や管理会社の場所が離れていることがあります。この場合、問い合わせ先や管理会社の電話番号で検索すると、実際の場所と違う地図が表示されます。
- 1 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 1 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。
- 1 収録されていない電話番号を入力して地図を表示し、メモリ地点として登録した地点は、最大400件記憶され、次に同じ番号を入力すると記憶された地点の地図が表示されます。

2.目的地を探す

メモリ地点から探す

メモリ地点をあらかじめ登録(→P.96)しておくと、メモリ地点から目的地を設定できます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **メモリ地点** にタッチ。
- 4 目的地に設定したいメモリ地点にタッチ。



- 1 地図が表示されてからの操作は、「目的地を設定して案内を始める」(→P.71)をご覧ください。

施設／ジャンルで探す

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **ジャンル** にタッチ。
- 4 施設のジャンルを順にタッチ。



- 1 **現在地周辺** : 現在地付近の施設を絞り込む
- 1 **エリアで絞る** : エリアを指定して施設を絞り込む(→P.62)

5 施設名称にタッチ。

リストを切り替え



- 1 地図が表示されてからの操作は、「目的地を設定して案内を始める」(→P.71)をご覧ください。

最後に表示していた地図を呼び出す

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **先程の地図** にタッチ。

1 地図が表示されてからの操作は、「目的地を設定して案内を始める」(→P.71)をご覧ください。

マップコードで探す

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **マップコード** にタッチ。
- 4 マップコードを入力し、**検索** にタッチ。



1 地図が表示されてからの操作は、「目的地を設定して案内を始める」(→P.71)をご覧ください。

ワンポイント

1 マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、数字の入力により場所を特定することができるものです。住所では特定できないところ(景勝地や山、川、海など)もマップコードで位置を特定できます。マップコードについての詳細は、ホームページをご覧ください。
(URL <http://www.e-mapcode.com>)



2. 目的地を探す

追加データから探す

Wi-Fiを使ってダウンロードした施設を、目的地に設定できます。

チェック

事前に施設データをダウンロードして本機に追加する必要があります。(→P.267)

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 **追加施設** にタッチ。
- 4 施設ジャンルにタッチ。



- 5 施設名称にタッチ。



現在地からの方位
現在地からの距離

周辺の施設を探す

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **周辺検索** にタッチ。



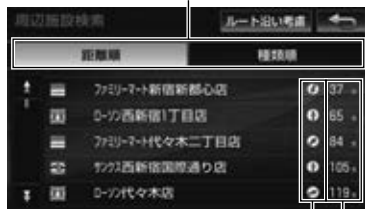
- 4 施設ジャンルを選んでタッチ。



- 1 表示したい施設が他にある場合は、**その他施設を探す** にタッチすると施設のリストが表示されるので、表示したい施設にタッチします。

- 5 施設を選んでタッチ。

リストを切り替え



現在地からの方位
現在地からの距離



- 1 **リスト表示** : もう一度手順5の画面に戻る
- 1 地図が表示されてからの操作は、「目的地を設定して案内を始める」(→P.71) をご覧ください。

自宅に帰る

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **自宅** にタッチ。
- 3 **はい** にタッチ。



- 1 自宅が登録されていない場合は、**自宅** にタッチすると、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると自宅を登録できます。(→P.95)
- 1 自宅へのルート案内中に地図画面で**自宅案内中** → **はい** の順にタッチすると、自宅へのルート案内を終了します。

2.目的地を探す

提携駐車場を探す

検索した施設と提携している駐車場を表示できます。

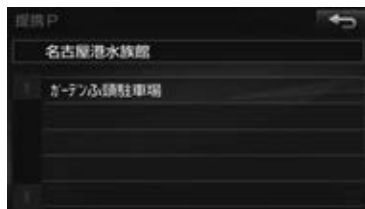
🏠 チェック

- 1 検索した施設に、提携駐車場がある場合のみ検索できます。
- 1 検索できる提携駐車場は、施設を中心とした半径2km以内で、50件までです。

1 提携P にタッチ。



2 駐車場名称にタッチ。



📌 ワンポイント

- 1 設定した車の情報 (→P.118) から該当する提携駐車場を検索します。車の寸法が入力されていない場合は、提携する駐車場がすべて検索されます。

3. 目的地を決めてルートを探索する

目的地を設定して案内を始める

- 1 目的地の地図を表示し、**ここに行く** にタッチ。



- 1 地図は次の方法で表示できます。

- ・ 50音 (→P.62)
- ・ 住所 (→P.63)
- ・ 目的地履歴 (→P.64)
- ・ 電話番号 (→P.64)
- ・ メモリ地点 (→P.66)
- ・ ジャンル (→P.66)
- ・ 先程の地図 (→P.67)
- ・ マップコード (→P.67)
- ・ 追加施設 (→P.68)
- ・ 周辺の施設を探す (→P.69)
- ・ 地図を動かす (→P.54)

- 1 **↑** : 矢印の方向に地図が動く
- 1 検索した施設に情報がある場合、**情報** にタッチして施設情報を表示します。



- 1 目的地を追加したい場合は、**ここを追加** にタッチ。



- 1 高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。**設定する**、または**他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



- 2 全ルート画面で、**案内開始** にタッチ。

- 1 ルートを変更したいときは、「**全ルートを再表示する**」(→P.81) をご覧ください。

- 1 **現在地** を押す、または走行して約3秒以上操作しなかった場合は、自動で目的地案内が始まります。
- 1 **案内開始** に約3秒以上タッチすると、探索されたルートでのデモ走行を見ることができます。

ワンポイント

- 1 デモ走行の速度を速くしたい場合は、**広域**、遅くしたい場合は **詳細** にタッチしてください。
- 1 デモ走行中に **現在地** を押すとデモ走行を終了し、目的地案内を開始します。
- 1 自宅が登録されている場合、**自宅** → **はい** の順にタッチするとデモ走行を終了し、自宅へのルート案内を始めます。
- 1 目的地を設定した地図の地点は、自動で記憶されます。(最大100件) 100件を超えたときは、古いものから自動で削除されます。

3. 目的地を決めてルートを探索する

ルート探索について

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けています。
- 目的地までの距離が近すぎる場合は、ルートは探索されません。
- 5000kmを超えるルートは探索できません。
- 受信したVICS情報を利用して交通状況を考慮したルートを探索することができます。(→P.118)
- 目的地や出発地の周辺は、細街路(→P.92)を探索することがあります。
- ルート探索が終了すると、全ルート画面(現在地から目的地までの全体ルート)が表示されます。「全ルート画面について」(→P.72)をご覧ください。

ワンポイント

- 高速道路や有料道路のインターチェンジ・サービスエリア・パーキングエリアなどでルートを探ると、周辺の一般道から案内を開始するルートが探索されることがあります。この場合は、ルートを再探索(→P.82)してください。

全ルート画面について



番号	表示/ タッチスイッチ	機能
①	情報	目的地までのルート情報(案内道路情報)を表示(→P.74)
②	インターチェンジ 名称	有料道路を通る場合、一番最初に入るインターチェンジの名称と一番最後に出るインターチェンジの名称を表示 ・ タッチすると、乗り降りするインターチェンジを変更できます。(→P.75)
③	有料道路距離	目的地までの有料道路の距離を表示
④	料金案内	目的地までの有料道路の料金を表示 ・ 料金が特定できない場合は、「不明」または「〇〇〇円以上」と表示されます。 ・ 全ルートを再表示(→P.81)した場合は、残りの料金が表示されます。
⑤	距離	最終目的地までの距離を表示

番号	表示/ タッチスイッチ	機能
⑥	案内開始 (案内開始後は、 案内にもどる)	目的地案内 (→P.71)、またはデモ走行 (→P.71) を開始
⑦	ルート変更	探索条件を変更 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地の追加 (→P.76) ・ 目的地の消去 (→P.80) ・ 目的地の並べ替え (→P.78) ・ 目的地ごとにルート条件を変更 (→P.74) ・ インターチェンジを指定 (→P.75) ・ 探索ルートを変更 (→P.82) ・ スマートICを考慮したルートを探索
⑧	5ルート	探索されたルートを別のルートに変更 (→P.74) <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地案内開始後もう一度全ルート画面を表示させた場合、表示されません。
⑨	ICマーク	有料道路を通る場合、一番最初に入るインターチェンジと、一番最後に出るインターチェンジを表示
⑩	ルート	目的地までのルートを表示

⑩ ワンポイント

- 1 料金は設定した車の情報 (→P.118) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 1 高速道路上に目的地を設定した場合や高速道路走行中にルートを変更した場合は、料金案内は行いません。

季節規制区間探索時のメッセージについて

季節規制区間を含むルートが探索された場合、メッセージを表示します。



3. 目的地を決めてルートを探索する

ルートを確認して選ぶ

推奨ルートを含めた5つのルートから選ぶことができます。

🏠 チェック

- 1 次の場合は、5ルートを表示できません。
 - ・ 目的地が2カ所以上設定されている場合
 - ・ インターチェンジが指定されている場合
 - ・ 目的地案内が開始されたあと

- 1 全ルート画面で、**5ルート** にタッチ。



- 2 ルート名称にタッチ。



ルート名称	特長
推奨	時間・距離・道路形状等、総合的に最も推奨するルートを探索
有料優先	なるべく有料道路を優先的に利用するルートを探索
一般優先	有料道路をなるべく利用しないルートを探索
距離優先	距離の短いルートを探索
別ルート	推奨で探索されたルートと違う道を利用するルートを探索

- 1 **全行程** : 5つのルートの距離・料金・所要時間、エコ度を表示

📍 ワンポイント

- 1 渋滞考慮探索 (→P.118) が【する】に設定されている場合は、渋滞を考慮したルートになります。
- 1 料金は設定した車の情報 (→P.118) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

ルート情報 (案内道路情報) の表示

目的地までのルートをインターチェンジ・ジャンクション・道路の種類などで分割し、それぞれの区間の距離・有料道路料金・各地点の通過予想時刻を一覧で表示できます。



◆ ルート情報画面

- 1 全ルート画面で、**情報** にタッチ。



- 1 **地図** : 設定したそれぞれの地点の周辺地図を表示

📍 ワンポイント

- 1 料金は設定した車の情報 (→P.118) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

インターチェンジを指定する

探索ルートが有料道路を通る場合、乗り降りするインターチェンジを指定できます。

- 1 全ルート画面で、変更するインターチェンジにタッチ。



- 2 指定するインターチェンジ名称にタッチ。



- 1 **↑**・**↓**・**→**・**←** : インターチェンジ (路線変更含む) を切り替え

- 1 指定したインターチェンジに出口 (または入口) が2か所以上ある場合、**次候補** にタッチしてインターチェンジを指定し、**セット** にタッチします。

- 3 **案内開始** にタッチ。



- n 次の手順でも操作できます

-MENU- → **設定・編集** → **ルート変更**

→ (変更したいインターチェンジを選ぶ) → (インターチェンジを指定) → **案内開始**

ワンポイント

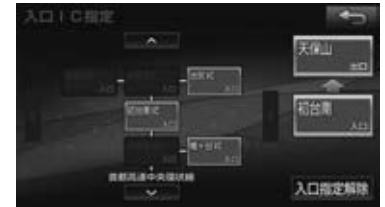
- 1 指定できるインターチェンジは入口、出口とも1カ所です。
- 1 スマートICを選択することもできます。この場合、ETC車載器の取付の有無や通行可能な車・時間などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページでご確認ください。

インターチェンジ指定を解除する

- 1 全ルート画面 (→P.81) で、変更するインターチェンジにタッチ。



- 2 **入口指定解除** (または**出口指定解除**) にタッチ。



- 3 **案内開始** にタッチ。



3. 目的地を決めてルートを探索する

n 次の手順でも操作できます

-MENU- → 設定・編集 → ルート変更

→ 解除したいインターチェンジを指定→

入口指定解除 (または

出口指定解除) → 案内開始

目的地を追加する

目的地は最大5ヶ所まで設定できます。

1 -MENU- を押す。

2 設定・編集 にタッチ。

3 ルート変更 にタッチ。

4 目的地の追加 にタッチ。



5 目的地設定画面から地図を表示し、**ここを追加** にタッチ。



1 目的地は次の方法で探せます。

- ・ 50音 (→P.62)
- ・ 住所 (→P.63)
- ・ 目的地履歴 (→P.64)
- ・ 電話番号 (→P.64)
- ・ メモリ地点 (→P.66)
- ・ ジャンル (→P.66)
- ・ 先程の地図 (→P.67)
- ・ マップコード (→P.67)
- ・ 追加施設 (→P.68)
- ・ 地図を動かす (→P.54)

1 現在地が高速道路や橋、トンネルなどの付近の場合、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。表示にしたがって、選択します。



6 案内開始 にタッチ。



n 次の手順でも操作できます

- I **現在地** → **メニュー** → **表示変更** →
全ルート表示 → **ルート変更** →
目的地の追加 → 地図を表示 →
ここを追加 → **案内開始**
- I **MENU** → **目的地** → 地図を表示 →
ここを追加 → **案内開始**

⑩ ワンポイント

- I 追加された目的地は、中間目的地として設定されます。追加した目的地を並べ替えることもできます。(→P.78)
- I インターチェンジ(→P.75)が指定されている場合に目的地を追加すると、指定されている地点によっては、インターチェンジの指定が解除されることがあります。



3. 目的地を決めてルートを探る

目的地を並べ替える

2つ以上の目的地を並べ替えて再探索することができます。

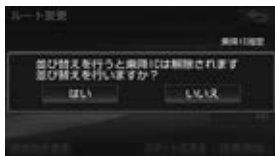
1 全ルート画面で **ルート変更** にタッチ。

2 **目的地の並び替え** にタッチ。



1 インターチェンジが指定されている場合は、次の確認画面が表示されます。

- ・ **はい** : 解除して、並べ替える
- ・ **いいえ** : 並べ替えを中止してもとの画面に戻る



3 行きたい順に目的地を選択して **完了** にタッチ。



1 タッチした目的地の左側に、新しい順番が表示されます。

1 すでに選ばれている目的地にもう一度タッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。

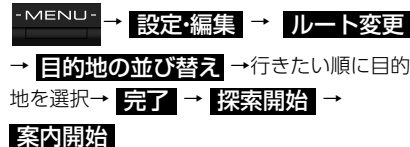
4 **探索開始** にタッチ。



5 **案内開始** にタッチ。



n 次の手順でも操作できます



到着までの所要時間／残距離表示を切り替える

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にある場合）で、目的地が2カ所以上設定されている場合、残距離表示を切り替えることができます。また、到着までの所要時間も同時に切り替えることができます。

1 所要時間／残距離表示にタッチ。

- ルートをからはずれた場合は目的地の方向と直線距離を表示します。



所要時間／残距離表示

2 表示させたい目的地までの所要時間／残距離表示にタッチ。



- ◀ : もとの表示に戻る

ワンポイント

- 状況により目的地までの残距離表示が異なります。
 - ・現在地がルート上にある場合：表示されているルートを通っての距離
 - ・ルートからはずれた場合：直線距離
- 所要時間は、あくまでも予測所要時間です。実際の道路状況により異なることがあります。



3. 目的地を決めてルートを探索する

目的地を消す

1 **-MENU-** を押す。

2 **目的地** にタッチ。

3 **目的地消去** にタッチ。



1 目的地が1ヵ所のみ設定されていた場合は、手順5の画面が表示されます。

4 消したい目的地にタッチ。



全ての目的地を消す

5 **はい** にタッチ。



6 **案内開始** にタッチ。



n 次の手順でも操作できます

- 1 **-MENU-** → **設定・編集** → **ルート変更** → **目的地の消去** → (消したい目的地を選択) → **はい** → **案内開始**
- 1 **現在地** → **メニュー** → **表示変更** → **全ルート表示** → **ルート変更** → **目的地の消去** → (消したい目的地を選択) → **はい** → **案内開始**

全ルートを再表示する

出発地から目的地までの全ルートを表示できません。

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。



4 **全ルート表示** にタッチ。



- 1 再表示された全ルートの料金表示は、現在地から目的地までの残りの料金です。
- 1 **案内にもどる** にタッチすると、全ルート画面表示が解除されます。全ルート画面の詳細については、「**全ルート画面について**」(→P.72) をご覧ください。

今の案内ルートから変えたいとき

次の方法でルートを再探索できます。

- 1 探索ルートの条件を変える (→P.74)
- 1 出入口のインターチェンジを変える (→P.75)
- 1 目的地を追加する (→P.76)
- 1 複数設定した目的地を並べ替える (→P.78)
- 1 目的地を消す (→P.80)



3. 目的地を決めてルートを探索する

ルートを再探索する

探索ルート条件を変える

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **再探索** にタッチ。



4 変えたい探索条件にタッチ。



タッチスイッチ	機能
推奨	現在地から次の目的地 ^{※1} の間で、時間・距離・道路形状等、総合的に最も推奨するルートを探索
有料優先	現在地から次の目的地 ^{※1} の間で、なるべく有料道路を優先的に利用するルートを探索
一般優先	現在地から次の目的地 ^{※1} の間で、有料道路をなるべく利用しないルートを探索
距離優先	現在地から次の目的地 ^{※1} の間で、距離の短いルートを探索
別ルート ^{※2}	現在地から次の目的地 ^{※1} の間で、現在選ばれているルートとは別のルートを探索
次のG消去	現在地から次の目的地を消去して探索

タッチスイッチ	機能
有料道から探索 ^{※3} 一般道から探索 ^{※3}	自車位置が一般道にある場合に、付近の有料道路を通るルートが探索されたとき、 一般道から探索 にタッチすると、一般道路を通るルートに変更(逆の場合は、 有料道から探索 にタッチ)
スマートIC考慮	スマートICを考慮したルートを探索

- ※1 現在地と次の目的地の間にインターチェンジが指定されている場合は、現在地から指定されているインターチェンジの間で、ルートが探索されます。
- ※2 5ルート同時表示(→P.74)から選んだ場合は、推奨ルートとは別のルートが探索されません。
- ※3 有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路がある場合のみ表示されます。

各区間の探索ルート条件を変える

各区間ごとに探索する条件を変えることができます。例えば、現在地から目的地1までは一般道路、目的地1から目的地2までは高速道路など、分けて設定できます。



1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。

4 **全ルート表示** にタッチ。



5 **ルート変更** にタッチ。



6 **探索条件変更** にタッチ。



7 各区間ごとの探索条件を選ぶ。



8 **探索開始** にタッチ。



9 **案内開始** にタッチ。



n 次の手順でも操作できます

-MENU- → **設定・編集** → **ルート変更**
 → **探索条件変更** → 各区間ごとに探索条件
 を選択 → **探索開始** → **案内開始**

自動再探索（ハイパールート）

ルートからはずれたときの状況により、次のいずれかで自動で再探索されます。

- ・ 周辺探索：もとのルートへ戻るルートを探査
- ・ 全ルート探索：現在地から目的地の間で、選ばれている条件でルートを探査（現在地と次の目的地の間にインターチェンジが指定されている場合は、現在地から指定されているインターチェンジの間で、ルートが探索されます。）

ワンポイント

- 1 目的地案内中にオンデマンドVICS情報を受信した場合、渋滞情報を考慮したルートが自動で再探索されます。



案内画面について

ルート案内をサポートするいくつかの画面をご紹介します。

案内画面の表示内容については、(→P.86)をご覧ください。

ハイウェイモード



高速道路走行時に渋滞情報や、サービスエリア・パーキングエリアの情報を表示



高速入り口 3D 拡大図



高速道路を走行するルート案内の場合、入り口に近づくると 3D で拡大表示



交差点拡大図



案内中に右左折対象の交差点が近づくると自動で拡大表示

難交差点拡大図

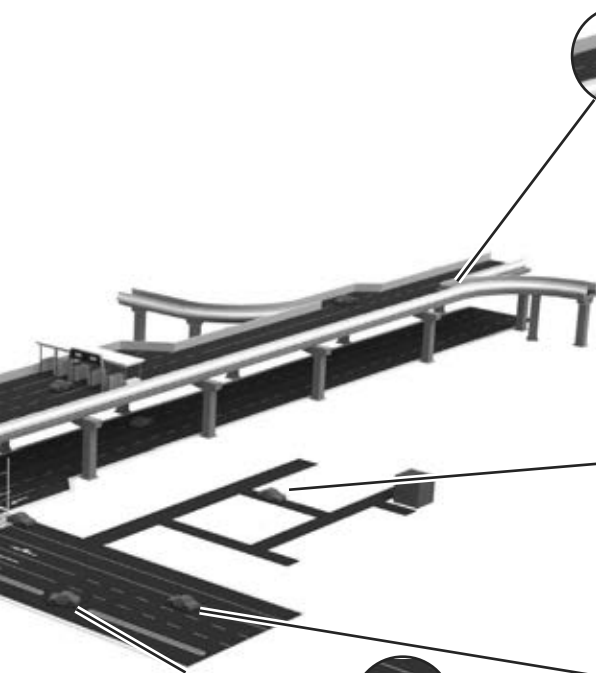


レーンが複雑な交差点を、拡大表示

3D 交差点拡大図



交差点を立体的に拡大表示



高速分岐案内



高速道路で、インターチェンジやジャンクションなどの分岐を拡大表示

市街図案内



市街地では、細かな道や建物のかたち、一方通行などがわかる詳細な地図を表示

側道案内



側道に入る必要があるルートを表示

ターンリスト



現在地から3つ先までの分岐する交差点・インターチェンジ・ジャンクションなどの名称、案内方向、距離などを表示

レーンリスト

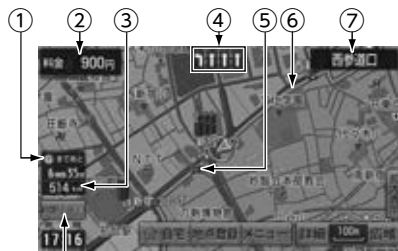


推奨レーンがある場合、700m手前から推奨レーンを表示



案内画面の見方





案内画面の表示方法については、「拡大図を解除する」(→P.91)をご覧ください。



⑧
◆ 通過する交差点



◆ 分岐する交差点 (交差点拡大図) ⑨

番号	表示	内容
①	所要時間／ 目的地方向 マーク	状況により次のマークを表示 n 所要時間 次の目的地へ到着するまでの所要時間を表示 ・ 所要時間については、「ナビ詳細設定を変更する」(→P.118)をご覧ください。 ・ 所要時間表示の切り替えについては、「到着までの所要時間／残距離表示を切り替える」(→P.79)をご覧ください。 n 目的地方向マーク  ルートからはずれた場合、目的地の方向を表示
②	料金案内	料金所に近づく、料金を画面表示と音声で案内 ・ 料金案内をする／しないを切り替えることができます。(→P.118)
③	残距離	現在地から次の目的地までの距離を表示 ・ ルートからはずれた場合は、直線距離を表示 ・ 残距離表示の切り替えについては、「到着までの所要時間／残距離表示を切り替える」(→P.79)をご覧ください。
④	交差点車線	推奨車線を青色で表示
⑤	案内ポイント	交差点案内を表示 ・  (赤色) … 交差点拡大図を表示 ・  … 信号機がある交差点の名称・レーンを表示 ・  (灰色) … レーンを表示
⑥	ルート	目的地までのルートを表示 ・ 案内ルートの線の色を変更できます。(→P.119)
⑦	交差点名称	次に案内する交差点の名称を表示


番号	表示	内容
⑧	VICSタイム スタンプ	ルート上（約10km以内）にVICS情報がある場合、 タイムスタンプの時刻を次のように色分けして表示 ・ 渋滞：赤色 ・ 混雑：橙色 ・ 規制：黄色 ・ 順調：白色
⑨	残距離	交差点までの距離を表示



ハイウェイモード画面の見方

目的地案内中、高速道路・都市高速・有料道路では自動でハイウェイモード画面が表示されます。



番号	表示/スイッチ	内容
①	道路名称	走行中の道路名称、または選んだ施設（サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ）のある道路名称を表示
②	施設名称	施設（サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ）の名称を表示
③	距離	現在地からの距離を表示
④	通過予想時刻	施設（サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ）の通過予想時刻を表示
⑤		表示されていない前後の施設を表示
⑥	現区間	サービスエリア、パーキングエリア、インターチェンジを選んだ場合に、現在地からのハイウェイモード画面に戻る

番号	表示/スイッチ	内容
⑦	設備マーク	選んだ施設（サービスエリア・パーキングエリア）にある設備を最大8つまで表示
⑧	VICSマーク・表示	VICSで受信した交通情報を表示 ・ VICSマークについては、「 VICSマーク一覧 」（→巻末）、VICS表示については「 地図情報（レベル3） 」について（→P.114）をご覧ください。

■ 設備マーク

マーク	内容	マーク	内容
	レストラン		F A X
	ドラッグストア		ショッピングコーナー
	仮眠施設		休憩所
	お風呂		スナックコーナー
	キャッシュコーナー		トイレ
	ハイウェイ情報ターミナル		ハイウェイオアシス
	郵便局・ポスト		スマートインターチェンジ

- ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

ハイウェイモード画面を解除する

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **表示変更** にタッチ。



- 4 **地図表示** にタッチ。



- 5 **高速略図解除** にタッチ。



- 1 ハイウェイモード画面を再表示する場合は、**高速略図表示** にタッチ。

ワンポイント

- 1 目的地案内中、出口インターチェンジ、分岐するジャンクション、サービスエリア、またはパーキングエリアの手前では、高速分岐模式図 (→P.90) が自動で表示され、ハイウェイモードが解除されます。
- 1 ターンリスト図 (→P.84) は、同時に表示できません。



レーンリスト図案内について

交差点の手前で走行する交差点の名称と車線のレーンリスト図を表示させることができます。案内ポイントの色によって交差点案内の方法が変わります。

- ・ 分岐する交差点の案内：赤色
- ・ 通過する交差点の案内：緑色→青色→橙色→灰色



青色：走行推奨レーン

ワンポイント

- Ⅰ 地図上の案内ポイントとレーンリスト図の案内ポイントは同じ色で表示されます。

レーンリスト図を表示する

- 1 **レーン表示** にタッチ。



- Ⅰ **レーン解除**：レーンリスト図を解除

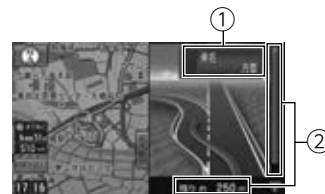
ワンポイント

- Ⅰ レーンリスト図を自動で表示するように設定できます。(→P.118)

高速分岐案内

高速道路を走行中、分岐点に近づくと、高速分岐モード図が自動で表示されます。

案内画面の表示方法については、「**拡大図を解除する**」(→P.91)をご覧ください。



- ① **分岐点名称表示**：インターチェンジの出口名称、ジャンクション、サービスエリア、またはパーキングエリアの名称を表示
- ② **残距離表示**：分岐点までの距離を表示

案内図を切り替える

自動表示を設定していない場合は、手動で切り替えることができます。

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **表示変更** にタッチ。



- 4 **地図表示** にタッチ。



- 5 表示したい案内図にタッチ。



- 1 **〇〇解除** : 各案内図を解除

ワンポイント

- 1 各案内図の自動表示設定は変更できません。(→P.118)

拡大図を解除する

- 1 **拡大解除** にタッチ。



- 1 **現在地**、または **拡大表示** : 拡大図を再表示

ワンポイント

- 1 各拡大図の自動表示設定は変更できません。(→P.118)



細街路の表示について

現在地周辺や目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）もルートが探索されます。



ワンポイント

- 細街路では、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は **---**（破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われず。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

ワンポイント

- フェリー航路を使用する全ルート画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、所要時間は、フェリー時間を含んでいます。

音声案内

案内地点に近づくと、自動で音声案内します。

<音声案内例>

- 交差点で曲がる時
「およそ700m先、〇〇を右方向です。」



「まもなく右方向です。」



「右方向です。」

- 高速道路で分岐点に近づいたとき
「およそ〇〇km先、〇〇方向、〇〇方面です。」
- 目的地の手前では
「まもなく目的地です。」



まもなく左方向です

- 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。

チェック

- もう一度音声案内を聞きたいときは、

現在地 を押します。

ワンポイント

- | 音声案内は目的地周辺までの案内をします。
- | 音声案内の音量は調節できます。(→P.32)
- | ナビ詳細設定で【する】に設定すると、音声案内されるものがあります。音声案内の例などの詳細はナビ詳細設定(→P.118)をご覧ください。

他モード時の案内について

ナビ画面から他のモードの画面に切り替えた場合でも音声案内を行います。

案内を中止する・再開する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **案内中止** にタッチ。



- 1 **案内再開** : 案内を再開
- 1 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。



案内ルート上にある周辺施設を探す

目的地を設定している時に、案内ルートを考慮した周辺施設のリストを表示できます。

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

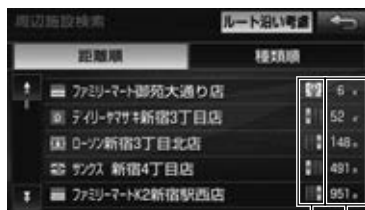
3 **周辺検索** にタッチ。



4 検索したい施設ジャンルにタッチ。



5 **ルート沿い考慮** にタッチ。



施設位置アイコン
現在地からの距離

↑ 施設までの距離とルートに対して左右、後ろのどの方向にあるかをアイコンで表示します。

5. 地点を登録する

メモリ地点について

メモリ地点を登録すると、次の設定ができます。

- ・地図にマークを表示
- ・地点に近づいたときに音が鳴るように設定 (→P.98)
- ・メモリ地点から目的地を設定 (→P.66)

自宅を登録する

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **メモリ地点** にタッチ。



4 自宅の **登録** にタッチ。



- l すでに自宅が登録されている場合、**はい** にタッチすると自宅を再登録できます。前に登録していた自宅は消去されます。

5 登録方法を選んでタッチ。



l 自宅は、次の方法で探せます。

- ・地図から登録：直前に表示していた地図を表示
- ・住所から登録 (→P.63)
- ・電話番号から登録 (→P.64)

6 **セット** にタッチ。



n 次の手順でも操作できます

-MENU- → **設定・編集** →

メモリ地点登録編集 → 自宅の **登録** →
登録方法を選択 → **セット**

5. 地点を登録する

自宅を消去する

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **メモリ地点** にタッチ。



4 自宅の **消去** にタッチ。



5 **はい** にタッチ。

メモリ地点を登録する

メモリ地点は最大400件登録できます。

地点を検索して登録する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。

4 メモリ地点の **登録** にタッチ。



5 地図の呼び出し方法を選んで、登録する。

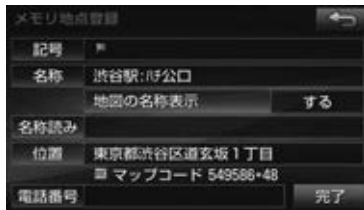


1 地図は次の方法で呼び出せます。

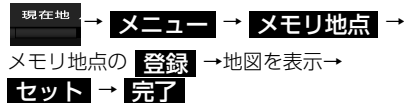
- ・ 50音から登録 (→P.62)
- ・ 住所から登録 (→P.63)
- ・ 履歴から登録 (→P.64)
- ・ 先程の地図から登録 (→P.67)
- ・ ジャンルから登録 (→P.66)
- ・ マップコードから登録 (→P.67)
- ・ 電話番号から登録 (→P.64)
- ・ 現在地周辺から登録：現在地を中心とした地図を表示

6 **セット** にタッチ。



7 **完了** にタッチ。

n 次の手順でも操作できます



現在地を地点登録する

1 **現在地** を押す。2 **地点登録** にタッチ。

- 1 現在地の位置に、メモリ地点が マークで表示されます。
- 1 お好みの位置に地図を動かして **地点登録** にタッチしても、メモリ地点を登録できます。

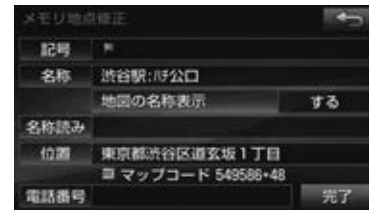
メモリ地点を修正する

1 **-MENU-** を押す。2 **設定・編集** にタッチ。3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。4 メモリ地点の **修正** にタッチ。

5 修正したい地点にタッチ。



6 修正・入力する。

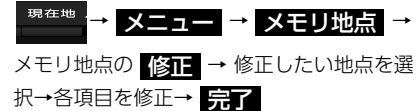


1 次の項目を修正できます。

- ・記号 (→P.98)
- ・名称 (→P.98)
- ・地図の名称表示 (→P.99)
- ・名称読み (→P.99)
- ・位置 (→P.99)
- ・電話番号 (→P.100)

7 **完了** にタッチ。

n 次の手順でも操作できます



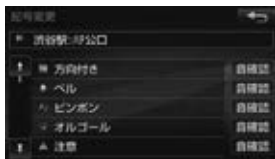
5. 地点を登録する

マークを変更する

- 1 **記号** にタッチ。
- 2 希望の記号にタッチ。



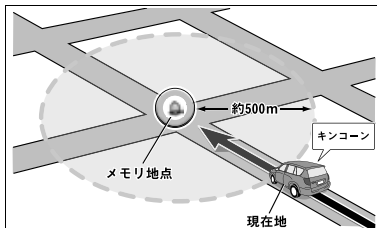
- 1 **記号なし** : マークを表示しない
- 1 **音声付き** : メモリ地点に約500mまで近づくとき音が鳴る



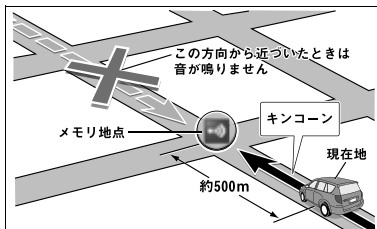
- 1 **音確認** : 音を試聴
- 1 **方向付き** : 設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づくとき音が鳴る



- 1 **↓**、**↓** で向きを調整し、**セット** にタッチ。



◆音声付き



◆方向付き

名称を入力する

- 1 **名称** にタッチ。
- 2 名称を入力し、**完了** にタッチ。



- 1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15)をご覧ください。

ワンポイント

- 1 入力できる文字数は最大12文字（半角24文字）です。

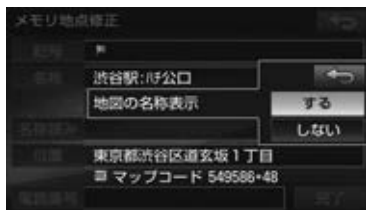
地図に名称を表示する



🏠 チェック

- 1 800mスケール図より詳細な地図で表示できます。

- 1 **地図の名称表示** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



📌 ワンポイント

- 1 地図に表示できる文字数は最大12文字（半角24文字）です。
- 1 名称は、地図上に青色で表示されます。

名称読みを入力する

- 1 **名称読み** にタッチ。
- 2 名称を入力し、**完了** にタッチ。
1文字ずつ修正



- 1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15)をご覧ください。

📌 ワンポイント

- 1 入力することができる文字数は半角カナのみで、最大24文字です。

位置を修正する

- 1 **位置** にタッチ。
- 2 **↑** で修正する位置に地図を動かして、**セット** にタッチ。



📌 ワンポイント

- 1 表示されている住所とマップコードも修正されます。

5. 地点を登録する

電話番号を入力する

- 1 **電話番号** にタッチ。
- 2 市外局番から電話番号を入力して **完了** にタッチ。

1文字ずつ修正



メモリ地点を消す

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。
- 4 メモリ地点の **消去** にタッチ。



- 5 消去する地点にタッチ。

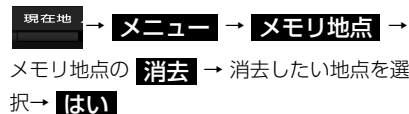
リストを切り替え

全てのメモリ地点を消去



- 6 **はい** にタッチ。

n 次の手順でも操作できます



MEMO



5. 地点を登録する

迂回メモリ地点について

迂回メモリ地点を登録しておくことで、登録した地点・エリアを迂回するルートを探索することができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっている場合などに便利です。

ワンポイント

- 1 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。迂回させたいときは、迂回地点を地図上に設定してください。

迂回メモリ地点を登録する

- 1 **メニュー** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。

- 4 迂回メモリの **登録** にタッチ。



- 5 地図の呼び出し方法を選んで、登録する地点の地図を表示する。



- 1 迂回メモリ地点は、次の方法で探せます。
 - ・ 50音から登録（→P.62）
 - ・ 住所から登録（→P.63）
 - ・ 履歴から登録（→P.64）
 - ・ 先程の地図から登録（→P.67）
 - ・ ジャンルから登録（→P.66）
 - ・ マップコードから登録（→P.67）
 - ・ 電話番号から登録（→P.64）
 - ・ 現在地周辺から登録：現在地を中心とし地図を表示

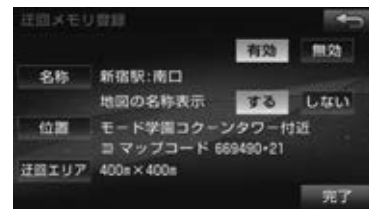
- 6 **セット** にタッチ。



- 7 **上**、または **下** で迂回範囲を設定し、**セット** にタッチ。



- 8 **完了** にタッチ。



- n 次の手順でも操作できます

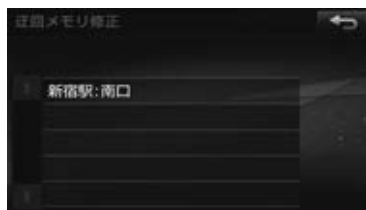
現在地 → **メニュー** → **メモリ地点** →
迂回メモリの **登録** → 地図を表示 → **セット**
→ 迂回範囲を設定 → **セット** → **完了**

迂回メモリ地点を修正する

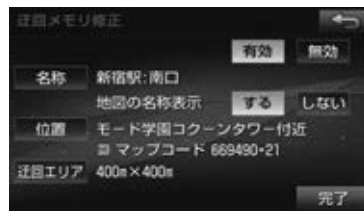
- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。
- 4 迂回メモリの **修正** にタッチ。



- 5 修正したい迂回メモリ地点にタッチ。



- 6 修正・入力する。



- 次の項目を修正・入力できます。
 - ・名称 (→P.98)
 - ・地図の名称表示 (→P.99)
 - ・位置 (→P.99)
 - ・迂回エリア (→P.102)

- 7 **完了** にタッチ。

n 次の手順でも操作できます

現在地 → **メニュー** → **メモリ地点** →
迂回メモリの **修正** → 修正したい迂回メモ
リを選択 → 修正 → **完了**

迂回メモリ地点を探索する

登録した地点を迂回するルートを探る、探索する／しないを設定できます。

有効 : 迂回するルートを探る

無効 : 迂回するルートを探らない



5. 地点を登録する

迂回メモリ地点を消す

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。
- 4 迂回メモリの **消去** にタッチ。

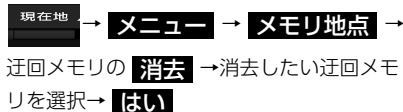


- 5 消去したい迂回メモリ地点にタッチ。



6 **はい** にタッチ。

■ 次の手順でも操作できます



地点の移行について

本機に登録したメモリ地点と迂回メモリ地点を、SDメモリーカードに保存できます。

保存したデータは一部の製品に移行する事ができます。

対応製品の詳細は、ECLIPSE ホームページをご覧ください。

「お客様サポート」 → 「FAQ」 (<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご覧ください。

🏠 チェック

- 地点データの移行操作時は、他の操作はできません。
- 使用できるSDメモリーカードの仕様は、「SDメモリーカード」(→P.339)をご覧ください。

パスワードを設定する

チェック

- 1 地点を読み込むときや移行するときにパスワードが必要です。
- 1 パスワードを忘れた場合、地点を移行できません。パスワードは忘れないようにメモしておくことをおすすめします。パスワードを忘れた場合、初期化してください。
- 1 パスワードを初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

1 **-MENU-** を押す。

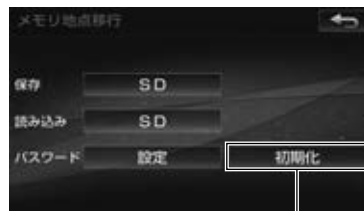
2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。

4 **メモリ地点移行** にタッチ。



5 パスワードの **設定** にタッチ。



パスワードを初期化

6 数字4桁のパスワードを入力して **完了** にタッチ。

1文字ずつ修正



- 1 すでにパスワードが設定されている場合は、現在のパスワードを入力後に新しいパスワードを入力します。

7 もう一度、パスワードを入力して **完了** にタッチ。



5. 地点を登録する

地点をSDメモリーカードに移す

重要

SDメモリーカードにデータを移行中は、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。データが破損する恐れがあります。

チェック

- 1 地点を保存する前に、必ずパスワードを設定してください。(→P.105)
- 2 地点をSDメモリーカードに移すと、本機に登録しているメモリ地点と迂回メモリ地点は消去され、パスワードも初期化されます。
- 3 すでに地点のデータを保存しているSDメモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去されたデータは保証できませんのでご注意ください。

- 1 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む。



- 1 ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

- 2 **「MENU」** を押す。

- 3 **設定・編集** にタッチ。

- 4 **メモリ地点登録編集** にタッチ。

- 5 **メモリ地点移行** にタッチ。



- 6 保存の **SD** にタッチ。

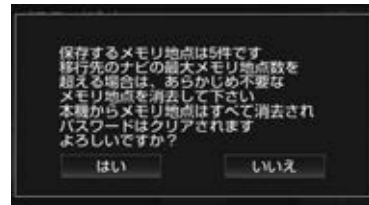


- 7 パスワードを入力して **完了** にタッチ。

1文字ずつ修正



- 8 **はい** にタッチ。



- 9 **OK** にタッチ。



SDメモリーカードに 保存した地点を本機に 移す

🏠 チェック

- メモリ地点、迂回メモリ地点を移すには、保存するときに入力したパスワードが必要です。(→P.105)
- 地点を移すと、本機に登録していたメモリ地点と迂回メモリ地点のデータは、すべてSDメモリーカードに保存した地点データに置き換えられます。
- 地点を移すと、SDメモリーカードに保存していたメモリ地点のデータはすべて消去されます。

- 1 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む。



- ▲マークを奥にして、ロックせずに差し込んでください。

- 2 **MENU** を押す。

- 3 **設定・編集** にタッチ。

- 4 **メモリ地点登録編集** にタッチ。

- 5 **メモリ地点移行** にタッチ。



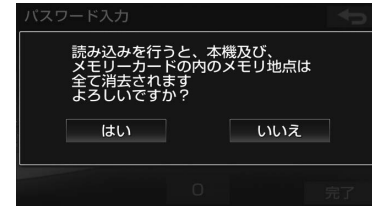
- 6 読み込みの **SD** にタッチ。



- 7 保存したときに使用したパスワードを入力して、**完了** にタッチ。



- 8 **はい** にタッチ。



- 9 **OK** にタッチ。



5. 地点を登録する

ワンポイント

- 1 保存できる地点の件数は、ナビにより異なります。保存できる地点の件数や、SDメモリーカードへの保存方法などは、データを移すナビの説明書をご覧ください。
-

6. 目的地履歴を消す

目的地履歴を消す

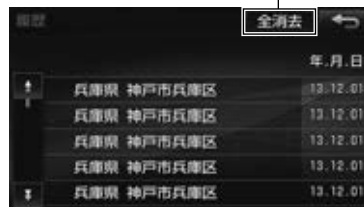
目的地に設定した地点は、最大100件まで自動で記憶されます。100件を超えた場合は、古いものから自動で削除されますが、不要な目的地履歴を削除することもできます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **ナビ詳細設定** にタッチ。
- 4 **履歴削除** にタッチし、**削除する** にタッチ。



- 5 消したい履歴にタッチ。

全ての目的地履歴を消す



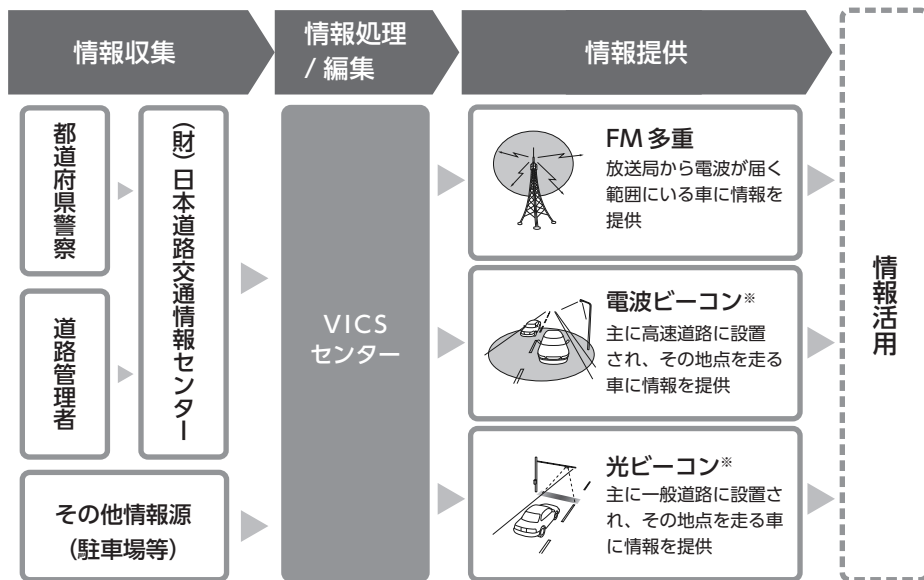
- 6 **はい** にタッチ。



VICSについて

道路交通情報通信システム (VICS : Vehicle Information and Communication System) は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



※ 別売の ITS スポットサービス対応 DSRC ユニット接続時のみ

緊急情報について

緊急情報は地震などの災害がおこった際、放送局がFM文字多重放送によって独自に放送するもので、法令に基づき、国や地方公共団体などが要請する「緊急警報放送 (EWS) を受信した場合」(→P.176)とは異なります。

災害発生時に、万一、本機の不具合やお取り扱いの誤りなどにより、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、予めご了承ください。

統計データについて

本機には、渋滞の統計データが収録されています。

収録された統計データは、ルート探索時に使用されます。また、統計データを地図上に表示することができます。(→P.113)

表示された統計データの見方は、「地図情報 (レベル3) について」(→P.114)をご覧ください。

VICS情報の提供内容について

VICS情報は文字表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、または地図表示(レベル3)から渋滞・交通規制等を表示します。

ワンポイント

- 1 車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、アンテナが下がっているとVICS情報が受信されません。VICS情報を受信するには、ラジオアンテナを伸ばしてください。(→ P.129)

文字情報(レベル1)を表示する

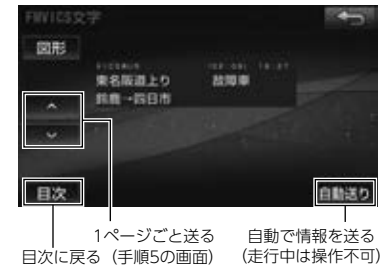
- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **VICS**、または **DSRC/VICS** にタッチ。
- 4 **FM文字** にタッチ。



- 5 表示させる文字情報の番号にタッチ。



- 6 **▲**、**▼** または **自動送り** にタッチ。



- 1 自動送りを解除する場合は、**停止** にタッチ。

ワンポイント

- 1 緊急情報を受信した場合は、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は**割込情報**(手順4)から再表示できます。

簡易図形情報 (レベル2) を表示する

1 **-MENU-** を押す。

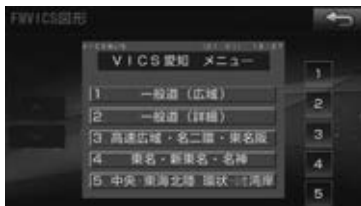
2 **情報** にタッチ。

3 **VICS**、または **DSRC/VICS** にタッチ。

4 **FM図形** にタッチ。



5 表示させる情報の番号にタッチ。



6 **▲**、**▼** または **自動送り** にタッチ。

VICS文字情報を表示



1ページごと送る
目次に戻る (手順5の画面)

自動で情報を送る
(走行中は操作不可)

1 自動送りを解除する場合は、**停止** にタッチ。

ワンポイント

1 緊急情報を受信した場合は、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は **割込情報** (手順4) から再表示できます。

地図情報 (レベル3) を表示する



◆地図情報表示画面

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **表示変更** にタッチ。



- 4 **VICS・交通情報** にタッチ。



- 5 **VICS設定** にタッチ。



- 1 **全道路**・**高速道**・**一般道** : 表示する道路にタッチ
- 1 **非表示** : 表示を解除

- 6 設定したい項目にタッチし、**する**、または**しない**にタッチ。



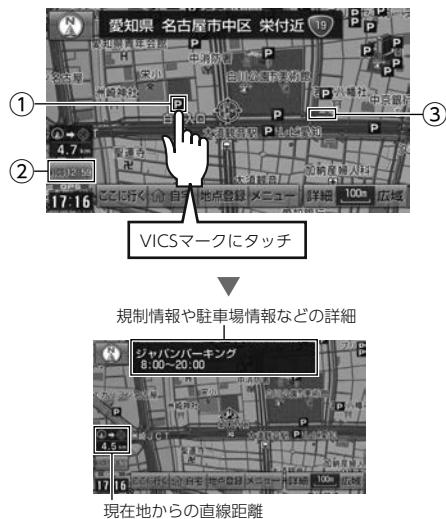
- 1 VICSマーク (→巻末) は、事象・規制情報の表示、または駐車場情報の表示が【する】に設定されていないと表示されません。



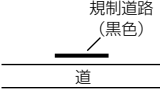


地図情報 (レベル3) について

🏠 チェック

- VICs マークは200mスケール図以下、渋滞情報/規制情報は800mスケール図以下の地図で表示できます。



番号	表示	内容
②	タイムスタンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・VICs情報の受信状況と情報が提供された時刻を表示 ・VICs 12:59 : 表示中の地図にVICs情報がある場合時刻の色で、渋滞状況をお知らせします。(赤色：渋滞/橙色：混雑/規制：黄色/順調：白色) ・VICs 10:21 : VICs情報を受信しているが、表示中の地図にVICs情報がない場合 ・VICs --:-- : VICs情報を受信していない場合 ・ルート上(約10km以内)にVICsの渋滞・規制案内がある場合は、タイムスタンプがタッチスイッチに切り替わり、タッチすると渋滞・規制案内情報を音声で案内します。
③	渋滞情報/規制情報	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞情報(現況(VICs)情報/統計データ)渋滞の長さ混雑状況を、線の長さとして表示(赤色：渋滞/橙色：混雑/水色：順調) ・現況(VICs)情報地図上に矢印で表示されます。 ・統計データ地図上に破線で表示されます。 ・規制情報規制道路を黒色の線で表示  規制道路(黒色) 道

📌 ワンポイント

- VICs情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動で消去されます。

番号	表示	内容
①	VICs マーク	規制情報、駐車場、サービスエリア・パーキングエリアの情報をマークで表示 ・VICsマークの詳細は、巻末をご覧ください。

受信する放送局を変更する

1 **-MENU-** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **VICS**、または **DSRC/VICS** にタッチ。

4 **VICS選局** にタッチ。



5 **オート**、または **マニュアル** にタッチ。



1 通常は、**オート** でご使用ください。オートで受信されない場合のみ、**マニュアル** から、放送局（または放送エリア）を選択してください。

自動で選ぶ

1 **オート** にタッチ。



手動で選ぶ (エリア選択)

選んだ都道府県の放送局が受信されます。

1 **マニュアル** にタッチ。



2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。



3 **完了** にタッチ。

手動で選ぶ (周波数選択)

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても放送局は自動で切り替わりません。

1 **マニュアル** にタッチ。

2 **TUNE▲**、または **TUNE▼** にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。



3 **完了** にタッチ。

ワンポイント

- 1 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- 1 VICS情報のサービスエリアについては、**「VICS情報有料放送サービス契約約款」** (→ P.366) をご覧ください。
- 1 VICSシステムでは、地図データに情報提供する道路をあらかじめ設定しています。(VICSリンク)
VICSリンクは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わないと、VICS地図情報(レベル3)の一部が表示されなくなることがあります。最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクにより設定された道路は、将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。
- 1 VICS FM多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

1 VICS情報が受信できる代表的な周波数 (2013年11月現在)

北海道 (旭川地区 85.8MHz) (函館地区 87.0MHz)
(札幌地区 85.2MHz) (室蘭地区 88.0MHz)
(釧路地区 88.5MHz) (帯広地区 87.5MHz)
(北見地区 86.0MHz)

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz
岩手県	83.1MHz	山形県	82.1MHz
宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz
群馬県	81.6MHz	埼玉県	85.1MHz
千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz
静岡県	88.8MHz	長野県	84.0MHz
岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz
石川県	82.2MHz	富山県	81.5MHz
福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz
兵庫県	86.5MHz	奈良県	87.4MHz
和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz
島根県	84.5MHz	山口県	85.3MHz
香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz
福岡県	84.8MHz	大分県	88.9MHz
佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz
鹿児島県	85.6MHz	沖縄県	88.1MHz

VICS 音声案内を設定する

目的地案内中の現在地画面から約10km以内のルート上のVICS情報（渋滞や交通規制など）を音声でお知らせします。

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。



4 **VICS・交通情報** にタッチ。



5 **VICS設定** にタッチ。



6 **VICS 音声案内** にタッチして、**する**、**しない** にタッチ。



8. お好みの設定に変更する

ナビ詳細設定を変更する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **ナビ詳細設定** にタッチ。
- 4 設定したい項目にタッチし、各項目を設定する。




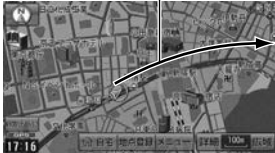

1 設定できる項目は、次頁以降をご覧ください。


- 5 設定が終わったら、**完了** にタッチ。





- 1 **設定初期化** にタッチすると、次の設定項目以外が初期設定の状態に戻ります。
 - ・ 3D地図表示設定
 - ・ 平均車速の設定
 - ・ 渋滞考慮探索設定
 - ・ 車両情報設定
 - ・ ナビ補正

設定値の**太字**が初期設定です。

項目	設定値	機能
2D 時 フロント ワイド (ヘディング アップ)	する / しない	進行方向が上になるように回転する地図で、進行方向の地図を広く表示 進行方向を広く表示 
2D 時 フロント ワイド (ノース アップ)	する / しない	北を上にして固定された地図で、進行方向の地図を広く表示 進行方向を広く表示 
3D 時 ルート方向 アップ	する / しない	3D 表示画面でルートが表示されている方向の地図を表示 


項目	設定値	機能
3D 地図表示 設定	変更する	3D 表示 (→P.58) の角度を設定 設定後にタッチ 角度を上げる  初期設定の状態に戻す 角度を下げる
昼の地図色	ベーシック WEB 調 ビビッド ダーク 文字強調	昼画・夜画の地図色を変更
夜の地図色		
ルート線の色	ブルー レッド グリーン パープル	ルート案内時に表示される線の色を変更
自転車位置 マーク変更	ノーマル クルマ1 クルマ2 ヒヨコ カスタム	地図に表示される自転車位置マークを変更 ノーマル クルマ1 クルマ2 ヒヨコ カスタム  ・テザリングに対応しているスマートフォンをお持ちの場合、専用サイトからお好みの自転車位置マークをダウンロードして追加できます。(→P.269) ダウンロードした自転車位置マークは、 カスタム にタッチすると設定できます。 ・3D 表示では、切り替えた自転車位置マークを表示できません。

8. お好みの設定に変更する




項目	設定値	機能
地図の文字 サイズ変更	大 中 小	<p>地図上に表示される地名などの文字サイズを変更</p> <p>大 中 小</p>  <p>・ 3D表示 (→P.58) 中は、手前から大きい文字で表示されます。</p>
シーズン レジャー ランドマーク 表示	する/ しない	<p>桜の名所 (🌸) や紅葉の名所 (🍁) を時季にあわせて表示</p> <p>・ 全ルート画面 (→P.72) を除く、800mスケール図より詳細な地図に表示できます。</p> <p>・ マークが表示される時季は名所ごとに異なります。</p> 

項目	設定値	機能
地図 スクロール 時の 地名表示	する/ しない	<p>地図を動かした場合に、画面上部に地名などを表示</p> <p>・ 200m スケール図より広域な地図を表示している場合、路線名・路線番号は表示されません。</p> <p>地名・路線名・路線番号を表示</p> 
一方通行 マークの表示	する/ しない	<p>50mスケール図以下の地図に一方通行マーク (→) を表示</p> <p>・ 【しない】に設定していても、市街図では一方通行マークは常時表示されます。</p>
地図スライド 操作	する/ しない	地図画面でスライド・フリック操作 (→P.14) をする
交差点拡大図 自動表示	する/ しない	交差点拡大図 (→P.84) を自動で表示
高速分岐 模式図表示	する/ しない	高速分岐模式図 (→P.84) を自動で表示
レーンリスト 自動表示	する/ しない	レーンリスト図 (→P.84) を自動で表示
ターンリスト 自動表示	する/ しない	ターンリスト図 (→P.84) を自動で表示


項目	設定値	機能
料金案内	する／ しない	<p>目的地案内中に料金所に近づくと、料金を画面表示と音声で案内</p>  <p><音声案内例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この先〇〇mで料金所です。料金は〇〇です。」 <p>料金は、設定した車の情報（→P.124）から計算しています。</p> <p>次の場合、実際と異なる料金を案内することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通行料金が変わったとき ・ ETCによる割引が適用されたとき ・ 自車位置が並行する別の道路へずれて再探索されたとき ・ 有料道路内で再探索したとき ・ 有料道路内に目的地を設定したとき <p>また、次の場合は、料金案内を行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路上に目的地を設定したとき ・ 高速道路走行中にルート変更したとき

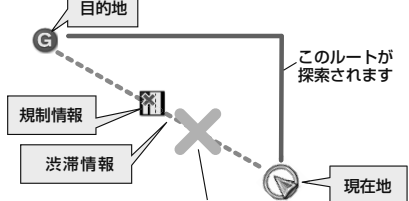
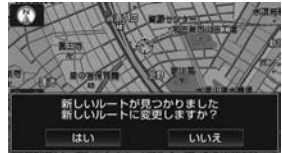
項目	設定値	機能
県境案内	する／ しない	<p>都道府県の県境を通過した場合、都道府県のマークを表示し、音声で案内</p> 
3D交差点拡大図	する／ しない	交差点拡大図を立体的（→P.84）に表示
到着までの所要時間設定	変更する	<p>ルート案内中の画面に表示される所要時間の算出基準となる平均車速を変更</p>  <p>設定後にタッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定値は次の通りです。 一般道：30 km/h 有料道：60 km/h 高速道：80 km/h

8. お好みの設定に変更する

項目	設定値	機能
細街路での音声案内	する/ しない	目的地周辺で細街路（幅5.5m未満の道路）を通るときに音声で案内 <音声案内例> 「実際の交通規制や道幅に注意してください。」 ・ ルート案内中に設定を変更するとルートが再探索されます。
ハートフル音声	する/ しない	その日に初めてエンジンスイッチをACC、またはONにした時や、自宅を目的地にして到着した時など、日付やあいさつなどを音声で案内 <音声案内例> ・ 「今日は○月○日○曜日です。」 ・ 「お疲れ様でした。」 ・ 「メリークリスマス。」
エコドライブインフォメーション	する/ しない	エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内 ・ ハートフル音声と重なった場合は、ハートフル音声優先されます。 ・ エコドライブインフォメーションは、約1週間に1回案内されます。
一時停止案内	する/ しない	一時停止交差点に近づくと、  マークと音声で案内 <音声案内例> 「この先一時停止があります。」
踏切案内	する/ しない	踏切に近づくと、  マークと音声で案内 <音声案内例> 「この先踏切です。」 ・ 地図上に  (黄色) で表示されます。

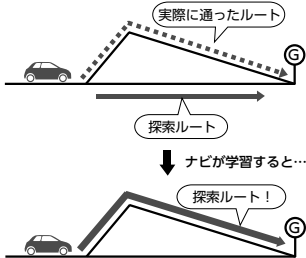
項目	設定値	機能
合流案内	する/ しない	高速道路走行中、合流地点に近づくと、   マークと音声で案内 <音声案内例> 「この先、左からの合流があります。」 ・ 地図上に  (黄色) で表示されます。
カーブ案内	する/ しない	急カーブに近づくと、     マークと音声で案内 ・ 「この先、カーブがあります。」 ・ 「この先、カーブが連続します。」
減少レーン案内	する/ しない	減少するレーンを   マークと音声で案内 <音声案内例> 「この先、右側（左側）車線が減少します。」
事故多発地点案内	する/ しない	事故多発地点に近づくと、  マークと音声で案内 <音声案内例> 「事故多発地点です。ご注意ください。」 ・ この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータを基に作成しました。

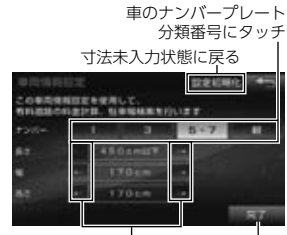
項目	設定値	機能
学校存在案内	する/ しない	<p>学校に近づくとき、マークと音声で案内</p> <p><音声案内例> 「近くに学校があります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に全国の小学校、中学校を対象としています。また、通学時間帯以外は案内しない場合があります。

項目	設定値	機能
渋滞考慮探索	する/ しない	<p>本機に収録されている渋滞統計データ（→P.110）や、受信したVICS情報※をもとに、現在地から約10km以内の渋滞・規制情報を考慮したルートを探します</p>  <p>このルートは探索されません</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 ルート同時表示（→P.74）やルートの探索条件などで、渋滞が考慮されたルートになります。 現在地から10km以内の情報が考慮されるため、遠方の渋滞情報は考慮されません。
新旧ルート比較表示※	する/ しない	<p>目的地案内中に受信した渋滞・規制情報を基に新しいルートが見つかった場合、変更できる</p> 

※ 別売のVICSユニットかDSRCユニットを接続時、またはオンデマンドVICS使用時

8. お好みの設定に変更する

項目	設定値	機能
ルート学習	する／しない	<p>いつも通る道を、ナビに学習させてルート探索する</p>  <p>ナビが学習すると…</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば、よく行く目的地への案内中に、探索されたルートとは異なるルートを通った場合、そのルートをナビに学習させることができます。学習が完了すると、次回のルート探索に反映されます。 幅5.5m以下の道路では、ルート学習はできません。(自宅登録時の自宅周辺除く) 学習した道路が使われない場合もあります。 自車位置が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。(高速道路、または高架道路と並行している道路がある場合など。) ルート学習は、推奨ルートのみ反映されます。 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。
	消去	ルート学習した結果を消す

項目	設定値	機能
車両情報設定	変更する	<p>料金の計算や提携駐車場を検索する場合の基準となる車の情報を変更</p>  <ul style="list-style-type: none"> 目的地が設定されている場合は操作できません。
時刻表示	する／しない	<p>地図画面上に時計 17:16 を表示</p> <ul style="list-style-type: none"> 時刻はGPS電波を利用して自動で調整されるため、手動で調整できません。
ナビ補正	補正する	現在地の修正 (→P.318)
履歴削除	削除する	目的地履歴を削除 (→P.109)

ワンポイント

- 次の注意地点案内が近い場合は、続けて案内が行われます。
- 案内マークは50～800mスケール図の地図で表示できます。(全ルート画面を除く)

MEMO



オーディオ操作画面を表示する

1 **AV** を押す。

- 1 選択されているオーディオソースの操作画面が表示されます。
- 1 オーディオ操作画面が表示されているとき、**AV** を押すと、AVソース選択画面 (→ P.126) が表示されます。

オーディオをOFFにする

1 **-MENU-** を押す。

2 **AV** にタッチ。

3 **AV OFF** にタッチ。



ワンポイント

- 1 ナビの電源は切ることができません。

オーディオソースを選ぶ

1 **-MENU-** を押す。

2 **AV** にタッチ。

3 オーディオソースを選んでタッチ。



◆ AVソース選択画面



1 次のオーディオソースを選択できます。

スイッチ	ページ
AM	130
FM	
DISC	133
	134
	136
	138
SD REC	158
SD	160
	162
TV	181
Bluetooth Audio	248
DS	250
USB	148
	150
iPod ※	196
	198
AUX/VTR	200
	202
交通情報	131

※ iPodを接続した場合のみ表示されます。

1 次の場合、スイッチが選択できません。

- ・ **DISC** : ディスクが挿入されていない場合
- ・ **SD REC** / **SD** : 音楽用SDが挿入されていない場合
- ・ **USB** : USBメモリが「USB接続コード」に接続されていない場合

ワンポイント

1 各オーディオ操作画面で **ソース選択** にタッチして、AVソース選択画面を表示することもできます。

音量を調整する

1 **VOL +**、または **- VOL** を押す。

1 **VOL +** : 大きくする

1 **- VOL** : 小さくする

ワンポイント

- 1 調整レベルは0～80です。
- 1 音量はお使いになるオーディオソースに合わせて調整してください。
- 1 DVD/AUX・VTR/iPod/Bluetooth Audio/DSを再生している場合に音量を調整すると、各オーディオソースの音量レベルとして記憶できます。調整した音量レベルは、他のオーディオソースでは反映されません。



カバーアートを設定する

音楽ファイルにカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定すると、カバーアートが操作画面に表示されます。



1 次のオーディオソースの操作画面に表示できません。

- ・ USB (→P.148)
- ・ SD (→P.160)
- ・ iPod (→P.196)

📁 チェック

1 JPEG、またはBMP形式で保存されたカバーアートのみ表示できます。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **AV**、**AV 詳細設定** の順にタッチ。

4 **カバーアート表示** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



📌 ワンポイント

- 1 カバーアートは、機種やソフトウェアバージョンなどにより表示できない場合があります。
- 1 カバーアート表示には時間がかかることがあり、その間は操作はできません。
- 1 複数のカバーアートデータが収録されている場合は、先頭に収録されている画像のみ表示します。

ラジオアンテナを上げる ／下げる

車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。この場合、強制的にラジオアンテナを下げるすることができます。

🏠 チェック

- 1 ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げる場合は、【上げる】に設定してください。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **共通設定** にタッチ。

4 **ラジオアンテナ** にタッチし、**上げる** または **下げる** にタッチ。



- 1 **下げる** にタッチした場合は、メッセージを確認後、**OK** にタッチ。

📌 ワンポイント

- 1 ラジオアンテナを下げた状態では、VICS情報 (→P.110) を受信できません。VICS情報を受信する場合、ラジオアンテナを【上げる】に設定してください。



ラジオを聞く



ラジオ操作画面を表示 (→P.126)



◆ ラジオ操作画面

⑩ ワンポイント

- I 受信電波の状態や選局方法(手動/自動)により選局できないことや、記憶される放送局が異なることがあります。
- I **AUTO.P** スイッチについて
 - ・受信できる放送局を周波数が低い順に6周まで自動で記憶します。
 - ・AUTO.Pで選局しても、手動で記憶させた放送局は消去されません。
- I **エリア** スイッチについて
 - ・地図上の自車位置情報を基に放送局を表示します。

番号	スイッチ/表示	機能
①	選局モード	プリセットスイッチの選局モードを表示 ・ AUTO.P : AUTO.P で選局した場合に表示 ・ エリア.P : エリア で選局した場合に表示 ・ マニュアル.P : 手で記憶した場合に表示
②	プリセットスイッチ	・ 受信した放送局を表示 ・ 放送局を選局後、“ピー”と音がするまでタッチすると、プリセットスイッチに記憶※1
③		押すごとに、1ステップ※2ずつ周波数を切り替えて放送局を受信 ・ “ピッ”と音がするまで押すと、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局 ・ もう一度押すと、選局を解除
④		タッチすごとに、1ステップ※2ずつ周波数を切り替えて放送局を受信 ・ “ピッ”と音がするまで押すと、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局 ・ もう一度押すと、選局を解除
⑤	エリア	・ 今いる地域の放送局をプリセットスイッチに表示 ・ もう一度タッチすると、エリアモードを解除
⑥	AUTO.P	・ “ピー”と音がするまでタッチすると、受信できる放送局を一時的にプリセットスイッチに記憶 ・ もう一度タッチすると、AUTO.Pモードを解除

※1 選局モードがエリア.Pの場合は、記憶できません。**エリア** にタッチして、表示を解除してください。

※2 AMは 9kHz、FMは 0.1MHz ずつ切り替わります。

交通情報放送を聞く

交通情報局（1620kHz）を受信します。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **AV** にタッチ。
- 3 **交通情報** にタッチ。



記憶されている周波数を変更する

1620kHz以外の周波数で交通情報が放送されている場合、受信中の周波数を変更できます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **AV** にタッチ。
- 3 **AM** にタッチ。
- 4 記憶したい放送局の周波数を選択し、**ソース選択** にタッチ。



- 5 **交通情報** に“ピッ”と音がするまでタッチ。



ワンポイント

- 1 交通情報を受信中、**←TUNE→** を押しても交通情報局は切り替わりません。



ディスクについて

l 次のディスクを再生できます。

<音楽ディスク>

- ・ CD
- ・ MP3/WMA/AACを記録したディスク

<映像ディスク>

- ・ DVD-VIDEO
- ・ DVD-VR

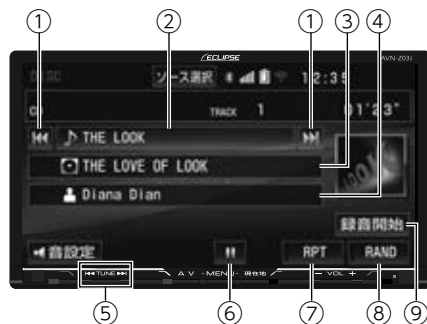
l ディスクを挿入する (→P.29) と再生をはじめます。

チェック

- l 再生できるディスクの種類については「ディスク」(→P.340)をご覧ください。
- l 再生できる圧縮データの記録方式については「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」(→P.338)、「再生できる圧縮ファイルの仕様について」(→P.345)をご覧ください。
- l 再生できるディスクの記録方式については「ディスクのファイルフォーマット」(→P.343)をご覧ください。
- l ディスクの取り扱い方法により、ディスクが正常に再生できないことがあります。「ディスクの取り扱いについて」(→P.353)をご覧ください。
- l 自動録音 (→P.156) に設定している場合、録音が自動で開始されます。(MP3/WMA/AACのデータは録音できません。)
- l 別売の後席用モニターを接続した場合、走行中でも後席でDVDをご覧いただけます。

CDを聞く

DISC 操作画面を表示 (→P.126)



◆ CD操作画面

📖 ワンポイント

1 CDにアーティスト名などの情報が収録されていない場合、地図用SDのデータベースに該当する情報がある場合は、情報が表示されます。(→P.154)

番号	スイッチ／表示	機能
①		<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲を切り替え※1 ・ タッチし続けると、曲を早送り／早戻し※2
②	曲名※1	曲リストを表示 <ul style="list-style-type: none"> ・ ページを切り替え ・ 再生したい曲にタッチ
③	アルバム名	再生中のCDのアルバム名を表示
④	アーティスト名	再生中のCDのアーティスト名を表示
⑤		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の曲に切り替え※2 ・ 押し続けると、曲を早送り※1
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲を頭出し※2 ・ 連続して押し続けると、前の曲に切り替え※2 ・ 押し続けると、曲を早戻し※1
⑥		曲の再生を一時停止
		曲を再生
⑦	RPT ※2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生中の曲をリピート再生 ・ もう一度タッチすると、リピート再生を解除
⑧	RAND ※2	<ul style="list-style-type: none"> ・ CD内のすべての曲をランダム再生 ・ もう一度タッチすると、ランダム再生を解除
⑨	録音開始	音楽用SDへの録音を開始 (→P.157)
	録音停止	音楽用SDへの録音を停止 (→P.157)

※1 音楽用SDへ録音中は、操作できません。

※2 音楽用SDへ録音中は、録音が完了した曲のみ操作できます。

MP3/WMA/AACを聞く

DISC 操作画面を表示 (→P.126)



◆ MP3/WMA/AAC操作画面

番号	スイッチ/表示	機能
①	◀◀、▶▶	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早送り/早戻し
②	ファイル名	<p>ファイルリストを表示</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>ページを切り替え</p>
③	フォルダ名	<p>フォルダリストを表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>フォルダにタッチすると、フォルダ内の先頭のファイルを再生</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>操作画面に戻る</p> <p>ページを切り替え</p>

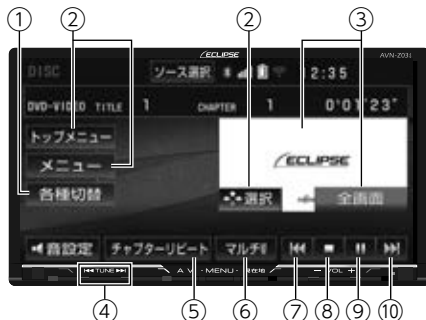
番号	スイッチ／表示	機能
④		フォルダを切り替え
⑤	アーティスト名※	再生中のファイルのアーティスト名を表示
⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し
⑦		ファイルの再生を一時停止
		ファイルを再生
⑧		タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑨		タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除

※ タグ情報がある場合のみ表示されます。

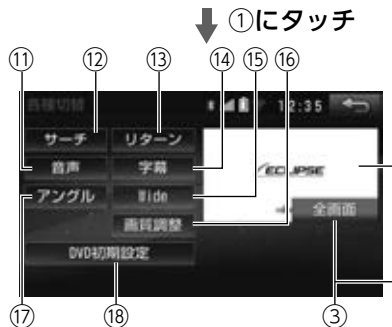


DVD-VIDEOを見る

DISC 操作画面を表示 (→P.126)








◆ DVD-VIDEO操作画面




◆ 各種切替画面



番号	スイッチ	機能
①	各種切替	各種切替画面を表示
②	トップメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクのメニュー*を表示 ・ ディスクメニューの操作スイッチが表示されない場合は、選択にタッチ ・ 一部のメニューはアイコンに直接タッチして操作できます。
	メニュー	<p>メニュー項目を選択 選んだ項目を再生</p>
	選択	
③	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。)
④		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまで押し続けると、映像を早送り ・ 一時停止中に押し続けると、スローで再生
		<ul style="list-style-type: none"> ・ チャプターを頭出し ・ 連続して押し続けると、前のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまで押し続けると、映像を早戻し
⑤	チャプターリピート	再生中のチャプターをリピート再生
⑥	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示 (→P.38)

* ディスクによってメニュー項目は違います。また、ディスクの設定にしたがって再生するため、操作したとおりに動作しない場合があります。

番号	スイッチ	機能
⑦		<ul style="list-style-type: none"> ・ チャプターを頭出し ・ “ピッ” と音がするまでタッチすると、映像を早戻し
⑧		ディスクの再生を停止
⑨		ディスクの再生を一時停止
		ディスクを再生
⑩		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ” と音がするまでタッチすると、映像を早送り ・ 一時停止中にタッチし続けると、スローで再生
⑪	音声	<p>ディスクに複数の音声収録されている場合、音声を切り替えて再生</p>  <p>タッチするごとに音声を切り替える</p>
⑫	サーチ	<p>タイトル番号を指定して、ディスクを再生</p>  <p>1文字ずつ修正</p> <p>タイトル番号を入力 入力後にタッチ</p>

番号	スイッチ	機能
⑬	リターン	ディスクのあらかじめ決められた位置から再生
⑭	字幕	<p>ディスクに複数の字幕が収録されている場合、字幕を切り替えて表示</p>  <p>字幕を消す</p> <p>タッチするごとに字幕言語を切り替える</p>
⑮	Wide	<p>画面サイズを切り替え (→P.40)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、Wide にタッチして画面サイズを切り替えることができます。 ・ 16:9 LB : ワイド画面 ・ 4:3 : 標準画面 <p>※ [16:9] や [4:3] は、画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) を表します。</p>
⑯	画質調整	画質調整画面を表示 (→P.33)

3. ディスク

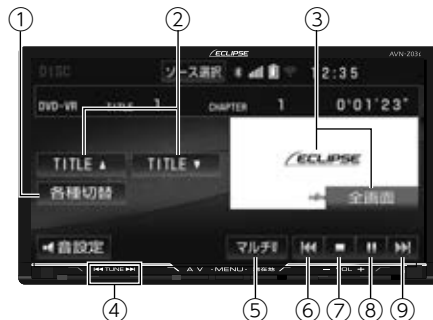
番号	スイッチ	機能
17	アングル	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに複数のアングルが収録されている場合、アングルを切り替えて表示 マルチアングルマークの表示を【表示】に設定（→P.143）した場合、アングルが切り替え可能な場合に  が表示されず。 <p style="text-align: center;">アングル番号</p>  <p style="text-align: center;">タッチするごとにアングルを切り替える</p>
18	DVD 初期設定	DVDの初期設定を変更（→P.141）

ワンポイント

1 DVDに書きこまれている形式により、一部の機能が使えない場合があります。

DVD-VRを見る

DISC 操作画面を表示（→P.126）



◆ DVD-VR 操作画面






↓ ①にタッチ






◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	各種切替	各種切替画面を表示
②	TITLE▲	次のプログラム（プレイリスト※）に切り替え
	TITLE▼	・ プログラム（プレイリスト※）の頭出し ・ 連続してタッチすると、前のプログラム（プレイリスト※）に切り替え
③	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。)
④		・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまで押すと、映像を早送り ・ 一時停止中に押し続けると、スローで再生
		・ チャプターを頭出し ・ 連続して押すと、前のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまで押すと、映像を早戻し
⑤	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.38）
⑥		・ チャプターを頭出し ・ “ピッ”と音がするまでタッチすると、映像を早戻し
⑦		ディスクの再生を停止

※ プレイリストを切り替える場合、再生モードを【プレイリスト】に設定します。（→P.140）

番号	スイッチ	機能
⑧		ディスクの再生を一時停止
		ディスクを再生
⑨		・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ”と音がするまでタッチすると、映像を早送り ・ 一時停止中にタッチし続けると、スローで再生
⑩	音声	ディスクに複数の音声が入録されている場合、音声を切り替えて再生  タッチするごとに音声を切り替える
⑪	サーチ	タイトル番号を指定して、ディスクを再生  タイトル番号を入力 入力後にタッチ 1文字ずつ修正
⑫	ページ送り	静止画をページ送り

3. ディスク

番号	スイッチ	機能
⑬	字幕	<p>ディスクに複数の字幕が収録されている場合、字幕を切り替えて表示</p>  <p>タッチするごとに 字幕言語を切り替える</p>
⑭	主/副	<p>音声多重放送の主音声・副音声を切り替え</p>  <p>主音声 → 副音声 → 主/副</p>
⑮	Wide	画面サイズを切り替え (→P.40)
⑯	再生モード ※	<p>再生モードを切り替え</p> <p>プレイリストを再生</p>  <p>プログラムを再生</p>
⑰	DVD 初期設定	DVDの初期設定を変更 (→P.141)

番号	スイッチ	機能
⑱	画質調整	画質調整画面を表示 (→P.33)

※ ディスク内にプレイリストがないときは、**再生モード** は表示されません。

⑰ ワンポイント

1 DVDに書きこまれている形式により、一部の機能が使えない場合があります。

DVD初期設定を変更する

次の項目の設定を変更できます。

スイッチ	機能	ページ
音声 ※	音声言語を設定	141
字幕 ※	字幕言語を設定	142
ソフトメニュー ※	メニュー言語を設定	142
マルチアングルマーク ※	マルチアングルマークの表示を設定	143
視聴制限 ※	再生できるDVD-VIDEOを制限	144
オートスタート ※	走行中の自動再生を設定	144
音声ダイナミックレンジ	音声の最大値と最小値の比を設定	145
映像出力切替	画面サイズを設定	145

※ DVDビデオのみ

④ チェック

- 1 設定を変更しても、ディスクが機能に対応していない場合、設定内容は反映されません。
- 1 ディスクに優先される音声言語が記録されている場合、設定した言語に切り替わらないことがあります。
この場合は、「**DVD-VIDEOを見る**」(→P.136)、「**DVD-VRを見る**」(→P.138)で言語を切り替えてください。
- 1 ディスクに優先されるソフトメニュー言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。

音声言語を設定する

ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、音声を切り替えて再生できます。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。

- 1 DVD-VIDEO/VR操作画面(→P.136、138)で**各種切替**にタッチ。
- 2 **DVD初期設定**にタッチ。

3 音声 にタッチ。



4 お好みの言語にタッチ。



- 1 **その他** : 言語コードを入力して言語を指定



- 1 言語コードについては「**言語コード一覧**」(→P.146)をご覧ください。

3. ディスク

字幕言語を設定する

ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、字幕を切り替えて表示できます。

マーク	意味
	字幕の数を表します。

- 1 DVD-VIDEO/VR操作画面 (→ P.136、138) で **各種切替** にタッチ。
- 2 **DVD 初期設定** にタッチ。
- 3 **字幕** にタッチ。



4 お好みの言語にタッチ。



- 1 **その他** : 言語コードを入力して言語を指定



入力後にタッチ

- 1 言語コードについては「**言語コード一覧**」(→ P.146) をご覧ください。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定できます。

- 1 DVD-VIDEO/VR操作画面 (→ P.136、138) で **各種切替** にタッチ。
- 2 **DVD 初期設定** にタッチ。
- 3 **ソフトメニュー** にタッチ。



4 お好みの言語にタッチ。



1 その他：言語コードを入力して言語を指定

言語コードを入力




入力後にタッチ

1 言語コードについては「言語コード一覧」(→ P.146)をご覧ください。

マルチアングルマークの表示を設定する

ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、アングルを切り替えて表示できます。

マーク	意味
	アングル数を表します。

マルチアングルマークの表示を【表示】に設定した場合、アングルが切り替え可能な場合に  が表示されます。

マルチアングルマーク



- 1 DVD-VIDEO/VR操作画面(→ P.136、138)で **各種切替** にタッチ。
- 2 **DVD 初期設定** にタッチ。

3 **マルチアングルマーク** にタッチし、**表示**、または **非表示** にタッチ。



3. ディスク

視聴制限を設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴制限レベルを段階的に設定できます。

🏠 チェック

1 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本機能の利用時に暗証番号が必要です。暗証番号を忘れないようご注意ください。

1 DVD-VIDEO/VR操作画面 (→ P.136、138) で **各種切替** にタッチ。

2 **DVD 初期設定** にタッチ。

3 **視聴制限** にタッチ。



4 暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。



5 お好みの視聴制限レベルにタッチ。



1 次のレベルに設定できます。

レベル	機能
1	子ども向けのDVDソフトのみを再生 (一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止)
2~7	子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生 (成人向けのDVDソフトの再生を禁止)

レベル	機能
8 (初期設定)	すべてのDVDソフトを再生

📌 ワンポイント

1 暗証番号を忘れた場合は、**修正** に10回タッチすると、初期化 (暗証番号未設定の状態) できます。

走行中の自動再生 (オートスタート) を設定する

走行中はディスクメニューを操作できません。オートスタートを【ON】に設定すると、走行中にディスクメニューを自動で実行し本編を再生します。

1 DVD-VIDEO/VR操作画面 (→ P.136、138) で **各種切替** にタッチ。

2 **DVD 初期設定** にタッチ。

- 3 **オートスタート** にタッチし、**ON**、または **OFF** にタッチ。



ワンポイント

- 1 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中にリモコンでディスクメニューを操作する場合は、オートスタートを【OFF】に設定してください。
- 1 オートスタートを【ON】に設定してもディスクやディスクメニューの操作により、本編を再生しないことがあります。

音声ダイナミックレンジを設定する

- 1 DVD-VIDEO/VR操作画面 (→ P.136、138) で **各種切替** にタッチ。
- 2 **DVD 初期設定** にタッチ。

- 3 **音声ダイナミックレンジ** にタッチし、**MAX**、**STD**、**MIN** を選んでタッチ。



- 1 **MAX** : 音声の最大値と最小値の比を最大にする。
- 1 **STD** : 音声の最大値と最小値の比を中間にする。
- 1 **MIN** : 音声の最大値と最小値の比を最小にする。

映像出力を切り替える

- 1 DVD-VIDEO/VR操作画面 (→ P.136、138) で **各種切替** にタッチ。
- 2 **DVD 初期設定** にタッチ。

- 3 **映像出力切替** にタッチし、**16:9(ワイド)**、**4:3(レターボックス)**、**4:3(パンスキャン)** を選んでタッチ。



- 1 **16:9 (ワイド)** : 通常のワイドサイズで表示 (4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。)
- 1 **4:3 (レターボックス)** : 上下両端を黒く表示 (4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったりに表示されます。)
- 1 **4:3 (パンスキャン)** : 左右両端がカットされた映像 (4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったりに表示されます。)

ワンポイント

- 1 本機で設定した映像出力切替サイズは後席用モニターなどには反映されません。



言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、次のコード番号から選択できます。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0315	コルシカ語	0923	ヘブライ語	1415	ノルウェー語	1922	スウェーデン語
0514	英語	0319	チェコ語	1009	イディッシュ語	1503	プロバンス語	1923	スワヒリ語
0618	フランス語	0325	ウェールズ語	1023	ジャワ語	1513	オモロ語	2001	タミル語
0405	ドイツ語	0401	デンマーク語	1101	グルジア語	1518	オリヤー語	2005	テルグ語
0920	イタリア語	0426	ブータン語	1111	カザフ語	1601	パンジャブ語	2007	タジク語
0519	スペイン語	0515	エスペラント語	1112	グリーンランド語	1612	ポーランド語	2008	タイ語
1412	オランダ語	0520	エストニア語	1113	カンボジア語	1619	アフガニスタン語	2009	チグリス語
1821	ロシア語	0521	バスク語	1114	カナダ語	1620	ポルトガル語	2011	ツルキ語
2608	中国語	0601	ペルシア語	1119	カシミール語	1721	ケチュア語	2012	タガログ語
1115	韓国語	0609	フィンランド語	1121	クルド語	1813	レートロマン語	2014	セツワナ語
0512	ギリシャ語	0610	フィジー語	1125	キルギス語	1814	キルンディー語	2015	ニュージールランド語
0101	アフガル語	0615	フェロー語	1201	ラテン語	1815	ローマ語	2018	トルコ語
0102	アブバジャ語	0625	フリジア語	1214	リンガラ語	1823	キンヤルワンダ語	2019	ツォンガ語
0106	アフリカーンス語	0701	アイルランド語	1215	ラオス語	1901	サンスクリット語	2020	タタール語
0113	アムハラ語	0704	スコットランドゲール語	1220	リトアニア語	1904	シンド語	2023	トウィ語
0118	アラビア語	0712	ガルシア語	1222	ラトビア語	1907	サンド語	2111	ウクライナ語
0119	アッサム語	0714	グアラニ語	1307	マダガスカル語	1908	セルボクロアチア語	2118	ウルドゥー語
0125	アイマラ語	0721	グジャラート語	1309	マオリ語	1909	セイロン語	2126	ウズベグ語
0126	アゼルバイジャン語	0801	ハウサ語	1311	マケドニア語	1911	スロバク語	2209	ベトナム語
0201	バシキール語	0809	ヒンディー語	1312	マラヤラム語	1912	スロベニア語	2215	ボラビュク語
0205	ベラルーシ語	0818	クロアチア語	1314	モンゴル語	1913	サモア語	2315	ウォルフ語
0207	ブルガリア語	0821	ハンガリー語	1315	モルダビア語	1914	ショナ語	2408	コーサ語
0208	ビハーリー語	0825	アルメニア語	1318	マラータ語	1915	ソマリ語	2515	ヨルバ語
0209	ビスラマ語	0901	国際語	1319	マライ語	1917	アルバニア語	2621	ズールー語
0214	ベンガル語	0905	Interlingue	1320	マルタ語	1918	セルビア語		
0215	チベット語	0911	イヌピアック語	1325	ビルマ語	1919	シスワティ語		
0218	ブルトン語	0914	インドネシア語	1401	ナウル語	1920	セストゥ語		
0301	カタロニア語	0919	アイスランド語	1405	ネパール語	1921	スندا語		

USBメモリについて

USBメモリに保存した次の圧縮データを再生できます。

<音楽ファイル>

- ・MP3
- ・WMA
- ・AAC

<動画ファイル>

- ・WMV
- ・AVI
- ・MPEG4

🏠 チェック

1 別売の「USB接続コード」*をお買い求めください。

* AVN-ZX03iは同梱されています。

1 再生できる圧縮データの記録方式については「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」(→P.338)、「再生できる圧縮ファイルの仕様について」(→P.345)をご覧ください。

1 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席で映像をご覧いただけます。

USBメモリを接続する／取りはずす

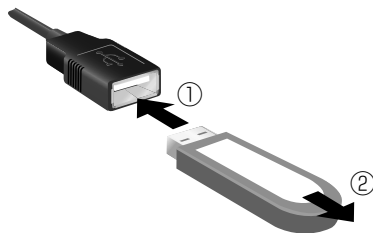
⚠️ 重要

1 USBメモリを取りはずすときは、オーディオソースをUSB以外に変更してください。USBメモリのデータが破損するおそれがあります。

🏠 チェック

1 使用できるUSBメモリの仕様については、「USBメモリ」(→P.344)をご覧ください。

1 USBメモリをUSB接続コードに接続する／取りはずす。



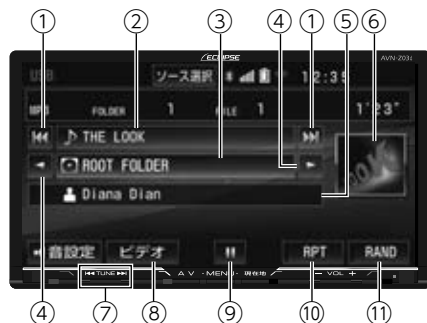
🏠 ワンポイント

1 接続したUSBメモリが正しく認識されない場合、一度取り外してもう一度接続してください。



音楽を聞く





USB操作画面を表示 (→P.126)



◆ USBオーディオ操作画面

番号	スイッチ/表示	機能
①	◀▶、▶▶	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを切り替え ・ タッチし続けると、曲を早送り/早戻し
②	ファイル名※	<p>ファイルリストを表示</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>ページを切り替え</p>
③	フォルダ名※	<p>フォルダリストを表示</p> <p>フォルダ名別に表示 アーティスト名別に表示 アルバム名別に表示</p> <p>再生したいフォルダにタッチ</p> <p>フォルダにタッチすると、先頭のファイルを再生</p> <p>ページを切り替え</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>操作画面に戻る</p> <p>ページを切り替え</p>
④	◀▶、▶▶	フォルダを切り替え

※ フォルダモード時の操作で説明しています。アルバムモードやアーティストモード時、タグ情報がある場合のみアルバム名や曲名が表示されます。

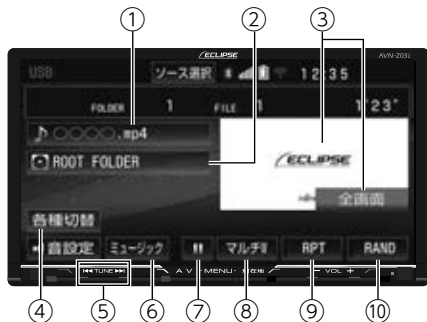
番号	スイッチ／表示	機能
⑤	アーティスト名*	再生中のファイルのアーティスト名を表示
⑥	カバーアート	音楽ファイルにカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定（→P.128）すると、カバーアートを表示
⑦		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し
⑧	ビデオ	USBビデオ操作画面（→P.150）を表示
⑨		ファイルの再生を一時停止
		ファイルを再生
⑩	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑪	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除

* タグ情報がある場合のみ表示されます。



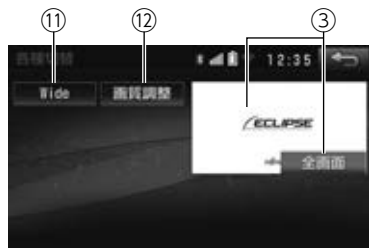
映像を見る

USB操作画面を表示 (→P.126)



◆ USBビデオ操作画面

↓④にタッチ



◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	ファイル名	<p>ファイルリストを表示</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>ページを切り替え</p>
②	フォルダ名	<p>フォルダリストを表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>フォルダにタッチすると、先頭のファイルを再生</p> <p>再生したいファイルにタッチ 操作画面に戻る</p>
③	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。)
④	各種切替	各種切替画面を表示
⑤		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを頭出し ・ 連続して押し続けると、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し

番号	スイッチ	機能
⑥	ミュージック	USBオーディオ操作画面 (→P.148) を表示
⑦	II	ファイルの再生を一時停止
	▶	ファイルを再生
⑧	マルチ W	マルチウィンドウ画面を表示 (→P.38)
⑨	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除
⑪	Wide	画面サイズを切り替え (→P.40)
⑫	画質調整	画質調整画面を表示 (→P.33)



SDメモリーカードについて

パソコンで記録した音楽データと本機で録音した音楽データを再生できます。
パソコンで記録した場合、次の圧縮ファイルを再生できます。

<音楽ファイル>

- ・MP3
- ・WMA
- ・AAC

<動画ファイル>

- ・WMV
- ・AVI
- ・MPEG4

重要

録音用フォルダ (SDA) 内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損する恐れがあります。

チェック

- 1 使用できる音楽用SD[※]については「SDメモリーカード」(→P.339)をご覧ください。
※ AVN-ZX03iは同梱されています。
- 1 録音できるデータの仕様や注意事項については「SDメモリーカードへの録音について」(→P.153)をご覧ください。
- 1 再生できる圧縮データの記録方式については「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」(→P.338)、「再生できる圧縮ファイルの仕様について」(→P.345)をご覧ください。
- 1 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席で映像をご覧ください。

ワンポイント

- 1 音楽CDを録音すると、SDメモリーカード内に録音用フォルダ (SDA) ができます。
- 1 録音用フォルダ (SDA) 内にパソコンで記録した音楽ファイルを入れると、その音楽ファイルは再生できません。
- 1 SDメモリーカードには寿命があります。通常に使用していても書き込みや消去などの基本動作が正常に動作しなくなる可能性があります。

SDメモリーカードへの録音について

音楽CDをAAC (Advanced Audio Coding) 圧縮技術で圧縮し、音楽用SDに録音できます。CDを録音すると、「Gracenote 音楽認識サービス」により、アーティスト名やアルバム名を検索し、該当する名称のグループを自動で作成します。


録音した音楽の構成について

録音された音楽をアーティスト、録音日、マイベストに分類し、各プレイモード内にプレイリスト (アルバム) を分けて管理できます。

録音可能なデータ

- l 音楽用SDに録音できるデータは、音楽CDのみです。
- l SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しているため、次のCDからは録音できません。
 - ・ オーディオ機器を使用して録音したCD-RやCD-RW (パソコンを使用して作成、または複製したCD-RやCD-RWは、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます)
 - ・ 録音が禁止されている音楽CD
- l 圧縮ファイルを記録したCD-RやCD-RWからは録音できません。
- l DTS-CDからは録音できません。

録音の仕様

- l 録音されたデータは暗号化されて音楽用SDに記録されるため、本機以外では再生できません。
- l 録音したデータは、パソコンに保存できます。保存したデータは、録音時に使用した音楽用SDであれば、同じフォルダ構成でもう一度データを保存できます。
- l 最大3000個のアルバムを作成でき、1つのアルバムに最大99曲まで録音できます。録音可能な曲の総数は、最大9999曲です。ただし、録音する音楽用SDの容量によっては、最大9999曲まで録音できません。
- l 音楽を録音しながら録音された音楽を再生する裏録音を行っているため、録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。
- l 録音中の再生音は、音楽用SDに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- l 録音が完了した後、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしたり、オーディオソースを切り替えるなどの操作をしない限り、録音された曲を継続して再生します。
- l 音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- l 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に  が表示されます。
- l 音楽用SDの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲を削除します。
- l 録音の開始時や終了時は、約5秒間音楽が停止します。
- l すでに録音されている曲は、重複して録音できません。



録音についての注意

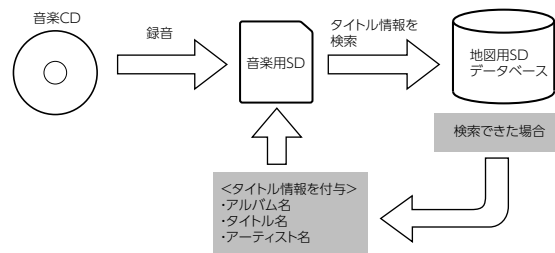
- 1 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについては保証できません。
- 1 録音した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 1 音楽作品は、著作権法により保護されています。したがって、本機で録音した音楽用SDを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 1 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) 等権利者に直接お尋ねください。
- 1 エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- 1 ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 1 バッテリーターミナルをはずし、もう一度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音できません。

データベースについて

データベース情報は、Gracenoteメディアデータベース（→P.367）を使用しています。

オートタイトリング機能について

CDを音楽用SDに録音した場合、地図用SDに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。



ワンポイント

- 1 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 1 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。
- 1 本機で音楽用SDに録音したCDの音楽情報がデータベースにない場合、アーティスト名は「NO DATA」、アルバムタイトルは録音した日時、曲名は「TRACK1、TRACK2…」と表示されます。

SDメモリーカードの 容量を確認する

音楽用SD内の録音アルバム数や録音曲数などを確認できます。

- 1 音楽用SDを差し込む。



- 2 **-MENU-** を押す。

- 3 **情報** にタッチ。

- 4 **データ管理** にタッチ。



- 5 **確認** にタッチ。



ワンポイント

- 1 データ管理画面に表示される空き領域は、実際の空き容量と異なることがあります。



SDメモリーカードへ 録音する

次の方法から録音できます。

<自動録音>

CDの再生と同時に録音を開始する (→P.156)

<選んで録音>

お好みの曲を選んで録音する (→P.157)

⚠ 重要

- 1 エンジンスイッチをONにした状態で録音してください。
- 1 録音中に車のエンジンスイッチをOFF (LOCK) にする場合は、録音を停止してください。音楽用SD内のデータが破損するおそれがあります。

🏠 チェック

- 1 走行中および録音中は、録音方法を変更できません。

n 録音中の動作について



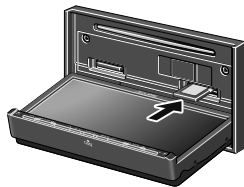
録音を途中で停止

- 1 録音された音楽が再生されます。
- 1 録音が完了すると、自動で録音を終了しますが、再生は継続されます。

自動で録音する

CDを再生すると同時に、自動で録音を開始します。

- 1 音楽用SDを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む。

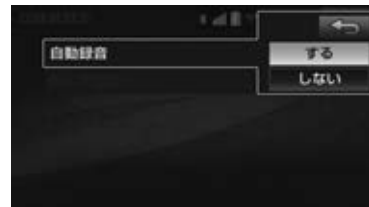


- 2 **-MENU-** を押す。

- 3 **設定・編集** にタッチ。

- 4 **AV**、**CD→SD 録音設定** の順にタッチ。

- 5 **自動録音** にタッチし、**する** にタッチ。



- 6 CD を差し込む。

- 1 再生と録音を開始します。

お好みの曲を選んで録音する

- 1 音楽用SDを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む。



- 2 **-MENU-** を押す。
- 3 **設定・編集** にタッチ。
- 4 **AV**、**CD⇒SD 録音設定** の順にタッチ。
- 5 **自動録音** にタッチし、**しない** にタッチ。
- 6 **選んで録音** にタッチし、**する** にタッチ。



- 7 CD を差し込む。

- 8 **AV** を押す。

- 9 **録音開始** にタッチ。



- 10 録音したい曲にタッチし、**完了** にタッチ。



全ての曲を選択/選択を解除

- 1 複数の曲を選択できます。
- 1 選んだ曲にもう一度タッチすると、キャンセルできます。
- 1 選んだ曲の再生と録音を開始します。

録音をやめる

- 1 **-MENU-** を押す。

- 2 **AV** を押す。

- 3 **DISC** にタッチ。

- 4 **録音停止** にタッチ。

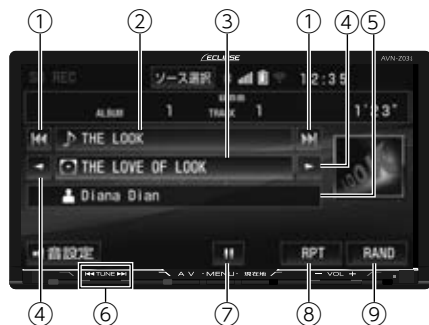


SDメモリーカードを聞く (SD REC)

SD REC操作画面を表示 (→P.126)

🏠 チェック





1 録音したデータ (→P.156) を再生します。



◆ SD REC操作画面

番号	スイッチ/表示	機能
①	⏮、⏭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲を切り替え ・ タッチし続けると、曲を早送り/早戻し
②	曲名	<p>曲リストを表示</p> <p>再生したい曲にタッチ</p> <p>ページを切り替え</p>
③	アルバム名	<p>アルバムリストを表示</p> <p>アーティスト名からアルバムを選択</p> <p>録音日からアルバムを選択</p> <p>ジャンルからアルバムを選択</p> <p>マイベスト*からアルバムを選択</p> <p>ページを切り替え</p> <p>再生したい曲にタッチ</p> <p>操作画面に戻る</p> <p>アルバムにタッチすると、先頭の曲を再生</p> <p>ページを切り替え</p>
④	⏮、⏭	アルバムを切り替え
⑤	アーティスト名	再生中の曲のアーティスト名を表示

※ **マイベスト** は、オリジナルの楽曲集が作成されていない場合、選択できません。(→P.171)

番号	スイッチ／表示	機能
⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の曲に切り替え ・ 押し続けると、曲を早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲を頭出し ・ 連続して押すと、前の曲に切り替え ・ 押し続けると、曲を早戻し
⑦		曲の再生を一時停止
		曲を再生
⑧	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中の曲をリピート再生→再生中のアルバム内の全曲をリピート再生→リピート再生を解除
⑨	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全曲をランダム再生→全曲をランダム再生→ランダム再生を解除

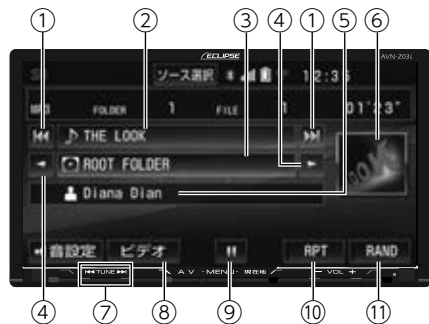


SDメモリーカードを聞く (SD)

SD操作画面を表示 (→P.126)

🏠 チェック





- 1 パソコンで記録した圧縮データを再生します。再生できる圧縮データの記録方式については「再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧」(→P.338)、「再生できる圧縮ファイルの仕様について」(→P.345)をご覧ください。



◆ SDオーディオ操作画面

番号	スイッチ／表示	機能
①	◀▶	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早送り／早戻し
②	ファイル名*	<p>ファイルリストを表示</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>ページを切り替え</p>
③	フォルダ名*	<p>フォルダリストを表示</p> <p>フォルダ名別に表示 アーティスト名別に表示 アルバム名別に表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>再生したいフォルダにタッチすると、先頭のファイルを再生</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>操作画面に戻る</p> <p>ページを切り替え</p>
④	◀▶	フォルダを切り替え

* フォルダモード時の操作で説明しています。アルバムモードやアーティストモード時、タグ情報がある場合のみアルバム名や曲名が表示されます。

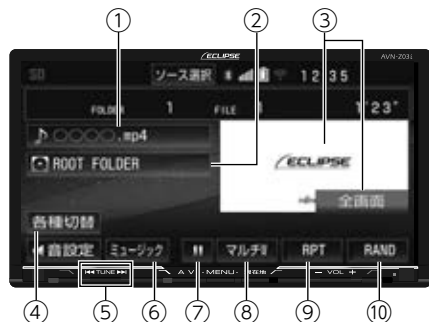
番号	スイッチ／表示	機能
⑤	アーティスト名*	再生中のファイルのアーティスト名を表示
⑥	カバーアート	音楽ファイルにカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定（→P.128）すると、カバーアートを表示
⑦		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し
⑧	ビデオ	SDビデオ操作画面（→P.162）を表示
⑨		ファイルの再生を一時停止
		ファイルを再生
⑩	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑪	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除

* タグ情報がある場合のみ表示されます。



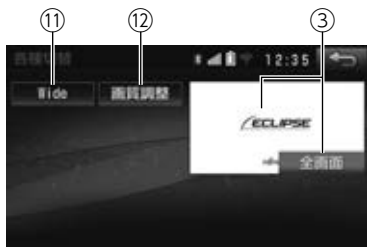
映像を見る

SD操作画面を表示 (→P.126)



◆ SDビデオ操作画面

↓④にタッチ



◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	ファイル名	<p>ファイルリストを表示</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>ページを切り替え</p>
②	フォルダ名	<p>フォルダリストを表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>フォルダにタッチすると、先頭のファイルを再生</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>操作画面に戻る</p> <p>ページを切り替え</p>
③	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。)
④	各種切替	各種切替画面を表示
⑤		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し

番号	スイッチ	機能
⑥	ミュージック	SDオーディオ操作画面 (→P.160) を表示
⑦	II	ファイルの再生を一時停止
	▶	ファイルを再生
⑧	マルチ W	マルチウィンドウ画面を表示 (→P.38)
⑨	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除
⑪	Wide	画面サイズを切り替え (→P.40)
⑫	画質調整	画質調整画面を表示 (→P.33)

タイトル情報を個別に 取得する

タイトル情報が付与されていない音楽データは、専用のアプリケーションから個別にタイトル情報を取得し、付与できます。

専用のアプリケーションソフトの 動作環境について

n 動作環境

<OS>

- ・ Microsoft Windows XP (32bit SP3)
- ・ Microsoft Windows Vista (32bit SP2)
- ・ Microsoft Windows 7 (32bit SP1/64bit SP1)
- ・ Microsoft Windows 8** (32bit/64bit)
- ※Windows RT非対応

n 必要なもの

- ・ SDHCメモリーカードリーダー/ライター
またはSDHCカードスロット搭載PC
- ・ 録音で使用した音楽用SD
- ・ パソコンでインターネット接続可能な環境



タイトル情報をダウンロードする

- 1 音楽用SDを取り出す。(→P.29)
- 2 パソコンでECLIPSEホームページの「お客様サポート」から「Gracenoteデータベース(CDDDB)／MCDB更新サービス」にアクセスし、専用のアプリケーションをインストールする。

お客様サポートURL：

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

- 3 専用のアプリケーションからサイトにアクセスする。
- 4 サイトの案内にしたがって、タイトル情報を音楽用SDにダウンロードする。

タイトル情報を取得する

- 1 タイトル情報をダウンロードした音楽用SDを挿入する。(→P.28)
- 2 **-MENU-** を押す。
- 3 **設定・編集** にタッチ。

- 4 **AV**、**サウンドライブラリ編集** の順にタッチ。

- 5 **SDから取得** にタッチ。



- 6 タイトル取得を開始します。

- 1 **中止** にタッチすると取得を中止します。
- 1 タイトル情報を取得すると自動で画面が切り替わります。

タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が違う場合は、もう一度、データベースを検索し、該当する情報を付与できます。

- 1 **-MENU-** を押す。

- 2 **設定・編集** にタッチ。

- 3 **AV**、**サウンドライブラリ編集** の順にタッチ。

- 4 **修正** にタッチ。



◆ サウンドライブラリ編集メニュー

- 5 編集したいアルバムリストの表示方法を選ぶ。

リストを切り替え



- 6 編集したいアルバムにタッチ。



- 7 **SDで検索** にタッチ。



◆アルバム修正画面



- 1 検索が終了すると、画面が自動で切り替わります。

- 8 複数候補がある場合は、タイトルにタッチ。



- 9 **登録** にタッチ。



タイトル情報を削除する

録音時に地図用SDのデータベースから付与されたタイトル情報を削除できます。

タイトル情報が削除された音楽データは、専用のアプリケーションを使用して、個別にタイトル情報を取得できます。(→P.163)

- 1 アルバム修正画面(→P.164)で**タイトル情報を削除** にタッチ。



- 2 **はい** にタッチ。



アルバム情報を編集する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **AV**、**サウンドライブラリ編集** の順にタッチ。
- 4 **修正** にタッチ。



◆ サウンドライブラリ編集メニュー

- 5 編集したいアルバムリストの表示方法を選ぶ。

リストを切り替え



- 6 編集したいアルバムにタッチ。



- 7 各項目を編集する。



◆ アルバム修正画面

- 1 次の項目を編集できます。

機能	ページ
タイトル情報の再取得	164
タイトル情報の削除	165
アルバムタイトル、アルバム読み修正	167
ジャンル修正	167
トラック (曲) タイトル、トラック (曲) 読み修正	167
アーティスト名、アーティスト読み修正	168
アルバムの削除	169
トラック (曲) の削除	170

チェック

- 1 走行中および録音中は、アルバムの編集はできません。

アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

- 1 アルバム修正画面 (→P.166) で **アルバム**、または **アルバム読み** にタッチ。
- 2 アルバム、またはアルバム読みを入力し、**完了** にタッチ。



- 1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15)をご覧ください。

ワンポイント

- 1 読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

- 1 アルバム修正画面 (→P.166) で **ジャンル** にタッチ。
- 2 ジャンルにタッチし、**完了** にタッチ。



トラック (曲) 名、トラック (曲) 読みを変更する

- 1 アルバム修正画面 (→P.166) で **トラック名を修正** にタッチ。
- 2 修正したい曲にタッチ。



- 3 **トラック**、または **トラック読み** にタッチ。



- 4 曲名または読みを入力し、**完了** にタッチ。



- 1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15)をご覧ください。

ワンポイント

- 1 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名、アーティスト読みを変更する

n アーティスト名を変更する

- 1 アルバム修正画面 (→P.166) で **アルバムアーティスト** にタッチ。
- 2 **リストから選択する** にタッチ。

- l リストにはすでに登録されているアーティストのみ表示されます。

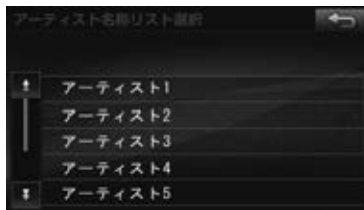


- l **マニュアル入力する** : 文字を入力して修正



- l 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15) をご覧ください。

3 アーティスト名にタッチ。



n アーティスト読みを変更する

- 1 アルバム修正画面 (→P.166) で **アルバムアーティスト読み** にタッチ。
- 2 アーティスト読みを入力し、**完了** にタッチ。



- l 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15) をご覧ください。

ワンポイント

- l 読みは半角カタカナのみ入力できます。
- l アーティスト読みが入力されていないと、アルバムリストでアーティストからの検索ができなくなります。

アルバムを削除する

- 1 サウンドライブラリ編集メニュー (→P.166) で **削除** にタッチ。
- 2 削除したいアルバムリストの表示方法を選ぶ。

リストを切り替え



- 3 削除したいアルバムにタッチ。



- 4 **このアルバムを削除** にタッチ。



- 5 **はい** にタッチ。

ワンポイント

- 1 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されている場合は、同時に削除されます。



トラック（曲）を削除する

- 1 サウンドライブラリ編集メニュー（→P.166）で **削除** にタッチ。
- 2 削除したい曲が含まれているアルバムリストの表示方法を選ぶ。

リストを切り替え



- 3 削除したい曲が含まれているアルバムにタッチ。



- 4 **トラックを削除** にタッチ。



- 5 削除したい曲にタッチし、**削除** にタッチ。



全ての曲を選択/選択を解除

- 1 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。

- 6 **はい** にタッチ。

ワンポイント

- 1 削除する曲がマイベストにも登録されている場合は、マイベスト内の曲も同時に削除されます。
- 1 すべての曲を削除すると、曲が収録されていたアルバムも削除されます。

マイベストについて

録音した曲の中からお気に入りの曲を集めたマイベストを作成できます。作成した楽曲集は、マイベストから簡単に表示できます。

ワンポイント

- 1 マイベストは999個作成できます。
- 1 1つのマイベストには99曲まで登録できません。
- 1 同じ曲を同じマイベストに2回以上登録してもマイベストに重複して表示されません。

マイベストを作成する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **AV**、**サウンドライブラリ編集** の順にタッチ。

4 **新規作成** にタッチ。



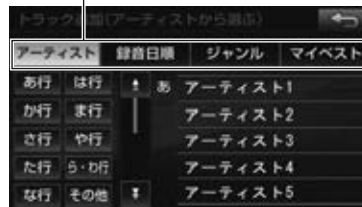
5 名称を入力し、**完了** にタッチ。



1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15)をご覧ください。

6 登録したい曲が含まれているアルバムリストの表示方法を選ぶ。

リストを切り替え



7 登録したい曲が含まれているアルバムにタッチ。



8 登録したい曲にタッチし、**登録** にタッチ。



全ての曲を選択/選択を解除

1 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。

9 **完了** にタッチ。

1 続けて曲を追加する場合は **追加** にタッチ。(手順6へ)

マイベストを編集する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **AV**、**サウンドライブラリ編集** の順にタッチ。
- 4 各項目を編集する。



◆ サウンドライブラリ編集メニュー

1 次の項目を編集できます。

機能	ページ
マイベストの名称修正	172
トラック (曲) の追加	173
トラック (曲) の並べ替え	174
トラック (曲) の削除	175
マイベストの削除	175

チェック

1 走行中および録音中は、マイベストの編集はできません。

マイベストの名称を修正する

- 1 サウンドライブラリ編集メニュー (→P.172) で **名称修正** にタッチ。
- 2 修正したいマイベストにタッチ。



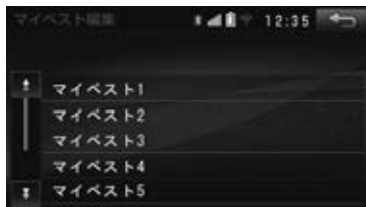
- 3 名称を入力する。

1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15) をご覧ください。

トラック (曲) を追加する

1 サウンドライブラリ編集メニュー (→P.172) で **編集** にタッチ。

2 曲を追加したいマイベストにタッチ。

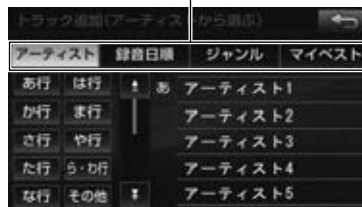


3 **トラックを追加** にタッチ。



4 追加したい曲が含まれているアルバムリストの表示方法を選ぶ。

リストを切り替え



5 追加したい曲が含まれているアルバムにタッチ。



6 追加したい曲にタッチし、**登録** にタッチ。



全ての曲を選択/選択を解除

1 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。

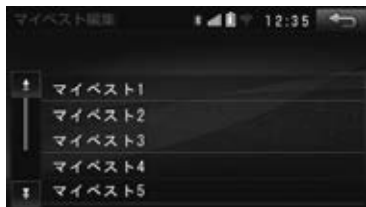
7 **完了** にタッチ。

1 続けて曲を追加する場合は **追加** にタッチ。(手順4へ)



トラック (曲) を並べ替える

- 1 サウンドライブラリ編集メニュー (→P.172) で **編集** にタッチ。
- 2 並べ替えをしたいマイベストにタッチ。



- 3 **トラックを並び替え** にタッチ。



- 4 移動したい曲にタッチし、移動先の **挿入** にタッチ。



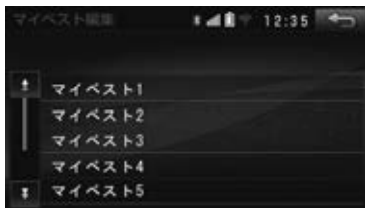
- 5 **完了** にタッチ。

トラック (曲) を削除する

チェック

- 1 削除した曲は、マイベストから削除されますが、音楽用SDには保存されています。マイベスト以外のアルバムリストから検索して再生できます。

- 1 サウンドライブラリ編集メニュー (→P.172) で **編集** にタッチ。
- 2 削除したい曲が含まれているマイベストにタッチ。



- 3 **トラックを削除** にタッチ。



- 4 削除したい曲にタッチし、**削除** にタッチ。



全ての曲を選択/選択を解除

- 1 選択した曲にもう一度タッチすると選択を解除します。

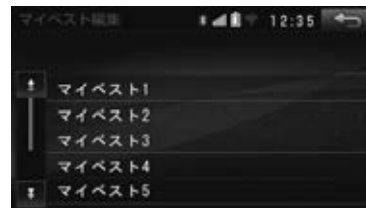
- 5 **はい** にタッチ。

マイベストを削除する

チェック

- 1 マイベストに登録した曲は、マイベストから削除されますが、音楽用SDには保存されています。マイベスト以外のアルバムリストから検索して再生できます。

- 1 サウンドライブラリ編集メニュー (→P.172) で **編集** にタッチ。
- 2 削除したいマイベストにタッチ。



- 3 **このマイベストを削除**、**はい** の順にタッチ。



テレビについて

地上デジタルTV放送をご覧いただけます。

初めて地デジ機能をご使用になる場合は、次の操作をしてください。

- ・ miniB-CASカードの設定 (→P.176)
- ・ 居住地域/ホームプリセットの登録 (→P.178)
- ・ miniB-CASカードの動作確認 (→P.180)

ワンポイント

- | 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧いただけます。

緊急警報放送 (EWS) を受信した場合は

EWS (Emergency Warning System) とは、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。

緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があった場合に放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。**OK**、または **視聴する** にタッチすると緊急警報放送をご覧いただけます。

miniB-CASカードを差し込む/取り出す

警告

- | miniB-CASカードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

- | ディスプレイを開けたとき、**CLOSE** に触れないようご注意ください。ディスプレイが閉じ、手や指を挟むおそれがあります。

⚠ 重要

- 1 miniB-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- 2 miniB-CASカードは、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- 3 miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからminiB-CASカードの動作確認を行ってください。
- 4 ご使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

🏠 チェック

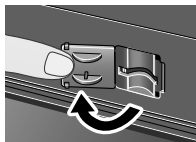
- 1 miniB-CASカードは、ラベル貼付面を上、IC側を下にして端子面が指に被らないように注意してください。
- 2 miniB-CASカード取り扱いの注意事項については「**miniB-CASカードの取り扱いについて**」(→P.354)をご覧ください。

miniB-CASカードを差し込む

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **▲** にタッチ。
- 3 **▲地図SD**、または **▲AV SD** にタッチ。



- 4 カードスロットカバーを開ける。



- 5 カードスロットにminiB-CASカードを“カチッ”と音がするまで差し込む。

miniB-CASカードはラベル貼付面を上、IC側を下にする



- 6 カードスロットカバーを閉じる。

- 7 **CLOSE** にタッチ。

- 8 miniB-CASカードの動作確認をする。(→P.180)

miniB-CASカードを取り出す

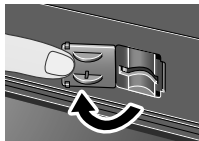
1 **-MENU-** を押す。

2 **▲** にタッチ。

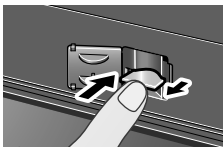
3 **▲地図SD**、または **▲AV SD** にタッチ。



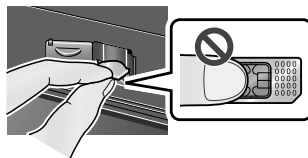
4 カードスロットカバーを開ける。



5 カードロックを解除する。

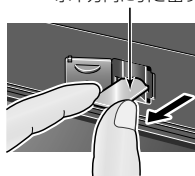


6 miniB-CASカードをつまみ、半分まで引き出す。



7 miniB-CASカードを引き出す。

水平方向に引き出す



8 カードスロットカバーを閉じる。

9 **CLOSE** にタッチ。

居住地域／ホームプリセットを登録する

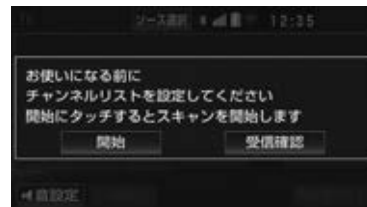
番組やデータ放送の地域情報を受信するために、居住地域や放送局（チャンネル）を登録します。初めて起動した場合や、引越しをした場合は必ず設定してください。

1 **-MENU-** を押す。

2 **AV** にタッチ。

3 **TV** にタッチ。

4 **開始** にタッチ。



5 郵便番号を入力し、**次へ** にタッチ。

1文字ずつ修正



6 お住まいの地域にタッチ。



1 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方は、**沖縄地方 その他** にタッチしてください。

7 お住まいの都道府県にタッチし、**次へ** にタッチ。



8 お住まいの地域にタッチ。



9 お住まいの都道府県にタッチし、**スキャン** にタッチ。



選択をやり直す

10 放送局受信完了後、**OK** にタッチ。

1 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。

11 **完了** にタッチ。

ワンポイント

- 1 プリセットスイッチの順番を変更したり、放送局を追加する場合は、「プリセットスイッチの編集」（→P.192）をご覧ください。
- 1 受信する地域により、放送局を表示するまで約5分程度かかる場合があります。
- 1 引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、もう一度設定してください。（→P.193）



miniB-CASカードの 動作確認をする

1 **-MENU-** を押す。

2 **AV** にタッチ。

3 **TV** にタッチ。

4 **設定** にタッチ。



5 **初期設定** にタッチ。

6 **B-CAS カード情報** にタッチ。



7 **B-CAS カードテスト** にタッチ。



1 B-CASカード情報画面でカードの情報を確認
できます。

8 **OK** にタッチ。

ワンポイント

1 テストで異常を検出した場合、miniB-CAS
カードの抜き差しを行ってください。抜き差
ししても読み取れない場合は、お買い上げの
販売店にご相談いただくか、カードを交換し
てください。

テレビを見る

TV操作画面を表示 (→P.126)



◆ TV操作画面

① ワンポイント

- 1 電波の受信状態が悪くなり、受信レベルが弱くなると、映像が静止して、音が出なくなることがあります。
- 1 アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルの状態が良くても映像が静止したり、音声が途切れることがあります。
- 1 AAC5.1ch放送には対応していないため、2ch再生となります。

番号	スイッチ/表示	機能
①	プリセットスイッチ※1	受信した放送局を表示
②	d 操作	データ放送画面を表示 (→P.184)
③	アンテナインジケータ	 受信不可 ← 受信状態が悪い ←→ 受信状態が良い
④	全画面 ※2	映像を全画面で表示 (映像にタッチして表示することもできます。)
⑤	TUNE	放送局を切り替え
⑥	設定	テレビの設定を変更 (→P.186)
⑦	マルチ W	マルチウィンドウ画面を表示 (→P.38)
⑧	放送局リスト	放送局リスト画面を表示 (→P.182)

※1 あらかじめチャンネルを設定する必要があります。(→P.178)

※2 全画面で表示される放送と、4:3画面 (画面の左右両端が黒表示) で表示される放送があります。

番組を選ぶ

番組はプリセットスイッチ以外にも次の方法で選ぶことができます。

- 1 TV操作画面(→P.181)で **放送局リスト** にタッチ。
- 2 放送局にタッチし、**全画面** にタッチ。



◆ 放送局リスト画面

1 放送局リスト画面で次の操作ができます。

スイッチ	機能
サービスリスト	<p>選択している放送局のサービスリストを表示</p> <p>見たい番組を選択</p>
番組内容	<p>選択している放送局の番組内容を表示</p>
番組表	<p>番組表を表示(→P.182)</p>

ワンポイント

放送局リストに表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。

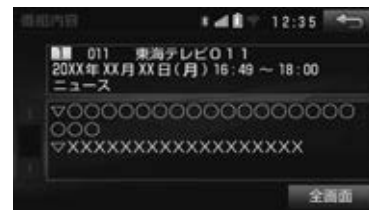
EPG(電子番組表) から見たい番組を選ぶ

- 1 放送局リスト画面(→P.182)で **番組表** にタッチ。
- 2 見たい番組にタッチ。



1 番組表画面の操作については、「番組表画面を操作する」(→P.183)をご覧ください。

- 3 **全画面** にタッチ。



番組表画面を操作する



次の操作ができます。

番号	機能
①	番組表の時間帯を切り替え
②	他のチャンネルの番組表に切り替え
③	番組表の日付を切り替え
④	選択した放送局の番組表をリストで表示
⑤*	すべての番組表を表示
⑥	選択した放送局を選局し、番組情報を取得後、番組の一覧を更新

* 1時間枠内に3番組以上の番組がある場合に表示されます。



データ放送を見る

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。

受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。

1 TV操作画面（→P.181）で
d操作 にタッチ。

2 **d** にタッチ。



1 **d** : TV操作画面に戻る

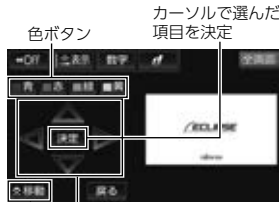

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタンなどで操作します。

また、データ放送の内容により、文字入力が必要な場合は、文字を入力できます。操作方法は受信したデータ放送により異なります。



1 次の操作ができます。

番号	機能
①	スイッチを表示／非表示
②	色ボタン・カーソルを表示  カーソル 色ボタン・カーソルの表示位置を左下/右上に切り替え
③	10キー（数字入力ボタン）を表示  10キー 入力した数字を決定 10キーの表示位置を左下/右上に切り替え
④	1つ前のデータ放送画面に戻る

ワンポイント

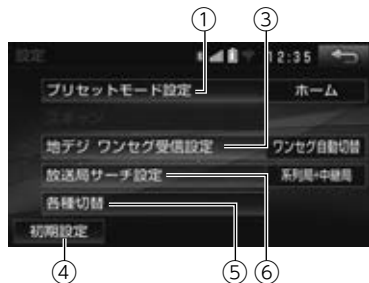
- 1 番組によっては、独自の画面キーボードを表示します。その場合は、画面にしたがって操作してください。
- 1 データ放送の内容により、入力する文字の種類は限定されることがあります。
(カナのみなど)
- 1 データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機にはデジタルテレビ放送用の通信機能がないため、双方向通信に対応していません。
- 1 ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。



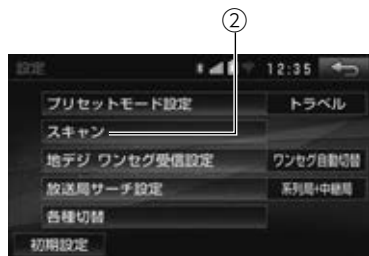
設定を変更する

1 TV操作画面(→P.181)で **設定** にタッチ。

2 各項目を設定する。



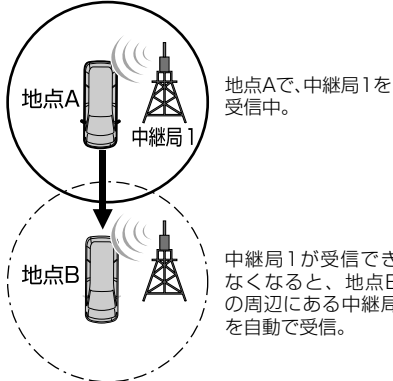
↓ ①で **トラベル** を
選択した場合



◆ 設定画面

1 次の項目を設定できます。

番号	項目	機能
①	プリセットモード設定	<p>プリセットモードを切り替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホーム : ホームプリセットで記憶した放送局(→P.178、189)を表示 (普段ご覧になる場合は、このモードを使用してください) ・ トラベル : 一時的にプリセットスイッチに放送局を記憶(旅先などで一時的に使用する場合に便利です。自宅に戻られた際は ホーム に設定を変更します。) ・ エリア : 今いる地域の放送局をプリセットスイッチに表示(移動中などで今いる地域の放送局が分からない場合に使用すると便利です。)
②	スキャン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①で トラベル を選択した場合、“ピー”と音がするまでタッチすると、自動で選局を開始 ・ 選局後、OK にタッチするとプリセットスイッチにチャンネルを記憶
③	地デジ ワンセグ設定	<p>地デジの受信モードを設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワンセグ : 常にワンセグ放送を受信 ・ 地デジ : 常に地上デジタルTV放送を受信 ・ ワンセグ自動切替 : 地上デジタルTV放送が受信できない状態になると、自動でワンセグ放送に切り替え^{※1}(受信可能になると、再び地上デジタルTV放送に切り替わります。)
④	初期設定	ホームプリセットの設定を変更(→P.189)やminiB-CASカードの情報を表示(→P.180)
⑤	各種切替	各種設定を変更(→P.188)

番号	項目	機能
⑥	放送局サーチ設定 (ネットワークフォロー)	<p>現在受信している放送局が受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定^{※2}</p>  <p>地点Aで、中継局1を受信中。</p> <p>中継局1が受信できなくなると、地点Bの周辺にある中継局を自動で受信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 系列局+中継局：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探す。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探し、受信するとプリセットスイッチのチャンネルを更新 ・ 中継局：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局のみを探し、受信するとプリセットスイッチのチャンネルを更新 ・ OFF：系列局や中継局はサーチしない

※1 **ワンセグ自動切替** に設定すると、次のようになることがあります。

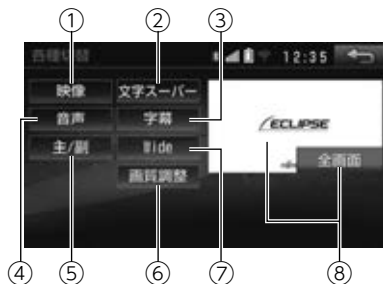
- ・ 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ・ ワンセグ放送のサービスを行っていない放送局をご覧になっている場合は、ワンセグ放送に切り替わりません。

※2 放送局のサーチ中は、映像および音声が出ず、“放送局サーチ中です”のメッセージが表示されます。



画面表示／音声を切り替える

設定画面を表示 (→P.186)



◆各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	映像 ※1	マルチビュー放送で複数の映像が提供された場合、タッチするごとに、映像を切り替え
②	文字スーパー	放送中の番組が文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を提供している場合、タッチするごとに、日本語→英語→表示なしの順に切り替え
③	字幕	放送中の番組が字幕を提供している場合、タッチするごとに、日本語→英語→字幕なしの順に切り替え
④	音声	放送中の番組が複数の音声を提供している場合、タッチするごとに、音声を切り替え
⑤	主/副 ※2	タッチするごとに、主音声→副音声→主/副音声の順に切り替え
⑥	画質調整	画質調整画面を表示 (→P.33)
⑦	Wide	画面サイズを変更 (→P.40)
⑧	全画面	映像を全画面で表示（映像にタッチして表示することもできます。）

※1 映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

※2 副音声または主/副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

初期設定を変更する

引越しなどでお住まいの地域が変わった場合、状況にあわせて次の設定を変更してください。

- ・ **ホームプリセットの設定** (→P.189)
- ・ **居住地域の設定** (→P.193)

ホームプリセットの設定を変更する

次の方法から設定できます。

<初期スキャン>

新たに放送局を記憶 (→P.190)

<追加スキャン>

プリセットスイッチに新たに受信できる放送局を追加 (→P.191)

チェック

1 プリセットスイッチの順番を変更したり、放送局を追加する場合は、「**プリセットスイッチの編集**」(→P.192) をご覧ください。



6. テレビ

n 初期スキャンで記憶する

現在プリセットスイッチに記憶されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を記憶させます。

1 設定画面 (→P.186) で
初期設定 にタッチ。

2 **ホームプリセット設定** にタッチ。



3 **初期スキャン** にタッチ。



4 お住まいの地方にタッチ。



5 お住まいの都道府県にタッチし、**スキャン** にタッチ。



受信を中止

1 自動で放送局の受信が始まります。

6 **OK** にタッチ。



1 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。

7 **完了** にタッチ。



n 追加スキャンで記憶する

現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局を追加できます。

1 設定画面 (→P.186) で
初期設定 にタッチ。

2 **ホームプリセット設定** にタッチ。



3 **追加スキャン** を“ピッ”と音がするまでタッチ。



放送局の受信を中止

1 自動で放送局の受信が始まります。

4 **OK** にタッチ。



1 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。

1 プリセットスイッチに空きがある場合は、受信感度がよい放送局がプリセットスイッチに表示されます。

5 **完了** にタッチ。



6. テレビ

n プリセットスイッチの編集

プリセットスイッチの順番を変更したり、放送局を追加できます。

1 設定画面 (→P.186) で
初期設定 にタッチ。

2 **ホームプリセット設定** にタッチ。



3 放送局を変更するプリセットスイッチにタッチ。



4 **<**、または **>** にタッチして
放送局を選択する。

5 他に変更したいプリセットスイッチがある場合は、手順3、手順4を繰り返す。

6 **完了** にタッチ。

居住地域の設定を変更する

1 設定画面 (→P.186) で
初期設定 にタッチ。

2 **地域設定** にタッチ。



3 郵便番号7桁を入力し **次へ** に
タッチ。



4 お住まいの地方にタッチ。



1 東京都島部 (伊豆・小笠原諸島) と鹿児島県
島部 (南西諸島の鹿児島県域) にお住まいの
方は、**沖縄地方・その他** にタッチしてくだ
さい。

5 お住まいの都道府県にタッチし
完了 にタッチ。



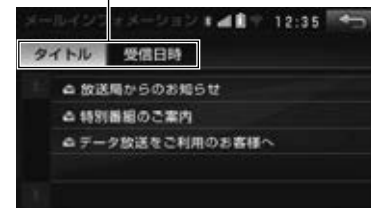
放送局から受信した メールを見る

1 設定画面 (→P.186) で
初期設定 にタッチ。

2 **メールインフォメーション** にタッ
チ。



3 見たいメールリストにタッチ。
リストを切り替え



iPodについて

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルやビデオファイルを再生できます。

チェック

- l iPodを接続する場合は、別売の「iPod接続コード」および「USB接続コード」※をお買い求めください。
※ AVN-ZX03iは同梱されています。
- l iPodビデオを見る場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- l 対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「iPod/iPhone適合情報」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご覧ください。

ワンポイント

- l iPodの写真表示機能には対応していません。
- l ポッドキャスト機能に対応していますが、iPod/iPhone本体と異なる動作になる場合があります。
- l 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席でiPodビデオをご覧いただけます。

iPodを接続する／取り はずす

⚠ 重要

- ⌋ iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、音楽の再生中は、iPod保護のため、iPodから接続コードのコネクタを取りはずさないでください。

🏠 チェック

- ⌋ iPodを接続するときは、iPodに接続されているアクセサリをすべて取りはずしてください。
- ⌋ iPodを取りはずすときは、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはオーディオソースをiPod以外に切り替えてください。
- ⌋ Lightning コネクタを使用する場合は、Apple純正ケーブルを使用してください。

- 1 iPodと接続コードのコネクタを接続する／取りはずす。
- 2 接続コードのUSB コネクタをUSB 接続コードに接続する／取りはずす。

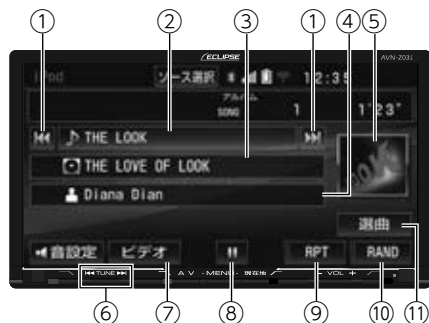
📌 ワンポイント

- ⌋ iPodを接続してしばらくすると、オーディオソース選択画面の **USB** が **iPod** に変わります。
- ⌋ iPodを接続しても、オーディオソースは自動でiPodに切り替わりません。
- ⌋ エンジンスイッチがON、またはACCになっている場合、接続しているiPodのバッテリーが充電されます。
- ⌋ エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした後は、必ずiPodを取りはずしてください。iPodを接続したままにすると、iPodの電源が切れず、iPodのバッテリーを消費する場合があります。



音楽を聞く

iPod 操作画面を表示 (→P.126)



◆ iPod オーディオ操作画面

番号	スイッチ	機能
①		<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早送り／早戻し
②	ファイル名	ファイルリストを表示 再生したいファイルにタッチ ページを切り替え
③	アルバム名	アルバム名を表示
④	アーティスト名	再生中のファイルのアーティスト名を表示
⑤	カバーアート	音楽ファイルにカバーアートが収録されている場合、カバーアート表示を【する】に設定 (→P.128) すると、カバーアートを表示
⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを頭出し ・ 連続して押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、ファイルを早戻し
⑦	ビデオ	iPod ビデオ操作画面 (→P.198) を表示
⑧		ファイルの再生を一時停止
		ファイルを再生

番号	スイッチ	機能
⑨	RPT	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	RAND	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生 →ランダム再生を解除
⑪	選曲	<p>選曲リストを表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>プレイモード*を選択</p> <p>アルバムやアーティストなどにタッチ</p> <p>再生したファイルにタッチ</p> <p>操作画面に戻る</p>

* プレイモードは「プレイリスト」「アーティスト」「アルバム」「曲」「Podcasts」「オーディオブック」「ジャンル」「作曲者」から選ぶことができます。

ワンポイント

- 1 iPodに収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 1 正しく動作しない場合、iPodの接続をはずし、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした後、ACCまたはONにして、iPod本体をリセットしてからもう一度接続してください。
- 1 表示されるリストの順番や表示項目がiPodと異なることがあります。

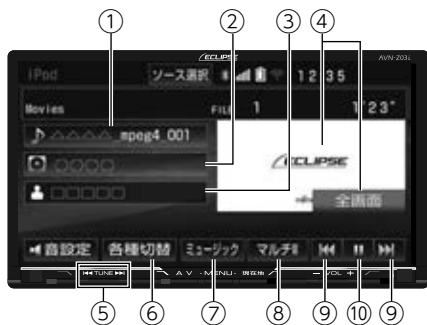


映像を見る

iPod 操作画面を表示 (→P.126)

チェック

- ビデオ音声の入力方法を設定してください。(→P.199)



◆ iPodビデオ操作画面



◆ 各種切替画面

番号	スイッチ/表示	機能
①	ファイル名	<p>ファイルリストを表示</p> <p>再生したいファイルにタッチ</p> <p>ページを切り替え</p>
②	フォルダ名	<p>フォルダリストを表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>フォルダにタッチすると、先頭のファイルを再生</p> <p>再生したいファイルにタッチ 操作画面に戻る</p>
③	アーティスト名	アーティスト名を表示
④	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。)
⑤		<ul style="list-style-type: none"> 次のファイルに切り替え 押し続けると、ファイルを早送り
		<ul style="list-style-type: none"> ファイルを頭出し 連続して押すと、前のファイルに切り替え 押し続けると、ファイルを早戻し

番号	スイッチ／表示	機能
⑥	各種切替	各種切替画面を表示
⑦	ミュージック	iPodオーディオ操作画面（→P.196）を表示
⑧	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示（→P.38）
⑨	⏮、⏭	・ ファイルを切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早送り／早戻し
⑩	⏸	ファイルの再生を一時停止
	▶	ファイルを再生
⑪	Wide	画面サイズを切り替え（→P.40）
⑫	画質調整	画質調整画面を表示（→P.33）

iPodビデオの音声入力方法を変更する

iPodビデオ再生時の音声入力を変更できます。

- 1 **“MENU”** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **AV**、**iPod 設定** の順にタッチ。
- 4 **iPod ビデオ音声入力** にタッチし、**USB**、または **VTR** にタッチ。



- ┆ **USB** : USBから音声を入力
- ┆ **VTR** : VTR入力端子（RCA）から音声を入力

外部入力 (VTR) について

VTR機器を本機に接続すると、ビデオをご覧になれます。

🏠 チェック

- 別売の「拡張配線コード」や「USB接続コード」※をお買い求めください。
※ AVN-ZX03iは同梱されています。
接続する機器により必要となる場合があります。
- 接続するVTR機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

📌 ワンポイント

- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧いただけます。

映像を見る

VTR操作画面を表示 (→P.126)



◆ VTR 操作画面



◆ 各種切替画面

番号	スイッチ	機能
①	各種切替	各種切替画面を表示
②	マルチW	マルチウィンドウ画面を表示 (→P.38)
③	全画面	全画面の映像を表示 (映像にタッチして表示することもできます。)
④	AUX	AUX画面 (→P.202) を表示
⑤	Wide	画面サイズを切り替え (→P.40)
⑥	画質調整	画質調整画面を表示 (→P.33)

VTR機器の音声入力方法 を変更する

接続したVTR機器に合わせて、音声入力を変更
できます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **AV**、**VTR設定** の順にタッチ。
- 4 **VTR音声入力** にタッチし、
VTR、または **USB** にタッチ。



- 1 **VTR** : VTR入力端子 (RCA) から音声を入力
- 1 **USB** : USBから音声を入力

ワンポイント

- 1 スマートフォンの動画を再生する場合は、
USB にタッチしてください。



外部入力 (AUX) について

ポータブルオーディオなどを本機のAUX入力 (RCA) 端子に接続すると、音楽を再生できません。

🔍 チェック

- 1 ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- 1 ポータブルオーディオを接続/取りはずすときは、次のことを確認してください。
 - ・ポータブルオーディオの電源が切れていること
 - ・オーディオソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていること

音楽を聞く

AUX操作画面を表示 (→P.126)



◆AUX操作画面

番号	スイッチ	機能
①	VTR	VTR画面 (→P.200) を表示

📌 ワンポイント

- 1 接続された機器によって音量レベルが異なります。
- 1 ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。車に装着されているシガーライターソケットやアクセサリソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。


10. 音質を調整する

イコライザを設定する (EQ)

音楽にあわせて音域の設定を変更したり、お好みの音域に調整できます。

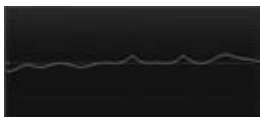


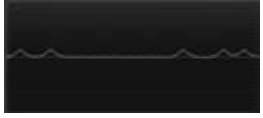
イコライザを選択する


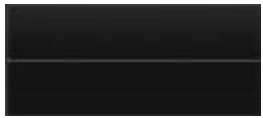
あらかじめ設定されているイコライザを選択し、お好みの音質に設定できます。

- 1  を押す。
- 2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- 3 **EQ** にタッチ。
- 4 **EQ1** ~ **EQ5** を選んでタッチ。



1 次のイコライザを選択できます。

スイッチ	イコライザ
EQ1	 高域を強調したパターン
EQ2	 低域高域を強調したパターン
EQ3	 低域を強調したパターン
EQ4	 低域高域を少し強調したパターン

スイッチ	イコライザ
EQ5	 ボーカル帯域を強調したパターン
FLAT	 EQ 補正なし



10. 音質を調整する

パラメトリックイコライザを設定する

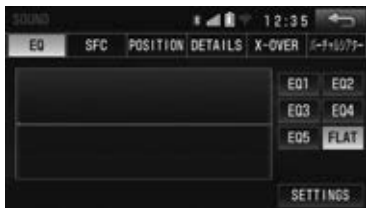
イコライザの中心周波数、レベル、Qカーブ(帯域幅)をそれぞれ設定できます。

1  を押す。

2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。

3 **EQ** にタッチ。

4 **SETTINGS** にタッチ。



◆ SOUND (EQ) 画面

5 調整したいバンドにタッチ。



バンド	中心周波数 (Hz)
63K	63 ↔ 80 ↔ 100
125K	125 ↔ 160 ↔ 200
250K	250 ↔ 315 ↔ 400 ↔ 500
630K	630 ↔ 800 ↔ 1k ↔ 1.25k
1.6K	1.6k ↔ 2k ↔ 2.5k ↔ 3.15k
4K	4k ↔ 5k ↔ 6.3k ↔ 8k
10K	10k ↔ 12.5k ↔ 16k

1 次の調整ができます。

調整ボタン	機能
	中心周波数を高くする
	中心周波数を低くする
	レベルを上げる
	レベルを下げる
Q1	Qカーブ(帯域幅)を広くする
Q2	Q1 と Q3 の中間のQカーブにする
Q3	Qカーブを狭くする

6 各バンドごとに、手順5の操作を繰り返す。

7  にタッチ。

8 **EQ1** ~ **EQ5** のいずれかに“ピー”と音がするまでタッチ。

1 調整したイコライザが記憶されます。

1 SOUND (EQ) 画面で **FLAT** に“ピー”と音がするまでタッチすると、記憶した **EQ1** ~ **EQ5** の調整値が初期化されません。

ワンポイント

- 1 周波数レベルは-10～+10の21段階です。
- 1 隣りあうバンドの中心周波数の値が近い場合、周波数レベルが-10～+10の範囲を超えた値になることがあります。
- 1 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR機器など）を接続する場合、外部入力機器のEQ設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ設定レベルを低くしてください。

SFC（音場）を設定する

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

チェック

- 1 SFCは、バーチャルシアターと同時に設定できません。

1  を押す。

2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。



3 **SFC** にタッチ。

4 設定したいモードにタッチ。



- 1 次のモードを選択できます。

モード	モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	野外スタジアム
CLUB	ディスコ、クラブ
OFF	SFC OFF

- 1 、または  にタッチすると、レベル（-5～+5）を調整できます。調整後、モードに“ピー”と音がするまでタッチすると、調整したレベルが記憶されます。
- 1 **OFF** に“ピー”と音がするまでタッチすると、調整したレベルは初期化されます。

音量バランスを調整する

乗車人数や乗車位置などにあわせて、音の中心位置を変更できます。

チェック

- 1 POSITION (ポジションセレクター) は、FADER BALANCE (音量バランス) と同時に設定できません。

POSITION (ポジションセレクター) を設定する

1  を押す。

2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。

3 **POSITION** にタッチ。

4 シートにタッチ。



1 次のポジションを設定できます。

表示	ポジション
	運転席を中心にした音場
	助手席を中心にした音場
	前席を中心にした音場
	後席を中心にした音場
OFF	設定を解除

5 **CAR TYPE** にタッチ。



6 **CAR BODY TYPE** にタッチし、車のボディタイプにタッチ。



1 次のボディタイプを選択できます。

タッチスイッチ	モードの種類
COMPACT	コンパクト車
SEDAN	セダン
WAGON	ワゴン車
MINI VAN S	小さいミニバン
MINI VAN L	大きいミニバン

タッチスイッチ	モードの種類
SUV	スポーツ・ユーティリティ・ビークル
SMALL	軽自動車
OTHER	その他

- 7 **TWEETER** にタッチし、**Yes**、または **No** にタッチ。



- 1 **Yes** : ツィーター有り
- 1 **No** : ツィーター無し

FADER BALANCE (音量バランス)を設定する

前後 (フェダー)・左右 (バランス) スピーカの音量レベルを調整します。

📌 チェック





- 1 FADER BALANCE (音量バランス) は、POSITION (ポジションングセレクター) と同時に設定できません。

- 1  を押す。
- 2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- 3 **POSITION** にタッチ。
- 4 **FADER BALANCE** にタッチ。



- 5 音場の中心にしたいポイントにタッチ。



- 1 , , ,  にタッチし続けると連続的に変化し、センター値で停止します。もう一度タッチすると、調整を再開できます。

📌 ワンポイント

- 1 調整レベルはF (フロント) 側、R (リヤ) 側、L (左) 側、R (右) 側各15段階です。

HARMONIZER (ハーモナイザー) を設定する

圧縮音楽データを作成する場合に失われた音の響きや奥行き感などを自動で補正します。

チェック

- MP3/WMA/AAC/iPod/USBメモリ/SDメモリーカード/Bluetooth Audioを再生する場合に効果があります。

1  を押す。

2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。

3 **DETAILS** にタッチ。

4 **HARMONIZER** にタッチし、**Hi**・**Low**・**Off** を選んでタッチ。



- Hi** : 補正レベル大
- Low** : 補正レベル小
- Off** : 補正なし

E-EVOLUTION を設定する

圧縮された音楽データは、録音の条件により音量レベルが異なることがあります。音楽データの音量レベルを自動で調整することにより、曲ごとの音量レベルの差を減らします。

チェック

- MP3/WMA/AAC/iPod/USBメモリ/パソコンで記録したSDメモリーカードを再生する場合に効果があります。

1  を押す。

2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。

3 **DETAILS** にタッチ。

4 **E-EVOLUTION** にタッチし、**On** にタッチ。



- Off** : E-EVOLUTIONの設定を解除

- 5 **インジケータ** にタッチし、**On**、
または **Off** にタッチ。



- 1 **On** : 再生している曲の補正レベルをインジケータで表示 (例: E-VOL+2)

インジケータ表示



- 1 補正レベルは-5~+5の11段階です。

- 6 **補正音量レベル** にタッチし、
Hi、**Mid**、**Low** を選んで
タッチ。



- 1 **補正音量レベル** : 補正する音量レベルを設定

Low < **Mid** < **Hi**

音量レベル小 ← → 音量レベル大

- 7 **反応速度** にタッチし、**Fast**、
Mid、**Slow** を選んでタッチ。



- 1 **反応速度** : 補正レベルを設定

Fast < **Mid** < **Slow**

楽曲の音量変化に
あわせて
素早く補正*1 ← → 楽曲の音量変化
にあわせて
緩やかに補正*2

※1 音量変化が小さい曲向け

※2 音量変化が大きい曲向け

ワンポイント

- 1 E-VOLUTION は再生中に音量補正を行うため、楽曲や設定状況により、原曲のイメージと異なる場合があります。必要に応じて設定を調整してください。
- 1 音源や早送り/早戻し、選曲のタイミングによって、補正レベルを継続する場合があります。

LOUDNESS (ラウドネス) を設定する

聞きとりにくい低音・高音を補正することで、小音量でも音を聞きとりやすくします。

- 1 **▲ ▼** を押す。
- 2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- 3 **DETAILS** にタッチ。
- 4 **LOUDNESS** にタッチし、**On**、または **Off** にタッチ。




サブウーファを設定する

チェック

- 1 サブウーファを接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。

出力方式を設定する

サブウーファの出力方法を設定することができます。接続されているサブウーファの出力方式（ステレオ、またはモノラル）に合わせて設定してください。


- 1  を押す。
- 2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- 3 **X-OVER** にタッチ。
- 4 **STEREO**、または **MONO** にタッチ。



位相を切り替える

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リアスピーカの音と同じ周波数帯域のものが、車内条件により打ち消しあってしまうことがあります。

この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。

- 1  を押す。
- 2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- 3 **X-OVER** にタッチ。
- 4 **NORMAL**、または **REVERSE** にタッチ。




各スピーカとサブウーファの出力タイミングをずらす



各スピーカとサブウーファの出力タイミングを同じにする

サブウーファレベルを設定する

サブウーファの出力レベルを調整します。




- 1  を押す。
- 2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- 3 **X-OVER** にタッチ。
- 4 、または  にタッチ。



- 1 出力レベルは-6～+6の13段階です。

X-OVER(クロスオーバー) を設定する

フロント/リヤスピーカ（中高域）とサブウーファ（低域）の再生する周波数帯域を分割して、音のつながりを改善できます。

- 1  を押す。
- 2 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- 3 **X-OVER** にタッチ。
- 4 FREQUENCY の 、または  にタッチして、カットオフ周波数を選択する。



- 1 カットオフ周波数は、63/80/100/125/160/200(Hz)の中から選択できます。

5 SLOPE の 、または  にタッチして、スロープを選択する。

- 1 スロープはPASS/6/12/18/24 (dB/oct) の中から選択できます。
- 1 数値が大きいほど、スロープの傾きが急になり、フロント/リヤスピーカとサブウーファとの音の混ざりが少なくなります。
- 1 **【PASS】** に設定すると、効果を得ることができません。

ワンポイント

- 1 サブウーファが接続されていない場合は、スロープを **【PASS】** に設定してください。**【PASS】** 以外に設定すると、低域音が遮断されます。



バーチャルシアターを設定する

車に搭載されているスピーカや車内の状況により、スピーカの位置などを擬似的に補正し、低音や音の拡がりを感じる事ができます。

チェック

- バーチャルシアターは、SFCと同時に設定できません。
- ラジオ・DSモードでは効果を得られません。

- AV** を押す。
- 各オーディオ操作画面で **音設定** にタッチ。
- バーチャルシアター** にタッチ。
- バーチャルシアター** にタッチし、**On** にタッチ。

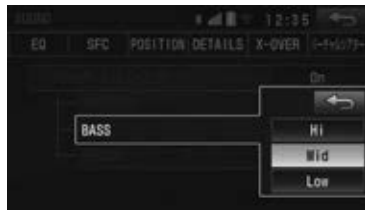
- TWEETER** にタッチし、**Yes**、または **No** にタッチ。

ツイーター有りの場合にタッチ



ツイーター無しの場合にタッチ

- BASS** にタッチし、**Hi**、**Mid**、**Low** のいずれかにタッチ。



- Hi** : 補正レベル大
- Mid** : 補正レベル中
- Low** : 補正レベル小

- FIELD** にタッチし、**Hi**、**Mid**、**Low** のいずれかにタッチ。



- Hi** : 補正レベル大
- Mid** : 補正レベル中
- Low** : 補正レベル小

MEMO



Bluetooth®機能について

Bluetoothの無線通信機能を使って、次の機能を利用できます。

<ハンズフリー>

Bluetooth対応のスマートフォンや携帯電話を直接操作せずに、電話機能を使用できます。(→P.223)

<Bluetooth Audio>

Bluetooth機器に収録されている音楽を再生できます。(→P.246)

<スマートフォン連携>

スマートフォンアプリと本機が連携する機能です。(→P.256)

<オンデマンドVICS>

MapFan®が提供する「渋滞チャンネル」のサービスを利用し、Bluetooth対応の携帯電話を介して、交通情報（渋滞情報）を本機へ配信する機能です。(→P.270)

- 1 各機能をご利用いただくには、Bluetooth機器（スマートフォン・携帯電話・ポータブル機など）を本機に登録し、接続する必要があります。
- 1 本書では、ハンズフリーに使用するBluetooth機器を「携帯電話」の名称で記載します。

📌ワンポイント

- 1 使用できるBluetooth機器の仕様は、**「Bluetooth®機器」** (→P.349) をご覧ください。
- 1 動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Bluetooth適合情報」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご覧ください。

登録～接続の流れについて

Bluetooth機器を登録する (→P.215)

接続方法を設定する

自動接続に設定する (→P.216)

自動接続は、次の場合に適しています。

- ・ Bluetooth機器が自動接続に対応している
- ・ Bluetooth機能の使用頻度が高い

手動接続に設定する (→P.216)

手動接続は、次の場合に適しています。

- ・ Bluetooth機器が自動接続に対応していない
- ・ Bluetooth機能の使用頻度が低い

自動で接続する (→P.216)

エンジンスイッチをACC、またはONにするたびにBluetooth機器と本機を自動で接続します。

手動で接続する

手動で接続する場合、使用する機能によって方法が異なります。次をご覧ください。

- ・ ハンズフリー (→P.224)
 - ・ Bluetooth Audio (→P.246)
- 接続するBluetooth機器を選んで接続する (→P.217)**

自動接続に失敗

Bluetooth機器の種類やBluetooth通信の状況により、接続できない場合があります。その場合は、手動で接続してください。

📌ワンポイント

- 1 Bluetooth機器を本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

Bluetooth®機器を登録する

Bluetooth機能を使うには、Bluetooth機器を登録する必要があります。Bluetooth機器は、本機に最大5台まで登録できます。

チェック

- 使用できるBluetooth機器の仕様は、**「Bluetooth®機器」** (→P.349) をご覧ください。
- ハンズフリー、スマートフォン連携、オンデマンドVICSを利用しない場合は、携帯電話の接続を切っておいてください。(→P.221)

- 1 **「MENU」** を押す。
- 2 **「設定・編集」** にタッチ。
- 3 **Bluetooth**、**「機器登録・接続」** の順にタッチ。
- 4 Bluetooth機器を接続可能な状態にする。

- 5 **「追加」** にタッチ。



- 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージが表示されます。**「はい」** にタッチすると、追加登録できます。
- すでにBluetooth機器が登録可能台数を超過している場合、確認のメッセージが表示されます。その場合、**「はい」** にタッチし、登録するBluetooth機器を選んでタッチしてください。

- 6 画面に表示されている案内にしたがってBluetooth機器を操作する。



- 7 **「完了」** にタッチ。

ワンポイント

- PIN-Codeとは、Bluetooth機器を本機に登録するための番号です。
- 最後に登録したBluetooth機器が使用する機器として選択されます。複数登録している場合は、使用する機器を選択できます。(→P.217)
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。



自動接続に設定する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Bluetooth**、**Bluetooth 詳細設定** の順にタッチ。
- 4 **ACC ON 時の自動接続** にタッチし、**する** にタッチ。



ワンポイント

- 一部のBluetooth Audio機器を自動接続する場合、接続方法（→P.218）を【車載機から】に設定しないと自動接続ができません。

手動接続に設定する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Bluetooth**、**Bluetooth 詳細設定** の順にタッチ。
- 4 **ACC ON 時の自動接続** にタッチし、**しない** にタッチ。



自動で接続する

エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、選択されているBluetooth機器を自動で接続します。

- 1 Bluetooth機器を接続可能な状態にする。
- 2 エンジンスイッチをACC、またはONにする。

Bluetooth接続確認表示



ワンポイント

- Bluetooth接続確認表示は電話機の接続確認表示やポータブル機の接続確認表示を【する】に設定した場合（→P.220）に表示されます。
- ハンズフリーが接続できなかった場合は、音声でもお知らせします。
- 手動接続に設定した場合（→P.216）や、自動接続ができない場合は、手動で接続します。
 - ・ハンズフリー（→P.224）
 - ・Bluetooth Audio（→P.246）
 - ・スマートフォン連携（→P.260）
 - ・オンデマンドVICS（→P.276）

再接続について

自動で再接続される場合

エンジンスイッチがACC、またはONの場合に、一度成立したBluetooth接続がネットワークの状況により切れた場合、自動で再接続します。(接続完了のメッセージは表示されません。)

ワンポイント

- 1 再接続の処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続してください。

手動で再接続する場合

Bluetooth機器、または本機を操作して接続を切った場合、自動で再接続されません。その場合、次のいずれかの方法で再接続してください。

n 手動でBluetooth接続をする

- ・ハンズフリー (→P.224)
- ・Bluetooth Audio (→P.246)

n 接続するBluetooth機器を選んで接続する (→P.217)

接続するBluetooth®機器を変更する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Bluetooth**、**機器登録・接続** の順にタッチ。
- 4 Bluetooth機器を接続可能な状態にする。
- 5 使用するBluetooth機器にタッチ。



Bluetooth Audio接続中

- 6 **全接続**、**電話機の接続** または **ポータブル機の接続** にタッチ。



- 1 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージにしたがって、接続を切ってください。



登録したBluetooth®機器 の情報を確認・変更する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **Bluetooth**、**機器登録・接続** の
順にタッチ。

4 設定を確認・変更したい
Bluetooth機器にタッチ。





5 **機器詳細情報** にタッチ。



6 各項目を確認・変更する。



I 次の項目の設定を確認・変更できます。

番号	項目	機能
①	機器名称	本機に表示される機器名称を確認・変更
②	接続方法	Bluetooth Audio機器と本機の接続方法を選択※ 
③	機器アドレス	Bluetooth機器固有のアドレスを表示
④	自局電話番号	Bluetooth機器の電話番号を表示
⑤	Bluetooth 優先機能設定	スマートフォン連携 (→P.256) とオンデマンドVICS (→P.270) のどちらの機能を使用するかを設定 
⑥	対応プロファイル	Bluetooth機器が対応しているプロファイルを表示

※【ポータブル機から】を選択した場合、自動接続を【する】に設定 (→P.216) しても自動接続は行ないません。

接続方法は機器により異なります。Bluetooth Audio機器の説明書をご覧ください。



Bluetooth®設定を確認・変更する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。


3 **Bluetooth**、**Bluetooth 詳細設定** の順にタッチ。

4 各項目を確認・変更する。



設定を初期化

1 次の項目の設定を確認・変更できます。

番号	項目	機能
①	ACC ON時の自動接続	エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、Bluetooth機器を本機と自動で接続する/しないを設定
②	機器名称	Bluetoothネットワーク上での本機の名称を表示・変更
③	PINコード (パスキー)	Bluetooth機器を本機に登録するときのパスワードを変更  <p style="text-align: center;">数字を入力</p> <p style="text-align: right;">入力後にタッチ</p>
④	機器アドレス*	本機の機器アドレスを表示
⑤	電話機の接続確認案内	携帯電話がBluetooth接続されたときに、接続完了のメッセージを表示する/しないを設定
⑥	ポータブル機の接続確認表示	Bluetooth Audio機器がBluetooth接続されたときに、接続完了のメッセージを表示する/しないを設定
⑦	対応プロファイル	本機が対応しているプロファイルを表示

* 機器名称やPINコード (パスキー) を他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にできます。

Bluetooth®の接続を切る

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Bluetooth**、**機器登録・接続** の順にタッチ。
- 4 接続を切りたいBluetooth機器にタッチ。



- 5 **全切断**、**電話機の切断**、または**ポータブル機の切断** にタッチ。



登録したBluetooth®機器を削除する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Bluetooth**、**機器登録・接続** の順にタッチ。
- 4 **削除** にタッチ。
- 5 削除したいBluetooth機器にタッチ。



- 6 **はい** にタッチ。



表示されるアイコンについて



◆ハンズフリー操作画面



◆Bluetooth Audio操作画面

ワンポイント

- 1 本機にはBluetooth機器の充電機能はありません。
- 1 次のような通信を避るような場所にBluetooth機器がある場合、Bluetooth接続状態が灰色表示や未接続表示になることがあります。
 - ・ シートのうしろや下にあるとき
 - ・ 車の収納ボックスの中にあるとき
 - ・ 金属製のものに近くに置いている、または覆われているとき
 この場合、青色表示が出るように、Bluetooth機器の場所を移動してください。移動しても表示が変わらない場合は、本機と再接続してください。

番号	表示	機能
①	Bluetooth 接続状態表示※1	Bluetooth機器の接続状態
②	受信レベル 表示※1、※3	
③	電池残量 表示※1、※3、※4	

※1 Bluetooth機器によりアイコンが表示されない場合や、表示が一致しない場合があります。

※2 通話時や音楽再生時に音質が劣化することがあります。

※3 データの転送中は表示されません。

※4 機種によっては表示されない場合があります。(Bluetooth Audioのみ)

ハンズフリーについて

動作確認済のBluetooth接続対応のスマートフォンや携帯電話*を直接操作せずに電話機能を使用できます。

- 1 発信、着信後は、マイクおよびスピーカを通して通話できます。
 - 1 着信音や通話の音声はフロントスピーカから出ます。
 - 1 ハンズフリーで音声や呼出音などが出ると、オーディオ音声はミュート（消音）されます。
- * 本書では、ハンズフリーに使用するBluetooth機器を「携帯電話」の名称で記載します。

チェック

- 1 ハンズフリーを使用する場合は、別売の「マイク&スイッチ」*をお買い求めください。
* AVN-ZX03iは同梱されています。
- 1 使用できるBluetooth機器の仕様は、**「Bluetooth®機器」**(→P.349)をご覧ください。
- 1 ハンズフリーを使うためには、機器の登録が必要です。(→P.215)

ワンポイント

- 1 携帯電話を本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。
- 1 通話中、マイクが通話相手の声を拾うと、相手にエコーが聞こえることがあります。その場合は、受話音量を調整してください。(→P.231)
- 1 使用する携帯電話やネットワークの影響により、ノイズやエコーなどが発生することがあります。
- 1 他のBluetooth機器（ポータブルオーディオ）が同時にBluetooth接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

ハンズフリーが使用できない場合

- 次の場合は、ハンズフリー機能を使用できません。
- 1 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
 - 1 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
 - 1 携帯電話がダイヤルロックしているとき
 - 1 携帯電話が本機とBluetooth接続されていないとき
 - 1 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
 - 1 携帯電話の設定が、ハンズフリーモード以外のとき
 - 1 オンデマンドVICS情報を取得中のとき

ワンポイント

- 1 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- 1 携帯電話は、Bluetooth接続により、電池が早く消耗します。
- 1 携帯電話の機種によっては、Bluetooth接続中にディスプレイの照明がついたままになることがあります。携帯電話本体で照明をOFFにしてください。
- 1 携帯電話の設定によっては、Bluetooth接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してください。
- 1 通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、携帯電話の機種によって、通話が切れる場合があります。
- 1 携帯電話の三者通話を契約している場合は、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

ハンズフリーの設定を変更する

次の内容を設定できます。

機能	ページ
ハンズフリーの音量設定	233
電話帳データの登録／編集／削除	233
ハンズフリー画面の設定	244
使用するBluetooth機器の変更	217
登録したBluetooth機器の情報の表示／変更	218
本機のBluetooth設定の表示／変更	220

手動で接続する

携帯電話との自動接続に失敗した場合や自動接続を【しない】に設定（→P.216）したときは手動で接続してください。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **電話** にタッチ。
- 4 Bluetooth機器を接続可能な状態にする。
- 5 **接続** にタッチ。



- 6 接続したいBluetooth機器にタッチ。



- 7 **全接続**、または **電話機の接続** にタッチ。



- 1 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージの指示にしたがって、接続を切ってください。

ワンポイント

- 1 携帯電話の状態によっては、一度でBluetooth接続できない場合があります。その場合、しばらくしてからもう一度接続操作をしてください。

電話をかける

① チェック

- 1 あらかじめ本機に携帯電話を登録 (→ P.215)、接続 (→ P.216) をする必要があります。

1 **MENU** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **電話** にタッチ。



ダイヤル

◆ ダイヤル画面

- 1 次の方法で電話をかけることができます。

スイッチ	機能
ダイヤル	電話番号を入力して電話をかける (→P.226)
電話帳	登録した電話帳から電話をかける (→P.226)
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルから電話をかける (→P.227)
履歴	発信/着信履歴から電話をかける (→P.228)


① ワンポイント

- 1 電話をかけるとき、次の点に注意してください。
- ・ 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。
 - ・ 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。
- 1 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
- ・ 発信音や呼出音が鳴らない
 - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示される
 - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力してもトーン信号を送れない
 - ・ Bluetooth Audio再生中に発信すると、発信中画面の表示や発信音が遅れる
- 1 携帯電話を直接操作して発信することもできます。

- 1 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
- ・ 携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に記憶されません。
 - ・ 携帯電話本体で通話しているときに、本機に接続された場合、発信履歴および着信履歴に相手先の電話番号は記憶されません。
- 1 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の説明書でご確認ください。
- 1 携帯電話の通話から本機の通話に切り替えた場合は通話転送の操作をしてください。(→P.232)



ダイヤル発信する

- 1 ダイヤル画面 (→P.225) を表示する。
- 2 電話番号を入力し、 にタッチ。



電話帳から発信する

チェック

- 1 あらかじめ本機に電話帳を登録する必要があります。(→P.233)


- 1 ダイヤル画面 (→P.225) を表示する。
- 2 **電話帳** にタッチ。



- 1 電話帳データが登録されていない場合はメッセージが表示されます。PBAPに対応している携帯電話の場合、**はい** にタッチすると電話帳転送を開始します。(→P.234) PBAPに対応していない携帯電話の場合、**転送**、または **編集** にタッチして電話帳を登録してください。(→P.233)

- 3 通話相手を選んでタッチ。



- 4 電話番号を選んで、 にタッチ。



ワンタッチ発信する

チェック

1 あらかじめ本機にワンタッチダイヤルを登録する必要があります。(→P.240)

- 1 ダイヤル画面 (→P.225) を表示する。
- 2 **ワンタッチダイヤル** にタッチ。
- 3 電話番号を選んでタッチ。

ページを切り替え



履歴から発信する

過去に発信した電話番号や着信した電話番号の履歴から電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面 (→P.225) を表示する。

2 **履歴** にタッチ。



3 通話相手を選んでタッチ。



4  にタッチ。



ワンポイント

1 発信履歴や着信履歴が10件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

1 発信履歴は、次のように記憶されます。

- ・施設情報など本機に登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報*があると、名称や画像も記憶されます。
(※PBAPに対応した携帯電話のみ)



- ・同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ記憶されます。

1 着信履歴は、次のように記憶されます。

- ・本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報*があると、名称や画像も記憶されます。
(※PBAPに対応した携帯電話のみ)
- ・同一電話番号から着信した場合は、すべて記憶されます。
- ・不在着信および着信拒否も記憶されます。
- ・相手先電話番号の情報が無い場合は、「通知不可」と記憶されます。

1 履歴を削除したい場合は、「履歴を削除する」(→P.243)をご覧ください。

電話を切る

- 1  にタッチ。



- 1 電話を切ると画面が解除されます。

電話を受ける

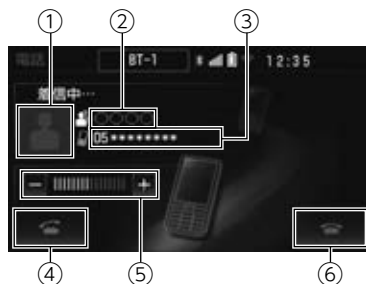
- 1  にタッチ。



ワンポイント

- 1 ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
- ・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - ・携帯電話をマナーモード（バイブレータ）や着信音消去に設定すると、着信音が聞こえないことがあります。
 - ・着信音は、本機のスピーカや、携帯電話から聞こえるなど機種によって異なります。
 - ・着信音は携帯電話で設定している着信音が鳴りますが、機種によっては、本機に登録されている着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。
 - ・機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
 - ・携帯電話本体を直接操作して電話を受けたり、携帯電話を自動着信応答に設定した場合は、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
 - ・携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
- 1 Bluetooth Audio再生中やオンデマンドVICS使用中に着信があると、着信中画面の表示や着信音が遅れることがあります。
- 1 別売の「マイク&スイッチ」※が接続されていないと、通話することができません。
- ※ AVN-ZX03iは同梱されています。

着信中画面を操作する







◆着信中画面



◆簡易画面



着信割り込み表示を【簡易】に設定 (→P.244) している場合に表示されます。

番号	スイッチ/表示	機能
①	写真データ	アドレス帳に登録されている写真データを表示※ ¹
②	着信相手の名前	アドレス帳に登録されている名称を表示
③	着信相手の電話番号	着信相手の電話番号を表示
④		<ul style="list-style-type: none"> 電話を受ける 通話中画面を表示 (→P.231)
⑤		着信音の音量を調整
⑥		<ul style="list-style-type: none"> 応答保留にする (応答保留中にもう一度タッチすると電話を切る) タッチし続けると着信拒否する※² <div style="text-align: right;">  </div>

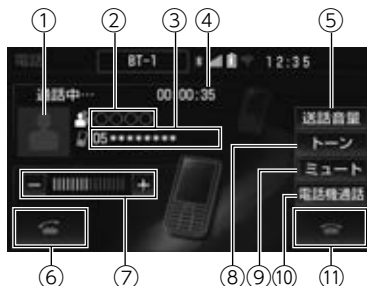
※¹ PBAPに対応した携帯電話のみ登録できます。

※² 携帯電話が着信拒否に対応している場合のみ使用できます。着信拒否すると、着信中画面が解除されません。

📌ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話本体で応答保留にしたり、応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- 着信音の音量は、、 やステアリングスイッチ (→P.290) でも調整できます。

通話中画面を操作する



◆通話中画面



◆簡易画面※1

⑩ワンポイント

1 通話中にオーディオ操作画面に切り替えた場合、メッセージが表示され、オーディオの操作はできません。

1 通話相手から聞こえる音量は、、 やステアリングスイッチ (→P.290) でも調整できます。

番号	スイッチ/表示	機能
①	写真データ	アドレス帳に登録されている写真データを表示※2
②	通話相手の名前	アドレス帳に登録されている名称を表示
③	通話相手の電話番号	通話相手の電話番号を表示
④	通話時間※3	通話時間を表示
⑤	送話音量	通話相手に聞こえる音量を調整
⑥		割り込み通話中、通話相手を切り替え (→P.232)
⑦	- 、 +	通話相手から聞こえる音量を調整
⑧	トーン	通話中に10キー入力が必要な場合に10キーを表示 <ul style="list-style-type: none"> 番号を入力 電話を切る
⑨	ミュート	<ul style="list-style-type: none"> お客様の音声を通話相手に聞こえないようにする※4 (通話相手の音声は聞こえます。) ミュート状態の場合は作動表示灯が点灯
⑩	電話機通話 / ハンズフリー通話	本機と携帯電話間で通話を転送 (→P.232)
⑪		通話を終了

※1 着信割り込み表示を【簡易】に設定 (→P.244) している場合に表示されます。

※2 PBAPに対応した携帯電話のみ登録できます。

※3 画面に表示される通話時間は、通話時間の目安です。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。

※4 携帯電話の機種により、送話音をミュート (消音) できないことがあります。

通話を転送する

本機と携帯電話の間で、通話を転送できます。

🏠 チェック

- 1 走行中は、ハンズフリーの通話から携帯電話本体の通話に切り替えることはできません。

- 1 通話中画面で、**電話機通話**（**ハンズフリー通話**）にタッチ。



- 1 転送に失敗して音声が聞こえなくなった場合、もう一度 **電話機通話**（**ハンズフリー通話**）にタッチ。

📌 ワンポイント

- 1 発信中、通話中、着信中、応答保留中に携帯電話本体でも通話を転送できます。
- 1 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチで操作できます。
- 1 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なったり、転送ができない機種もあります。

割込通話を操作する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話（キャッチホン）で両者と通話できます。

🏠 チェック


- 1 電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 1 携帯電話がHFP Ver. 1.5プロファイルに対応していない場合、割込通話はできません。

割込通話を受ける

通話中に第三者から着信が入った場合、次の画面が表示されます。

- 1  にタッチ。



- 1 はじめに通話していた相手は保留になります。
- 1  : タッチするごとに、通話相手を切り替え

割込通話を拒否する

- 1  にタッチ。

📌 ワンポイント

- 1 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。

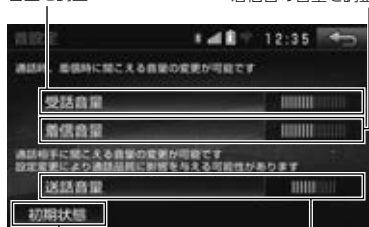
音量の設定をする

受話音量や送話音量、着信音量を設定できます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **電話**、**音量設定** の順にタッチ。
- 4 各項目（**受話音量** / **送話音量** / **着信音量**）にタッチし、**+**、または **-** にタッチして調整する。

通話相手から聞こえる
音量を調整

着信音の音量を調整



音量設定を初期化

通話相手に聞こえる
音量を調整

ワンポイント

- 1 通話中、車内のマイクが通話相手の声を拾うと、相手にエコーが聞こえることがあります。その場合は、受話音量を調整してください。

電話帳データについて

電話帳は次の方法でデータを登録できます。また登録したデータは修正・削除できます。

機能	ページ
電話帳データの登録	—
携帯電話に登録した電話帳データを本機に転送	234
データを入力して登録	236
履歴データから登録	237
電話帳データの修正	238
電話帳データの削除	239

ワンポイント

- 1 電話帳データは携帯電話1台につき、2500名分のデータを登録できます。本機と接続している携帯電話の電話帳のみ表示できます。
- 1 電話帳は、1名につき最大3件の電話番号が登録できます。
- 1 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。
- 1 電話帳は接続されている携帯電話ごとに管理します。

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録されている電話番号（電話帳データ）を、本機に転送できます。

電話帳転送はOPPかPBAPのどちらかに対応している携帯電話のみ使用できます。お手持ちの携帯電話の仕様に合わせて登録方法を選んでください。

1 電話帳のデータを自動で転送

PBAP に対応している携帯電話で、電話帳自動転送を【する】に設定（→P.240）した場合、Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データが自動で転送されます。

携帯電話の電話帳が更新されている場合、本機の電話帳データも自動で更新されます。

1 電話帳のデータを手動で転送（→P.235）

🏠 チェック

- 1 転送する場合はバッテリー上がり防止のため、エンジンをかけた状態で行ってください。

n 転送失敗画面が表示された場合

操作をはじめからやりなおしてください。（→P.235）



📌 ワンポイント

1 電話帳データを転送するときは、次のような制限があります。

- ・ 1名につき、4件以上の電話番号を登録していると、本機の電話帳に同じ名称で3件ずつに分けて登録されます。
- ・ 名称・名称読みは機種によって、転送されないことや、正しく表示されないことがあります。
- ・ シークレットメモリは転送されませんが、機種によっては転送される場合があります。
- ・ 携帯電話に登録しているグループ名は転送されません。
- ・ 本機に表示される電話帳アイコンは携帯電話の情報を基に自動で付与されます。携帯電話の機種や使用環境によっては、すべて同じアイコンが表示されることがあります。
- ・ 機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

1 一括転送可能な機種は、次のような特徴があります。

- ・ 転送には10分程度かかる場合があります。
- ・ 電話帳データ転送画面が表示されている場合でも他画面に切り替えることができません。この場合、電話帳データ転送は継続されます。

1 電話帳データ転送中は、次のように対応します。

- ・ 転送中に着信があると、着信が優先されることもあり、その場合は携帯電話本体での通話に切り替わります。通話転送後、もう一度転送操作をやり直してください。
- ・ 電話帳データ転送中に発信した場合、転送を継続して発信を中止します。
- ・ 電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンスイッチをONにしたあと、もう一度転送してください。

1 転送が中断されたときは、転送が完了したデータのみ保存されます。

1 本機の電話帳データは携帯電話に転送できません。

1 電話帳データ転送中は、Bluetooth Audioの接続が切れることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

電話帳データを手動で転送する

OPP、またはPBAPに対応の携帯電話で電話帳自動転送を【しない】に設定(→P.240)している場合、手動で電話帳データを転送できます。

n OPPのみに対応した携帯電話の場合

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **電話**、**電話帳設定** の順にタッチ。

4 **電話帳編集** にタッチ。



◆ 電話帳編集画面

5 **転送** にタッチ。



1 すでに電話帳データがある場合は、**上書き**、または **追加** にタッチ。



1 **上書き**: 現在のデータに上書き

1 **追加**: 現在のデータに追加

6 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。



1 携帯電話側の操作は、電話帳データ転送画面の表示中に行ってください。

7 **完了** にタッチ。

n 次の手順でも操作できます

1 **-MENU-** → **情報** → **電話** → **電話帳** → **機能** → **転送** → **上書き**、または **追加** → 携帯電話を操作して電話帳データを転送 → **完了**

1 **-MENU-** → **情報** → **電話** → **電話帳** → **転送** → **上書き**、または **追加** → 携帯電話を操作して電話帳データを転送 → **完了**



n PBAPに対応した携帯電話の場合

- 1 電話帳編集画面 (→P.235) で **転送** にタッチ。



- 2 **電話帳転送** にタッチ。

- l 電話帳自動転送を【する】に設定 (→P.240) している場合は、手順5の画面を表示します。

- 3 **上書き**、または **追加** にタッチ。



- l **上書き**: 現在のデータに上書き
 l **追加**: 現在のデータに追加

- 4 **はい** にタッチ。

- 5 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。



- l 携帯電話側の操作は、電話帳データ転送画面の表示中に行ってください。

- 6 **完了** にタッチ。

n 次の手順でも操作できます

- l **-MENU-** → **情報** → **電話** → **電話帳** → **機能** → **転送** → **電話帳転送** → **上書き**、または **追加** → **はい** → 携帯電話を操作して電話帳データを転送 → **完了**

電話帳のデータを入力する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

1名につき、次の項目を登録できます。

- l 名称
- l 名称読み
- l 電話番号 (最大3件)
- l アイコン (各電話番号にそれぞれ1つ)

🏠 **チェック**

- l PBAPに対応した携帯電話は、電話帳データを入力できません。

- 1 **-MENU-** を押す。

- 2 **設定・編集** にタッチ。

- 3 **電話**、**電話帳設定** の順にタッチ。

- 4 **電話帳編集** にタッチ。



- 5 **新規追加** にタッチ。



- 6 名称を入力し、**完了** にタッチ。



- 1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15)をご覧ください。

- 7 名称読みを入力し、**完了** にタッチ。



- 8 電話番号を入力し、**完了** にタッチ。



- 9 アイコンを選んでタッチ。



- 10 **いいえ** にタッチ。

- 1 電話番号を追加する場合は **はい** にタッチ。(手順8へ)

履歴内容画面から登録する

- 1 ダイヤル画面 (→P.225) で **履歴** にタッチ。
- 2 登録したい履歴にタッチ。
- 3 **新規登録**、または **追加登録** にタッチ。



- 1 **新規登録** : 電話帳画面から新規データを追加
- 1 **追加登録** : 電話帳リスト画面から追加する電話帳を選択

電話帳のデータを修正する

チェック

- 1 PBAPに対応した携帯電話は、データを修正できません。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **電話**、**電話帳設定** の順にタッチ。

4 **電話帳編集** にタッチ。



5 **編集** にタッチ。



◆電話帳編集画面

6 修正するデータにタッチ。



7 各項目を修正する。



- 1 次の項目を修正できます。
- ・ 名称/名称読み (→P.238)
 - ・ 電話番号/アイコン (→P.239)

8 **完了** にタッチ。

名称/名称読みを修正する

1 電話帳編集画面 (→P.238) で **名称**、または **名称読み** にタッチ。



2 文字を入力し、**完了** にタッチ。



- 1 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15) をご覧ください。

電話帳/履歴データの転送方法を設定する

電話帳自動転送や履歴自動転送を【する】に設定した場合、PBAPに対応した携帯電話はBluetooth接続中に次のデータを自動で更新します。

- 1 携帯電話の電話帳データ
- 1 携帯電話の履歴データ

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **電話**、**電話帳設定** の順にタッチ。

4 **電話帳編集** にタッチ。



5 **転送** にタッチ。



6 **電話帳自動転送** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



7 **履歴自動転送** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



ワンタッチダイヤルを登録する

よく利用する電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、走行中もワンタッチで電話をかけることができます。

ワンタッチダイヤルは18件まで登録できます。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **電話**、**電話帳設定** の順にタッチ。

4 **ワンタッチダイヤル編集** にタッチ。



5 **登録** にタッチ。

6 登録したいデータにタッチ。



◆ ワンタッチダイヤル編集画面

7 登録したい電話番号にタッチ。



8 登録したいスイッチにタッチ。



- 1 登録済みのスイッチにタッチした場合は確認のメッセージが表示され、**はい** にタッチするとデータが上書きされます。

n 次の手順でも操作できます

-MENU- → **情報** → **電話** →

ワンタッチダイヤル → **機能** →

登録 → 登録したいデータにタッチ → 登録したい電話番号にタッチ → 登録したいスイッチにタッチ



ワンタッチダイヤルを削除する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **電話**、**電話帳設定** の順にタッチ。

4 **ワンタッチダイヤル編集** にタッチ。



5 **削除** にタッチ。

6 削除したいワンタッチダイヤルにタッチし、**削除** にタッチ。



1 **全選択** → **削除** の順にタッチすると、すべてのワンタッチダイヤルを削除します。

7 **はい** にタッチ。

履歴を削除する

① チェック

- 1 PBAPに対応した携帯電話で「履歴自動転送」が【する】に設定されている場合、削除ができません。データを削除する場合は、設定を変更してください。(→P.240)

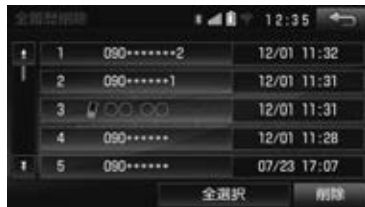
- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **電話**、**電話帳設定** の順にタッチ。
- 4 **履歴削除** にタッチ。



- 5 **全履歴削除**、**着信履歴削除**、**発信履歴削除** を選んでタッチ。



- 6 削除したいデータにタッチし、**削除** にタッチ。



- 1 **全選択** → **削除** の順にタッチすると、すべての履歴データを削除します。

- 7 **はい** にタッチ。

n 次の手順でも操作できます

- 1 **-MENU-** → **情報** → **電話** → **履歴**
→ **全履歴**、**着信履歴** または
発信履歴 → **削除** → 削除したいデータ
を選択 → **削除** → **はい**
- 1 **-MENU-** → **情報** → **電話** → **履歴**
→ → 削除したいデータを選択 → **削除** →
はい

① ワンポイント

- 1 車を手放すときは、個人情報を初期化してください。(→P.50)



ハンズフリー画面の設定 を変更する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **電話**、**電話詳細設定** の順にタッチ。
- 4 各項目を設定する。



設定を初期化

1 次の項目を設定できます。

項目	機能
着信割込み表示	<p>ハンズフリー以外の画面を表示中に電話がかかってきたときの画面表示方法を設定</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>◆ 全画面</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◆ 簡易画面</p> </div> </div>
電話帳転送確認表示	電話帳データの自動転送完了のメッセージを表示する／しないを設定※1
履歴の転送確認表示	履歴データの自動転送完了のメッセージを表示する／しないを設定※1
着信時の画像表示	<p>電話帳データに画像が転送された場合、着信画面に画像を表示する／しないを設定※2</p> <div style="text-align: right;">  <p>画像データ</p> </div>
画像回転	<p>着信時の画像表示を【する】※2に設定している場合、表示される画像の方向を設定</p> <div style="text-align: right;">  <p>画像の向きを選択</p> </div>

※1 PBAPに対応した携帯電話のみ表示されます。自動転送については「電話帳/履歴データの転送方法を設定する」(→P.240)をご覧ください。

※2 PBAPに対応した携帯電話のみ表示されます。

車を手放す場合

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。車を手放す場合は、**個人情報の初期化**を行ってください。(→P.50)

なお、個人情報の初期化を行うと、元の状態に戻すことはできませんので、ご注意ください。ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- | 電話帳データ
- | 発信履歴および着信履歴
- | ワンタッチダイヤル
- | 携帯電話の登録情報
- | ハンズフリー関連の設定・編集項目



Bluetooth® Audio について

動作確認済のBluetooth機器を接続すると、機器に収録している音楽を再生できます。ただし、機器により、一部機能が制限される場合があります。

チェック

- 1 使用できるBluetooth機器の仕様は、**「Bluetooth®機器」** (→P.349) をご覧ください。
- 1 Bluetooth Audioを使うためには、機器の登録が必要です。(→P.215)

手動で接続する

本機から接続する

接続方法を**【車載機から】**に設定している場合 (→P.218)、本機を操作して接続します。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **AV** にタッチ。
- 3 **Bluetooth Audio** にタッチ。
- 4 **接続** にタッチ。



- 5 Bluetooth 機器を接続可能な状態にする。

- 6 接続したいBluetooth機器にタッチ。



- 7 **全接続**、または**ポータブル機の接続** にタッチ。



- 1 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージにしたがって、接続を切ってください。

Bluetooth®機器から接続する

接続方法を【ポータブル機から】に設定している場合（→P.218）、Bluetooth機器を操作して接続します。

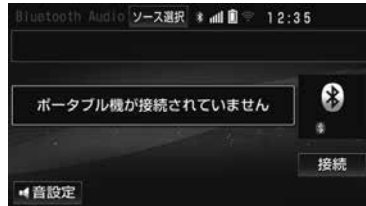
1 **-MENU-** を押す。

2 **AV** にタッチ。

3 **Bluetooth Audio** にタッチ。

4 Bluetooth機器をBluetooth接続可能な状態にする。

5 **接続** にタッチ。



6 接続したいBluetooth機器にタッチ。



7 **全接続**、または **ポータブル機の接続** にタッチ。



- 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージの指示にしたがって、接続を切ってください。

8 Bluetooth機器を操作して、接続する。



- Bluetooth機器の操作は機器接続中画面の表示中におこなってください。








音楽を聞く

Bluetooth Audio操作画面を表示 (→P.126)



◆Bluetooth Audio操作画面

番号	スイッチ	機能
①	⏮、⏭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲を切り替え ・ タッチし続けると、曲を早送り／早戻し
②	曲名	<p>曲リストを表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>再生したい曲にタッチ</p>
③	アルバム名	<p>アルバムリストを表示</p> <p>ページを切り替え</p> <p>ページを切り替え</p> <p>アルバムにタッチ 先頭の曲を再生</p> <p>再生したい 曲にタッチ</p>
④	⏮、⏭	アルバムを切り替え
⑤	アーティスト名	アーティスト名を表示
⑥	⏭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の曲に切り替え ・ 押し続けると、曲を早送り
	⏮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲を頭出し ・ 連続して押しすと、前の曲に切り替え ・ 押し続けると、曲を早戻し

番号	スイッチ	機能
⑦		曲の再生を一時停止
		曲を再生
⑧		タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中の曲をリピート再生→再生中のアルバム内の全曲をリピート再生→ リピート再生を解除
⑨		タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全曲をランダム再生→全曲をランダム再生→ランダム再 生を解除
⑩		Bluetooth機器がBluetooth接続されていない、またはBluetooth機器を変更 する場合、手動で接続 (→P.246)

⑩ ワンポイント

- l Bluetooth機器によっては、自動で再生が開始されない場合があります。この場合、機器本体を操作すると再生が開始されることがあります。
- l Bluetooth機器によっては機能に対応していないため、操作できない場合があります。
- l Bluetooth機器に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。



DSモードについて

ニンテンドー DS[®]ソフト「クルマでDS」[※]を接続すると、ニンテンドー DSと連動したゲームをお楽しみいただけます。

ゲームの内容や操作方法については、DSソフトの説明書をご覧ください。

※ AVN-ZX03iは同梱されています。

※ AVN-Z03iとAVN-Z03iWは別途お買い求めください。

警告

- ┆ 安全のため、運転手は走行中にDSを操作しないでください。
- ┆ 走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。また、運転中の操作は処罰の対象になります。
- ┆ 運転手がDSを操作する時は車を安全な場所に停車させてから操作してください。その際は禁止された場所に駐停車しないでください。
- ┆ 安全のため、車を乗り降りする時はDSの電源を切るか、DSを閉じてください。また、まわりに注意して乗り降りしてください。
- ┆ 万一、ゲームが運転の妨げになる場合は、ゲームを停止する、または安全な場所に停車してナビの音量を下げてください。DSを閉じるとゲームを停止できます。
- ┆ 夜間の車内などでは、DSの画面が明るく感じる場合がありますので、輝度を調整してください。
- ┆ 乗物酔いの際は使用を中止してください。

注意

- ┆ DS本体、またはDSソフトを車内に放置しないでください。炎天下など、車内が高温となり、故障の原因となります。

チェック

- ┆ スマートフォン連携 (→P.256) やオンデマンドVICS (→P.270) を有効にしていると、DSモードは使用できません。

DSを登録する

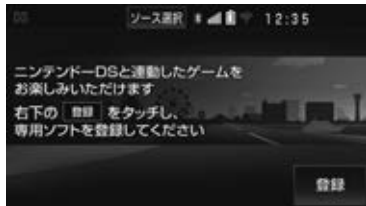
DSモードを使用するには、DSソフトを本機に登録します。

チェック

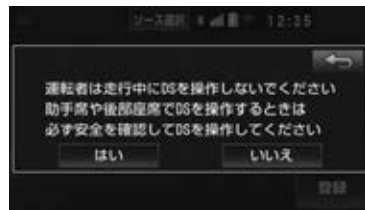
- 1 DSソフトをすでに登録していると、別のソフトが登録できません。別のソフトを使用するときは、すでに登録しているDSソフトを削除してから別のソフトを登録してください。登録の削除については、「DSの登録を削除する」(→P.254)をご覧ください。

1 AVソース選択画面 (→P.126) で **DS** にタッチ。

2 DS未登録画面で **登録** にタッチ。



3 **はい** にタッチ。



- 1 **はい** にタッチすると、メッセージの内容に同意されたものとみなし、本機能を使用できます。
- 1 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージの指示にしたがって、接続を切ってください。
- 1 本機がデータ通信中にDSを登録すると、メッセージが表示されます。**OK** にタッチして通信終了後にもう一度登録してください。

4 登録待ち受け画面でDSソフトの説明にしたがって、DS本体を操作する。



登録を中止

- 1 DS本体の操作は、登録待ち受け画面表示中に行ってください。
- 1 DS本体に複数の機器アドレスが表示されている場合、本機の画面に表示されている機器アドレスを選択してください。

n 接続が完了した場合

メッセージが表示され、DSの音声で車のスピーカーから出たら接続完了です。



n 接続に失敗した場合

“DSの接続に失敗しました”のメッセージが表示されます。はじめから操作をやり直してください。



DSを接続する

ゲームをはじめするには、本機とDS本体を操作してDSを接続してください。ゲームを中断したり、他のオーディオソースに切り替えると、DSとの接続が切れます。ゲームを再開する場合は、もう一度接続してください。

🏠 チェック

- 1 本機に登録しているDSソフトのみ接続できます。別のDSソフトを使用する場合は、すでに登録しているDSソフトを削除してから登録し直してください。登録の削除については、「DSの登録を削除する」(→P.254)をご覧ください。

1 AVソース選択画面(→P.126)で **DS** にタッチ。

2 DS未接続画面で **接続** にタッチ。



- 1 他のBluetooth機器を接続している場合は画面の指示にしたがい、Bluetooth優先機能設定を【設定なし】に(→P.218)に設定してください。

- 1 本機がデータ通信中にDSを接続すると、メッセージが表示されます。**OK** にタッチして通信終了後にもう一度接続してください。

3 接続待ち受け画面でDSソフトの説明にしたがって、DS本体を操作する。



n **接続が完了した場合**

メッセージが表示され、DSの音声が車のスピーカーから出たら接続完了です。



n **接続に失敗した場合**

“DSの接続に失敗しました”のメッセージが表示されます。はじめから操作をやり直してください。

🏠 ワンポイント

- 1 DSを使用中に他のBluetooth機器を使用する場合、確認のメッセージが表示されます。DSとの通信を切る場合、**はい** にタッチしてください。

n **DSの自動接続**

エンジンスイッチをOFF (LOCK) にする前にDSモードを使用していた場合、もう一度エンジンスイッチをACC、またはONにしてDS本体で接続操作をすると、自動で接続されます。

🏠 ワンポイント

- 1 スマートフォン連携が有効になっている場合、スマートフォンの接続が優先され、DSが自動で接続されない場合があります。スマートフォン連携の接続を解除してください。(→P.261)

DSで目的地を設定する

DSを使って目的地や経由地を設定できます。設定すると、本機にメッセージが表示されます。操作方法は、DSソフトの説明書をご覧ください。



- 1 **案内開始** : 設定した目的地や経由地の案内を始める

DSとの通信を切る

- 1 AVソース選択画面 (→P.126) で **DS** にタッチ。
- 2 DS接続済み画面で **切断** にタッチ。



- 1 オーディオソースを切り替えて通信を切ることもできます。



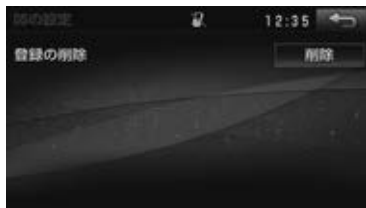
DSの登録を削除する

1 AVソース選択画面 (→P.126)
で **DS** にタッチ。

2 **設定** にタッチ。



3 **削除** にタッチ。



4 **はい** にタッチ。

- 1 DSを使用している場合は、確認のメッセージが表示されます。DSの登録を削除する場合、**はい** にタッチ。

ワンポイント

- 1 DSの登録を削除しても、DSソフトに登録されている本機の情報削除されません。

MEMO



スマートフォン連携 について

スマートフォン連携機能とは、対応のスマートフォンにアプリをインストールすることで、本機とスマートフォンを連携させることができる機能です。

使用できるアプリ・接続方法については、次をご覧ください。

<Wi-Fi>

テザリングに対応しているWi-Fi通信機器を使用して接続（→P.257）

<MirrorLink™>

USB接続コードを使用して接続（→P.258）

<Bluetooth>

Bluetoothの無線通信機能を使用して接続（→P.259）

チェック

1 スマートフォンを接続する場合は、別売の「USB接続コード」※をお買い求めください。

※ AVN-ZX03iは同梱されています。

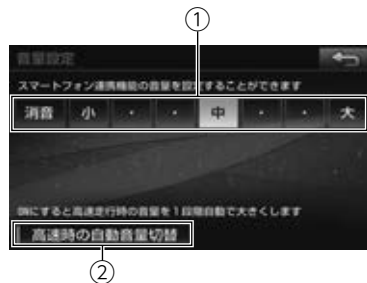
アプリの音量を設定する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **スマホ連携**、**音量設定** の順にタッチ。

4 各項目を設定する。



1 次の項目を設定できます

番号	項目	機能
①	音量	スマートフォンアプリの音声案内の音量を調整
②	高速時の自動音量切替	車速が約80km/h以上になった場合、設定した音量が自動で1段階上がるように設定 ・ タッチするごとにON/OFFを切り替え ・ 車速が約70km/h以下になると、もとの音量に戻る

接続中のアプリを表示する (Wi-Fi接続)

Wi-Fi接続に対応したアプリを本機で利用することができます。

Wi-Fi接続で利用できるアプリの詳細は、次のサイトをご確認ください。

- 1 パソコンから確認する場合
<直接入力用アドレス>
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html>
- 1 スマートフォンから確認する場合
<2次元バーコード>



<直接入力用アドレス>
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html>

チェック

- 1 Wi-Fiの接続方法については「**Wi-Fi連携**」(→P.262)をご覧ください。
- 1 事前に「App Store」、または「Google Play」にて対応アプリをスマートフォンにインストールしてください。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Wi-Fi**、**接続中アプリ** の順にタッチ。



- 1 接続中のアプリ名が表示されます。



アプリを表示する (MirrorLink™)

別売の「USB接続コード」に接続すると、スマートフォンの画面や音声をナビで表示・再生できます。

また、ナビ画面を操作することで、スマートフォンを操作できます。

ミラーリンクに対応したアプリの詳細は次のサイトをご確認ください。

1 パソコンから確認する場合
<直接入力用アドレス>
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html>

1 スマートフォンから確認する場合
<2次元バーコード>



<直接入力用アドレス>
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html>

🏠 チェック

- 1 別売の「USB接続コード」*をお買い求めください。
* AVN-ZX03iは同梱されています。
- 1 機種によってはUSBの変換ケーブルを使用してください。
- 1 ミラーリンクを使用するには、MirrorLink™対応のスマートフォンが必要です。
動作確認済のスマートフォンの機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「MirrorLink 適合情報」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご覧ください。
- 1 事前に「Google Play」にて対応アプリをスマートフォンにインストールしてください。
- 1 スマートフォンの機種により、操作スイッチが表示されない場合があります。

1 スマートフォンを接続する。

- 1 別売の「USB接続コード」をスマートフォンに接続する際は、スマートフォンに対応のUSBケーブルを接続します。

2 **-MENU-** を押す。

3 **情報** にタッチ。

4 **MirrorLink** にタッチ。



5 アプリケーションにタッチ。

- 1 **◀**、**▶** : ページの切り替え

- 1 **WIDE** にタッチすると、画面サイズを切り替えることができます (→P.40)

6 アプリケーションを操作する。

- 1 **アプリリスト** にタッチすると、アプリケーションリスト画面に戻ります。
- 1 アプリケーションにより、操作スイッチが表示されない場合があります。

ワンポイント

- 1 スマートフォンを接続しても、自動でミラーリンクに切り替わりません。
- 1 ミラーリンク使用中に接続する機器を抜き差しすると、雑音が出る場合があります。
- 1 アプリ画面を終了する場合は、ご使用のアプリを終了させてください。
- 1 アプリ連携機能では、シングルタッチのみ対応しています。次のような操作はできません。
 - ・フリック/ドラッグ操作
 - ・マルチタッチ操作
 - ・ダブルタップ

スマートフォン連携 について (Bluetooth® 接続)

Bluetooth接続に対応したアプリを本機で利用することができます。

Bluetooth接続でスマートフォン連携を利用するためには、次のアプリをダウンロードしてください。

<NaviCon>

- 1 NaviConでは次の操作ができます。
 - ・地図の移動
 - ・地図の縮尺移動
 - ・目的地の設定
- 1 NaviConアプリは次のURLからダウンロードできます。

<2次元バーコード>



<直接入力用アドレス>

<http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/navicon/index.html>

- 1 スマートフォンの設定や利用方法については、「App Store」または「Google Play」のヘルプをご覧ください。

チェック

- 1 使用できるBluetooth機器の仕様は、**[Bluetooth®機器]** (→P.349) をご覧ください。
- 1 スマートフォン連携機能を使うためには、スマートフォンの登録が必要です。(→P.215)
- 1 DSモード (→P.250) やオンデマンドVICS (→P.270) と同時に使用できません。
- 1 iPodモード中 (→P.196) のiPhoneでは、スマートフォン連携を使用できません。

ワンポイント

- 1 ナビ画面の状態によっては、スマートフォンアプリと連携していても、動作しない場合があります。
- 1 スマートフォンの地図操作やアプリケーションの操作については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。
- 1 スマートフォンアプリ単体に関するお問い合わせについては、アプリ内のお問い合わせフォームからお尋ねください。



手動で接続する (Bluetooth®接続)

スマートフォンとの自動接続に失敗した場合や自動接続の設定(→P.216)を【しない】に設定している場合、手動でBluetooth接続してください。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **電話** にタッチ。
- 4 スマートフォンを接続可能な状態にする。
- 5 **接続** にタッチ。



- 6 接続したいスマートフォンにタッチ。



- 7 **全接続**、または **電話機の接続** にタッチ。



- 1 他のBluetooth機器が接続されている場合は、メッセージにしたがって、接続を切ってください。

ワンポイント

- 1 スマートフォンの状態によっては、一度でBluetooth接続できない場合があります。その場合、しばらくしてからもう一度接続してください。

スマートフォン連携を 利用する (Bluetooth® 接続)

登録したスマートフォンをスマートフォン連携機能で利用できるように設定します。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Bluetooth**、**機器登録・接続** の順にタッチ。
- 4 使用するスマートフォンを Bluetooth 接続が可能な状態にする。
- 5 使用するスマートフォンにタッチ。



- 6 **機器詳細情報** にタッチ。
- 7 **Bluetooth優先機能設定** にタッチし、**スマートフォン連携** にタッチ。



- 8 **はい** にタッチ。
- 1 DSが接続中の場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、DSの接続が切れます。

NaviConアプリを起動 する

- 1 スマートフォンを操作して、NaviConアプリを起動する。



- 1 NaviConが起動し、接続が完了すると、接続インジケータが「オンライン」と表示され、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。

ワンポイント

- 1 本アプリは、株式会社デンソーが提供します。

Wi-Fi連携について

Wi-Fi連携とは、テザリングに対応しているスマートフォンを使用してWi-Fi接続することにより、本機とスマートフォンを連携できる機能です。

Wi-Fi連携では、次の機能を利用できます。

<オンデマンドVICS>

MapFan®が提供する「渋滞チャンネル」のサービスを利用し、交通情報（渋滞情報）を本機へ配信（→P.270）

<ソフトウェアアップデート>

ソフトウェアのバージョンアップデートをダウンロード（→P.356）

<スマートフォン連携>

スマートフォンアプリと本機を連携（→P.256）

<Wi-Fiサービス機能>

次のデータをダウンロードして、本機で使用

- ・追加データ：本機に登録されていない施設情報（→P.267）
- ・コンテンツデータ：自車位置マークなどのデータ（→P.269）

ワンポイント

- 1 機能により、Wi-Fiを同時に利用できないことがあります。
- 1 MirrorLink™を使用しているときは、Wi-Fi接続をしているアプリは使用できません。
- 1 使用できるWi-Fi機器の仕様は、「**Wi-Fi通信**」（→P.349）をご覧ください。
- 1 対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Wi-Fiテザリング適合情報」（<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>）をご覧ください。

表示されるアイコンについて



表示	機能
Wi-Fi 受信レベル	Wi-Fi通信機器のWi-Fi受信レベルの目安を表示

Wi-Fiを接続する／切る

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Wi-Fi**、**Wi-Fi** の順にタッチ。



接続時に点灯

- 1 タッチするごとに接続／切断が切り替わりま
す。

Wi-Fi接続するネット ワークを選択する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **Wi-Fi**、**利用できるネットワーク**
の順にタッチ。
- 4 利用するネットワークにタッチ。



接続したことがあるネットワーク

- 1 パスワードの入力が必要な場合は、パスワー
ドを入力し、**完了** にタッチ。
- 1 **中断** : 接続を中止

Wi-Fiネットワークを追加する

利用するWi-Fi通信機器を追加できます。

🏠 チェック

- 1 Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。
- 1 接続するWi-Fi通信機器のネットワークSSID、セキュリティ方式およびパスワードをご確認ください。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **Wi-Fi**、**利用できるネットワーク**の順にタッチ。

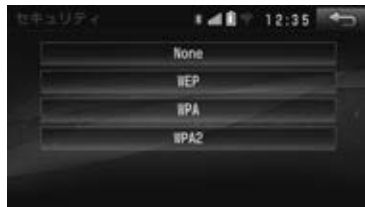
4 **Wi-Fiネットワークを追加** にタッチ。



5 ネットワークSSIDを入力し、**完了** にタッチ。



6 セキュリティ方式にタッチ。



- 1 パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力し、**完了** にタッチ。

- 1 **中断** : 接続を中止

Wi-Fiネットワークの情報を表示する

利用できるWi-Fi通信機器の情報を表示できません。

🏠 チェック

- 1 Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 **-MENU-** を押す。

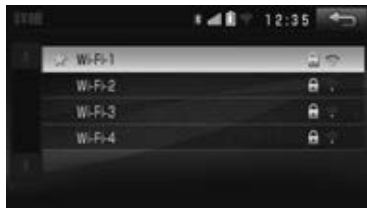
2 **設定・編集** にタッチ。

3 **Wi-Fi**、**利用できるネットワーク**の順にタッチ。

4 **詳細** にタッチ。



- 5 表示したいネットワークにタッチ。



- 1 詳細画面では、次の情報を表示できます。

項目	機能
ネットワークSSID	ネットワークの名称を表示
MACアドレス	Wi-Fiネットワーク上でWi-Fi通信機器を識別するためのIDを表示
セキュリティ	Wi-Fi通信機器のセキュリティ方式を表示
チャンネル	現在、Wi-Fiネットワークで使用しているチャンネルを表示

簡単設定からWi-Fi接続する

PINコードの入力や、Wi-Fi通信機器のボタン操作により、簡単に接続できます。

チェック

- 1 Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

- 1 **-MENU-** を押す。

- 2 **設定・編集** にタッチ。

- 3 **Wi-Fi**、**簡単設定** の順にタッチ。

- 4 **PINコード** または **プッシュボタン** にタッチ。



- 1 **PINコード** : 画面に表示されているPINコードをWi-Fi通信機器に入力



- 1 **プッシュボタン** : Wi-Fi通信機器のプッシュボタンを押す



Wi-Fiの詳細設定を変更する

🏠 チェック

1 Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 **MENU** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **Wi-Fi**、**Wi-Fi詳細設定** の順にタッチ。

4 各項目を表示・変更する。

Wi-Fi詳細設定を初期化



◆ Wi-Fi詳細設定画面

1 Wi-Fi詳細設定画面では、次の設定や情報を表示できます。

項目	機能
優先ネットワークの変更・削除	<p>Wi-Fi接続するネットワークの優先順位を変更・ネットワークを削除</p> <p>優先順位 優先順位を入れ替え</p> <p>選択したネットワークを削除</p>
優先ネットワークへの自動接続	<p>優先ネットワークで設定した優先順位にしたがってネットワークと自動で接続</p> <p>自動で接続</p> <p>手動で接続</p> <p>・【しない】に設定した場合： Wi-Fiネットワークを選んで接続する (→P.263)</p>

項目	機能
他画面での接続表示	<p>ナビ画面やオーディオ操作画面などを表示中、Wi-Fi通信機器との接続状態をオンスクリーンで表示する/しないを設定</p>
MACアドレス	<p>Wi-Fiネットワーク上で本機を識別するためのIDを表示</p>

施設情報をナビに追加する

Wi-Fiを使って施設情報をダウンロードして、本機に追加できます。追加した施設は、目的地に設定できます。

© (株) トヨタマップマスター

① チェック

- Wi-Fi通信機器が、Wi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 **MENU** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **追加データ** にタッチ。



4 **追加データを取り込む** にタッチ。



5 追加したい施設ジャンルにタッチ。



- 施設ジャンルにタッチすると、全都道府県の施設情報をダウンロードできます。

- **エリア** → 都道府県の選択 → **完了** の順にタッチすると、ダウンロードするエリアを指定することもできます。(初期状態は全都道府県を選択しています。)



- ・ **全選択** : 全国を選択
- ・ **全解除** : 選択した地域を解除

② ワンポイント

- 通信できない状態が5分以上続くと、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、ダウンロードを再開します。
- ダウンロードに失敗すると確認メッセージが表示されます。**了解** にタッチし、もう一度ダウンロードしてください。

追加した施設情報を削除する

追加した施設情報（コンビニエンスストアなど）を削除できます。

🏠 チェック

1 店舗を個別に指定して削除することはできません。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **追加データ** にタッチ。



4 **追加データを削除する** にタッチ。



5 削除したい施設にタッチ。



1 **全削除** → **はい** の順にタッチすると、すべての追加施設が削除されます。

6 **はい** にタッチ。

自転車位置マークをダウンロードする

自転車位置マークをダウンロードして、本機で使用できます。ダウンロードした自転車位置マークは、自転車位置マーク変更(→P.118)で切り替えることができます。

チェック

- Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

1 **MENU** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **コンテンツ更新** にタッチ。

4 ダウンロードしたいコンテンツ項目にタッチ。



5 ダウンロードしたいデータにタッチ。



6 **はい** にタッチ。

ワンポイント

- 通信できない状態が5分以上続くと、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、ダウンロードを再開します。
- ダウンロードに失敗すると確認メッセージが表示されます。**了解** にタッチし、もう一度ダウンロードしてください。
- 保存できるダウンロードデータは1件です。ダウンロードするたびにデータが上書きされます。

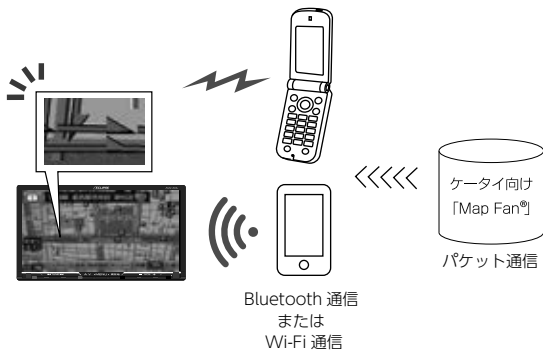


オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、携帯電話のBluetooth無線技術、またはテザリング対応しているスマートフォンを用いて、通信により渋滞情報を取得するシステムです。取得した渋滞情報は地図に表示され、渋滞情報を考慮したルートを探索できます。

チェック

- 1 渋滞情報を取得するには、インクリメント P 株式会社が運営するモバイルサイト「ケータイMapFan[®]」またはスマートフォン向け「MapFan[®]」への有料会員登録が必要です。(→P.271)
- 1 使用できるBluetooth機器の仕様は、「Bluetooth[®]機器」(→P.349)をご覧ください。
- 1 対応しているWi-Fi通信の仕様については、「Wi-Fi通信」(→P.349)をご覧ください。



ワンポイント

- 1 「ケータイMapFan[®]」、スマートフォン向け「MapFan[®]」ではオンデマンドVICS以外にも、お出かけ時のさまざまなシーンで使用できる便利な機能を搭載しています。
- 1 「ケータイMapFan[®]」、スマートフォン向け「MapFan[®]」の使用には別途、携帯電話の通信料(パケット料金)が必要です。通信料が高額となる場合があるため、パケット定額サービス等のご加入を強く推奨します。
- 1 オンデマンドVICSを利用する場合、外部機器と接続したデータ通信となるため携帯電話向けパケット定額サービスにおける上限額は適用外です。別途、ご使用の携帯電話料金プランを必ずご確認ください。
- 1 オンデマンドVICSを利用する場合、「ケータイMapFan[®]」、またはスマートフォン向け「MapFan[®]」利用料として、月額300円(税抜き)が課金されます(2013年12月現在)。
- 1 使用できる携帯電話およびスマートフォンは、BluetoothまたはWi-Fi通信でインターネット接続できる機種に限られます。詳しくは、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Bluetooth適合情報」、または
「お客様サポート」→「Wi-Fi適合情報」
(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご覧ください。
- 1 渋滞情報は、インクリメント P 株式会社が運営する「インクリメント P 交通情報サービス」からの提供です。道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

オンデマンドVICSの ユーザー登録をする

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **VICS/ETC**、**VICS通信接続設定** の順にタッチ。
- 4 **共通設定** にタッチ。

- 5 **MapFanのユーザー登録** にタッチ。

- 6 画面上の2次元バーコードを携帯電話で読み取る、またはURLを直接入力して、「MapFan®」にアクセスする。



2次元バーコードを拡大／縮小

- 1 本書の2次元バーコードおよびURLは使用できません。
 - 1 画面に表示されている“機種名”、“シリアルNo.”は登録する際に必要です。
- 7 携帯電話の登録画面にしたがって登録する。

ワンポイント

- 1 携帯電話 (Bluetooth) を使って接続する場合は、携帯電話の登録、Bluetooth接続をしてください。(→P.214)
- 1 スマートフォン (Wi-Fi) を使って接続する場合は、Wi-Fiの通信設定 (→P.262) をしてください。

通信接続の設定をする

オンデマンドVICS情報を受信するために通信接続設定を行います。

- l 携帯電話を使って接続する場合 (→P.272)
- l スマートフォンを使って接続する場合 (→P.273)

携帯電話の場合 (Bluetooth)

チェック

- l 携帯電話の登録とBluetooth接続をしてください。(→P.214)

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **VICS/ETC**、**VICS通信接続設定** の順にタッチ。

4 **ケータイ** にタッチ。

5 使用する携帯電話にタッチし、プロバイダにタッチ。



◆プロバイダリスト画面

n その他のプロバイダを使用する場合

1 プロバイダリスト画面 (→P.272) で使用する携帯電話にタッチし、**その他のプロバイダ** にタッチ。

2 各項目 にタッチ。



- l 設定内容の詳細は、携帯電話の説明書をご覧ください。

3 各項目を入力し、**完了** にタッチ。



- l 文字の入力方法については「文字を入力する」(→P.15) をご覧ください。

4 **完了** にタッチ。

n オンデマンドVICSを利用する

Bluetooth登録した携帯電話をオンデマンドVICSで利用できるように設定します。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **Bluetooth**、**機器登録・接続** の順にタッチ。

4 使用する携帯電話をBluetooth接続が可能な状態にする。

- 5 使用する携帯電話にタッチ。



- 6 **機器詳細情報** にタッチ。

- 7 **Bluetooth優先機能設定** にタッチし、**オンデマンドVICS** にタッチ。



- 8 **はい** にタッチ。

- 1 DSが接続中の場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、DSの接続が切れます。

スマートフォンの場合 (Wi-Fi)

① チェック

- 1 Wi-Fiの通信設定 (→P.262) をしてください。

- 1 **-MENU-** を押す。

- 2 **設定・編集** にタッチ。

- 3 **VICS/ETC**、**VICS通信接続設定** の順にタッチ。

- 4 **スマートフォン** にタッチし、**MapFan 登録ID**、**MapFan登録パスワード** にタッチ。



MapFan®登録ID・パスワードを記憶

- 1 **MapFan 登録ID** : MapFan®登録IDを入力

- 1 **MapFan登録パスワード** : MapFan®登録パスワードを入力

- 5 MapFan®登録ID、MapFan®登録パスワードを入力し、**完了** にタッチ。



オンデマンドVICS情報の取得設定を変更する

情報を取得するための接続方法や更新時間を変更できます。

チェック

- 事前に通信接続設定 (→P.272) を行ってください。

- MENU** を押す。
- 設定・編集** にタッチ。
- VICS/ETC**、**VICS通信接続設定** の順にタッチ。

- 共通設定** にタッチし、各項目を設定する。

オンデマンドVICS情報の取得設定を初期化



◆ オンデマンドVICS取得設定画面 (共通設定)

- 次の項目を変更できます。
 - ・接続方法 (→P.274)
 - ・オンデマンドVICSの自動接続 (→P.275)
 - ・オンデマンドVICSの更新時間 (→P.275)

接続方法の変更

接続方法をBluetooth、またはWi-Fiに変更できます。

- オンデマンドVICS取得設定画面 (共通設定) (→P.274) で **接続方法** にタッチし、**Bluetooth** または **Wi-Fi** にタッチ。



- 完了** にタッチ。

オンデマンドVICSの自動接続を設定する

- 1 オンデマンドVICS取得設定画面(共通設定) (→P.274) で

オンデマンドVICSの自動接続

にタッチし、**する**、または

しない にタッチ。



- 1 オンデマンドVICSの自動接続を【しない】に設定した場合、手動でVICS情報を取得します。「オンデマンドVICS情報を手動で取得する」(→P.276)

- 2 **完了** にタッチ。

オンデマンドVICSの更新時間を設定する

- 1 オンデマンドVICS取得設定画面(共通設定) (→P.274) で

オンデマンドVICSの更新時間

にタッチし、**+**、または **-**

にタッチ。



- 2 **完了** にタッチ。



オンデマンドVICS情報 を手動で取得する

🏠 チェック

- 1 携帯電話（Bluetooth）を使って接続する場合は、携帯電話の登録、Bluetooth接続をしてください。（→P.214）
- 2 スマートフォン（Wi-Fi）を使って接続する場合は、Wi-Fiの通信設定（→P.262）をしてください。

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。

4 **VICS・交通情報** にタッチ。



5 **オンデマンドVICS取得** にタッチ。



バックアイカメラ

バックアイカメラについて

⚠ 注意

- バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車により見え方が異なります。十分にご注意ください。

⚠ 重要

- 高压洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映します。また、俯瞰（ふかん）機能付きバックアイカメラを接続している場合、カメラ映像の視点を切り替えることができます。



◆バックアイカメラの映像



◆俯瞰機能付きバックアイカメラの映像

📌 ワンポイント

- バックアイカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
- 水滴などがカメラのレンズに付着すると、映りが悪くなることがあります。
- ディスプレイだけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 次のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - 坂道など平坦でない道路
 - バックドアが完全に閉まっていないとき
 - タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ディスプレイが冷えている場合は、映像が尾を引き見づらくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

- カメラを強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラは防水構造ですので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着した場合は、すぐにふき取ってください。
- 寒い場合にお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラをぶつけた場合は、故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 直射日光を長時間画面に映さないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ディスプレイに写る範囲は車によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、いったん画面が白くなりますが故障ではありません。
- バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

4.安心・安全・快適機能

- 1 次の場合、画面が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 太陽光、ヘッドライトなどの強い光が当たって画面の上下に白帯が出た場合
 - ・ 長時間の使用で温度が上昇し、白キズや縦線が出た場合
 - ・ 50Hz電源地域の蛍光灯付近で使用し、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きた場合

バックアイカメラの映像を映す

1 バックギアにシフトする。

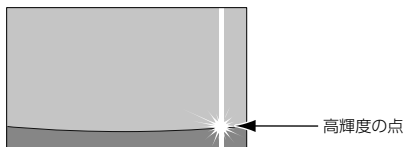
- 1 バックギア以外にシフトすると、カメラ映像の表示が解除されます。

ワンポイント

- 1 カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 1 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 1 次のような場合は、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ
 - ・ レンズ付近の温度が高いときや低いとき
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき
 - ・ カメラ付近に泥などの異物がついたとき
 - ・ 太陽光やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき

- ・ 高輝度の点（車体に反射した太陽光等）がカメラに映り、CCDカメラ特有のスミア現象※が発生したとき

<画面の状況>



※ スミア現象：高輝度の点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

ガイド線を設定する・調整する

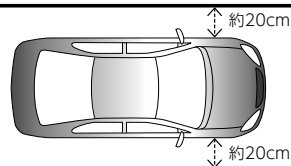
警告

- 1 車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
- 1 ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

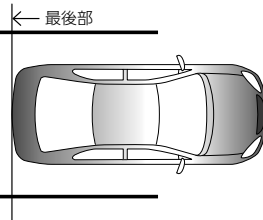
チェック

- 1 距離はあくまで推奨です。ガイド線を表示する場合は、必ず車に合わせた調整をしてください。
- 1 俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、ガイド線の設定は通常モードか俯瞰モードに合わせた設定になります。ガイド線の設定をしていないモードを表示する場合は、ガイド線の表示を解除してください。（→P.279）

- 1 車の幅+両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつける。



- 2 車を約2.5m直進させ、最後部に直線の目印をつける。



ガイド線の見方について

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。

バックギアにシフトすると、バックアイカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。

最後部より30cm～50cmの位置 (赤色)
 最後部より1m～2mの位置 (橙色)



車幅+約20cmの目安 (黄色)

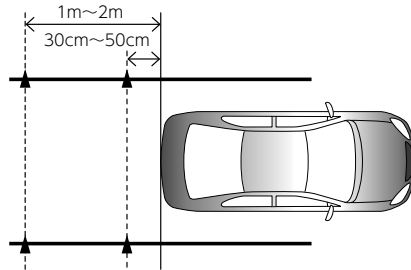
ガイド線の表示を解除する

1 **ガイド線 OFF** にタッチ。



1 **ガイド線 ON** : ガイド線を表示

3 最後部から30cm～50cmおよび1m～2m離れた左右4カ所をマーキングする。

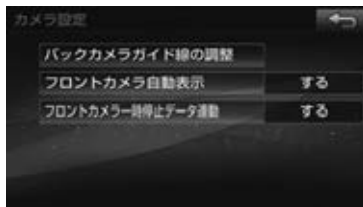


4 **-MENU-** を押す。

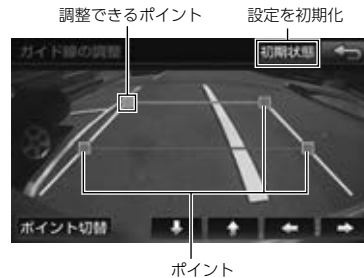
5 **設定・編集** にタッチ。

6 **運転支援**、**カメラ設定** の順にタッチ。

7 **バックカメラガイド線の調整** にタッチ。



8 調整したいポイント、または**ポイント切替** にタッチ。



1 **ポイント切替** : 調整できるポイントを切り替え

9 **↓**、**↑**、**←**、**→** にタッチし、マーキングした4点と合わせる。

10 **↶** にタッチ。

視点を切り替える

※ 俯瞰機能付きバックアイカメラを装着している場合のみ操作できます。

ディスプレイに表示する映像を、上から見た俯瞰モードに切り替えることができます。

1 通常モード

後方を全体的に確認したいときにご利用ください。

1 俯瞰モード

後方の段差、縁石、車の輪止めなどを確認したいときにご利用ください。

n バックアイカメラの初期設定をする

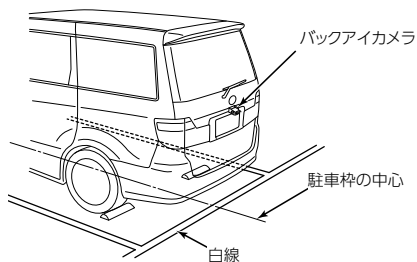
⚠ 注意

- 1 初期設定する場合は、安全な場所に停車してください。

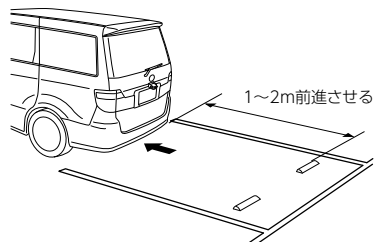
🏠 チェック

- 1 バックアイカメラの初期設定は必ず駐車枠（白線など）と車の輪止めのある駐車場で行ってください。

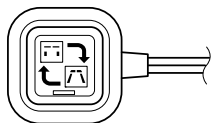
- 1 駐車枠（白線）の中央に車を止める。



- 2 車を1～2m前進させる。



- 3 カメラ映像を表示中に、画像切り替えスイッチを5秒以上押す。



- 4 画像切り替えスイッチを押す。



- 1 スイッチを押すごとに、視点の高さが切り替わります。

- 5 画像切り替えスイッチを3秒以上押す。

- 6 画像切り替えスイッチを押す。



- 1 スイッチを押すごとに、角度が切り替わります。

- 7 画像切り替えスイッチを3秒以上押す。

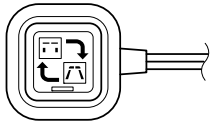
ワンポイント

- 設定中にバックギア以外にシフトすると、設定は保存されません。
- 設定できる角度は6段階です。

n 視点を切り替える

1 カメラ映像を表示中に、画像切り替えスイッチを押す。

- スイッチを押すごとに、通常モードと俯瞰モードが切り替わります。



フロントアイカメラ

フロントアイカメラについて

重要

- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

別売のフロントアイカメラを装着した場合、ディスプレイに車の左右の映像を映します。

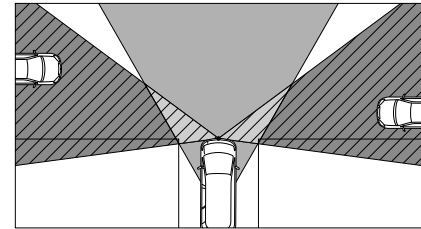
見通しの悪い交差点やT字路等でも、車の先端部に取り付けられたカメラで状況を確認でき、安全な運転をサポートします。

フロントアイカメラの映像は次の方法で表示できます。

- 低速走行時にスイッチ操作で表示
- 高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示



◆フロントアイカメラの映像



- 運転手からの視野範囲
- フロントアイカメラによる視野範囲
(視野範囲は車や取り付け位置によって異なります)

ワンポイント

- フロントアイカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
- 水滴などがカメラのレンズに付着すると、映りが悪くなることがあります。
- フロントアイカメラで映し出す範囲は限られていますので、ディスプレイだけを見ながら移動することは絶対にしないでください。必ず前方および周囲の安全を十分確認してください。

- 次のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - 坂道など平坦でない道路
 - タイヤチェーン、応急タイヤを使用している場合
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることもあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラを強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造になっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能が劣化し故障等の原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると映像が鮮明に表示されません。水滴、雪、泥などが付着した場合は水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着した場合は、すぐにふき取ってください。
- 寒い場合にお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、フロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラをぶつけた場合は、故障などによりフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 直射日光を長時間画面に映さないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- フロントアイカメラのカメラは広角レンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次の場合、画面が見づらくなる場合がありますが、故障ではありません。
 - 太陽光、ヘッドライトなどの強い光が当たって画面の上下に白帯が出たとき
 - 長時間の使用で温度が上昇し、白キズや縦線が出たとき
 - 50Hz電源地域の蛍光灯付近で使用し、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きたとき

フロントアイカメラの映像を映す

低速走行時に手動、または自動で表示できます。

⚠ 重要

- 高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示できます。

n 手動で表示する

- 1 **現在地** を長押しする。

- もう一度 **現在地** を長押しする、または車速が15km/h以上になった場合に、表示が解除されます。

n 自動表示の設定をする

- 自動表示条件：車速が15km/h以上から13km/h以下になったとき
- 自動解除条件：車速が10km/h以上になったとき

- 1 **-MENU-** を押す。

- 2 **設定・編集** にタッチ。

- 3 **運転支援**、**カメラ設定** の順にタッチ。

- 4 **フロントカメラ自動表示** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



⑩ ワンポイント

- 1 バックアイカメラ映像の表示中は、フロントアイカメラ映像を表示できません。
- 1 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 1 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ
 - ・ レンズ付近の温度が高いときや低いとき
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき
 - ・ カメラ付近に泥などの異物がついたとき
 - ・ 太陽光やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき

n 一時停止データと連動した自動表示の設定をする

地図用SDに収録されている一時停止交差点の情報に基づき、一時停止交差点でのみフロントカメラの映像を自動で表示できます。

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **運転支援**、**カメラ設定** の順にタッチ。
- 4 **フロントカメラ一時停止データ連動** にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



ETC

ETCについて

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

🏠 チェック

1 ETCシステムを使用するには、別売のナビゲーション対応のETC車載器を接続し、ETCカードを差し込んでください。
ETCカードについては、各ETCカード発行会社へお問い合わせください。

n 車の情報などをETC車載器に登録する(セットアップ)

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車の情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要です。

また、車を変更する場合には、新しい車の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要です。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

ETCメニュー画面を表示する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **ETC** にタッチ。



ETCカードメッセージ



1 次のメッセージが表示されます。

メッセージ	ETCユニットの状態
ETCカード 認証完了	ETCカードの認証完了
ETCカード 未挿入	ETCカードが挿入されていない
ETCカード 確認中	ETCカードを読み込み中
ETCカード異常	ETCカードの読み込み異常
システム異常	ETCシステムに異常発生 (ETCアンテナが外れた場合 も含む)
未セットアップ	ETCがセットアップされてい ない
セットアップ 完了	ETCのセットアップ完了

走行中の表示について

⚠ 注意

- 1 ETCレーンに進入する場合は、発進制御装置（開閉バー）の手前で十分止まることができる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かない場合に衝突するおそれがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停止しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停止した場合に追突するおそれがあります。
- 1 走行中は、交通事故防止のためETC車載器からETCカードの抜き差しをしないでください。

⚠ 重要

- 1 走行中にETC車載器からETCカードの抜き差しを行うとETCカード内のデータが破損する恐れがあります。
- 1 ETCレーン通過時はETCレーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。
- 1 ETCレーンを通行する場合は、路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。
- 1 必ず入口料金所で使用したETCカードを使用して出口料金所を通過してください。入口料金所情報が無い他のETCカードに差し替えると出口料金所を通過できません。
- 1 出口にETCレーンが無い場合は、係員にETCカードを渡し精算してください。
- 1 ETCレーンを通過しても本機が無反応だった場合は、通信が正常に行われていません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合は、近くのインターホンでお問い合わせください。

📌 ワンポイント

- 1 ETC車載器を用いたサービス（スマートICなど）については、サービス提供者から案内される利用方法をご確認ください。

n ETCレーンの通過案内について

ETCレーンを通過して料金を徴収された場合に、「支払い料金は〇〇円です」と音声および画面表示で案内します。

📌 ワンポイント

- 1 ETCゲートを通過する手前で、ETCゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
※ センターからの情報がない場合は通行可の案内は行われません。
- 1 予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過した場合も同様に案内されます。
- 1 予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所でETCを利用できません。ETC混在レーンまたは一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。エラーコードについては「ETC統一エラーコード一覧」(→P.328)をご覧ください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。
- 1 払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、同様に案内されます。
- 1 ETCの利用料金は路側表示器に表示される場合があります。



n ETCカードの有効期限案内について

ETCカード有効期限内対応のETC車載器を接続している場合、有効期限が当月、または切れていると、音声と画面表示で案内されます。

ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンスイッチをACC、またはONにすると、「ETCカードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠ 重要

- 本機能は、ETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETCを使用する前に、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。
- ETCカード有効期限内非対応のETC車載器を接続している場合は、ETCカードの有効期限が切れていても案内されません。有効期限は、事前に確認してください。有効期限切れのETCカードでは、開閉バーが開かず、ETCレーンが通行できません。

履歴を表示する

ETC車載器に挿入しているETCカードの利用履歴を表示できます。

⚠ 警告

- 走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。

- [-MENU-]** を押す。
- 情報** にタッチ。
- ETC** にタッチ。
- 履歴情報表示** にタッチ。

- 5 **▲**、または **▼** にタッチし、表示させる履歴を切り替える。

	利用日	料金	最新
▲	2014年08月07日	640円	詳細
	2014年08月05日	750円	詳細
	2014年08月05日	3150円	詳細
	2014年08月05日	-300円	詳細
▼	2014年08月05日	900円	詳細

- 最新** : 最も新しい履歴を表示
- 詳細** : 履歴の内容を表示

📌 ワンポイント

- ETCゲート付近で履歴を表示させると、ETCシステムが通信できないことがあります。
- 履歴は最大100件まで表示され、古い履歴から自動で削除されます。

登録情報を表示する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **ETC** にタッチ。
- 4 **登録情報表示** にタッチ。



- 1 統一エラーコードは、最後に表示されたコードが表示されたままになります。統一エラーコードについては「ETC統一エラーコード一覧」(→P.328)をご覧ください。

ワンポイント

- 1 セットアップカード情報が有効年月日は、現在使用されていないため表示されません。

ETCの設定を変更する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **VICS/ETC**、**ETC通知設定** の順にタッチ。
- 4 各項目にタッチし、**する**、または **しない** にタッチ。



- 1 次の項目を設定できます。

番号	機能
①	・ ETCゲートの通行可否を画面に表示 ・ 料金徴収を画面に表示
②	通行の可否や利用料金を音声で案内
③	エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETC車載器の異常を画面で警告
④	エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETC車載器の異常を音声で警告
⑤	エンジンスイッチをACCからOFF (LOCK) の位置にしたとき、カードの抜き忘れを警告

- 5 **完了** にタッチ。

ワンポイント

- 1 ハートフル音声とETC音声案内が重複することがあります。どちらかの音声を優先して聞く場合、優先しない音声案内を【しない】に設定します。(→P.118)

ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチを設定する

車がステアリングスイッチ装着車の場合、オーディオの主要機能や、ハンズフリーの音量調整をステアリングスイッチで操作できます。

ステアリングスイッチは次の方法で設定できます。

1 自動車メーカーを指定して設定（トヨタ/ダイハツ/ホンダ/スバル/マツダ/スズキ/三菱の場合）（→P.288）

1 自動車メーカーを指定しないで設定（→P.288）

チェック

1 対応車種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「ステアリングリモコン適合情報」（<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>）をご覧ください。

n 自動車メーカーを指定して設定する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **運転支援**、**ステアリングスイッチ設定** の順にタッチ。

4 自動車メーカーにタッチ。



設定をOFFにする

5 **OK** にタッチ。

1 “ステアリングスイッチを設定できませんでした 設定内容もしくは接続状態に不備がある可能性があります” のメッセージが表示された場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

ワンポイント

1 自動車メーカーを設定しても、車種によっては設定値が合わず、ステアリングスイッチが動作不良を起こす場合があります。その場合、「自動車メーカーを指定しないで設定する」（→P.288）の手順でステアリングスイッチを設定してください。

n 自動車メーカーを指定しないで設定する

ステアリングスイッチの動作を本機に記憶できません。

1 音量スイッチ

1 モード切り替えスイッチ

1 選局（選曲）スイッチ

1 **-MENU-** を押す。

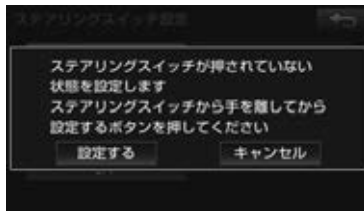
2 **設定・編集** にタッチ。

3 **運転支援**、**ステアリングスイッチ設定** の順にタッチ。

4 **その他** にタッチ。



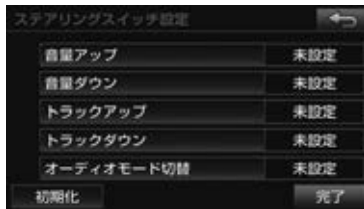
5 **設定する** にタッチ。



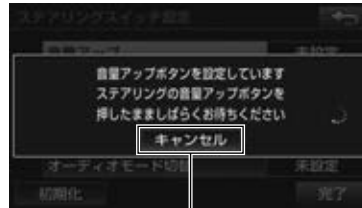
1すでにステアリングスイッチの設定がされている場合、確認メッセージが表示されます。

はい にタッチすると、設定できます。

6 設定したい項目にタッチ。



7 画面に表示される案内にしたがって、ステアリングスイッチを押す。



設定を中止

8 設定したい項目ごとに、手順6、手順7の操作を繰り返す。

9 **完了** にタッチ。



設定を初期化

10 **OK** にタッチ。



ハンズフリー・オーディオ機能共通の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
音量スイッチ	(+)・(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すごとに1ステップずつ音量を変更 ・ 長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変化

オーディオ機能の操作

n 共通操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
モード切替 スイッチ	(MODE)	n オーディオ電源がOFFの場合 オーディオの電源をON
		n オーディオ電源がONの場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 押すごとにモードを切り替え TV→AM→FM→(Bluetooth Audio)→ (DS)→(CD/MP3・WMA・AAC/DVD)→ (SD※1)→(SD REC※2)→(USB/iPod)→ (AUX/VTR)→(MirrorLink™)→TVに戻ります。 ()：再生または視聴できない場合は、切り替わりません。 ・ 長押しするとオーディオの電源をOFF

※1 パソコンで記録した音楽ファイルを再生

※2 本機で録音した音楽を再生

ワンポイント

1 ハンズフリー機能使用中は、(MODE) スイッチを操作できません。

n 各オーディオ機能の操作

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
ラジオ	選局 スイッチ	(∧) ・ (∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替え ・ 長押しすると、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局 (→P.130)
CD	選曲 スイッチ	(∧)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の曲に切り替え
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の頭出し ・ 連続で押しすと、前の曲に切り替え
MP3・ WMA・ AAC	選曲 スイッチ	(∧)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 長押しすると、次のフォルダに切り替え (→P.134)
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの頭出し ・ 連続で押しすと、前のファイルに切り替え ・ 長押しすると、前のフォルダに切り替え (→P.134)
SD REC	選曲 スイッチ	(∧)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 長押しすると、次のプレイリストに切り替え (→P.158)
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの頭出し ・ 連続で押しすと、前のファイルに切り替え ・ 長押しすると、前のプレイリストに切り替え (→P.158)

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
SD	選曲 スイッチ	(∧)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のファイルに切り替え ・ 長押しすると、次のフォルダに切り替え (→P.160、162)
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの頭出し ・ 連続で押し、前のファイルに切り替え ・ 長押しすると、前のフォルダに切り替え (→P.160、162)
USB メモリ	選曲 スイッチ	(∧)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の音楽ファイルに切り替え ・ 長押しすると、次のフォルダに切り替え (→P.148、150)
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽ファイルの頭出し ・ 連続で押し、前の音楽ファイルに切り替え ・ 長押しすると、前のフォルダに切り替え (→P.148、150)
テレビ	選局 スイッチ	(∧) ・ (∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押しごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替え (→P.181)
DVD	選曲 スイッチ	(∧)	次のチャプターに切り替え
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャプターの頭出し ・ 連続で押し、前のチャプターに切り替え
iPod	選曲 スイッチ	(∧)	次のファイルに切り替え
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの頭出し ・ 連続で押し、前のファイルに切り替え

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
Bluetooth Audio	選曲 スイッチ	(∧)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の音楽ファイルに切り替え ・ 長押しすると、次のアルバムに切り替え (→P.248)
		(∨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽ファイルの頭出し ・ 連続で押し、前の音楽ファイルに切り替え ・ 長押しすると、前のアルバムに切り替え (→P.248)

ワンポイント

ハンズフリー機能使用中は、(∧)・(∨) スイッチを操作できません。



ITSスポットサービス (DSRC)

ITSスポットサービス (DSRC) について

ITSスポットサービス (DSRC) は、従来のETCシステム (→P.284) に加え、高速道路に設置されたDSRC路側アンテナとITSスポットサービス対応DSRCユニットが双方向通信を行うことにより、道路上の渋滞や事故、合流などの情報をリアルタイムで提供するサービスです。


サービスをご利用いただくためには、別売のITSスポットサービス対応DSRCユニットが必要です。

チェック

- 各サービスをご利用される前に、ITS スポット対応DSRC ユニットのセットアップ手続きが必要です。セットアップ手続きについては、ITS スポット対応DSRC ユニートを購入された販売店へお問い合わせください。

■ 主なサービス

提供サービス	内容
ETC	自動料金支払い機能 ・ ETCについては、 [ETC] (→P.284) をご覧ください。

提供サービス	内容	
安全運転支援情報提供サービス	<p>見通しの悪いカーブ先の渋滞や、停止中の車、合流状況など前方障害物の情報を事前に案内 (音声・図形表示)</p>  <p>・ 安全運転支援情報提供サービスについては、[VICs・ITSスポットの問い合わせ先 について] (→P.375) をご覧ください。</p>	
交通情報提供サービス	交通情報・緊急情報	<p>VICsによる交通情報と緊急情報を案内 (音声、図形表示)</p> <p>・ VICs サービス (FM 多重放送、電波・光ビーコン) については、[渋滞情報 (VICs機能)] (→P.110) をご覧ください。</p>
	前方状況情報	進行方向先の交通状況を案内 (音声、図形表示、画像表示)
	電子標識情報	標識の画像を表示
	長文読上げ情報	ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内 (→P.293)
その他のサービス (プローブ情報)	<p>ITSスポットサービス対応DSRCユニット装着車から収集した走行履歴などの情報を表示</p> <p>・ 走行履歴情報をアップロードする／しないを設定できません。(→P.294)</p> <p>・ 走行履歴情報アップロードを【する】にした場合、走行履歴などの情報 (走行位置の履歴や車に関する情報など) を、ITSスポットサービス (DSRC) の路側無線装置へ送ることができます。詳しくは、[道路管理者等からのお知らせとお願い] (→P.350) をご覧ください。</p>	

ワンポイント

- 今後サービスが追加された場合は、新しいサービスに対応できないことがあります。
- ITS スポットサービス (DSRC) により提供される情報にはいくつかの種類があります。この種類は、情報画面上に表示される情報種別で判別できます。



- 表示される画面の使い方などについては、「ETCメニュー画面を表示する」(→P.284)をご覧ください。
- エラーコードなどについては、「ETC統一エラーコード一覧」(→P.328)をご覧ください。

長文読上げ情報

ハイウェイラジオの長文読上げ情報を受信した場合、メッセージが表示されます。

- 1 **はい** にタッチ。



ワンポイント

- 読上げ情報は、2 回読上げると終了します。
- 約 15 秒以上操作しなかった場合は、もとの画面に戻ります。
- もう一度読上げ情報を聞く場合は、「**割込情報を呼び出す**」(→P.296)をご覧ください。
- 現在地** を押すと、現在地画面を表示させた状態で、読上げ情報を聞くことができます。
- △▽** を押すと、読上げを中止します。

割込情報について

VICS 文字情報・図形情報以外の割込情報を受信できます。

ワンポイント

- 割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整できます。(→P.32)

n 施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

n 電子標識情報

標識の画像を表示して、自動車専用道路に入ったことを知らせます。



割込情報を設定する

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。



4 **DSRC・VICS・交通情報** にタッチ。



5 **DSRC/VICS 設定** にタッチ。



6 **DSRC/VICS 割込設定** にタッチ。



7 各項目にタッチし、**する** または **しない** にタッチ。



項目	機能
注意警告情報自動割込	安全運転支援案内サービスを表示する／しないを設定
ビーコン文字情報自動割込	文字情報を表示する／しないを設定
ビーコン図形情報自動割込	図形情報を表示する／しないを設定
自動割込の表示時間	◀ または ▶ にタッチして、自動割込の表示時間を設定
DSRC表示情報自動割込	ITS スポットサービス (DSRC) により提供される情報を表示する／しないを設定
DSRC読上げ情報自動割込	ハイウェイラジオの長文読上げを自動でする／しないを設定
走行履歴情報アップロード	走行履歴などの情報を、ITS スポットサービス (DSRC) の路側無線装置へ送る／送らないを設定

8 **完了** にタッチ。

ワンポイント

- 1 走行履歴情報のアップロードに関して、「道路管理者等からのお知らせとお願い」(→P.350) をご覧ください。
- 1 割込情報を【しない】に設定している場合、手動で呼び出すことができます。(→P.296)

DSRC 音声案内を設定する

目的地案内中の現在地画面から約10km以内のルート上のDSRC/VICS情報（渋滞や交通規制など）を音声でお知らせします。

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。



4 **DSRC・VICS・交通情報** にタッチ。



5 **DSRC/VICS 設定** にタッチ。



6 **DSRC/VICS 音声案内** タッチして、**する**、**しない** にタッチ。



ビーコン

2メディア/3レベル対応VICSユニットについて

別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続すると、FM多重放送に加え電波・光ビーコンの情報を受信できます。

- 1 ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- 1 ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮したルート探索が可能です。
- 1 ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

ワンポイント

- 1 ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

ビーコンからVICS情報が受信された場合、VICS文字情報または図形情報が自動で表示されます。

チェック

- 1 ビーコンユニットを装着していない場合でも、緊急情報が受信された場合は、割込情報が表示されます。



n 割込情報を切り替えるとき

- 1 **▲**、または **▼** にタッチ。

- 1 **文字**：文字情報に切り替え
- 1 **図形**：図形情報に切り替え



◆文字情報画面

- 1 **解除** にタッチする、または約15秒以上操作しなかった場合は、もとの画面に戻ります。

n 割込情報を呼び出す

割込情報の表示を【しない】に設定している場合に、受信された割込情報を手動で表示できます。

チェック

- 1 提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示できません。

- 1 **-MENU-** を押す。

- 2 **情報** にタッチ。

- 3 **VICS**、または **DSRC/VICS** にタッチ。

- 4 VICS呼び出し、またはDSRC呼び出しの **割込情報** にタッチ。

- 5 **▲**、または **▼** にタッチして、割込情報を切り替える。



- 1 **文字**：文字情報に切り替え

- 1 **図形**：図形情報に切り替え

- 1 **解除**：割込表示を解除（ビーコン受信時のみ）

- 1 **表示情報**：DSRC呼び出しの表示情報に切り替え

- 1 **読上げ情報**：DSRC読上げ情報に切り替え

割込情報の表示を設定する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間を設定できます。

チェック

自動割込情報を【しない】に設定していても、緊急情報が受信された場合は、文字情報または図形情報を自動で表示します。

1 **現在地** を押す。

2 **メニュー** にタッチ。

3 **表示変更** にタッチ。



4 **VICS・交通情報** にタッチ。



5 **VICS設定** にタッチ。



6 **VICS 割込設定** にタッチし、**設定する** にタッチ。



7 各項目にタッチし、**する** または **しない** にタッチ。



項目	機能
注意警告情報自動割込	安全運転支援案内サービスを表示する／しないを設定
ビーコン文字情報自動割込	文字情報を表示する／しないを設定
ビーコン図形情報自動割込	図形情報を表示する／しないを設定
自動割込の表示時間	5秒 ～ 30秒 を選んでタッチして、自動割込の表示時間を設定

リモコン

リモコンについて

別売のリモコンをご利用いただくことで、地図画面やオーディオの主要機能を操作できます。

警告

- 走行中のリモコン操作は大変危険ですので、運転者は絶対に操作しないでください。

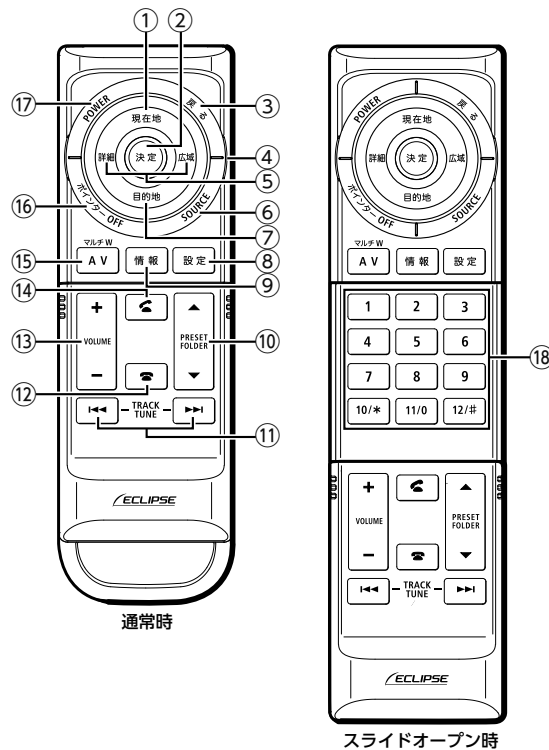
注意

- リモコンを落としたり、水をかけたり、強い衝撃を与えないでください。
- リモコンをダッシュボードの上やエアコン吹き出し口のそばなど温度が高くなる場所に置かないでください。変形や故障の原因となります。

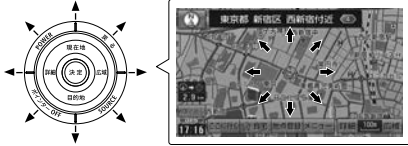
ワンポイント

- 送信部を本機に向けてご使用ください。
- 直射日光などの強い光が本機に当たると、リモコンの操作を受け付けないことがあります。
- 汚れは乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を布につけて拭き取ってください。アルコールやシンナーなどでは拭かないでください。塗装がはがれることがあります。
- リモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。

リモコンの使い方



■ ボタン名と機能について


番号	ボタン名	機能
①	現在地ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地を表示 ・ 別売のフロントアイカメラ装着時は、音が鳴るまで押すと、フロントアイカメラ映像を表示
②	決定ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポインター非表示時にポインターを表示 ・ ポインター表示中に画面上のスイッチを選択し決定
③	戻るボタン※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一つ前の画面に戻る ・ 選択した内容を解除
④	十字キー ※2	<p>地図やポインターを移動</p> <p>カーソルの移動例：ポインターや地図を8方向へ移動させる場合</p> 
⑤	詳細/広域ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図画面で地図縮尺を切り替え ・ ボタンを押し続けると、縮尺を連続して切り替え
⑥	SOURCE ボタン※3	<p>ボタンを押すごとにオーディオソースを切り替え TV→AM→FM→(Bluetooth Audio)→(DS)→ (CD/MP3・WMA・AAC/DVD)→(SD※4)→(SD REC※5)→(USB/iPod)→(AUX/VTR)→ (MirrorLink™)→TVに戻ります。 ()：再生または視聴できない場合は、切り替わり ません。</p>
⑦	目的地ボタン	目的地を設定
⑧	設定ボタン	設定・編集画面を表示

番号	ボタン名	機能		
⑨	情報ボタン	情報画面を表示		
⑩	PRESET FOLDER ボタン※3	ラジオ、テレビモード時	プリセットスイッチに記録した放送局を切り替え	
		MP3/WMA/AAC、SD、USBモード時	フォルダを切り替え	
		iPodモード時	リストを切り替え	
		SD REC、Bluetooth Audioモード時	アルバムを切り替え	
⑪	TRACK TUNE ボタン※3	短押し	ラジオ、テレビモード時	放送局の周波数を選局
			CD、MP3/WMA/AAC、SD REC、SD、Bluetooth Audio、iPod、USBモード時	曲の選曲
		DVDモード時	チャプターの選択	
		長押し	ラジオモード時	受信中の周波数に一番近い放送局を自動的に選局
CD、DVD、MP3/WMA/AAC、SD REC、SD、Bluetooth Audio、iPod、USBモード時	早送り/早戻し			
⑫	オンフックボタン	ハンズフリーの発信を中断/応答を保留/着信拒否/通話を終了		
⑬	VOLUME ボタン	オーディオやハンズフリー機能を使用している場合の受話音や着信音の音量を調整		



4.安心・安全・快適機能

番号	ボタン名	機能	
⑭	オフフックボタン	ハンズフリーを発信／着信を受ける／応答保留を解除	
⑮	AV/マルチW ボタン	・ オーディオ操作画面を呼び出し ・ 映像が表示されるモード時はマルチウィンドウと全画面を切り替え	
⑯	ポインター OFF ボタン	表示中のポインターを消す	
⑰	POWERボタン	オーディオの電源を入れる／切る	
⑱	10キー入力 ボタン	ナビ画面	電話番号、マップコード、郵便番号を入力
		ラジオ、デジタルテレビモード時	プリセットスイッチに記録した番号を入力

- ※1 画面に  が表示されているときに操作できます。
- ※2 オーディオ操作画面が表示されているときは操作できません。
- ※3 オーディオがOFFのときは操作できません。
- ※4 パソコンで記録した音楽ファイルを再生します。
- ※5 本機で録音した音楽を再生します。

電池をセットする

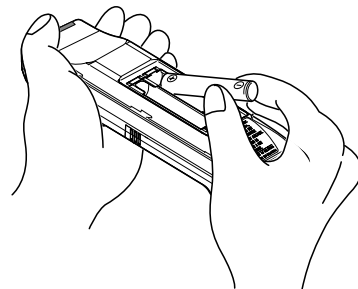
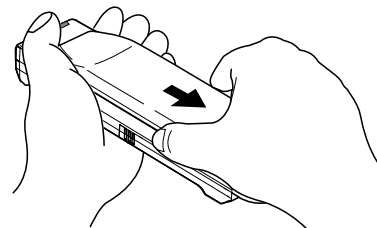
警告

- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

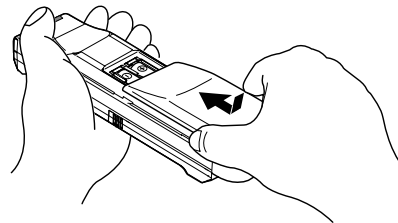
チェック

- 電池は単4形をお使いください。
- 万一、電池の液もれがおこったときは、よく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

- 1 リモコンの裏ボタンを矢印の方向にスライドし、電池を入れる。



- 2 裏ボタンを矢印の方向にスライドして戻す。



エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

ワンポイント

- 1 エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内する／しないを設定できます。(→P.118)

燃費を計算する

給油した量と給油した時点での走行距離から燃費が計算され、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。燃費の履歴は後から編集できます。

ワンポイント

- 1 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

給油量を入力する

給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセットされます。

1 **-MENU-** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **エコ** にタッチ。

4 **燃費履歴** にタッチ。



5 **データ入力** にタッチ。



6 **給油量入力** にタッチ。



- 1 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、**走行距離リセット** → **はい** の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

7 給油量を入力し、**完了** にタッチ。



ワンポイント

- 1 走行距離の表示は、0.0km～999.9km です。
- 1 入力できる給油量は、0.1L～99.9L です。

履歴とグラフを表示する

平均燃費や燃費の履歴を表示できます。

1 **-MENU-** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **エコ** にタッチ。

4 **燃費履歴** にタッチ。



5 **履歴・グラフ** にタッチ。



ワンポイント

┆ グラフの表示は、最大40km/Lです。

┆ 数値の表示は、0.1km/L～99.9km/Lです。

履歴を編集する

計算された燃費は、履歴に最大100件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などを修正できます。

1 **-MENU-** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **エコ** にタッチ。

4 **燃費履歴** にタッチ。



5 **履歴一覧** にタッチ。



6 編集したい履歴を選択する。



1 **履歴消去** → **はい** の順にタッチすると、すべての履歴が消去されます。

7 各項目にタッチして修正・入力し、**完了** にタッチ。



1 **開始日編集** : 計測開始日を修正・入力

1 **終了日編集** : 計測終了日を修正・入力

1 **走行距離編集** : 走行距離を修正・入力

1 **給油量編集** : 給油量を修正・入力

1 **前へ** : 前の履歴を表示

1 **次へ** : 次の履歴を表示

1 **本履歴を削除** → **はい** の順にタッチすると、選択した履歴が削除されます。

ワンポイント

1 入力できる走行距離は、0.0km～999.9kmです。

1 入力できる給油量は、0.1L～99.9Lです。



燃費を設定する

履歴・グラフ (→P.302) に表示されている平均燃費などを参考に燃費を設定すると、5ルート同時表示画面のルートの中で最もエコなルートにアイコンが表示されます。

エコアイコン



また、全行程一覧表画面 (→P.74) にはルートごとにエコ度が3段階で表示されます。

エコ度

全行程一覧					エコ度
運賃条件	料金	全行程	有料道路	所要時間	エコ度
普通	13700円	520+	520+	60分52秒	☆☆☆
有料道路	13700円	520+	520+	60分52秒	☆☆☆
夜間料	520+	0.0+	17分8.19秒		☆☆
距離優先	8020円	492+	299+	10分8.72秒	☆☆☆
5ルート	13700円	520+	520+	60分52秒	☆☆☆

◆全行程一覧画面

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **エコ** にタッチ。

- 4 **燃費設定** にタッチ。



- 5 燃費を設定したい道路を選択し、設定する。



- 1 **>** : 燃費を上げる
- 1 **<** : 燃費を下げる

- 6 **完了** にタッチ。

📌ワンポイント

- 1 フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
- 1 入力できる燃費設定は、0.1km/L ~ 99.9km/L です。

エコ運転評価を表示する

全体の運転時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果が5段階で表示されたり、エコ運転に関するアドバイスが表示されま

🏠 チェック

- 1 エコ運転の評価期間は、日付が変わった時点でリセットされます。最大10日間（当日含む）の評価履歴を確認できます。（→P.305）

最新評価を表示する

- 1 **現在地** を押す。
- 2 **メニュー** にタッチ。
- 3 **表示変更** にタッチ。



- 4 **地図表示** にタッチ。



- 5 **地図&エコ情報** にタッチ。

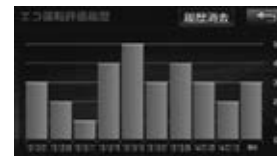


📌 ワンポイント

- 1 評価を行うのに十分な走行時間が経過していない場合は、「判定中」というメッセージが表示されます。

評価履歴を表示する

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **エコ** にタッチ。
- 4 **エコ運転評価履歴** にタッチ。



- 1 **履歴消去** → **はい** の順にタッチすると、評価履歴を消去できます。

メンテナンス機能 について

メンテナンス機能は、GPS情報と車速信号を使用して、車のエンジンオイル/タイヤの交換時期、定期点検/車検の時期を画面と音声（初回のみ）でお知らせします。

メンテナンスの案内表示について

エンジンスイッチをACC、またはONにすると、同時に4つまで案内されます。



- 1 **次回表示しない** : 次にナビを起動したときは案内しない

メンテナンス項目が設定されていないときは、メッセージが表示されます。



- 1 **する** : メンテナンス項目を設定 (→ P.306)
- 1 **しない** : メンテナンス項目を設定せずにナビ画面を表示

- 1 **次回表示しない** : 次にナビを起動したときは案内しない

ワンポイント

- 1 メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げの販売店へご相談ください。
- 1 お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日を基に設定した項目をお知らせするものです。車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- 1 メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

メンテナンス項目を 設定する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **メンテナンス**、**項目設定** の順にタッチ。
- 4 設定する項目にタッチ。



- 1 すでに設定されている項目にタッチすると、設定内容を修正できます。

1 次の項目を設定できます。

- ・ エンジンオイル交換
- ・ タイヤ交換
- ・ 定期点検
- ・ 車検

1 **自動通知** : タッチするごとに、メンテナンス案内表示 (→P.306) のする/しないを切り替え

5 **お知らせ日**、または**お知らせ距離** にタッチ。



6 数字を入力し、**完了** にタッチ。

1文字ずつ修正



◆ お知らせ日入力画面

7 **設定完了** にタッチ。

メンテナンス時期を更新する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メンテナンス**、**項目設定** の順にタッチ。

4 更新する項目にタッチ。



1 **自動全更新** → **はい** の順にタッチすると、すべての項目を更新します。

5 **自動更新** にタッチ。



6 **はい** にタッチ。

ワンポイント

1 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動で計算され、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

6. メンテナンス情報を登録する

メンテナンス設定を消去する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メンテナンス**、**項目設定** の順にタッチ。

4 消去する項目にタッチ。



5 **設定全消去** → **はい** の順にタッチすると、すべての項目を消去します。

5 **設定消去** にタッチ。



6 **はい** にタッチ。

販売店を設定する

販売店を設定すると、メンテナンスの案内表示に販売店の情報を表示したり、販売店の地図を表示できます。

1 **-MENU-** を押す。

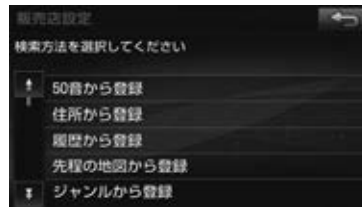
2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メンテナンス**、**項目設定** の順にタッチ。

4 **販売店設定** にタッチ。



5 検索方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。



1 「目的地を探す」(→P.62)、「地図を動かす」(→P.54) をご覧ください。

6 **セット** にタッチ。



7 **完了** にタッチ。



1 **販売店に行く** → **ここに行く** の順にタッチすると、目的地に設定できます。

販売店を修正・消去する

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メンテナンス**、**項目設定** の順にタッチ。

4 **販売店設定** にタッチ。



5 修正する項目にタッチ。



1 販売店の修正・入力方法は次をご覧ください。

- ・販売店名：「名称を入力する」(→P.98)
- ・位置：「位置を修正する」(→P.99)
- ・電話番号：「電話番号を入力する」(→P.100)

1 **販売店の消去** → **はい** の順にタッチすると、販売店が消去されます。

6 **完了** にタッチ。

7.システムチェックをする

システムチェックをする

- 1 **-MENU-** を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **SYSTEM CHECK** にタッチ。
- 4 各項目を確認する。



◆ SYSTEM CHECK画面

- 1 **メンテナンス** : メンテナンス画面を表示 (→P.306)

1 次の項目を確認できます。

項目		内容
GPS受信個数		電波を受信しているGPS衛星の個数
GPS測位レベル	3D測位	緯度・経度・高度の3次元で測位している状態
	2D測位	緯度・経度の2次元で測位している状態
	NG	測位していない状態
GPS受信強度		GPSの受信強度レベル(8段階)
車速パルス	ON	走行している状態
	OFF	停車している状態
推定速度		速度の表示
パーキング信号	ON	パーキングブレーキがかかっている状態
	OFF	パーキングブレーキがかかっていない状態
リバース信号	ON	バックギアにシフトしている状態
	OFF	バックギア以外にシフトしている状態

項目		内容
イルミ信号	ON	車のライトが点灯している状態
	OFF	車のライトが消灯している状態
距離補正学習状態		自動で行われる距離補正の学習状況
地図SDカード	OK	地図用SDが挿入されている状態
	NG	地図用SDが挿入されていない状態
音楽用SDカード	OK	音楽用SDが挿入されている状態
	NG	音楽用SDが挿入されていない状態
フロントカメラ接続	OK	フロントアイカメラが接続されている状態
	NG	フロントアイカメラが接続されていない状態
バックカメラ接続	OK	バックアイカメラが接続されている状態
	NG	バックアイカメラが接続されていない状態
GPSアンテナ接続	OK	GPSアンテナが接続されている状態
	NG	GPSアンテナが接続されていない状態

7. システムチェックをする

項目		内容
USBメモリ 接続状態	OK	USBメモリが接続されている状態
	NG	USBメモリが接続されていない状態
iPod/ iPhone接続 状態	OK	iPod/iPhoneが接続されている状態
	NG	iPod/iPhoneが接続されていない状態
ETC ユニット	OK	ETCユニットが接続されている状態
	NG	ETCユニットが接続されていない状態
VICS ユニット	OK	VICSユニットが接続されている状態
	NG	VICSユニットが接続されていない状態
DSRC ユニット	OK	DSRCユニットが接続されている状態
	NG	DSRCユニットが接続されていない状態
マイク& スイッチ	OK	マイク&スイッチが接続されている状態
	NG	マイク&スイッチが接続されていない状態

ワンポイント

- 1 本機の取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示できません。
- 1 表示が実際の状態と異なる場合は販売店にお問い合わせください。

地図用SDのコードを確認する

チェック

- 1 パソコンを使って地図を更新する場合、現在ご使用中の地図用SDコード情報が必要です。

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **地図更新** にタッチ。

4 コードを確認する。



携帯電話の
キャリアを選択

2次元バーコード



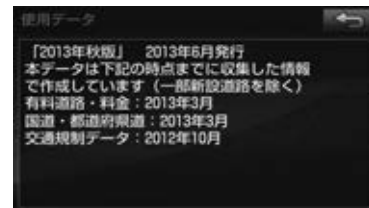
2次元バーコードを拡大/縮小

- 1 **Wi-Fi 接続** : Wi-Fiを使って地図を更新する
 ※ こちらのサービスは、ご提供しておりません。
 (2013年11月現在) 地図更新につきましては、別途ご案内いたします。
- 1 Wi-Fiで更新する場合は、本機のソフトウェアをバージョンアップする必要があります。バージョンアップ方法については「Wi-Fiでソフトウェアをダウンロードする」(→ P.358) をご覧ください。

地図データの情報を表示する

地図用SDに収録されている地図データの情報を確認することができます。

- 1 **MENU** を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **地図更新** にタッチ。
- 4 **使用データ** にタッチ。



1. 自車位置がずれたときは

精度と誤差

GPS衛星の電波の性質と受信状態

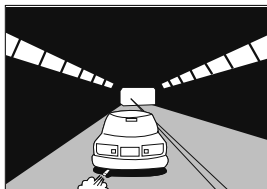
GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、次のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

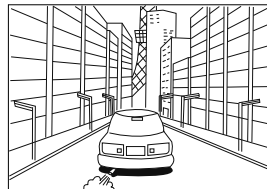
🏠 チェック

- GPS衛星は地球を周回しているので、同じ場所でも電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

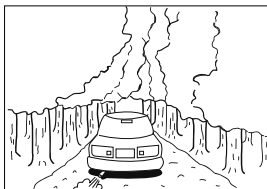
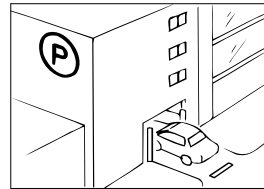
トンネルの中



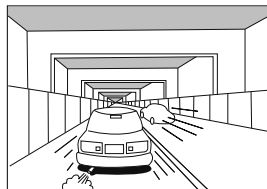
高層ビルなどの障害物で周囲を囲まれたところ



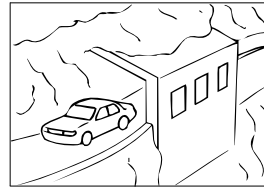
建物の中や地下、屋内駐車場



樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

現在地表示の誤差

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれに誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

ワンポイント

- 実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正できます。安全な場所に停車してから修正してください。(→P.318)

タイヤによる誤差

本機では車の移動した距離を車速センサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているため、次の場合には誤差が大きくなり現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用した場合
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行している場合
- タイヤの空気圧が適正でない場合
- タイヤを交換した場合（自動で距離補正が行われず、手動で修正する必要があります。）

マップマッチングによる現在地検出の補正

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正するシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせで得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正しています。

しかし、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自転車位置マークがずれる場合があります。

ワンポイント

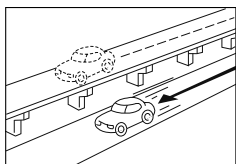
- 本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、自転車位置マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

1. 自車位置がずれたときは

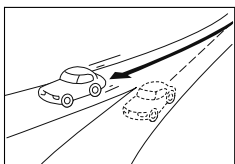
現在地表示、ルート案内の精度

道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われなかったりすることがあります。

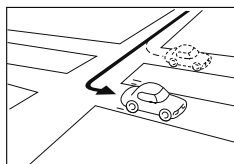
n 現在地表示



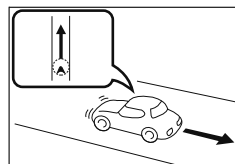
並走している道路に現在地が表示される。



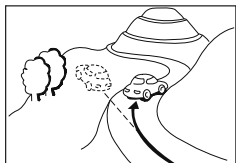
角度の小さなY字路を曲った場合、他方の道路に現在地が表示される。



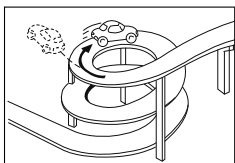
右左折の場合、手前または先の道路に現在地が表示される。



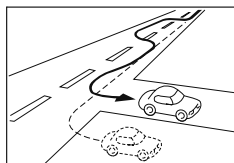
後退時に現在地がずれて表示される。



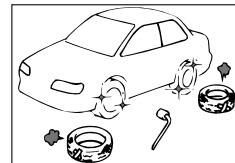
急勾配の道路を走行した場合、現在地がずれて表示される。



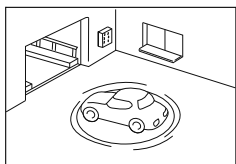
同一方向のカーブが連続する道路を走行した場合、現在地がずれて表示される。



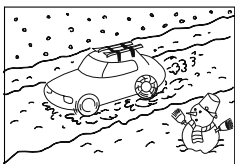
車線変更など蛇行運転をした場合、現在地がずれて表示される。



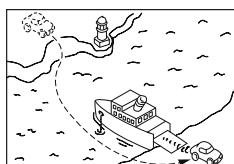
タイヤを交換した場合、自車位置マークがずれて表示される。



駐車場のターンテーブルなどで、エンジンスイッチがOFF(LOCK)の状態 で 旋 回 した 場 合、 自 車 位 置 マ ー ク の 向 き が ず れ て 表 示 さ れ る。

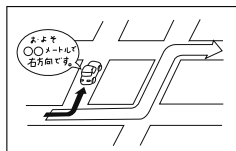


雪道などの滑りやすい路面を走行している場合や、タイヤチェーンなどを装着して走行している場合、現在地がずれて表示される。

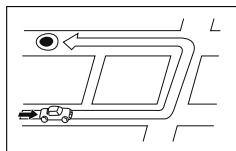


フェリーなど、自車走行以外で移動した場合、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。

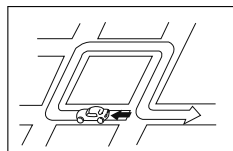
n ルート案内



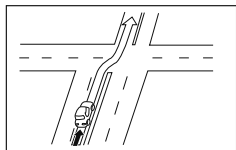
案内ルートをはずれて手前の交差点で曲がったときに間違っ
て音声案内される場合がある。



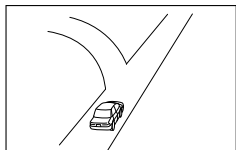
ルート探索時に、ルートが遠
回りになる場合がある。



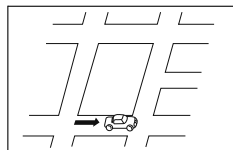
Uターンするルートを案内す
る場合がある。



直線道路を走行中に、直進の
案内が出る場合がある。(交
差点の形状がわかりにくい
場合など)

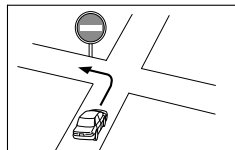
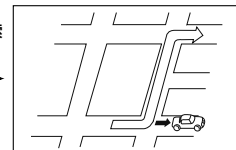


方面の案内で、いくつかの地
名を表示する場合がある。

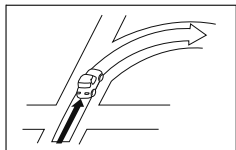


ルートの再探索などの場合、ルート
が表示されるまでに車も進むため、
案内された道路を通り過ぎてしまう
場合がある。

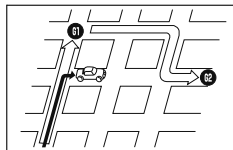
ルート探索
完了



通行できない道を通るルート
が案内されることがある。

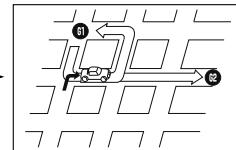


交差点で曲がるのに案内が出
ない場合がある。



複数目的地の場合、次の目
的地を通らずに再探索する
と、次の目的地に戻るルー
トが探索される。

再探索



ワンポイント

- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合はルートが表示されない場合があります。



1. 自車位置がずれたときは

自車位置を補正する

次のとき、自車位置マークの位置を補正できます。

- ・ 自車位置マークの位置が実際の現在地と異なるとき
- ・ 自車位置マークの向きが実際の進行方向と異なるとき

安全な場所に停車して補正してください。

1 **-MENU-** を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **ナビ詳細設定** にタッチ。

4 **ナビ補正** にタッチし、**補正する** にタッチ。



5 **↑** にタッチして現在地を修正し、**セット** にタッチ。



6 **↓**、または **↓** で向きを調整し、**セット** にタッチ。



ワンポイント

- 1 補正できない場合は、販売店で点検を受けてください。
- 1 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正をしていますが、タイヤを交換したり、本機を別の車に取り付けたときなどは、誤差が生じることがあります。この場合は、GPS電波の受信状態が良好な道路を約30km走行してください。

2. こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

共通の操作

メッセージ	原因	処置
セキュリティコードの認証エラーです 取扱説明書に記載している方法で解除キーを入力して下さい OK	ESNのロック、または起動時認証を解除する場合、誤った暗証番号を5回入力したため。	2次元バーコードからシリアルNo. (8桁) と前回のコードNo. (6桁) を送信してください。ロックを解除するコードが返信されます。 2次元バーコードが読み取れない場合は、アドレスに送信してください。(→P.46) アドレスは、製品に同梱されている「取扱説明書」の47ページを参照してください。

ナビ関係

メッセージ	原因	処置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません	施設（施設マーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(→P.55)
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。(→P.69)
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	ほかの施設で検索してください。(→P.69)
自宅が登録されていません 自宅登録を行いますか？ はい いいえ	自宅が登録されていない場合に、 自宅 にタッチしたため。	はい にタッチするとメモリ地点メニュー画面を表示します。(→P.95) いいえ にタッチすると元の画面に戻ります。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出す場合に、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号をもう一度入力し直しても地図が呼び出せない場合は、ほかの方法で地図を呼び出してください。(→P.62)




2. こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出す場合に、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードをもう一度入力しなおしても地図が呼び出せない場合は、ほかの方法で地図を呼び出してください。(→P.62)
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出す場合に、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が記憶されていない場合は、ほかの方法で地図を呼び出してください。(→P.62)
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？ はい いいえ	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定する場合は、 いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地の移動をしますか？ はい いいえ	目的地の近くに線路があるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定する場合は、 いいえ にタッチしてください。
目的地はこれ以上設定できません	目的地を5カ所設定した後に、さらに追加しようとしたため。	不要な目的地を消去してから追加してください。(→P.80)
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていない場合に、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。(→P.96)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点や迂回メモリ地点を登録した数が限界数の場合に、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。(→P.100)
VICSの文字情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局し直してください。(→P.115)
VICSの図形情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局し直してください。(→P.115)
VICS情報は800m図より 広域の地図には表示されません	VICS表示中に800mスケール図より広域の地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(→P.55)

メッセージ	原因	処置
VICSの文字情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局を選局していない、または情報を受信していないため。	選局し直してVICSの情報を受信してください。(→ P.115)
VICSの図形情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局を選局していない、または情報を受信していないため。	選局し直してVICSの情報を受信してください。(→ P.115)

2. こんなメッセージが表示されたときは

オーディオ

メッセージ	原因	処置
DISCをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れている場合はクリーニングしてください。 裏返しの場合は正しく入れてください。  を“ピッ”と音がするまで押し続けて裏返しのディスクを取り出してください。
DISCが入っていません	再生可能なディスクが入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
高温のためDISC停止中です※	プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
異常検知でDISC停止中です	何らかの原因でプレーヤーが動かないため。	ディスクを取り出してください。
異常検知でSDオーディオ停止中です	なんらかの原因でプレーヤーが動かないため。	音楽用SDを取り出してください。
地図SDカードが音楽SDスロットに挿入されています SD/SDHCカード（～32GB）を挿入してください	地図用SDを音楽用SD差し込み口に挿入したため。	地図用SDは、地図用SD差し込み口に挿入してください。（→P.28）
SDカードが正しく挿入されていることをお確かめください	SDメモリーカードが正しく挿入されていないため。	SDメモリーカードを正しく挿入してください。（→P.28）
SDカードにアクセスできません SDカードのロックを解除してください	音楽用SDがロックされているため。	音楽用SDのロックを解除してください。

※ この状態の場合は、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
このSDカードは規格外のフォーマットです ファイルシステムをお確かめください (FAT16/32にのみ対応しています)	対応していない音楽用SDを挿入したため。	本機で使用できる音楽用SDを確認してください。 (→P.339)
このSDカードは規格外のフォーマットです ファイルシステムをお確かめください (FAT32にのみ対応しています)		
地図SDカードには録音できません SDカードをご確認ください	地図用SDを音楽用差し込み口に挿入した状態で録音を開始したため。	音楽用SDを挿入してください。(→P.28)
SDカードの空き容量が不足しています これ以上録音できません	録音中に音楽用SDの容量が一杯になったため。	音楽用SD内の音楽データを削除する(→P.170)、 または容量に余裕のある音楽用SDを使用して、もう一度録音してください。
音飛びが発生しました 録音をもう一度行います	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
録音禁止されているため録音をキャンセルします	録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	録音が禁止されているCDは録音できません。ご了承ください。
録音アルバムが一杯なので、アルバムを削除してから録音開始して下さい	音楽用SD内のアルバム数が一杯になり、これ以上、自動でアルバムを作成できないため。	アルバムを削除してから、録音を開始してください。(→P.169)
録音トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	音楽用SD内の曲数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	曲を削除してから、録音を開始してください。(→P.170)
これ以上登録できません 既存のマイベストを削除してください	音楽用SD内のマイベスト数が一杯になり、これ以上、新規でマイベストを作成できないため。	マイベストを削除してから、新規でマイベストを作成してください。(→P.175)
これ以上作成できません 既存のトラックを削除してください	マイベスト内の曲数が一杯になり、これ以上、曲を追加できないため。	曲を削除してから、曲を追加してください。(→P.175)
これ以上登録出来ません 既存の曲を削除してください		



2. こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
USBメモリとの通信に失敗しました USBメモリを再接続してください	USBメモリ接続コードが正しく接続されていないため。	USBメモリを再接続してください。(→P.147)
このUSBメモリには対応していません 正しい規格のUSBメモリを挿入してください	対応していないUSBメモリを接続したため。	対応しているUSBメモリをご確認ください。 (→P.344)
異常検知でUSBオーディオ停止中です*	何らかの原因で再生が停止したため。	USBメモリを再接続してください。(→P.147)
iPodとの通信に失敗しました ケーブルから外して再接続してください	iPodからの応答がないため。	本機との接続を確認してください。(→P.195)
異常検知でiPod停止中です*		
異常が発生しました 再生を行うためには iPodの再接続を行ってください	何らかの原因で再生が停止したため。	iPodを再接続してください。(→P.195)
USB機器が規定電流を超えたため電源を停止しました	過電流を検知したため。	USBメモリやiPodを再接続してください。 (→P.147、P.195)
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータおよび本機との接続を確認してください。(→P.195)
	ディスクに再生可能な圧縮ファイルが記録されていないため。	再生可能な圧縮ファイルを確認してください。(→P.338)
	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(→P.340)
再生できるファイルがありません	再生可能な圧縮ファイルが収録されていないため。	再生可能な圧縮ファイルを確認してください。(→P.338)
入力番号が正しくありません	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。

* 再接続しても動作しない場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
TV放送を受信できません	地上デジタルTV放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタルTV放送を受信できるエリアに移動してください。
データ放送を表示できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障しています ご確認ください	「miniB-CASカードの動作確認をする」 (→P.180)で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CASカードの抜き差しを行ってください。それでも読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
B-CASカードが正常に動作しませんでした カード端子面を清掃の上、ご確認ください**** (エラーコード)	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードのカード面を清掃して、もう一度挿入してください。それでも読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
	miniB-CASカードを挿入していないため。	miniB-CASカードを挿入してください。
	使用できないminiB-CASカードが挿入されているため。(エラーコード: A1FF、A102)	miniB-CASカードを確認してください。
	miniB-CASカードを交換する必要があるため。(エラーコード: 6400)	お買い上げの販売店にご相談いただき、miniB-CASカードを交換してください。
	miniB-CASカード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。(エラーコード: A104)	
有効な条件を満たしていないminiB-CASカードが挿入されているため。(エラーコード: EC01、EC02)		



2. こんなメッセージが表示されたときは

Bluetooth®

メッセージ	原因	処置
Bluetooth機器の登録ができませんでした 再度登録してください	本機とBluetooth機器のパスキーが一致しないなどの理由で登録できなかったため。	PINコード（パスキー）を確認のうえ、もう一度Bluetooth機器を登録してください。（→P.215）
電話機の接続ができませんでした Bluetooth機器の設定を確認してください 再度接続ができない場合は Bluetooth機器を再起動してください	何らかの理由でBluetooth機器が本機に接続できなかったため。	Bluetooth機器の設定を確認してください。 Bluetooth機器に添付の説明書をご覧ください。
ポータブル機の接続ができませんでした Bluetooth機器の設定を確認してください 再度接続ができない場合は Bluetooth機器を再起動してください	Bluetooth機器が本機に自動接続できなかったため。	手動で接続してください。（→P.246）
電話機が接続されていません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。「登録～接続の流れについて」（→P.214）
電話機をご確認ください	<p>携帯電話がBluetooth接続されていないため。</p> <p>携帯電話に異常がある。（携帯電話の電源OFF、充電不足、故障などの異常ではないか。）</p> <p>携帯電話にロックがかかっている。</p> <p>携帯電話が動作確認済みの機種でないため。</p>	<p>次の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話とBluetooth接続されているか。 ・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・ 携帯電話の充電は十分であるか。 ・ 携帯電話のロックが解除されているか。

その他の便利機能

メッセージ	原因	処置
ETCカードが読めません カードをご確認下さい	ETCカードが正しく読めないため。	カードをお確かめの上、正しく挿入してください。
ETCゲートをご利用できません または センター情報：○○○○○○ ETCゲートをご利用できません	本機とETC車載器の接続に異常があるか、セットアップがされていないため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
	路側アンテナ側から「ETC車線通行不可&徐行」の通知があった場合に表示されます。	料金所の係員の指示にしたがってください。 (末尾にエラーコードが表示されている場合は、 「ETC統一エラーコード一覧」 (→P.328)をご覧ください。)
ETCカードに書き込みできません カードをご確認下さい	ETCカードにデータを書き込む事ができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗しました	ETC車載器と料金所間におけるデータ通信が失敗したため。	係員の指示に従ってください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載器に何らかの異常があるため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
センター情報：○○○○○○ ETCゲートを通過できます	路側アンテナ側から「ETC車線通行可&徐行」の通知があった場合に表示されます。	徐行して、ETCゲートを通過してください。
ETCカードの有効期限は今月末です	ETCカードの有効期限が今月末で切れるため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCカードの有効期限が切れています	ETCカードの有効期限が切れるため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。



2.こんなメッセージが表示されたときは

ETC統一エラーコード一覧

エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
01	ETCカード挿入異常	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、もう一度挿入してください。	—
02	データの処理異常	<ETCカード挿入時> 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。もう一度挿入してください。 <ETC利用時> 料金所にて車の停止が案内（表示）されることがあります。車の停止後、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
03	ETCカード異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認の上、もう一度挿入してください。	ETCカード発行会社
04	ETC車載器の故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
05	ETCカード情報の異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであることをご確認の上、もう一度挿入してください。	お買い上げの販売店
06	ETC車載器情報の異常	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
07	通信異常（ETCアンテナ外れ検知時含む）	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
	ETCアンテナが正しく接続されていない	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店





エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
-	ETCが利用不可	<予告アンテナ通過時> ETCがご利用できません。ETC混在車線、または一般車線に進入し、係員の指示にしたがってください。 <料金所通過時> ETCがご利用できません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。	お買い上げの販売店
	ETC車載器の未セットアップ	車の情報などがETC車載器に登録されていません。ETC車載器のセットアップ作業をご依頼ください。	お買い上げの販売店




共通の操作

症 状	原 因	処 置
日中なのに画面が暗い。	夜画面になっていませんか？	昼画面に切り替えてください。(→P.34)
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください。(→P.33)
画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 高電圧を発生させて作動するもの (例) マイナスイオン発生器 ・ 強電波を発生するもの (例) 携帯電話、無線機 	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

ナビの操作

症 状	原 因	処 置
地図が表示されない。	地図用SDが差し込まれていない。	地図用SDを差し込んでください。(→P.28)
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(→P.52)
自車位置マーク  が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(→P.52)
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか？	GPSマークは3個以上のGPS衛星から電波を受信すると表示されます。 SYSTEM CHECK画面でGPS受信強度をご確認ください。(→P.311) 場所を移動してもGPS受信強度が点灯しない状態が続く場合は、お買上の販売店にご相談ください。
案内音声が聞こえない。	案内中止になっていませんか？	目的地案内を中止した場合は、目的地案内を再開させてください。(→P.93)
	音声音量が0になっていませんか？	音量を大きくしてください。(→P.32)
実際の現在地から自車位置マーク  がずれている。	GPS衛星の状態や車の走行場所、運転条件などにより、自車位置マーク  がずれることがあります。また、地図データに収録されていない道路を走行すると、自車位置マーク  がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動で修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS情報が利用されず、現在地が自動で修正されない場合は、安全な場所に停車して、現在地の修正を行ってください。(→P.318)
目的地設定画面やナビメニュー画面の一部が選択できない。	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
50音や住所などが選択できない。		
メモリ地点などが選択できない。		



症 状	原 因	処 置
リストの中に目的の市町村名がない。	リストを50音ごとに動かしていませんか？	1ページずつ動かしてください。(→P.16)
高速道路上で案内が終了してしまう。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合や目的地を設定するときに道路の種類を選択します。(→P.71) 目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。
地図上にVICS情報が表示されない。	情報をまだ受信していません。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していますか？	FM多重でVICS放送を行っている局を選択してください。
	VICS表示がOFFになっていませんか？	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定がすべてOFFになっていませんか？	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアを外れていませんか？	VICSの提供エリアは、「 VICS・ITSスポットの問い合わせ先について 」(→P.375)をご覧ください。
	地図データ情報は最新ですか？	最新版の地図データにバージョンアップしてください。(バージョンアップは有償です。)
	地図を動かして表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
VICS情報の表示が乱れる。	VICS放送が行われていない時間帯である場合。	情報を受信次第表示されます。
	電波ビーコンや光ビーコンの情報が受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。
 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を表示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。

症 状	原 因	処 置
ハートフル音声で今日の日付の案内をしない。	エンジンスイッチをACC、またはONにして、すぐに操作をしていませんか？	しばらくの間、エンジンスイッチをACC、またはONの状態にしていると音声案内されます。
	本機を起動したときに、現在地以外の画面が表示されていませんか？	現在地を表示させてください。(→P.52)
自宅に到着してもハートフル音声「お疲れ様でした。」と案内しない。	ナビ詳細設定の「ハートフル音声」が しない になっていませんか？	ナビ詳細設定の「ハートフル音声」を する に設定してください。(→P.118)
	自宅を登録していますか？	自宅を登録してください。(→P.95)
	自宅を目的地に設定していますか？	自宅を目的地に設定してください。(→P.69)
	自宅周辺では案内されないことがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
設定画面のナビ詳細設定で「車両情報設定」の 変更する が選択できない。	目的地が設定されていませんか？	目的地を消去してください。(→P.80)



オーディオの操作

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	音量が0になっていませんか？	音量を大きくしてください。
片側のスピーカだけ音が出る。	スピーカコードが正しく接続されていますか？	スピーカコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）の音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	お聞きの放送・ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送・ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチをACC、またはONにしてください。
	すでに1枚入っていませんか？	すでに入っているCD・DVDを取り出してください。
CD・DVDの再生ができない。	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。(→P.352)
	CD・DVDに大きなキズやソリがありませんか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください。(→P.353)
	CD・DVDが裏返しになっていませんか？	正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。(→P.340)
	自動再生されないDVDが差し込まれていませんか？	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。(→P.136)
DVD再生時、リヤスピーカから音が聞こえない。	5.1 c h 対応のDVDを再生していませんか？ 5.1 c h 対応のDVDの主音声はフロントスピーカから聞こえます。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

症 状	原 因	処 置
DVD再生時、字幕/音声の切り替えができない。	ディスクメニューからの切り替え操作が必要なDVDではありませんか？	字幕 、 音声 での切り替えではなく、ディスクメニューからの切り替えが必要な場合があります。ディスクメニュー操作から切り替えてください。(→P.136)
CDを録音できない。	録音できないCDを再生していませんか？	MP3/WMAは音楽用SDへの録音が出来ません。
USBメモリが正しく認識できない。	USBメモリが正しく接続されていますか？	USBメモリを取り外しもう一度接続してください。認識しない場合は別のUSBメモリでもう一度接続してください。
iPodを本機で操作できない。	iPodが正しく接続されていますか？	iPodを取り外し、iPodをリセットしてからもう一度接続してください。 リセット方法については、iPodの説明書をご覧ください。
音声は聞こえるが、映像が映らない。	画面消しボタンを押して画面を消していませんか？	現在地 を押してください。(→P.33)
	パーキングブレーキが解除されていませんか？	パーキングブレーキを引いてください。
音声も聞こえない、映像も映らない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチをACC、またはONにしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
ポータブルオーディオの音がスピーカーから聞こえない。	ポータブルオーディオの電源が入っていますか？	ポータブルオーディオの電源を入れてください。
	ポータブルオーディオが再生されていますか？	ポータブルオーディオを再生してください。
VTR機器の音声が聞こえない。映像が映らない。	VTR機器接続用コードのプラグがしっかり接続されていない。	VTR機器接続用コードのプラグをしっかりと接続してください。
TVの音声が聞こえない。映像が映らない。	miniB-CASカードが正しく差し込まれていますか？	miniB-CASカードを正しく差し込んでください。(→P.177)



3.Q&A

症 状	原 因	処 置
TVの映像が止まって音が出ない。	miniB-CASカードが正しく差し込まれていますか？	miniB-CASカードを正しく差し込んでください。(→ P.177)
	地上デジタルTV放送の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
地上デジタルTV放送が受信できない。	地上デジタルTV放送を受信できない地域にいませんか？	地上デジタルTV放送を受信できる地域に移動してください。

DSの操作

症 状	原 因	処 置
本機にDSを登録できない。	本機に登録待ち受け画面が表示されていますか？	AVソース選択画面 (→P.126) で DS → 登録 の順にタッチしたあと、DSを操作してください。
	すでに本機にDSソフトが登録されていませんか？	DSの登録を削除してから、登録し直してください。(→P.254)
	登録可能な機器アドレスが複数表示されていませんか？	本機に登録待ち受け画面に表示されている機器アドレスを確認して、DS側で選択してください。
本機とDSが接続されない。	本機にDSソフトを登録しましたか？	登録してください。(→P.251)
	本機に接続待ち受け画面が表示されていますか？	AVソース選択画面 (→P.126) で DS → 接続 の順にタッチしたあと、DSを操作してください。
	別の車載機にDSを登録していませんか？	利用される車載機に登録し直してください。(→P.251)
ゲームの音声が車のスピーカーから聞こえない。	音量が0になっていませんか？	音量を大きくしてください。
	DSが接続されていますか？	本機がDS接続済み画面であることを確認してください。(→P.252)
DSとの通信が切れた。	他のモードに切り替えていませんか？	AVソース選択画面 (→P.126) で DS → 接続 の順にタッチしたあと、DSを操作してください。
	他のBluetooth機器を使用していると切れることがあります。	ゲームを再開する場合は、もう一度接続してください。(→P.252)
目的地や経路地が設定できない。	目的地と経路地を合わせて5カ所設定していませんか？	設定できる目的地は最大5カ所です。目的地を消去してから設定してください。(→P.80)
	表示される画面によって目的地が設定できないことがあります。	現在地画面を表示したあと、もう一度設定してください。



メディア・データの仕様についての注意

- 使用できるメディア・データの仕様をよくご確認ください。
- メディアの状態や、データ作成時の設定や環境により、正常に動作しない場合があります。
- 規格外のメディア・データのご使用は、故障や動作不良の原因となります。

再生できる圧縮ファイルと対応メディア一覧

次の表に「○」が表示されているデータを再生できます。
 <音楽ファイル>

音声形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	DVD±R / RW	USB	SD
MP3	mp3	○	○	○	○
WMA※1	wma	○	○	○	○
AAC-LC※2、※3	m4a	○	○	○	○

- ※1 DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。
- ※2 DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのAACファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたAACファイルは再生できません。
- ※3 iTunesで作成されたAACファイルのみ再生できます。

<動画ファイル>







動画形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	DVD±R / RW	USB	SD
WMV	wmv	×	×	○	○
AVI	avi	×	×	○	○
MPEG4	mp4 m4v	×	×	○	○

ワンポイント

- 拡張子名は大文字でも小文字でも再生できます。
- 音楽、または動画以外のファイルに次の拡張子をつけないでください。
 - ・ mp3/wma/m4a/wmv/avi/mp4/m4v
 ファイルを誤認識して再生し、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。

SDメモリーカード

次のSDメモリーカードが使用できます。

項目	音楽用		メモリ地点の 移行用	オープニング 画像の登録用
	本機で録音	パソコンで記録		
SDメモリー カード	—			
SDHC カード				
容量	4GB ~ 32GB	SDメモリーカード：8MB ~ 2GB SDHCカード：4GB ~ 32GB		
SDスピード クラス	Class 4~10*	Class 2~10*	Class2 ~ 6*	

※ Panasonic製のSDメモリーカードのご使用を推奨します。

ワンポイント

- l マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- l “miniSDHCカード”や“microSDHCカード”を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- l FATファイルシステムのみ対応しています。NTFSファイルシステムには対応していません。
- l SDスピードクラスによっては、転送速度や画面の表示時間が異なる場合があります。

SDメモリーカードのファイルフォーマット

<パソコンで録音した場合>

ファイルフォーマット	FAT16/32
フォルダ名（最大文字数）	半角256文字
ファイル名（最大文字数）	半角256文字*
最大ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）
保存可能なフォルダ数	3000個
保存可能なファイル数	9999個
1つのフォルダ内に 保存可能なフォルダ数	3000個
1つのフォルダ内に 保存可能なファイル数	1024個

※ 区切り文字 “.” + 拡張子含む

<本機で録音した場合>

ファイルフォーマット	FAT32
アーティスト名（最大文字数）	半角32文字
マイベスト名（最大文字数）	半角32文字
アルバム名（最大文字数）	半角32文字
トラック名（最大文字数）	半角32文字
保存可能な曲数	9999曲
保存可能なアルバム数	3000個
1つのアルバムに 保存可能な曲数	99曲



オープニング画像用データ

次の画像データが使用できます。



画像容量	10MB以下 (1ファイル当たり)
画素数	最大2000万画素
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
表示ファイル数 (枚数)	255まで
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリ (最上位階層)

ワンポイント

1 拡張子.jpgは表示されません。

ディスク

次の表に「○」が表示されているディスクを再生できます。

項目	種類	対応	内容
サイズ	12cm	○	—
	8cm	×	アダプタ等を使用しても再生できません
CD	音楽CD	○	 の表示があるディスク
	CD-R/RW※1	○	  の表示があるディスク ・再生できるデータの仕様については次をご覧ください ・再生できる音楽ファイルについて (→ P.338) ・ファイルフォーマットについて (→ P.343)
	CD-TEXT	○	 の表示があるディスク

※1 インクジェットプリンタでレーベル面を印刷できるディスクは使用しないでください。ディスクを取り出せなくなる可能性があります。

項目	種類	対応	内容
CD	CCDD (コピーコントロールCD)	×	CCDDはレコード会社により規格が異なるため、再生できない場合があります
	CD-EXTRA/CD Plus	○	音楽CDとして再生可能
	Mixed-Mode CD	○	音楽トラックのみ再生可能
	スーパーオーディオCD (SACD)	○	ハイブリッドディスクのCD層のみ再生可能
	ビデオCD	×	—
DVD	DVD-VIDEO	○	次のロゴマーク表示があるディスク  <ul style="list-style-type: none"> ・ NTSC : NTSCカラー方式 ・   : 地域番号 (リージョンコード)

項目	種類	対応	内容
DVD	DVD-R/RW*1	○	  の表示があるディスク <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオモード、VRモードで記録し、ファイナライズ処理*2をしたデータのみ再生可能 ・ CPRM対応 ・ 再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生できる音楽ファイルについて (→ P.338) ・ ファイルフォーマットについて (→ P.343)
	DVD+R/RW*1	○	  の表示があるディスク <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオモード、VRモードで記録し、ファイナライズ処理*2をしたデータのみ再生可能 ・ 再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生できる音楽ファイルについて (→ P.338) ・ ファイルフォーマットについて (→ P.343)

※1 インクジェットプリンタでラベル面を印刷できるディスクは使用しないでください。ディスクを取り出せなくなる可能性があります。

※2 ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーの説明書をご覧ください。

1. 使用できるメディア・データについて

項目	種類	対応	内容
その他	DualDisc	×	—
	C-thru Disc	×	記録部分に透明または半透明部分があるディスク

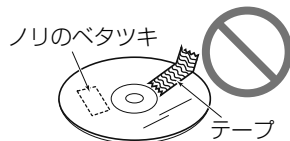
再生できないディスクについて

次のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

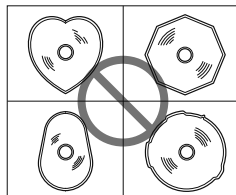
- 1 ひびがはいったり、そりが大きいディスク



- 1 シールやテープ、ノリが付着しているディスク



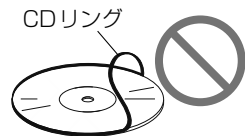
- 1 ハート形など円形以外の特殊形状のディスク



- 1 ディスク保護用のアクセサリ（スタビライザー、保護シール）やCDラベルを使用したディスク



- 1 音質向上や防振用のアクセサリ（CDリング・プロテクターなど）を使用したディスク



ディスクのファイルフォーマット

n ディスクフォーマット

フォーマット	CD-ROM MODE1、 CD-ROM XA MODE2 (Form1)
書き込み方法	ディスクアットワンス、セッションアットワンス、 トラックアットワンス

n ファイルフォーマット

ファイルシステム	ISO9660		拡張フォーマット		UDF
	LEVEL1	LEVEL2	ROMEO形式	JOLIET形式	2.01
フォルダ名 (最大文字数)	半角 8文字	半角 31文字	半角 32文字	半角 32文字※1	半角 32文字
ファイル名 (最大文字数)	8.3形式	半角 31文字	半角 32文字※2	半角 32文字	半角 32文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード)		英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode)	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode)
最大ディレクトリ階層	8階層 (Rootフォルダ含む)				

※1 区切り文字 “. ” 含む

※2 区切り文字 “. ”、拡張子含む

ファイルシステム	ISO9660		拡張フォーマット		UDF
	LEVEL1	LEVEL2	ROMEO形式	JOLIET形式	2.01
1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数	256個 (Rootフォルダ含む)				
1枚のディスクに書き込み可能なファイル数	999個				

ⓘ ワンポイント

- 1 パケットライト記録ディスクには対応しておりません。(DirectCD等で作成したディスクなど)
- 1 CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。(設定の方法はライティングソフトウェアで異なりますので確認してください。)

USBメモリ

使用できるUSBメモリは次のフォーマットです。

対応クラス	マスタストレージクラス
対応USB Ver.	USB1.1、USB2.0
最大消費電流	1A未満

- 本機は市販のUSBハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- USBメモリ以外（USB扇風機やUSBクリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
- 本機は市販のUSB充電コード（携帯電話充電コード）を使用できませんが、コードの種類によっては正しく認識できない場合があります。
- 本機のUSB接続コードから延長コードを介してUSB機器を接続しても、正常に動作しないことがあります。

ワンポイント

- 接続したUSBメモリが正しく認識できない場合は、一度取り外してもう一度接続してください。

USBのファイルフォーマット

ファイルフォーマット	FAT16／FAT32
フォルダ名 (最大文字数)	半角256文字
ファイル名 (最大文字数)	半角256文字※
最大ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）
保存可能なフォルダ数	3000個
保存可能なファイル数	9999個
1つのフォルダ内に 保存可能なフォルダ数	3000個
1つのフォルダ内に 保存可能なファイル数	1024個

※ 区切り文字 “ . ”、拡張子含む

再生できる圧縮ファイルの仕様について

音楽ファイル

🏠 チェック

- 再生可能なファイル容量は2GBまでです。

■ MP3ファイル

フォーマット	MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ
サンプリング周波数 (kHz)	<ul style="list-style-type: none"> ・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ : 32/44.1/48 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ : 16/22.05/24
ビットレート※ (kbps)	<ul style="list-style-type: none"> ・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ : 32~320 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ : 8~160
チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

※ VBR (可変ビットレート) に対応しています。

🏠 ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。

■ WMAファイル

フォーマット	WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠
サンプリング周波数 (kHz)	32/44.1/48
ビットレート※ (kbps)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ver. 7/8 : 48~192 ・ Ver. 9 (9.1/9.2) : 48~320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル

- ※ ステレオ (2ch) 再生のみ対応しています。
- ※ VBR (可変ビットレート) に対応しています。
- ※ 可逆圧縮 (ロスレス圧縮) には対応していません。
- ※ DRM : Digital Rights Management (デジタル著作権管理) システムの WMA ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) された WMA ファイルは再生できません。

■ AACファイル

フォーマット	AAC-LC (AAC Low Complexity)
サンプリング周波数 (kHz)	11.025/16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート (kbps)	16~320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル
対応 iTunes バージョン	iTunes 10.4 まで

- ※ DRM : Digital Rights Management (デジタル著作権管理) システムの AAC ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) された AAC ファイルは再生できません。
- ※ iTunes で作成された m4a ファイルのみ対応しています。

1. 使用できるメディア・データについて

タグ情報

次の表に「○」が表示されているファイルには、タグ情報と呼ばれる付属文字情報を入力でき、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。

		ID3				WMA	AAC
		Ver.1.0	Ver.1.1	Ver.2.2	Ver.2.3	Ver.9まで	iTunes-TAG
入力できる項目	TITLE	○	○	○	○	○	○
	ARTIST	○	○	○	○	○	○
	ALBUM	○	○	○	○	○	○
表示できる文字		英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)				英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode UTF-8)	

動画ファイル

🏠 チェック

- 再生可能なファイル容量は4GBまでです。

■ 画像サイズ

対応画像サイズ	サイズ (pixel)
SQCIF	128×96
1/16VGA	160×120
QCIF	176×144
SIF	352×240
CIF	352×288
VGA	640×480
D1 NTSC	720×480
D1 PAL	720×576

■ オーディオコーデック

種類	動画形式	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)	チャンネルモード
MP3※1	WMV AVI MPEG4	MPEG1 Audio Layer Ⅲ : 32/44.1/48 MPEG2 Audio Layer Ⅲ : 16/22.05/24	MPEG1 Audio Layer Ⅲ : 32~320 MPEG2 Audio Layer Ⅲ : 8~160	ステレオ ジョイントステレオ デュアルチャンネル モノラル
WMA※1、※2 Ver.7/8/9	WMV AVI	32/44.1/48	Ver. 7/8 : 48~192 Ver. 9 (9.1/9.2) : 48~320	ステレオ モノラル
AAC-LC※1、※3、※4 (AAC Low Complexity)	AVI MPEG4	11.025/16/22.05/24/32/44.1/48	16~320	ステレオ モノラル

※1 VBR (可変ビットレート) に対応しています。

※2 DRM : Digital Rights Management (デジタル著作権管理) システムのWMAファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたWMAファイルは再生できません。

※3 DRM : Digital Rights Management (デジタル著作権管理) システムのAACファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたAACファイルは再生できません。

※4 iTunesで作成されたm4aファイルのみ対応しています。

■ ビデオコーデック

種類	動画形式	対応プロファイル
WMV9	WMV AVI	<ul style="list-style-type: none"> Simple Profile Main Profile Advanced Profile
MPEG4	AVI MPEG4	<ul style="list-style-type: none"> Simple Profile Advanced Simple Profile
H.264/AVC	AVI MPEG4	<ul style="list-style-type: none"> Baseline Profile Main Profile High Profile

1.使用できるメディア・データについて

MP3/WMA/AACの再生について

- MP3/WMA/AACファイルが収録されているメディアを差し込むと、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終了すると最初のファイルを再生します。
- 各メディアに本機で再生できるファイル以外のデータを記録すると、ディスクやUSBの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットにより、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

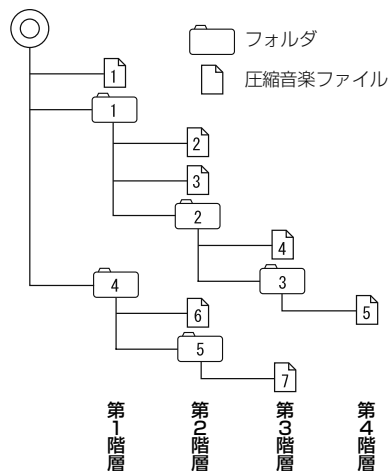
MP3/WMA/AACの演奏時間表示について

- MP3/WMA/AACファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- VBR（可変ビットレート）のFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

ファイルの再生順番について

- ライティングソフトでファイルが書き込まれた順番に再生されます。
(次の図の場合、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。)

<ファイル作成例>



- USBで再生する場合、同じ階層に複数のMP3/WMA/AAC音楽ファイルやフォルダが存在する場合、SJISコードの昇順（記号→数字→アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字）に再生します。
- アーティストモード、またはアルバムモードから再生した場合は、タグ情報に基づいた再生順番になります。

iPod

対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「iPod/iPhone適合情報」

お客様サポートURL：

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

Bluetooth® 機器

動作確認済みの携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Bluetooth適合情報」

お客様サポートURL：

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

対応Bluetooth®仕様/ プロファイルについて

n ハンズフリー

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver. 1.1以上※ ¹
プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ HFP Ver.1.0以上 (Hands Free Profile) ・ OPP Ver.1.1以上※² (Object Push Profile) ・ PBAP Ver.1.0以上 (Phone Book Access Profile)

※¹ Ver. 2.0 + EDR以上を推奨

※² Ver. 1.2以上を推奨

n Bluetooth® Audio

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver. 1.1以上※ ¹
プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ A2DP Ver. 1.0以上 (Advanced Audio Distribution Profile) ・ AVRCP Ver. 1.0以上※² (Audio/Video Remote Control Profile)

※¹ Ver. 2.0 + EDR以上を推奨

※² Ver. 1.4以上を推奨

n スマートフォン連携

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver. 1.1以上※
プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ SPP (Serial Port Profile)

※ Ver. 2.0 + EDR以上を推奨

n オンデマンドVICS

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1以上※
プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ DUN Ver.1.1 (Dial Up Network)

※ Ver. 2.0 + EDR以上を推奨

Wi-Fi通信

対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Wi-Fiテザリング適合情報」

お客様サポートURL：

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

n 対応Wi-Fi規格

- ・ 規格：IEEE802.11b/g/n (2.4GHz)
- ・ 対応チャンネル：1～13ch

n 対応セキュリティ方式および暗号強度

セキュリティ方式	暗号強度
Open system	—
WEP	低
WPA Personal	中
WPA2 Personal	高

道路管理者等からのお知らせとお願い

ITSスポットサービス (DSRC) アップリンク機能^{※1}を用いたプローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者等」と言います。）は、ITS スポット対応DSRC ユニット^{※2}からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。多くの方々からプローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みに活用することも予定しています。

プローブ情報の収集にご理解とご協力をお願いします。

- ※1 ITSスポットサービス (DSRC) 路側無線装置に情報を送信するITS スポット対応DSRC ユニットの機能。
- ※2 狭域通信 (DSRC) を利用し、路側無線装置と通信を行うことで、これを利用した様々なサービスを受けることが可能なユニット。

1. プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ITSスポット対応DSRCユニットに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者等が管理する路側無線装置等^{※3}と無線通信を行うことによりITS スポット対応DSRCユニットから収集される情報を言います。

※3 道路管理者等が管理する路側無線装置及び道路管理者等とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する路側無線装置を言います。

2. プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者等は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。^{※4}

※4 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ITS スポット対応DSRCユニット利用者やドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ITSスポット対応DSRCユニット利用者やドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者等は、(1)の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

(1) 道路管理者等は、道路管理者等が管理する路側無線装置^{※3}によって、プローブ情報を収集する場合があります。収集する情報は次のとおりです。なお、これらの情報に特定の車両又は個人を容易に識別できる情報は含まれていません。

・ITSスポット対応DSRCユニット、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等）

・車両に関する情報^{※5}

・走行位置の履歴^{※6}

・急な車両の動きの履歴（急ブレーキ、急ハンドル等で車両の動きに急な変化があった場合にのみ、位置、加速度等が保存されます。）^{※6}

※5 ユニットのセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の4桁の一連番号は含まれません。（例：「品川500あ1234」では「1234」の部分は含まれません。）

※6 走行開始地点などの個人情報にかかわる情報を、履歴から特定できない仕組みがカーナビゲーションに施されています。

(2) 道路管理者等は、プローブ情報から車両又は個人を特定することはありません。

(3) ITSスポット対応DSRCユニット利用者は、ITSスポット対応DSRCユニットと連動したカーナビゲーションの設定により、(1)で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者等への提供の可否を選択することができます。^{※7} 選択の方法については、「**割込情報を設定する**」（→P.294）をご覧ください。

※7 カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションでは選択できない場合があります。カーナビゲーションと連動していないITS スポット対応DSRC ユニットからは、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴は提供されません。

- (4) ITSスポット対応DSRC ユニット利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

- (1) 道路管理者等は、2. (1) の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、道路管理者等、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。
- (2) 道路管理者等は、ITS スポット対応DSRC ユニット、路側無線装置等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。
- (3) 道路管理者等は、(1) 及び(2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

取り扱い上のご注意 について

GPSの測位について

- ┆ GPSマークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。
- ┆ お買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。

データについて

- ┆ 本システムではエラーコード等の情報を記録しています。富士通テン(株)では、取得したデータは当社ナビの品質向上の為に利用する事があります。
- ┆ お客様がSDメモリーカード内に保存したデータは、いかなる記録媒体にも転送できません。
- ┆ 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスプレイおよびSDメモリーカードのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。
- ┆ 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様がSDメモリーカードに記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- ┆ 本機以外の製品で地図用SDを使用しないでください。データが破損するおそれがあります。

免責事項について

- ┆ 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- ┆ 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- ┆ 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

2. 知っておいていただきたいこと

- 1 本機を使用中にメディアや機器のデータなどが消失した場合、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
 - 1 なお、次のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ・ 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ・ お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、SDメモリーカード内の地図データや基本プログラム、お客様がSDメモリーカードに記録されたデータ等が変化・消失した場合。
 - ・ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
- ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

プレーヤーについて

- 1 寒いときや雨降りるときは、本機内部に結露が発生することがあります。(結露現象) この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 1 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD読み取り部のレンズに結露が発生することがあります。このような場合は1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 1 プレーヤー内部を保護するため、異常が生じるとプレーヤーは自動で停止します。画面のメッセージにしたがって操作しても動かない場合は、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 1 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

液晶パネルについて

- 1 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 1 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。
- 1 表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので、無理に使用せず、結露がなくなるまで操作しないでください。

電装品の使用について

- 1 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

Bluetooth®機器使用上の注意事項について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定干渉距離は10m以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

📁 チェック

- 1 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。本機に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 1 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth®とWi-Fiの同時使用について

Bluetooth機器やWi-Fiが使用する2.4GHz帯はさまざまな機器で使用されています。

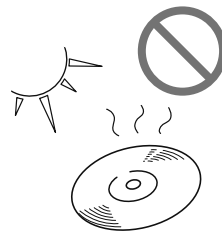
他の機器の影響やBluetooth機器とWi-Fiを同時に使用することにより、通信速度や通信距離が低下したり、ネットワークが切れることがあります。

BluetoothとWi-Fiは、同時に使用できない場合があります。

メディアの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについて

- 1 ディスクは直射日光をさけ、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



- 1 記録面（虹色に光っている面）に触れないようにしてください。ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。

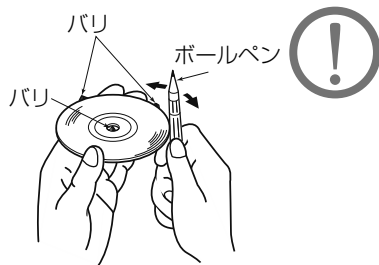


2. 知っておいていただきたいこと

- ディスクが汚れた場合は、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

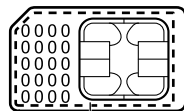


- 新しいディスクには、センターホールや外周部に“バリ”があることがあり、そのまま使用すると、正常に作動しない場合があります。ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。



miniB-CASカードの取り扱いについて

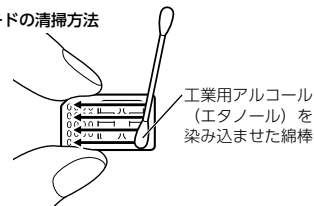
- 使用許諾契約約款、miniB-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- お客様ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。
- デジタル放送を視聴するには、miniB-CASカードの挿入が必要です。(ワンセグ放送は視聴できます)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- カード端子面には手を触れないでください。手に付着している目に見えない異物が端子面に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。



カード端子面

- 端子面に触れてしまい、カードが読みとれない場合は、端子面全体を直線でなぞるように、まんべんなく拭き取ってください。拭き取り後も同様の症状が発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。

カードの清掃方法



- 分解、改造はしないでください。
 - 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
 - 高温になるところにカードを放置しないでください。
 - バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- より詳しい情報は、<http://www.b-cas.co.jp> をご覧ください。

お手入れについて

本機のお手入れについて


- タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。汚れをおとす場合は、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽く押さえるようにして拭いてください。布の上からであっても爪などの硬い物で強くこすらないでください。
- 汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってからふきとり、乾いた布でしあげてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

- 掃除をする場合は、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取りはずすことはできません。無理に取りはずすと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。また車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が低下することがあります。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

本機を再起動する

自車位置マークが動かないなど、動作不良を起こした場合は本機を再起動してください。

1  を10秒以上押す。

ワンポイント

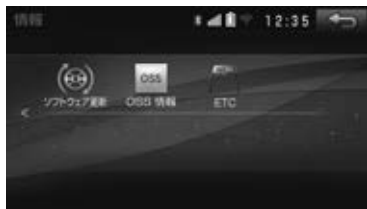
- 本機を再起動すると、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした後、エンジンスイッチをACC、またはONにした場合と同じ状態となります。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を確認する

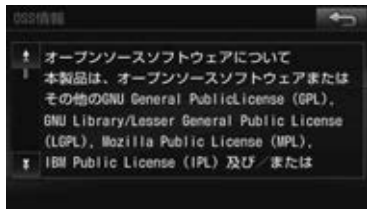
1 **MENU** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **OSS 情報** にタッチ。



4 ソフトウェアのライセンス情報を確認する。



ソフトウェアをバージョンアップする

快適にナビをご利用いただくため、購入後のナビの性能改善・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

⚠ 注意

- 1 ソフトウェアの更新は、安全な場所に停車して行ってください。
- 1 ソフトウェアの更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと、SDメモリーカードとSDメモリーカードリーダーが必要です。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますので、ご注意ください。
- 1 ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- 1 ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- 1 ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- 1 ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、もう一度設定をしてください。

🏠 チェック

- 1 地図データ、CD タイトル情報 (CDDB) は本サービスの更新対象ではありません。

SDメモリーカードを使って更新する

n 更新データを準備する

🏠 チェック

- 1 音楽用SD*をお使いの場合は、本機より取り出しておいてください。(→P.29)

* AVN-ZX03iは同梱されています。

* AVN-Z03iとAVN-Z03iWは別途お買い求めください。

1 パソコンでECLIPSEホームページの「お客様サポート」から「My Page」(<https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/Index.do>) にアクセス。

2 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

3 パソコンにダウンロードした更新ソフトをSDメモリーカードにコピーする。

- 1 更新ソフトは、SDメモリーカード内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

■ ソフトウェアを更新する

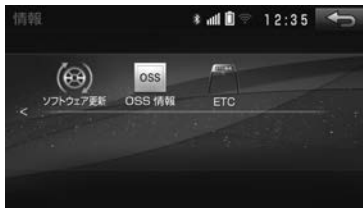
⚠ 注意

- ソフトウェア更新中は、SDメモリーカードを抜いたり、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。

1 **-MENU-** を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **ソフトウェア更新** にタッチ。



4 **OPEN** にタッチ。



5 SDメモリーカードを音楽用SD差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込む。



6 **更新を実施する** にタッチ。



7 **はい** にタッチ。

- 更新ソフトがインストールされます。約10分程度かかります。
- 更新中は操作できません。

8 「新しいソフトウェアの更新準備が完了しました」のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした後、もう一度ACC またはONにする。

- 更新履歴** : ソフトウェアの更新履歴を確認する

2. 知っておいていただきたいこと

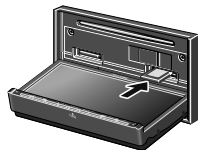
Wi-Fiでソフトウェアをダウンロードする

テザリングに対応しているWi-Fi通信機器を使ってソフトウェアをダウンロードし、本機に挿入したSDメモリーカードにデータを書き込むことで、ナビのソフトウェアを更新できます。

🏠 チェック

- 事前にWi-Fiの通信設定をしてください。(→ P.262)
- Wi-Fiでデータをダウンロード中は、Bluetooth通信が切断されます。

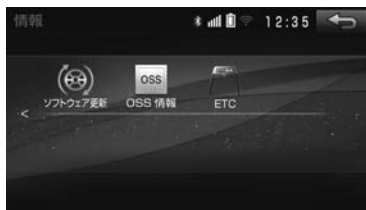
1 音楽用SDを差し込む。



2 **-MENU-** を押す。

3 **情報** にタッチ。

4 **ソフトウェア更新** にタッチ。



5 **Wi-Fi経由での最新ソフトウェアダウンロード** にタッチ。



6 「新しいソフトウェアをダウンロードしますか？
通信状態が安定した場所でダウンロードしてください
ソフトウェアバージョン：*****
容量：***MB」
のメッセージが表示されたら、**はい** にタッチ。

7 「ソフトウェアのダウンロード中はBluetoothの通信を切断します
(現在ご利用中の場合も該当します)
よろしいですか？」
のメッセージが表示されたら、**はい** にタッチ。

- ソフトウェアのダウンロードが開始されます。
- Wi-Fiの通信速度によっては、ダウンロードに時間がかかります。

8 「新しいソフトウェアのダウンロードを完了しました
ソフトウェア更新を実施しますか？」
のメッセージが表示されたら、**はい** にタッチ。

9 「ソフトウェアの更新を開始しますか？」
のメッセージが表示されたら、**はい** にタッチ。

- 更新ソフトがインストールされます。約10分程度かかります。
- 更新中は操作できません。

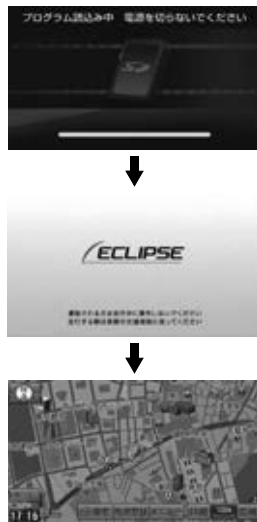
10 「新しいソフトウェアの更新準備が完了しました」
のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした後、もう一度ACCまたはONにする。

- **更新履歴** :ソフトウェアの更新履歴を確認する
- プログラム読み込み中画面が表示されているときは、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。

バージョンアップした場合は

本機をバージョンアップした場合は、エンジンスイッチをACC、またはONにするとプログラムの読み込みが開始され、次のように画面が変わります。

プログラム読み込み中はエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたり、本機を操作しないでください。



ワンポイント

- 新しく購入された地図用SDを挿入した場合は、次にエンジンスイッチをONにしたとき、ソフトウェア更新画面が表示されます。ソフトウェア更新中（約7分間）はエンジンスイッチをOFFにしないでください。

バッテリーの交換について

車から本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報が初期化されます。車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

n 初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
販売店の設定	設定した販売店の情報
地上デジタルTV放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
ラジオ	プリセットスイッチに記憶された放送局
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信/着信履歴	記憶された発信/着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
オープニング画	オープニング画の設定
バックアイカメラ	バックカメラガイド線表示設定・調整したガイド線

ワンポイント

- 一度初期化された内容は元に戻せません。ご注意ください。
- ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ESN のロックがかかります。ESN のロックを解除する方法については、「**ロックを解除する**」（→P.46）をご覧ください。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このGPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

地図用SDに収録されているデータベースなどの情報は、「**地図データの情報を表示する**」(→P.313)でご確認いただけます。

① ワンポイント

- 1 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 1 幅が3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図、5万分の1地形図、2万5千分の1地形図、1万分の1地形図及び数値地図50mメッシュ(標高)を使用しました。(測量法 第30条に基づく成果使用承認 平24情使 第493-002号)

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図作成に当たっては、一般財団法人 日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法 第44条に基づく成果使用承認 06-052T)

©2007 一般財団法人 日本デジタル道路地図協会
ZENRIN CO.,LTD. & (株) トヨタマップマスター
交通規制データの典拠について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株) トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

交通事故多発地点について

この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について

JARTIC/VICSの情報を使用しています。

統計交通情報について

統計交通情報データは、JARTIC / VICSの情報を使用しています。

ボトルネック踏み切りデータについて

この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを基に作成しました。

スマートIC (ETC 専用) について

スマートICはETC専用のインターチェンジのため、実際の走行の際にはETCを使用できる状態であればご利用頂けません。また、スマートICは乗降方向(上り下り)や時間帯、車種が限定される箇所がありますので、必ず現場の交通規制標識・標示等にしがたってください。

道路交通情報データについて

道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

高速道路料金データについて

使用している高速道路・都市高速の料金データは、2013年2月現在のもので、(一部新設道路を除く)

個人宅電話番号・名称データについて

この地図に使用している個人宅電話番号・名称データは日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®」(発行年月: 2013年3月)のデータを使用しています。

市街図収録都市リスト

北海道

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美瑛市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町

青森県

青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市

岩手県

盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、金石市、二戸市、奥州市、滝沢村

宮城県

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、大崎市、七ヶ浜町、利府町

秋田県

秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市

山形県

山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市

福島県

福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、南相馬市、西郷村

茨城県

水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、筑西市、坂東市、神栖市、つくばみらい市、大洗町、東海村

栃木県

宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市

群馬県

前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、玉村町

埼玉県

さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、杉戸町、松伏町

千葉県

千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市、酒々井町、栄町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町

東京都

千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞

穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町

神奈川県

横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村

新潟県

新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市

富山県

富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、射水市

石川県

金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、野々市市、内灘町

福井県

福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市

山梨県

甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、甲州市、中央市

長野県

長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、下諏訪町

岐阜県

岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、下呂市、岐南町、笠松町、坂祝町、富加町



3.地図について

静岡県

静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、牧之原市、清水町

愛知県

名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、大山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町

三重県

津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、玉城町、度会町

滋賀県

大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、東近江市

京都府

京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

大阪府

大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

兵庫県

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、たつの市、猪名川町、稲美町、播磨町

奈良県

奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市

和歌山県

和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市

鳥取県

鳥取市、米子市、倉吉市、境港市

島根県

松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市

岡山県

岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町

広島県

広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町

山口県

下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祿市、周南市、山陽小野田市、和木町

徳島県

徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市

香川県

高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県

松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市

高知県

高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市

福岡県

北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、嘉麻市、朝倉市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、吉富町

佐賀県

佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市

長崎県

長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、長与町、時津町、波佐見町

熊本県

熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、天草市

大分県

大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市

宮崎県

宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市

鹿児島県

鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、奄美市、伊佐市

沖縄県

那覇市、宜野湾市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、沖繩市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南風原町

※ 上記のエリア内でも市街図データが収録されていない場合があります。

オンデマンドVICSの ご利用について

使用許諾条件

本製品には、カリフォルニア大学およびそのコンピュータによって開発され、下記の使用条件とともに配布されているFreeBSDの一部が含まれています。

@(#)COPYRIGHT 8.2 (Berkeley)3/21/94

All of the documentation and software included in the 4.4BSD and 4.4BSD-Lite Releases is copyrighted by The Regents of the University of California.

Copyright 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The Institute of Electrical and Electronics Engineers and the American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems have given us permission to reprint portions of their documentation.

In the following statement, the phrase "this text" refers to portions of the system documentation.

Portions of this text are reprinted and reproduced in electronic form in the second BSD Networking Software Release, from IEEE Std 1003.1-1988, IEEE Standard Portable Operating System Interface for Computer Environments (POSIX), copyright © 1988 by the Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. In the event of any discrepancy between these versions and the original IEEE Standard, the original IEEE Standard is the referee document.

In the following statement, the phrase "This material" refers to portions of the system documentation.

This material is reproduced with permission from American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems.
Computer and Business Equipment Manufacturers Association (CBEMA), 311 First St., NW, Suite 500, Washington, DC 20001-2178.
The developmental work of Programming Language C was completed by the X3J11 Technical Committee.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the Regents of the University of California.

本製品には、カリフォルニア大学バークレイ校において開発されたソフトウェアが含まれています。

Copyright(c) 1989 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

本製品には、WIDEのKAMEプロジェクトによって開発され、下記の使用条件とともに配布されているソフトウェアが含まれています。

Copyright(c) 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、スタンフォード大学によって開発され、下記の使用条件とともに配布されているmoutedの一部が含まれています。

The mouted program is covered by the following license. Use of the mouted program represents acceptance of these terms and conditions.

1. STANFORD grants to LICENSEE a nonexclusive and nontransferable license to use, copy and modify the computer software "mouted" (hereinafter called the "Program"), upon the terms and conditions hereinafter set out and until Licensee discontinues use of the Licensed Program.
2. LICENSEE acknowledges that the Program is a research tool still in the development state, that it is being supplied "as is," without any accompanying services from STANFORD, and that this license is entered into in order to encourage scientific collaboration aimed at further development and application of the Program.
3. LICENSEE may copy the Program and may sublicense others to use object code copies of the Program or any derivative version of the Program. All copies must contain all copyright and other proprietary notices found in the Program as provided by STANFORD. Title to copyright to the Program remains with STANFORD.



3.地図について

4. LICENSEE may create derivative versions of the Program. LICENSEE hereby grants STANFORD a royalty-free license to use, copy, modify, distribute and sublicense any such derivative works. At the time LICENSEE provides a copy of derivative version of the Program to a third party, LICENSEE shall provide STANFORD with one copy of the source code of the derivative version at no charge to STANFORD.

5. STANFORD MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. By way of example, but not limitation, STANFORD MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE LICENSED PROGRAM WILL NOT INFRINGE ANY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR OTHER RIGHTS. STANFORD shall not be held liable for any liability nor for any direct, indirect or consequential damages with respect to any claim by LICENSEE or any third party on account of or arising from this Agreement or use of the Program.

6. This agreement shall be construed, interpreted and applied in accordance with the State of California and any legal action arising out of this Agreement or use of the Program shall be filed in a court in the State of California.

7. Nothing in this Agreement shall be construed as conferring rights to use in advertising, publicity or otherwise any trademark or the name of Stanford.
The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本製品には、南カリフォルニア大学およびそのコントリビュータによって開発され、下記の使用条件とともに配布されているpimdの一部が含まれています。

Copyright (c) 1998-2001
University of Southern California/Information Sciences Institute.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR

CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

\$Id: LICENSE.v 1.5 2001/09/10 20:31:36 pavlin Exp \$
Part of this program has been derived from mrouted.
The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本製品には、オレゴン大学によって開発され、下記の使用条件とともに配布されているpimddの一部が含まれています。

Copyright (c) 1998 by the University of Oregon. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation in source and binary forms for lawful purposes and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of Oregon. The name of the University of Oregon may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THE UNIVERSITY OF OREGON DOES NOT MAKE ANY REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY OF THIS SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL UO, OR ANY OTHER CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHER FORM OF ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH, THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Other copyrights might apply to parts of this software and are so noted when applicable.

Questions concerning this software should be directed to Kurt Windsch (kurtw@antc.uoregon.edu)

\$Id: LICENSE.v 1.2 1998/05/29 21:58:19 kurtw Exp \$

Part of this program has been derived from PIM sparse-mode pimd.
The pimd program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.pimd".

The pimd program is COPYRIGHT 1998 by University of Southern California.

Part of this program has been derived from mrouted.

The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

Copyright (c) 1998 by the University of Southern California. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation in source and binary forms for lawful purposes and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of Southern California and/or Information Sciences Institute.
The name of the University of Southern California may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THE UNIVERSITY OF SOUTHERN CALIFORNIA DOES NOT MAKE ANY REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY OF THIS SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL USC, OR ANY OTHER CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHER FORM OF ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH, THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Other copyrights might apply to parts of this software and are so noted when applicable.

Questions concerning this software should be directed to Pavlin Ivanov Radoslavov (pavlin@catarina.usc.edu)

\$Id: LICENSE.pimd.v 1.1 1998/05/29 21:58:20 kurtw Exp \$

Part of this program has been derived from mrouted.

The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本製品には、RSA Data Security社が著作権を有しているMD5 Message-Digest Algorithmが含まれています。

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって記述された暗号ソフトウェアが含まれています。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word "cryptographic" can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、OpenSSLツールキットを使用するためにOpenSSL Project (<http://www.OpenSSL.org/>)によって開発されたソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 1999 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.OpenSSL.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact licensing@OpenSSL.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.OpenSSL.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条
1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条
1 当センターは、放送設備の保守上又は工上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することができます。
2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条
1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更において、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

(別表)

視聴料金 300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

5. Gracenote® メディアデータベースについて

地図SD カードに収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ：copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote, CDDB, MusicID, MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



Gracenote® メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバーまたは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものと

します。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。

Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote



6.Wi-Fi連携サービスの利用規約について

■ Wi-Fi連携サービス利用規約■

本利用規約は、富士通テン株式会社（以下「弊社」といいます）が提供するWi-Fi連携サービス（以下「本サービス」といいます）の利用にかかわる一切の關係に適用します。

第1条（本利用規約の変更）

弊社は、利用者の承諾を得ることなく本利用規約を変更することがあり、利用者はこれに異議を述べないものとします。

第2条（サービスの内容）

本サービスは通信またはインターネットを経由して、新しい施設情報、自車マーク、および弊社製カーナビゲーション製品（以下、「車載端末」といいます）の本体ソフトウェア更新用データをダウンロードし、車載端末上で利用するサービスです。

第3条（サービスの利用）

1. 利用者が利用できるサービス内容は、車載端末の取扱書およびウェブ等において、別に定めるものとします。弊社は、利用者に通知をすることなく、サービス内容の一部または全部を変更することがあり、利用者はこれを承諾します。
2. 本サービスの利用にあたっては、注意事項・説明文等に同意していただくものとします。

第4条（車載端末および情報通信端末の用意）

利用者は、本サービスを利用しようとする場合には、車載端末、情報通信端末ならびにこれに付随する機器、ソフトウェアおよび情報通信端末用の通信回線等を、自己の責任と負担において用意するものとします。

第5条（サービスの終了）

弊社は、利用者の承諾を得ることなく本サービスの提供を終了することができるものとします。

第6条（本サービス提供の一時的な中断）

弊社は、次のいずれかに該当する場合には、利用者へ通知することなく、本サービ

スの提供を一時的に中断することがあります。

- (1) 本サービスのシステム保守を定期的な、または緊急に行う場合
- (2) 火災、停電、戦争、暴動、騒乱、労働争議などにより本サービスの提供ができなくなった場合
- (3) 地震、噴火、洪水、津波などの天災により本サービスの提供ができなくなった場合
- (4) 通信サービスが停止された場合
- (5) 車載端末および情報通信端末の使用環境その他の事情により通信障害が生じた場合
- (6) その他、運用上または技術上、弊社が本サービス提供の一時的な中断を必要と判断した場合

第7条（損害賠償）

1. 弊社は、本サービスの利用またはそのサービス提供の有効性および正確性についていかなる保証もせず、その内容、遅延または中断などにより発生した利用者の損害に対しては、弊社に重大な過失があるときを除いてはいかなる責任も負わないものとします。
2. 利用者が本サービスの利用によって第三者に対して損害を与えた場合、利用者は自己の責任と負担をもって解決し、弊社には一切の迷惑をかけないものとします。
3. 利用者が本利用規約に反した行為、または不正もしくは違法な行為によって弊社に損害を与えた場合、弊社は当該利用者に対して損害賠償を請求することができるものとします。

第8条（免責）

通信回線や情報機器等の障害によるシステムの中断、遅滞、中止、データの消失等により生じた損害、その他本サービスに関して利用者が生じた損害について、当社は一切責任を負わないものとします。

第9条（私的利用）

利用者は、本サービスを通じて入手した情報を、自己の車載端末に利用する利用者個人の私的利用の範囲内において利用することができるものとします。

第10条（禁止事項）

1. 本サービスの著作権その他の権利は、法令または条約で保護されており、利用者は、著作権者その他知的財産権の権利者（以下、「著作権者等」といいます）の承諾を得ることなく、本サービスを通じて入手した情報を、複製、改ざん、改変、頒布等してはならず、また、これらの権利を侵害する恐れのある行為もしてはならないものとします。
2. 利用者は、本サービスおよび本サービスを通じて入手した情報を、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等の手法により解析する行為はしてはならないものとします。
3. 利用者は、本サービス用設備に過度の負担をかける行為など、本サービスの運営を妨げることや、弊社または本サービスの信用を毀損することはしてはならないものとします。
4. 利用者は、本サービスの利用権その他本利用規約に基づく権利の全部または一部を第三者に貸与、譲渡、承継させ、または担保に供することはできないものとします。
5. 利用者は、営利、非営利に関わらず、本サービスおよび本サービスを通じて入手した情報を、第三者に貸与、譲渡その他いかなる方法においても、使用させてはならないものとします。
6. 利用者は、法令または公序良俗に反して本サービスを一切利用することができないものとします。

第11条（管轄裁判所）

利用者弊社との間で訴訟が生じた場合、神戸地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

7. 商標・著作権

n 商標について

- I SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSD Logo is a trademark of SD-4C, LLC.
SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
miniSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



I is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.



Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

- I "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.



- I iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- I E-VOLUTION は、富士通テン株式会社の商標です。
- I QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

- I 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- I VICSリンクデータベースの著作権は(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会が有しています。
- I VICSおよび本機に付与された  のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- I Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。
- I ニンテンドーDS・ディーエス/DSは任天堂の登録商標または商標です。
DSモードに含まれるコンテンツの一部の著作権は、任天堂株式会社に帰属します。
- I The Wi-Fi Logo is a certification mark of the Wi-Fi Alliance.



- I "MirrorLink Certified™, the Design Only™ Certification Logo, MirrorLink™ and the MirrorLink™ Logo are certification marks and trademarks of the Car Connectivity Consortium LLC. Unauthorized use is strictly prohibited."



- I Google Play is a trademark of Google Inc.

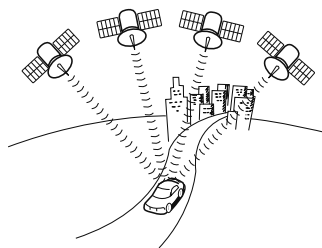
n 著作権について

- I 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リパース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
- I 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が動き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合があります。機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- I MP3/WMA/AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- I お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- I iPod およびiTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- I 音楽作品は、著作権法により保護されています。したがって、本機で録音したSDメモリーカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- I 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) 等権利者に直接お尋ねください。



8.用語説明

GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビを行っています。

自立航法

車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自転車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自転車の現在地を表示できます。

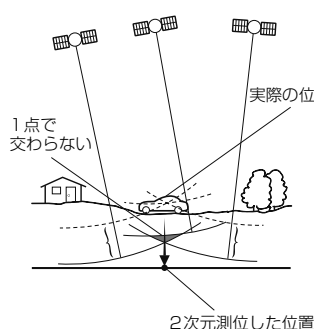
広域地図、詳細地図

広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1/2048万、1/1024万、1/512万、1/256万、1/128万、1/64万、1/32万、1/16万、1/8万、1/4万、1/2万、1/1万、1/5000、1/2500です。

測位

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自転車の現在地を測定することです。

2次元測位と3次元測位



GPSは3次元測位の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できない場合には、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信した場合は、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、現在地の表示の誤差も少なくなります。

振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電氣的に検出する振動ジャイロセンサーと車の速度を検出する車速センサーで現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

スーパーオーディオCD (SACD)

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD (Direct Stream Digital) 方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには次の種類があります。

- ・シングルレイヤーディスク

HD層※が1層のみのディスク

- ・デュアルレイヤーディスク

HD層※が2層のみのディスク

- ・ハイブリッドレイヤーディスク

HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク

※ HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層

CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出てしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

MP3 (MPEG Audio レイヤ3)

MPEG (Moving Picture Experts Group) より規格化された音声圧縮フォーマット。

WMA (Windows Media™ Audio)

マイクロソフト社の音声圧縮フォーマット。

AAC (Advanced Audio Coding)

MPEG (Moving Picture Experts Group) より規格化された音声圧縮フォーマット。本機ではiTunesで作成されたファイルのみ対応しています。

ID3タグ/WMAタグ/iTunesタグ

MP3/WMA/AACファイルには、付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。対応したプレーヤーでタグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルへ変換 (圧縮) するためのソフトウェアのことです。

コピーコントロールCD/レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。

コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには次のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」と言います。

8.用語説明

ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

データ放送

通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見たり、クイズに参加したりできます。

ハイビジョン

高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信できます。標準映像の横縦比が4：3なのに対して、ハイビジョン映像は16：9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現できます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しめます。

本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。

Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信ができます。本機は、Bluetooth無線技術を搭載した機器との無線通信により、ハンズフリー機能やデータ通信、音楽ファイルの再生機能が使用できます。

本機のお問い合わせ先について

アフターサービスに関するお問い合わせ

販売店またはお客様相談窓口にご連絡してください。

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

通話料 0120-022210
無料 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間 午前9:30～午後5:30（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店または販売会社に連絡してください。

■ 富士通テン販売株式会社

東京本社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 山梨
札幌事務所	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
仙台事務所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
さいたま事務所	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目 18番1号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、 茨城、新潟、長野
名古屋事務所	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
西宮事務所	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、 滋賀、奈良、和歌山
広島事務所	〒734-0044 広島市南区西露町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松事務所	〒760-0078 高松市今里町1丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
福岡事務所	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄

9.お問い合わせ先について

修理に関するお問い合わせ

本機の修理は、販売店にて受け付けています。

保証期間中は、保証書に記載の保証規定にもとづいて無料で修理いたします。製品に保証書を添えて申し込んでください。

- 1 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
- 1 保証書は、販売店名や購入日の記載を確認のうえ、大切に保管してください。
- 1 保証期間が過ぎている場合は、有料で修理をお引き受けしています。
- 1 出張による修理や点検は行っていません。
- 1 製品の機能を維持するために必要な“補修用性能部品”は、製造打ち切り後も最低6年間は保有しています。

ワンポイント

- 1 修理や点検の際にかかる本機の取り付け／取り外し費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

メールでのお問い合わせ

ECLIPSE では、メールでのお問い合わせにも対応しています。

お客様サポートページに記載されている注意事項を確認してから「お問い合わせフォーム」にアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

- 1 URL
<https://www.fujitsu-ten.co.jp/pif/inquiry/select/open.do>

故障とお考えになる前に

使用環境や設定の問題で、本機を操作できない場合があります。また、故障ではなく製品自体の仕様である可能性も考えられます。

ECLIPSE のお客様サポートページには、よくある問い合わせ内容をまとめた「FAQ」を準備しています。修理や点検を申し込む前に、お客様サポートページの内容をご確認ください。

- 1 URL
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

miniB-CASカードの問い合わせ先について

miniB-CASカードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。miniB-CASカードに関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

- 1 カードの故障については、コピー制御お問合せセンターへお問い合わせください。
電話番号 0570-000-288
受付時間 AM10:00～PM8:00（年中無休）
- 1 カードの故障や車載機の廃棄などによりminiB-CASカードの交換、廃棄が必要になったときは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して交換、返却の手続きをしてください。
電話番号 0570-000-250
受付時間 AM10:00～PM8:00（年中無休）

VICS・ITSスポットの問い合わせ先について

- Ⅰ VICS車載機、ITSスポット対応DSRCユニットの調子や使用方法、受信の可否に関して
 - Ⅰ 地図表示（レベル3）の内容に関して
 - Ⅰ VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して
- これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- Ⅰ 文字表示（レベル1）の内容に関して
 - Ⅰ 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
 - Ⅰ ITSスポットにて提供される道路交通情報、ITSスポット安全運転支援案内に関して
 - Ⅰ VICSの概念、サービス提供エリアに関して
- これらの内容のお問い合わせは、サービス・サポート・センターまでご連絡ください。

電話受付	<受付時間 09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く>
電話番号	0570-00-8831（全国）※ ※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。 ※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX受付	<受付時間 24時間>
FAX番号	03-3562-1719（全国）

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

なお、お問合せ先の判断に迷うような場合には、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

n オンデマンドVICSに関するお問い合わせ

次のサイトをご確認ください。

- Ⅰ スマートフォンの場合
 - スマートフォン向け「MapFan®」（<http://sp.mapfan.com>）> お問い合わせ（NTTドコモ、SoftBank、au(KDDI)共通）
- Ⅰ 携帯電話の場合
 - ・ NTTドコモ：iモード>メニューリスト>乗換/地図/交通>地図・ナビゲーション>iMapFan®地図ナビ交通>サポート>お問い合わせ
 - ・ SoftBank：Yahoo!ケータイ>メニューリスト>交通・グルメ・旅行>地図>ケータイ地図MapFan®>サポート>お問い合わせ
 - ・ au(KDDI)：EZweb>カテゴリで探す（メニューリスト）>地図・交通・旅行>地図>ケータイ地図MapFan®>サポート>お問い合わせ

10.仕様

<GPSアンテナ>

寸法	35 (W) × 14 (H) × 6.6 (D) mm (突起部を除く)
重量	約107 (g)
電源電圧	4.7±0.5V
消費電流	9mA以上 30mA以下

<ディスプレイ>

液晶パネル	・ AVN-ZX03i : 9型ワイド低反射パネル ・ AVN-Z03i : 7型ワイド低反射パネル ・ AVN-Z03iW : 7型ワイド低反射パネル
画素数	1,152,000画素 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
バックライト	LED

<ラジオ>

受信周波数	・ AM 522~1,629kHz ・ FM 76~90MHz
実用感度	・ AM 14dB μ V (S/N20dB) ・ FM 12dBf (S/N30dB)
周波数特性	30~15,000Hz (FM)

<CD・DVD>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01% (0dB、1kHz)
周波数特性	20~20,000Hz
S / N比	97dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	105dB

<地上デジタルTV>

受信チャンネル	473.14~710MHz (UHF : 13~52ch)
インピーダンス	75 Ω
アンテナ	フロント4ch

<SDメモリーカード>

高調波歪み率	0.01%
周波数特性	40~16,000Hz
S/N比	90dB

<共通部>

高調波歪み率		0.01% (0dB、1kHz)
周波数特性		20~20,000Hz
S / N比		97dB (1kHz)
定格出力		16W×4 (1kHz、歪1%、4×4Ω負荷)
最大出力		MOS-FET 49W×4
適合負荷インピーダンス		4Ω (各チャンネル)
電源電圧		DC13.2V (10.5-15.8V) アース専用
動作温度範囲		-20°C~+65°C
保存温度範囲		-40°C~+85°C
消費電流		・ 0.5W×4出力時 約2.5A ・ 最大約12A
AVN-ZX03i	外形寸法	・ 横幅223mm ・ 高さ138.5mm ・ 奥行165mm
	質量 (重量)	約2.8kg
AVN-Z03i	外形寸法	・ 横幅180mm ・ 高さ100mm ・ 奥行165mm
	質量 (重量)	約2.3kg
AVN-Z03iW	外形寸法	・ 横幅205.5mm ・ 高さ104mm ・ 奥行き164mm
	質量 (重量)	約2.4g

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

五十音順

ア

案内中止／再開	93
イコライザ	203
インターチェンジの指定	75
一時停止案内	122
映像画面サイズの切り替え	40
迂回メモリ	102
エコ	
エコ機能	301
エコドライブ	
インフォメーション	122
オートタイトリング機能	154
オープニング画像変更	41
音質の調整	203
音場 (SFC)	205
音声案内	92
オンデマンドVICS	270

音量

オーディオ	127
音声案内 (ナビ)	32
スイッチ操作音	32
ステアリングスイッチ	290
ハンズフリー	233
リモコン	299

カ

外部入力 (AUX)	202
外部入力 (VTR)	200
カーブ案内	122
角度調整 (ディスプレイ)	30
カスタムバー	36
学校存在案内	123
カバーアート	128
カメラ	
バックアイカメラ	277
フロントアイカメラ	281

画面

MENU画面のデザインを 変える	35
画質の設定	33
画質の補正	35
画面を消す	33
直射日光補正機能	35
夜画／昼画	34

カンタン初期設定	12
----------	----

規格

仕様	376
使用できるメディア・ データ	338
季節規制メッセージ表示	73
緊急警報放送 (EWS)	176
緊急情報 (VICS)	110
クロスオーバー	210
県境案内	121
現在地の表示	52
広域／詳細	55
交差点	
3D交差点拡大図	121
画面の見方	86
交差点拡大図自動表示	120
高速道路	
高速分岐案内	90
高速分岐模式図表示	120
交通情報	131
合流案内	122
個人情報初期化	50

サ

細街路

表示について	92
細街路での音声案内	122

再起動	355
-----	-----

再探索

ルートのも再探索	82
自動再探索	83

先程の地図	67
サブウーファ	210
残距離表示	
画面の見方	86
切り替える	79
時刻表示	
映像画面	41
地図画面	124
シーズンレジャー ランドマーク表示	120
市街図	
収録都市リスト	361
表示する	56
事故多発地点案内	122
自転車位置の補正	318
自転車位置マーク変更	119
システムチェック	311
施設	
案内ルート上にある 施設を探す	94
ジャンルで探す	66
施設情報を追加する (Wi-Fi)	267
施設情報を見る	61
施設マークの表示	60
周辺の施設を探す	69
追加施設	68
自宅に帰る	69
自動再探索	83
車両情報設定	124
ジャンル	66

住所	63
渋滞考慮探索	123
渋滞情報	110
仕様	
仕様	376
使用できるメディア・データ	338
初期化	
共通設定	49
個人情報	50
新旧ルート比較表示	123
スイッチ操作音	32
ステアリングスイッチ	288
スマートフォン連携	256
スライド操作	
設定する (ナビ詳細設定)	120
操作する	14
セキュリティ (ESN)	43
全ルート	
再表示する	81
表示について	72
ルートを選ぶ	74
走行履歴	
解除する	58
表示する	57
操作音	32

タ

ターニリスト自動表示	120
タブの切り替え	16
他モード時の音声案内	93
地図	
画面の見方	53
地図用SDカードの出し入れ	28
地図スライド操作	120
地図データ	360
地図スクロール時の地名表示	120
地図の向き	56
地図の縮尺	55
地図の表示色	119
地図の文字サイズ変更	120
地図を動かす	54
着信拒否	230
追加施設	68
提携P	70
提携駐車場	70
ディスク	132
データ放送	184
テーマカラー切替	35
テレビ	176
電源を入れる	10
電話帳	233
電話番号	64
統計データ	110
到着までの所要時間設定	121

ナ

ナビ補正	318
ノースアップ表示	56
バージョンアップ	356
バーチャルシアター	212
ハートフル音声	122
ハーモナイザー	208
ハイウェイモード	
ハイウェイモードの見方	88
ハイウェイモードの解除	89
パスキー	220
バックアイカメラ	277
バッテリーの交換	359
ハンズフリー	223
ビーコン	296
ビックス	110
昼の地図色	119
フェダー/バランス	207
フェリー航路の案内	92
踏切案内	122
フリック操作	
設定する (ナビ詳細設定)	120
操作する	14
フロントアイカメラ	281
フロントワイド表示	119
ヘディングアップ表示	56

ポジション	206
-------	-----

マ

マイベスト	170
マップコード	67
マルチウィンドウ	
設定する	39
表示する	38
ミュート	231
ミラーリンク	258
メモリ地点 (目的地設定)	66
メモリ地点	95
メンテナンス	306
目的地	
目的地履歴	64
目的地履歴の消去	109
目的地を消す	80
目的地を設定して案内を始める	71
目的地を追加する	76
目的地を並べ替える	78
文字の入力	15

ヤ

夜の地図色 119

ラ

ラウドネス 209

ラジオ 130

ラジオアンテナ 129

リモコン 298

料金案内

案内画面 86

全ルート 72

ナビ詳細設定 121

履歴

走行履歴の解除 58

走行履歴の表示 57

目的地履歴の消去 109

履歴から発信する
(ハンズフリー) 228履歴データの削除
(ハンズフリー) 243

履歴で探す 64

履歴を表示する (ETC) 286

履歴を表示する
(エコ機能) 302履歴を編集する
(エコ機能) 303

ルート

全ルートを再表示する 81

ルート探索について 72

ルートの再探索 82

ルートを選ぶ 74

ルート学習 124

ルート情報を表示する 74

レーンリスト

レーンリスト図案内 90

レーンリスト自動表示 120

録音

録音する 156

録音について 153

録音をやめる 157

アルファベット

A

AAC

USB 147

SD 152

規格 345

対応メディア 338

ディスク 132

AUX 202

AVI

USB 147

SD 152

規格 346

対応メディア 338

B

BEEP音通知 32

Bluetooth 214

Bluetooth Audio 246

C

CD 133

CD → SD 録音設定 156

D

DETAILS 208

DS 250

DSRC 292

DVD-VIDEO 136

DVD-VR 138

E

EQ 203

ESN 43

ETC 284

EWS(緊急映像放送) 176

F

FADER BALANCE 207

FM VICS 110

G

Gracenoteメディア
データベース 367

H

HARMONIZER 208

I

iPod.....	194
iPodビデオ音声入力.....	199
ITSスポットサービス (DSRC).....	292

L

LEDスイッチ照明設定.....	31
LOUDNESS.....	209

M**MENU画面**

カスタムバーを設定する.....	36
デザインを変更する.....	35

miniB-CASカード

差し込む／取り出す.....	176
動作確認をする.....	180
取り扱いのご注意.....	354

MirrorLink™.....

258

MP3

USB.....	147
SD.....	152
規格.....	345
対応メディア.....	338
ディスク.....	132

MPEG4

USB.....	147
SD.....	152
規格.....	346
対応メディア.....	338

P

PINコード (パスキー).....	220
POSITION.....	206

S

SD.....	152
SFC.....	205
SYSTEM CHECK.....	311

T

TV.....	176
---------	-----

U

USB.....	147
----------	-----

V

VICS.....	110
VTR.....	200
VTR音声入力.....	201

W

Wi-Fi.....	262
------------	-----

WMA

USB.....	147
SD.....	152
規格.....	345
対応メディア.....	338
ディスク.....	132

WMV

USB.....	147
SD.....	152
規格.....	346
対応メディア.....	338

X

X-OVER.....	210
-------------	-----

数字

2D時フロントワイド.....	119
2D表示.....	59
2メディア/3レベル対応 VICSユニット.....	296
3D交差点拡大図.....	121
3D時ルート方向アップ.....	119
3D地図表示設定.....	119
3D表示.....	58
50音.....	62

MEMO

MEMO



MEMO

VICS マーク一覧

VICS 情報を受信した場合、次のマークが表示されます。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	注意 (地震警戒宣言)
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
	駐車場 空
	駐車場 満
	駐車場 混雑
	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30 km/h
	SA PA 情報 空
	SA PA 情報 満
	SA PA 情報 混雑
	SA PA 情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つのマークで表示されることがあります。

施設表示の凡例

表示	内容
	高速・都市高・ 有料道路
	国道
	主要地方道
	県道
	その他の道路 (巾5.5m以上)
	その他の道路 (巾3.0m以上)
	トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地
	踏切
	ボトルネック踏切※
	事故多発地点
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23区役所
	町村・東京以外区役所
	警察署
	消防署

表示	内容
	郵便局
	インターチェンジ
	スマート インターチェンジ
	サービスエリア
	パーキングエリア
	駐車場入口
	駐車場出口
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど

表示	内容
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリナー・ ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。
表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社「お客様相談窓口」

通話料
無料

0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前9:30～午後5:30(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

お客様サポート:製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどがご利用になれます。

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸(078)671-5081(代表)

©富士通テン株式会社 2016

1607 (NSKF)